

平成28年熊本地震に関する県民アンケート調査
結果報告書

熊本県知事公室 危機管理防災課
平成29年3月13日

I 調査設計

1. 調査目的

防災体制の強化に活かすため、県民の方々が日頃から災害にどのように備え、熊本地震の際にどのように行動したのか、行政に対して、どのようなニーズをお持ちなのかなど、その実態を調査する。

2. 調査方法

くまもと電子申請窓口「よろず申請本舗」を活用したインターネット調査と、郵送調査

3. 調査対象者

インターネット調査 熊本県民(限定なし)
郵送調査 揺れの大きい(震度6強以上を観測した)市町村居住者
(熊本市／宇城市／宇土市／菊池市／合志市／大津町／
南阿蘇村／西原村／嘉島町／益城町)

4. 回答標本数

インターネット調査 有効回収 2, 204件
郵送調査 有効回収 1, 177件(配布数2, 000件)

5. 調査期間

インターネット調査 平成28年8月3日(水)から9月15日(木)
郵送調査 平成28年8月31日(水)から9月23日(金)

目次

Ⅱ 調査結果

問1	今回の地震で思った事、感じたことについて自由にご記入ください。(自由記述)	1
問2	前震の際、あなたはどこで揺れを感じましたか。(単数回答)	3
問3	前震の際、あなたはどこで揺れを感じましたか。(単数回答)	6
問4	前震の際の揺れている最中の行動を教えてください。(複数回答)	8
問5	身を守る為の行動をとれなかった場合、その理由を教えてください。(複数回答)	11
問6	本震の際、あなたはどこで揺れを感じましたか。(複数回答)	14
問7	本震の際、あなたが揺れを感じた場所を教えてください。(単数回答)	16
問8	本震の際の揺れている最中の行動を教えてください。(複数回答)	18
問9	身を守るための行動を取れなかった場合、その理由を教えてください。(複数回答)	21
問10	ご家族との連絡・安否はどのようにとりましたか。(複数回答)	24
問11	震災後の地震に関する情報をどこから入手しましたか。(複数回答)	27
問12	地震発生後、県のホームページはどのくらいご覧になりましたか。(単数回答)	30
問13	県のホームページでどういう情報を見ようと思いましたか。(単数回答・郵送調査のみ)	32
問14	県のホームページを見た感想のうち、あてはまるものを選んでください。(複数回答)	33
問15	近所の方とのコミュニケーションはとれましたか。(複数回答)	36
問16①	避難所や自宅で生活する中で、特に必要と感じた情報はどれですか。 (震災後3日まで)(複数回答)	39
問16②	避難所や自宅で生活する中で、特に必要と感じた情報はどれですか。 (震災後3日から10日まで)(複数回答)	42
問16③	避難所や自宅で生活する中で、特に必要と感じた情報はどれですか。 (震災後10日から1カ月まで)(複数回答)	45
問17	地震(前震の揺れ)以降、あなたは避難しましたか。(単数回答)	49
問18	避難した理由は何ですか。(複数回答)	52
問19	誰と一緒に避難しましたか。(複数回答)	55
問20	最も長い期間、避難した場所はどこですか。(複数回答)	58
問20①	最も長い期間、避難した場所はどこですか(避難期間別)。(複数回答)	61
問20②	避難した場所(最も長い期間避難した場所含む)はどこですか。(複数回答)	62
問21	最も長く避難した場所を選択した理由を教えてください。(複数回答)	65
問22	自動車の中に避難した理由は、何ですか。(複数回答)	68
問23	なぜ、その駐車場に避難されましたか。(複数回答)	71
問24	避難をやめるきっかけとなったのは何ですか。(複数回答)	74

問25	避難しなかった・できなかった理由を教えてください。(複数回答)	80
問26	今後、避難生活を行う必要が生じた場合に、あってほしいものは何ですか。(複数回答)	86
問27	今後、避難生活を行う必要が生じた場合に、誰が管理・運営する避難所へ避難したいと思いますか。(複数回答)	91
問28	(問27について)その理由について教えてください。(複数回答)	94
問29	事前に地震の備えとして何を行っていましたか。(複数回答)	97
問30	問29のうち、役に立ったことはありますか。(複数回答)	100
問31	地震の後、今後の災害への備えとして何を行いましたか。	104
問32	地震の前から備えているものも含めて教えてください。(複数回答)	108
問33	あなたが今後取得したい防災に関する知識は何ですか。(複数回答)	109
問34	あなたは普段、近所付き合いをどのようにしていますか。(複数回答)	111
問35	あなたは今回の地震で地域や近所の方と協力して何をしましたか。(複数回答)	115
問36	これまでの自宅や避難先での生活で、あなたが特に困ったり、苦勞したことは何ですか。(複数回答)	118
問37	あなたは今後地域での防災活動として、大切だと思うことは何ですか。(複数回答)	119
問38	あなたはこれまで自主防災組織活動に参加したことがありますか。(複数回答)	120
問39	あなたは今後どのような条件があれば、自主防災組織に参加できると思いますか。(複数回答)	121
問40	あなたは、災害時の地域での自主防災組織などによる共助の取組が円滑に行われるために、普段どのような取組が必要だと思いますか。(複数回答)	122
問41	災害への備え(自助)、地域での協力体制(共助)や行政の支援体制(公助)で、良かった点を自由にご記入ください。(自由記述)	123
問42	災害への備え(自助)、地域での協力体制(共助)や行政の支援体制(公助)で、悪かった点、改善すべき点を自由にご記入ください。(自由記述)	125
問43	地震前後で変化のあったこと(価値観、心構え、地域とのつながり など)がありましたら教えてください。(自由記述)	127
問44	今後の生活について、不安なことは何ですか。(複数回答)	129
問45	【問44】で選択いただいた方にお尋ねします。選択いただいた不安なことについて、具体的にご記入ください。(自由記述)	132
問46	今後の生活再建に向けて県に求めることを教えてください。(自由記述)	134

Ⅲ 標本構成

問1	あなたの性別を教えてください。(単数回答)	136
問2	現在の年齢を教えてください。(単数回答)	138
問3	震災時のお住まいの場所はどちらですか。(単数回答)	140
問4	今のお住まいはどれですか。(単数回答)	142
問5	震災前の同居家族には、どのような方がいましたか。(複数回答)	144
問6	あなたご自身やご家族、ご親戚はどのような被害をお受けになりましたか。(複数回答)	147
問7	あなたの自宅の被害状況を教えてください。(単数回答)	150
問8	あなたの自宅の被害状況を教えてください。(複数回答)	152

調査結果

問1 今回の地震で思った事、感じたことについて自由にご記入ください。(自由記述)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

全員の方(3,381人)に自由記述形式でたずねたところ、2,438人から意見をいただいた。具体的な記述内容は以下のとおりである。

○自由記述抜粋

1. 熊本で地震があるとは思っていなかった

- ・ 熊本では大地震はないと言われていたが、実際発生し、とても驚いた。
- ・ 地震は日本全国どこでも起こることと分かってはいたが、実際に起きるとパニックになってしまった。東日本大震災をテレビで見ていたのに、やはりテレビで見ることと実際に体験することは雲泥の差があると感じた。
- ・ 自然災害はいつ発生するか分からないので、心の準備と非常用持ち出し袋が必要だと思った。
- ・ これまで、関東での地震を心配しており、熊本でまさか震度7の、しかも、2回も地震が起きるとは考えてもいなかった。あっても、最大震度6程度と思っていた。
- ・ 事故や天災は一瞬に思いがけずに来るのだと実感した。一夜にして全くの別世界、全てをなくすという事を他人事と思っていたことが自分が被災者になって初めて痛感した。
- ・ 活断層があることは知っていた。しかしこんな強烈な地震がくるとは思っていなかった。日本は災害列島のため、どこかで毎年何かが起こりうる。災害について定期的に啓蒙する必要があると思う。事例を提示して緊迫感のある内容にして印象づけては？

2. 地震への備えについて

- ・ 風水害への備えは大切だと感じていたが、地震に関しては起こらないだろうと思っており、全く備えをしていなかった。
- ・ 普段から非常時の備えを心掛けておくことが重要だと思った。
- ・ まさか熊本で地震が起きるとは思っていなかったのも、多少の備えはしていたが、まだまだ足りなかったと反省した。
- ・ 熊本で地震が起きるなんて全く信じていなかった。たまたま飲料、食べ物は持っていたのでよかった。避難所を見ましたが大変だった。特にトイレ用の水が不足することは最悪です。
- ・ 熊本は、大きな地震がないと先入観があり、備えも全くしてなかったし、避難場所の確認もしてなかったことは反省点である。
- ・ まさか熊本で震度7の地震が起こるとは思っていなかった。備えが足りなかった。東北大震災の教訓を生かせなかった。やはり他人事で、自分のこととして考えられていなかったと思う。今回の地震を経験して、命の大切さ、日頃の生活のありがたさを痛感した。防災に対する意識を日頃から高く持ちたい。

調査結果

問1 今回の地震で思った事、感じたことについて自由にご記入ください。(自由記述)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

○自由記述抜粋

3. 地震に対する恐怖

- ・地震のこわさ、精神的なダメージを感じた。家も身体も家族も仕事も被害はなかったが、いまだに低い音に恐怖を感じる。
- ・震度7の地震はこんなに怖くてすごいものである。また熊本にも何年後にくるのだろう。こわいな。
- ・前震の時は片づけるぐらいで良かったが、本震で死ぬかと思った。
- ・自然の力をマザマザと見せつけられた。自然の怖さも知らされた。熊本ではこんなに強い地震は初めてでトラウマになってしまった。まだ余震が続いているので不安で安心して元の生活が出来ていない。早く元の生活に戻りたい。
- ・自然災害となると、人は無力だと思った。ただただ恐怖でたちつくし、何もできず、自分の命を守るのに精いっぱい。地震がおさまった後でやっと状況を把握できた。想定外というが、こんな自然災害など想定していても地震は特にいつ起こるかなど分からないので、すごく怖いと思った。
- ・震度7を経験した者だが、2回ともまったく動けなかった。なんと言って表現したらいいのか。カクテルを作るときのシェイカーの中にいるような感じ、とにかく震度7の揺れはまな板の上の鯉の状態だ。日頃から家具の固定化や上部に物を置かないなどの備えが必要と痛感。いざとなったら自分の身を守ることが出来ない場合のことも考えが必要と思う。

4. 共助・人とのつながりの大切さ

- ・地域の人々、遠方の友人、知人、会社関係者等の優しさ、暖かさを感じ続けた。また、身を寄せるための親戚の必要性を感じた。
- ・大変怖い思いをしましたが、何気ない日常の有り難み、そして全国からの暖かな支援に今でも感謝の思いでいっぱい。
- ・遠方の親兄妹、近所の方々、自衛隊やボランティアの方々の気遣いがあたたかく、感謝してもし足りない。
- ・自衛隊の方や、ボランティアの方などの手厚い支援に深く感動した。
- ・自分の事は自分で行うことの大切さ、近所の方と日頃から話せるよう対話をする。この地震をきっかけに人と人とのつながりの重要性を感じた。共同生活の中で自分勝手にする人もいたが、それはそれと割り切るには自分に余裕がないと難しいかも。
- ・前震直後、町内会の役員の方が巡回され心強かった。前震・本震直後、道路(自宅玄関前)で、近所の方々とあいさつしあい心強さを感じた。

5. その他

- ・水の大切さが分かった
- ・平和な日常生活のありがたさを感じた。
- ・まず、人間は弱いなあと感じた。そして弱い人間だからこそ人間の持てる力を発揮し乗り越えて行けるのだなと思った。
- ・情報の不足を痛感した。避難所へ避難しましたが、ラジオ、スマホから情報を収集していたが情報が不足(病院、福祉避難所等)した。
- ・まだまだこれしきの事で負けてたまるか。
- ・この度の地震では幸いにも命は助かることが出来たが、被災された多くの方の事を思った時本当に胸が痛む思いだ。一日も早く家族と一緒に暮らせることを望んでいる。

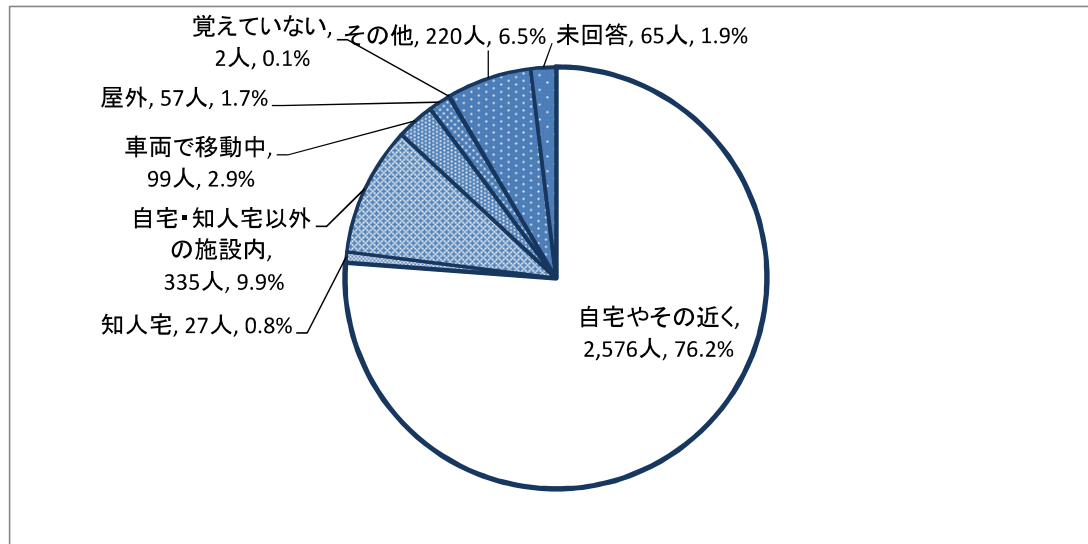
調査結果

問2 前震の際、あなたはどこで揺れを感じましたか。(単数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

前震時に揺れを感じた場所

N=3,381



地震発生時にいた場所は、発災が夜間であったこともあり、「自宅やその近く」が76.2%と多く、他の場所は10%以下だった。

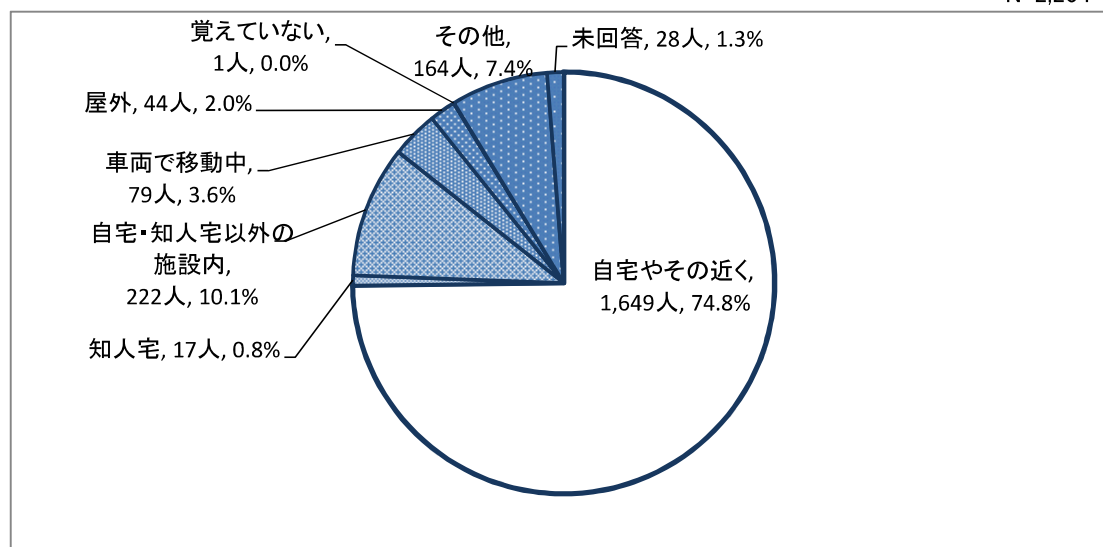
調査結果

【参考】 問2 前震の際、あなたはどこで揺れを感じましたか。(単数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

前震時に揺れを感じた場所(インターネット)

N=2,204



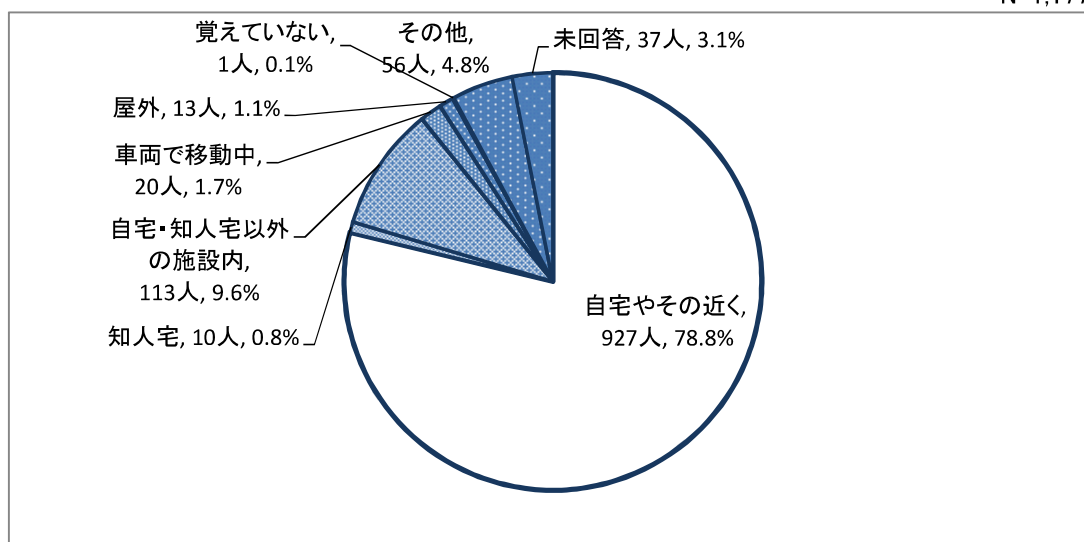
調査結果

【参考】 問2 前震の際、あなたはどこで揺れを感じましたか。(単数回答)

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。

前震時に揺れを感じた場所(郵送)

N=1,177



地震発生時にいた場所は、インターネット調査、郵送調査ともに大きな差はない。

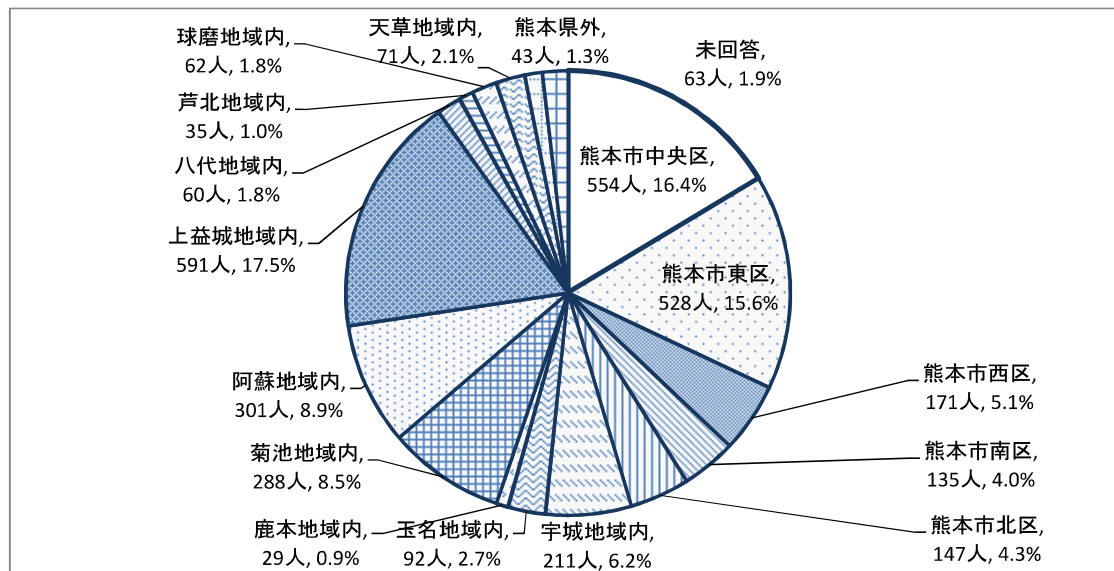
調査結果

問3 前震の際、あなたはどこで揺れを感じましたか。(単数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

前震時に揺れを感じた場所(地域)

N=3,381



地震発生時にいた地域は、「上益城地域」が17.5%、「熊本市中央区」が16.4%と多く、他区、他地域はそれぞれ5%程度だった。

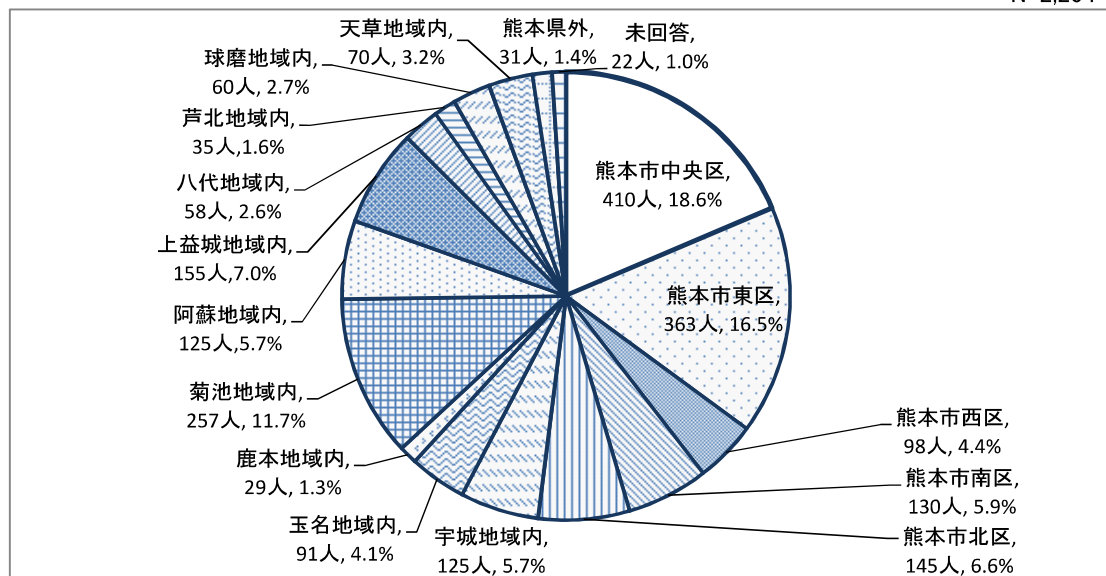
調査結果

【参考】 問3 前震の際、あなたはどこで揺れを感じましたか。(単数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

前震時に揺れを感じた場所(地域)(インター)

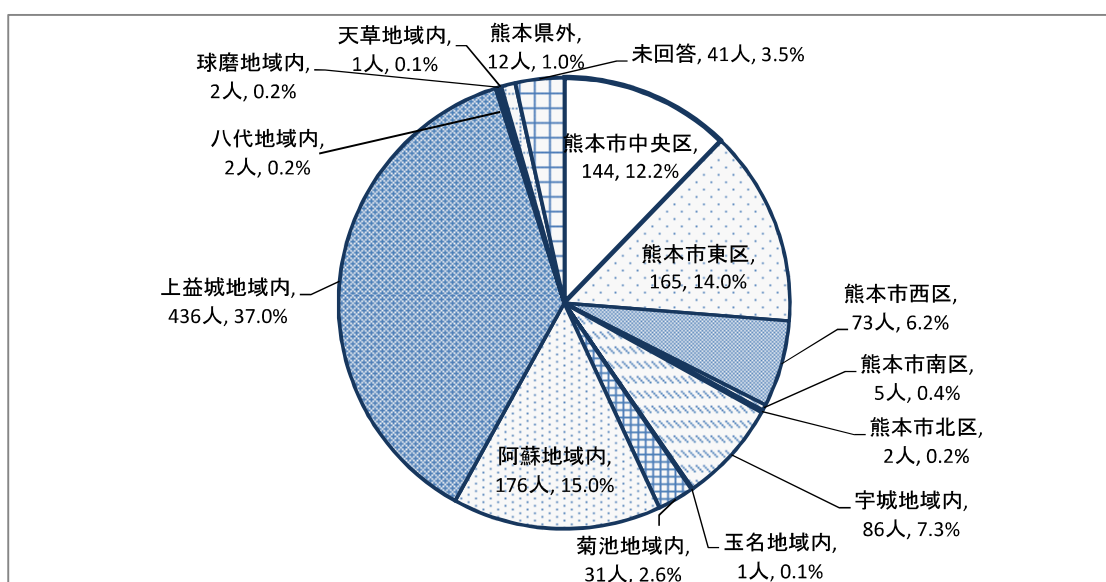
N=2,204



郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。

前震時に揺れを感じた場所(地域)(郵送)

N=1,177

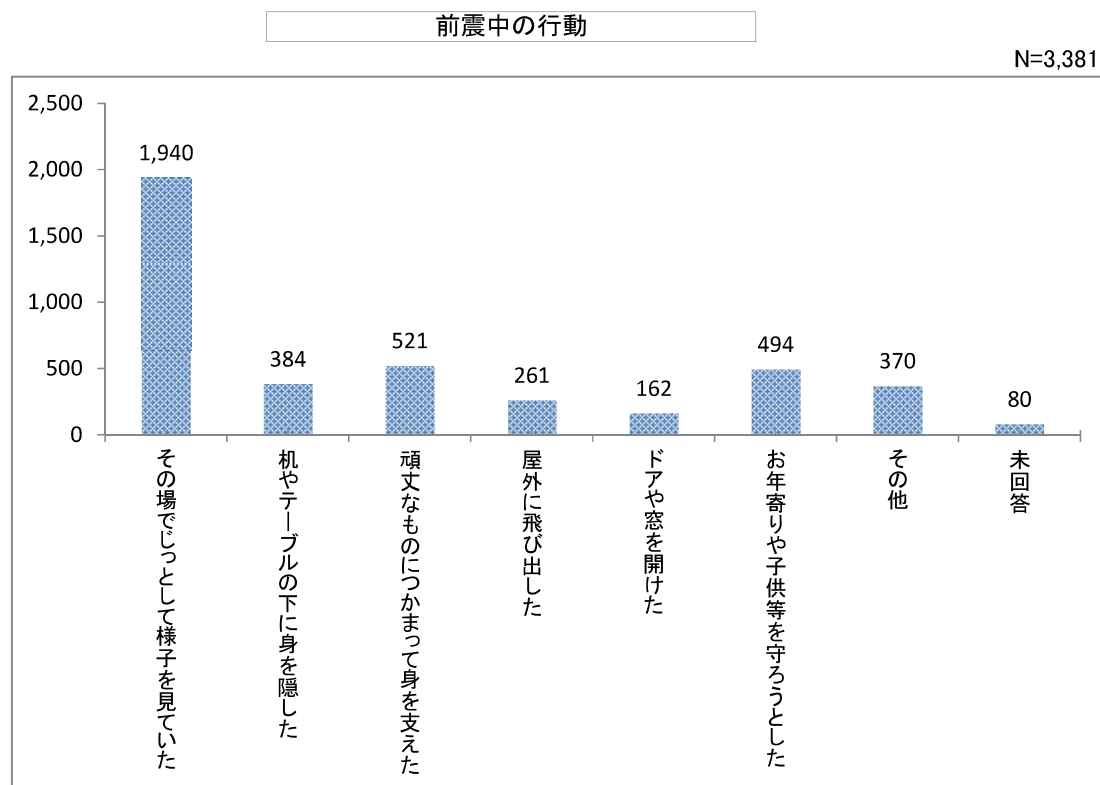


インターネット調査に比べ、郵送版調査の方が大きな被害が生じた被災地に特化している。

調査結果

問4 前震の際の揺れている最中の行動を教えてください。(複数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。



N=3,381

その場でじっとして様子を見ていた	1,940	57.4%
机やテーブルの下に身を隠した	384	11.4%
頑丈なものにつかまって身を支えた	521	15.4%
屋外に飛び出した	261	7.7%
ドアや窓を開けた	162	4.8%
お年寄りや子供等を守ろうとした	494	14.6%
その他	370	10.9%
未回答	80	2.4%
回答計	4,212	

「その場でじっとして様子を見ていた」(1,940件,57.4%)が最も多く、次に「頑丈なものにつかまって身を支えた」(521件,15.4%)、が多い。以下、「お年寄りや子供等を守ろうとした」(494件,14.6%)、「机やテーブルの下に身を隠した」(384件,11.4%)となっている。

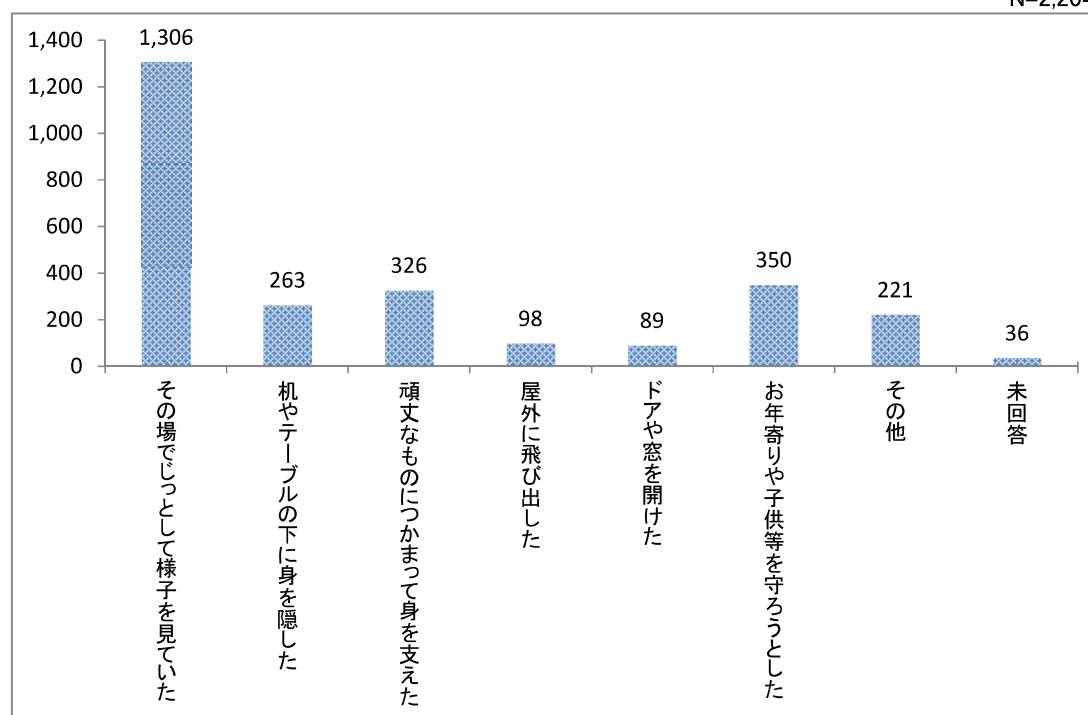
調査結果

【参考】 問4 前震の際の揺れている最中の行動を教えてください。(複数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

前震中の行動(インターネット)

N=2,204



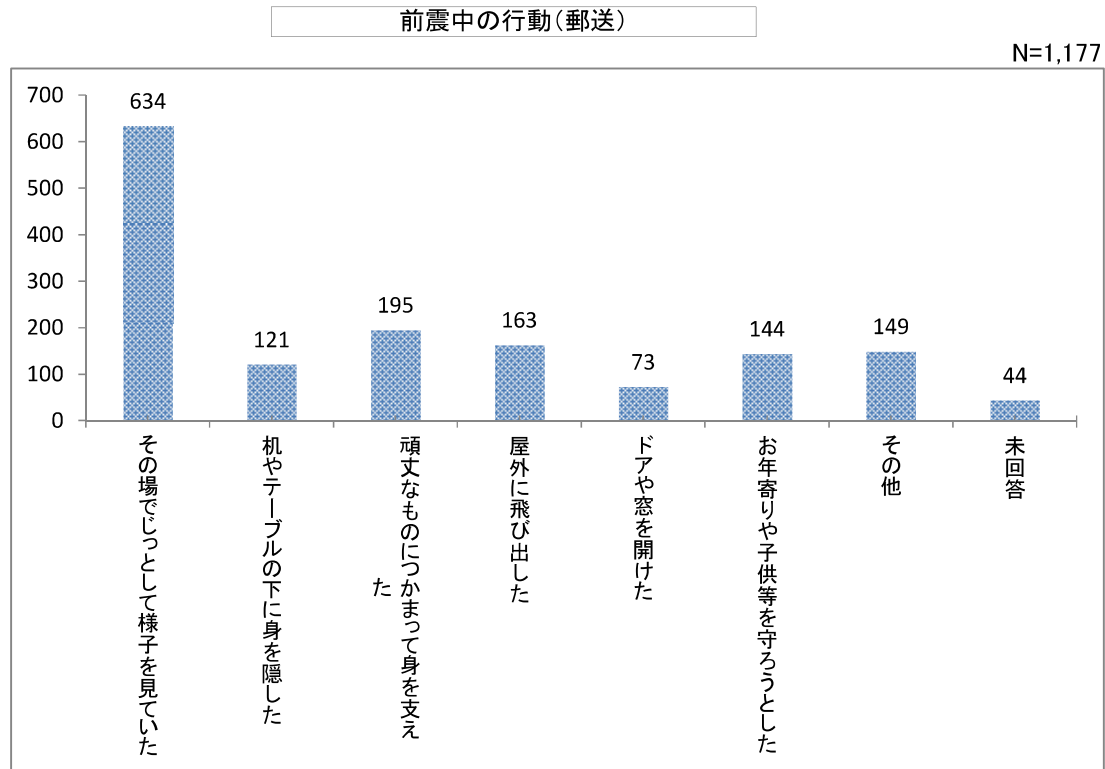
N=2,204

その場でじっとして様子を見ていた	1,306	59.3%
机やテーブルの下に身を隠した	263	11.9%
頑丈なものにつかまって身を支えた	326	14.8%
屋外に飛び出した	98	4.4%
ドアや窓を開けた	89	4.0%
お年寄りや子供等を守ろうとした	350	15.9%
その他	221	10.0%
未回答	36	1.6%
回答計	2,689	

調査結果

【参考】 問4 前震の際の揺れている最中の行動を教えてください。(複数回答)

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。



N=1,177

その場でじっとして様子を見ていた	634	53.9%
机やテーブルの下に身を隠した	121	10.3%
頑丈なものにつかまって身を支えた	195	16.6%
屋外に飛び出した	163	13.8%
ドアや窓を開けた	73	6.2%
お年寄りや子供等を守ろうとした	144	12.2%
その他	149	12.7%
未回答	44	3.7%
回答計	1,523	

前震中の行動は、インターネット調査、郵送調査ともに大きな差はない。

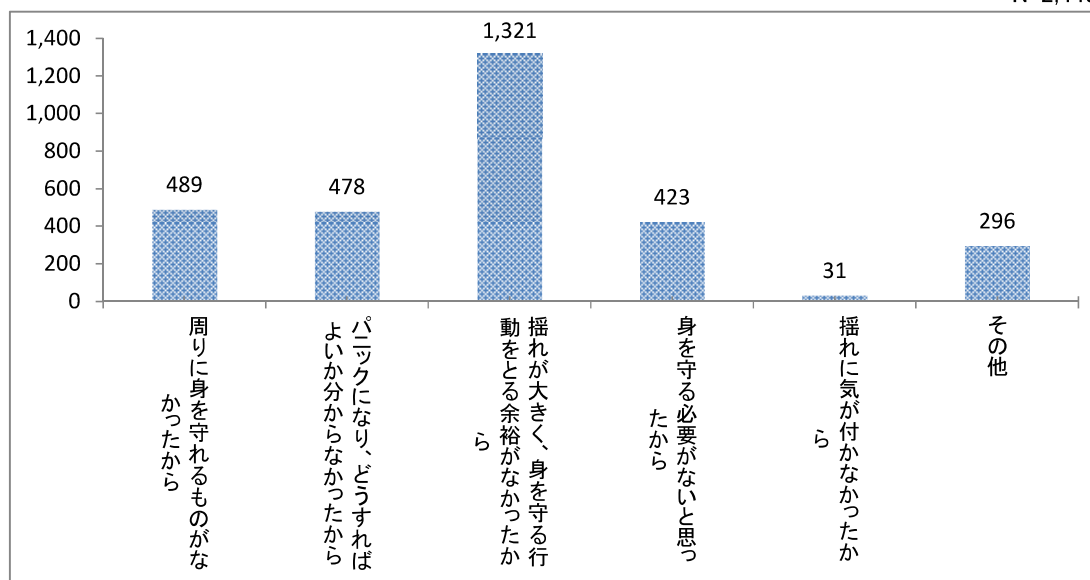
調査結果

問5 身を守る為の行動をとれなかった場合、その理由を教えてください。(複数回答)

未回答者以外の方(2,445人)にお聞きしています。

身を守る行動がとれなかった理由

N=2,445



N=2,445

周りに身を守れるものがなかったから	489	20.0%
パニックになり、どうすればよいかわからなかったから	478	19.6%
揺れが大きく、身を守る行動をとる余裕がなかったから	1,321	54.0%
身を守る必要がないと思ったから	423	17.3%
揺れに気が付かなかったから	31	1.3%
その他	296	12.1%
回答計	3,038	

回答者のうち、72.3%(2,445名)の方が身を守る行動を取れなかったと考えている。
理由として、「揺れが大きく、身を守る行動がとれなかったから」(1,321件,54.0%)が最も多かった。

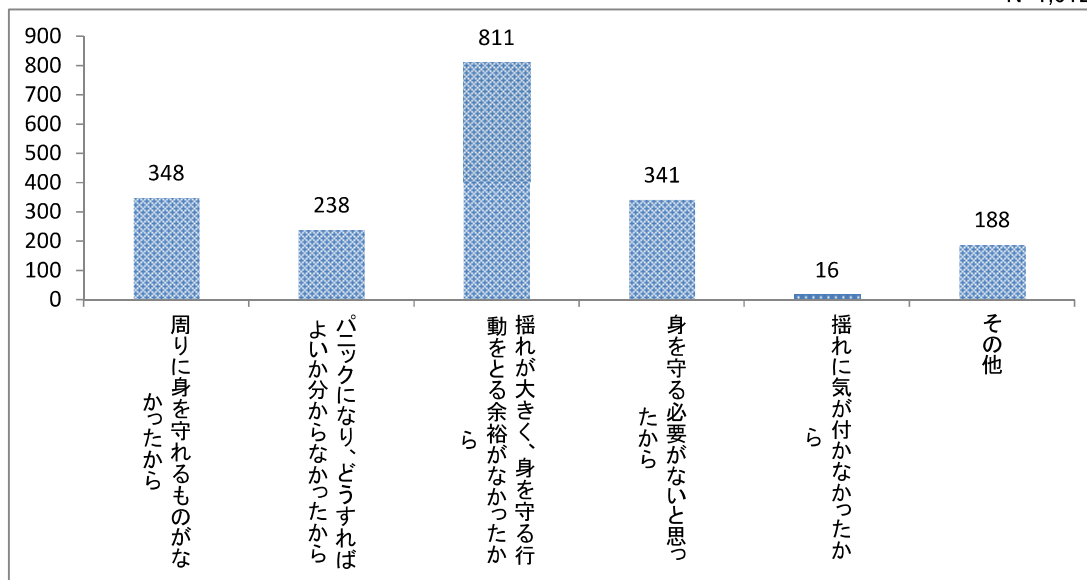
調査結果

【参考】 問5 身を守る為の行動をとれなかった場合、その理由を教えてください(複数回答)

未回答の方以外(インターネット回答の方)(1,612人)にお聞きしています。

身を守る行動がとれなかった理由(インターネット)

N=1,612



N=1,612

周りに身を守るものがなかったから	348	21.6%
パニックになり、どうすればよいか分からなかったから	238	14.8%
揺れが大きく、身を守る行動をとる余裕がなかったから	811	50.3%
身を守る必要がないと思ったから	341	21.2%
揺れに気が付かなかったから	16	1.0%
その他	188	11.7%
回答計	1,942	

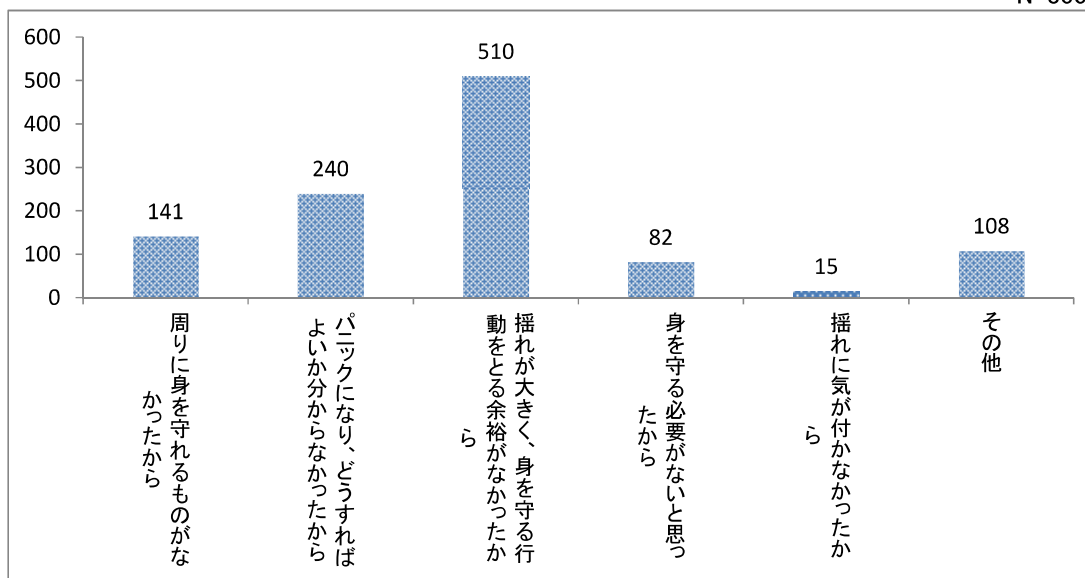
調査結果

【参考】 問5 身を守る為の行動をとれなかった場合、その理由を教えてください。(複数回答)

未回答の方以外(郵送回答の方)(833人)にお聞きしています。

身を守る行動がとれなかった理由(郵送)

N=833



N=833

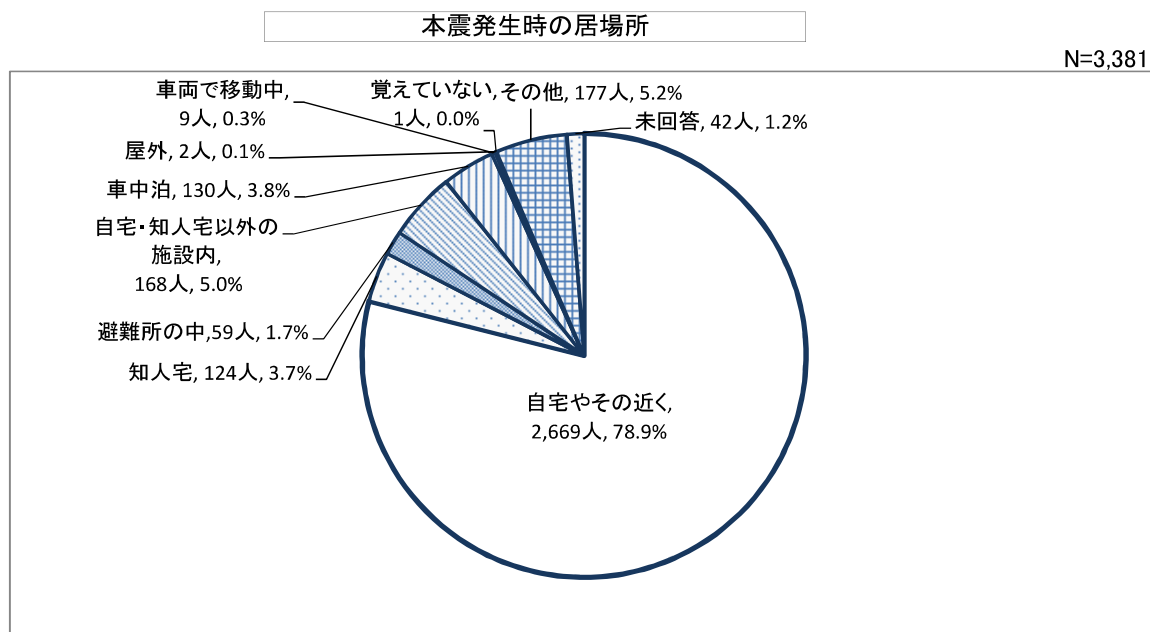
周りに身を守るものがなかったから	141	16.9%
パニックになり、どうすればよいかわからなかったから	240	28.8%
揺れが大きく、身を守る行動をとる余裕がなかったから	510	61.2%
身を守る必要がないと思ったから	82	9.8%
揺れに気が付かなかったから	15	1.8%
その他	108	13.0%
回答計	1,096	

前震中の行動は、大きな揺れを感じた地域に限定した郵送調査について、「パニックになり、どうすればよいかわからなかった」という意見が、インターネット調査に比べ多かった。

調査結果

問6 本震の際、あなたはどこで揺れを感じましたか。(単数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。



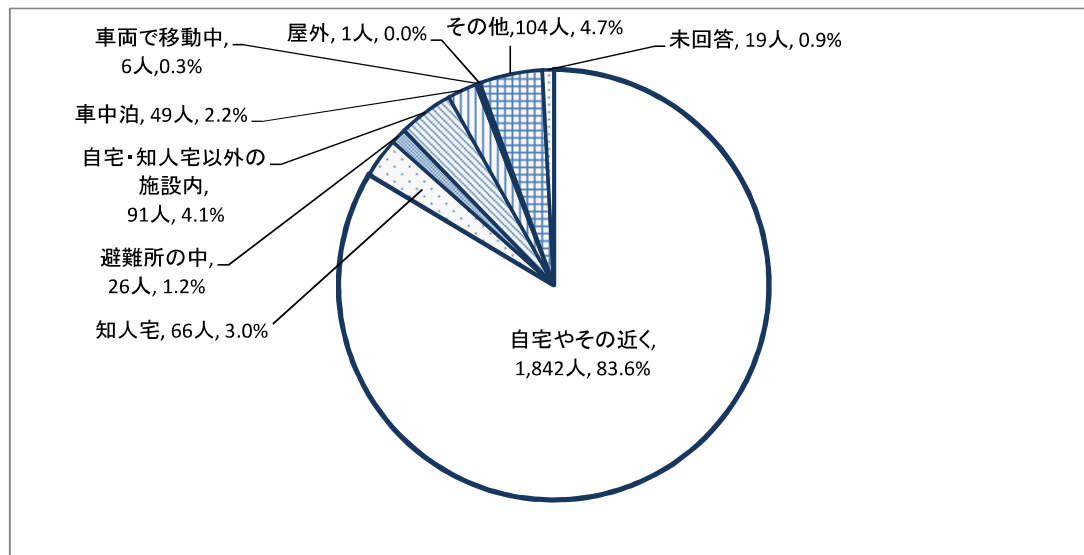
調査結果

【参考】 問6 本震の際、あなたはどこで揺れを感じましたか。(単数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

本震発生時の居場所(インターネット)

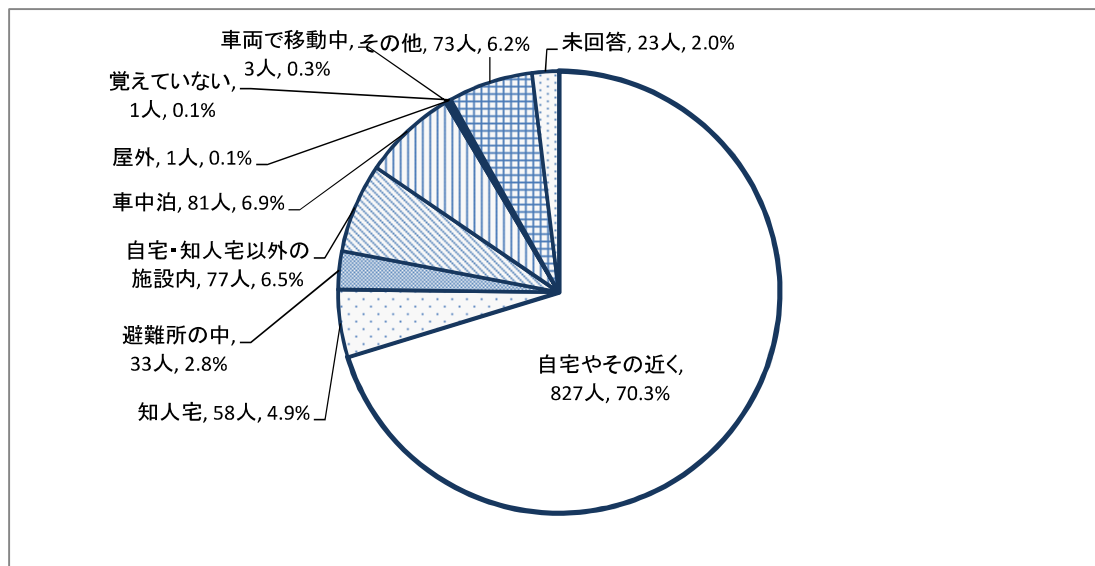
N=2,204



郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。

本震発生時の居場所(郵送)

N=1,177

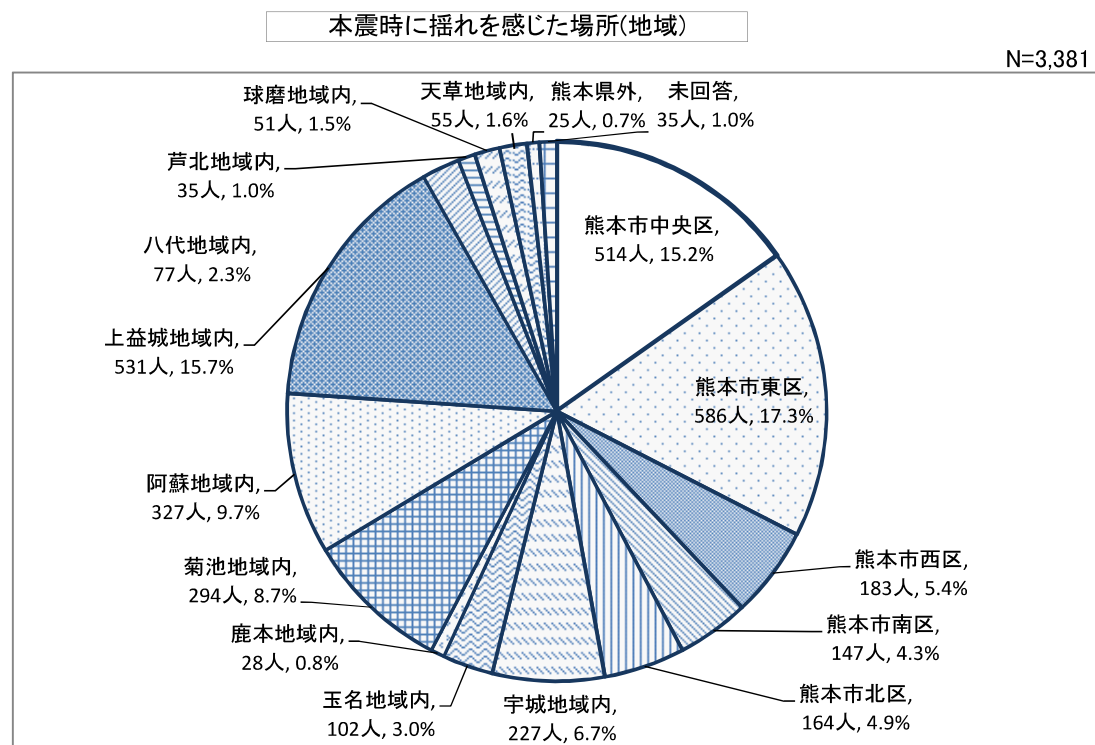


本震発生時にいた場所は、インターネット調査に比べ、大きな揺れを感じた地域に限定した郵送調査の方が、「避難所の中」や「車中泊」などが多かった。

調査結果

問7 本震の際、あなたが揺れを感じた場所を教えてください。(単数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。



地震発生時にいた地域は、「熊本市東区」が17.3%、「上益城地域内」が15.7%、「熊本市中央区」が15.2%と多く、他区、他地域はそれぞれ5%程度だった。

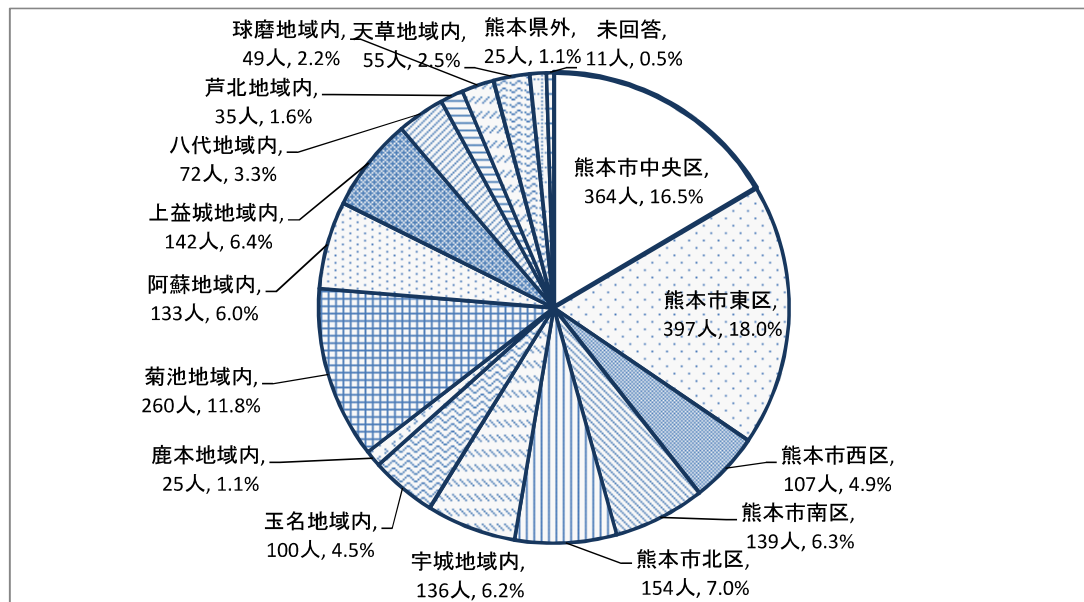
調査結果

【参考】 問7 本震の際、あなたが揺れを感じた場所を教えてください。(単数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

本震時に揺れを感じた場所(地域)(インターネット)

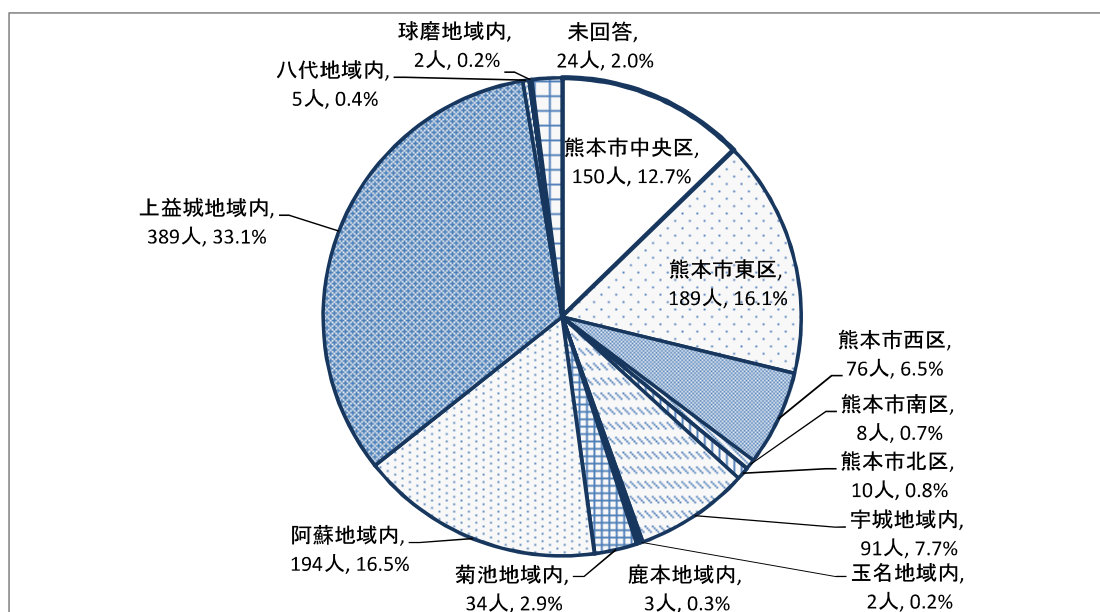
N=2,204



郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。

本震時に揺れを感じた場所(地域)(郵送)

N=1,177

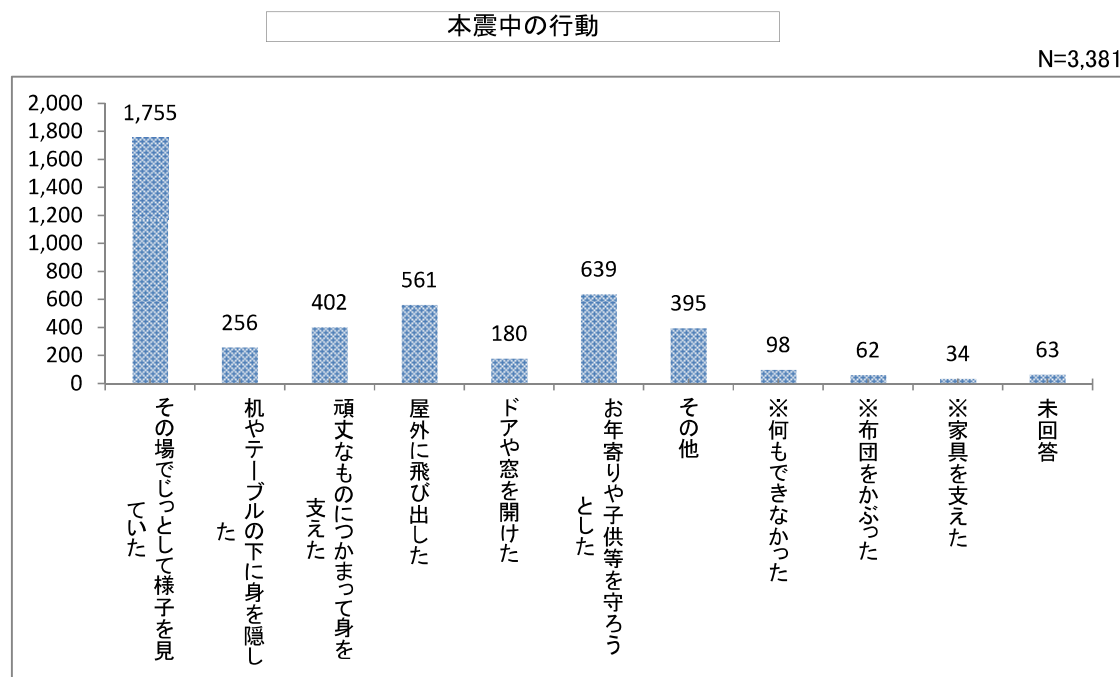


インターネット調査に比べ、郵送版調査の方が大きな被害が生じた被災地に特化している。

調査結果

問8 本震の際の揺れている最中の行動を教えてください。(複数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。



N=3,381

その場でじっとして様子を見ていた	1,755	51.9%
机やテーブルの下に身を隠した	256	7.6%
頑丈なものにつかまって身を支えた	402	11.9%
屋外に飛び出した	561	16.6%
ドアや窓を開けた	180	5.3%
お年寄りや子供等を守ろうとした	639	18.9%
その他	395	11.7%
※何もできなかった	98	
※布団をかぶった	62	
※家具を支えた	34	
未回答	63	1.9%
回答計	4,251	

※「その他」で多かった回答項目

「その場でじっとして様子を見ていた」(1,755件,51.9%)が最も多く、次に「お年寄りや子供を守ろうとした」(639件,18.9%)が多い。以下、「屋外に飛び出した」(561件,16.6%)、「頑丈なものにつかまって身を支えた」(402件,11.9%)となっている。

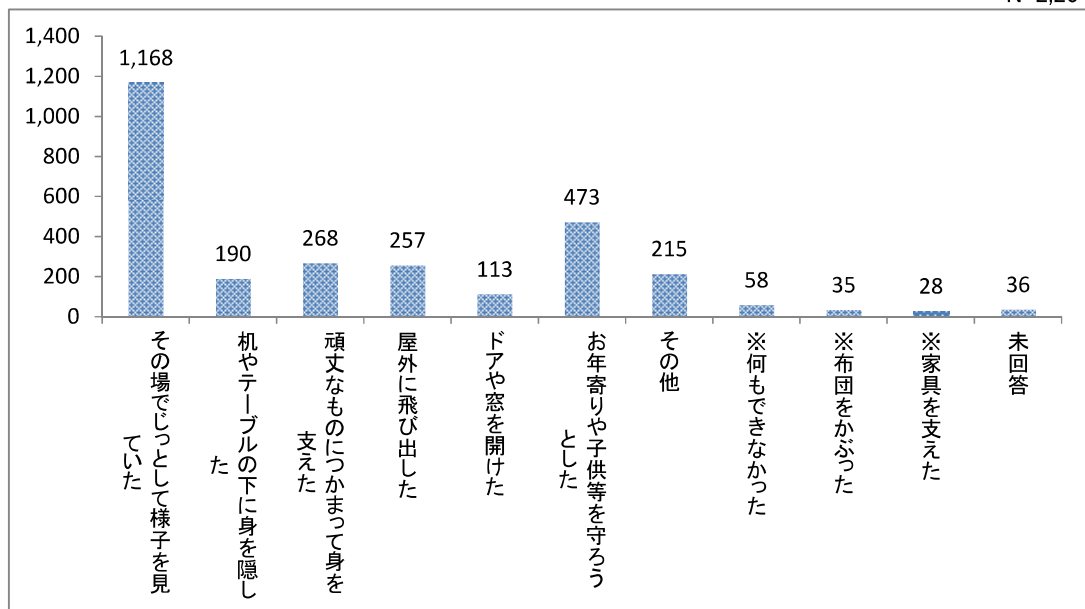
調査結果

【参考】 問8 本震の際の揺れている最中の行動を教えてください。(複数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

本震中の行動(インターネット)

N=2,204



N=2,204

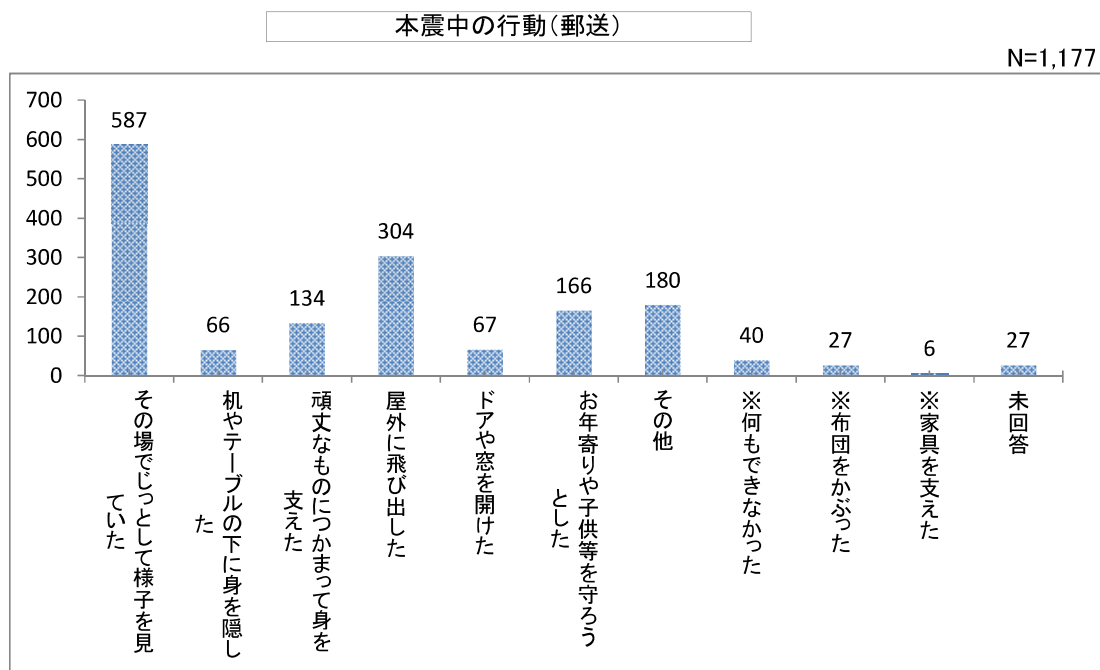
その場でじっとして様子を見ていた	1,168	53.0%
机やテーブルの下に身を隠した	190	8.6%
頑丈なものにつかまって身を支えた	268	12.2%
屋外に飛び出した	257	11.7%
ドアや窓を開けた	113	5.1%
お年寄りや子供等を守ろうとした	473	21.5%
その他	215	9.8%
※何もできなかった	58	
※布団をかぶった	35	
※家具を支えた	28	
未回答	36	1.6%
回答計	2,720	

※「その他」で多かった回答項目

調査結果

【参考】 問8 本震の際の揺れている最中の行動を教えてください。(複数回答)

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。



N=1,177

その場でじっとして様子を見ていた	587	49.9%
机やテーブルの下に身を隠した	66	5.6%
頑丈なものにつかまって身を支えた	134	11.4%
屋外に飛び出した	304	25.8%
ドアや窓を開けた	67	5.7%
お年寄りや子供等を守ろうとした	166	14.1%
その他	180	15.3%
※何もできなかった	40	
※布団をかぶった	27	
※家具を支えた	6	
未回答	27	2.3%
回答計	1,531	

※「その他」で多かった回答項目

本震中の行動は、インターネット調査に比べ、大きな揺れを感じた地域に限定した郵送調査の方が、「屋外に飛び出した」行動を取った割合が大きかった。

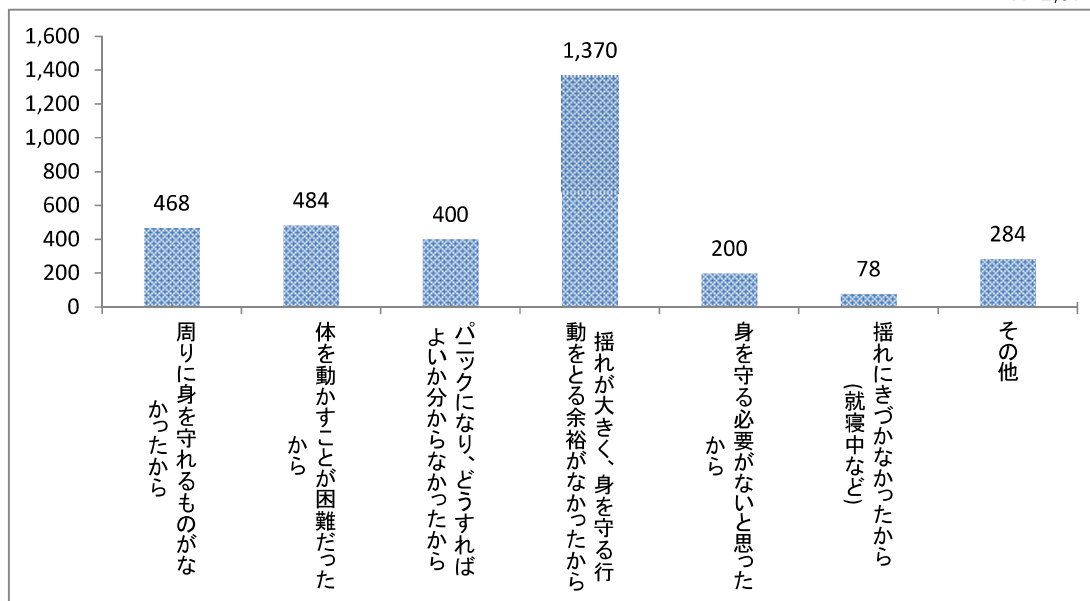
調査結果

問9 身を守るための行動を取れなかった場合、その理由を教えてください。(複数回答)

未回答者以外の方(2,374人)にお聞きしています。

身を守る行動がとれなかった理由

N=2,374



N=2,374

周りに身を守るものがなかったから	468	19.7%
体を動かすことが困難だったから	484	20.4%
パニックになり、どうすればよいかわからなかったから	400	16.8%
揺れが大きく、身を守る行動をとる余裕がなかったから	1,370	57.7%
身を守る必要がないと思ったから	200	8.4%
揺れに気づけなかったから(就寝中など)	78	3.3%
その他	284	12.0%
回答計	3,284	

回答者のうち、70.2%(2,374名)の方が身を守る行動を取れなかったと考えている。
理由として、「揺れが大きく、身を守る行動がとれなかったから」(1,370件,57.7%)が最も多かった。

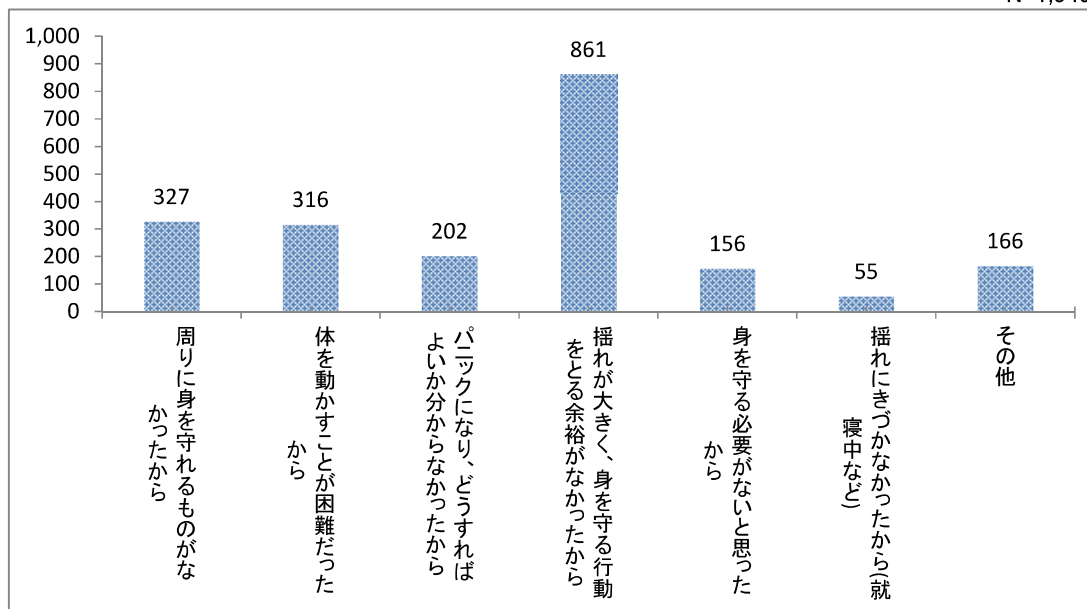
調査結果

【参考】問9 身を守るための行動を取れなかった場合、その理由を教えてください。(複数回答)

インターネット回答で未回答者以外の方(1,549人)にお聞きしています。

身を守る行動がとれなかった理由(インターネット)

N=1,549



N=1,549

周りに身を守るものがなかったから	327	21.1%
体を動かすことが困難だったから	316	20.4%
パニックになり、どうすればよいか分からなかったから	202	13.0%
揺れが大きく、身を守る行動をとる余裕がなかったから	861	55.6%
身を守る必要がないと思ったから	156	10.1%
揺れに気づかなかったから(就寝中など)	55	3.6%
その他	166	10.7%
回答計	2,083	

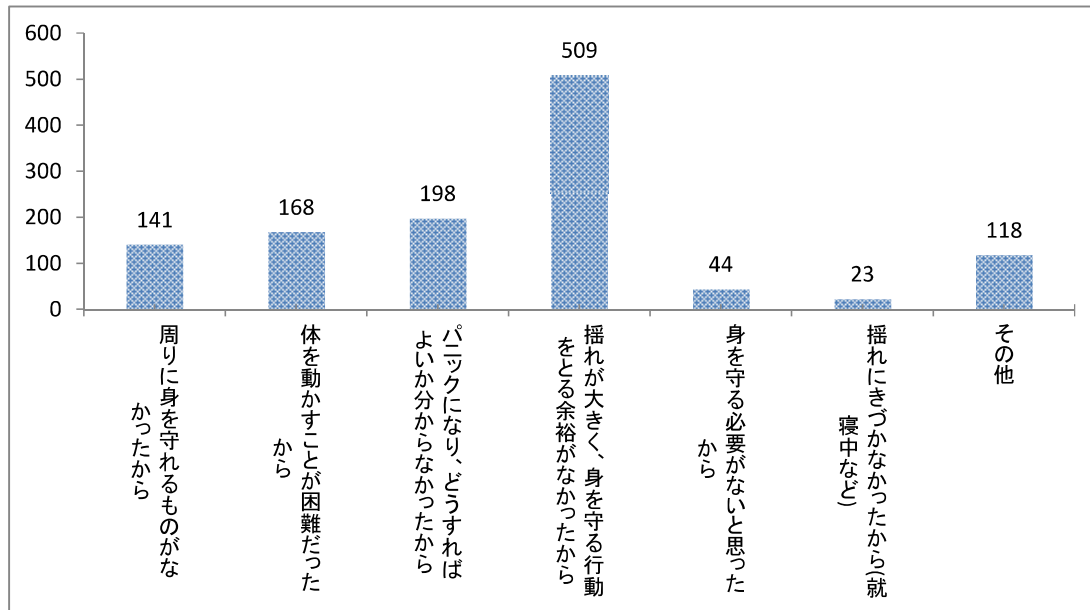
調査結果

【参考】問9 身を守るための行動を取れなかった場合、その理由を教えてください。(複数回答)

郵送回答で未回答者以外の方(825人)にお聞きしています。

身を守る行動がとれなかった理由(郵送)

N=825



N=825

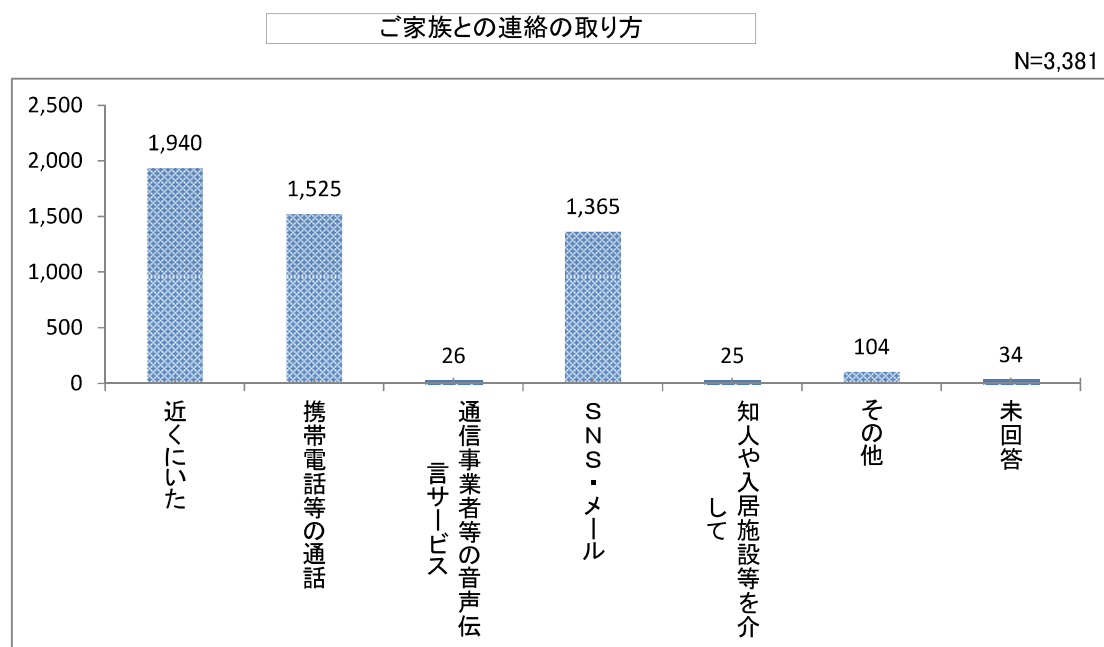
周りに身を守るものがなかったから	141	17.1%
体を動かすことが困難だったから	168	20.4%
パニックになり、どうすればよいかわからなかったから	198	24.0%
揺れが大きく、身を守る行動をとる余裕がなかったから	509	61.7%
身を守る必要がないと思ったから	44	5.3%
揺れに気づかなかったから(就寝中など)	23	2.8%
その他	118	14.3%
回答計	1,201	

本震中の行動は、大きな揺れを感じた地域に限定した郵送調査について、「パニックになり、どうすればよいかわからなかった」という意見が、インターネット調査に比べ多かった。

調査結果

問10 ご家族との連絡・安否はどのようにとりましたか。(複数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。



N=3,381

近くにいる	1,940	57.4%
携帯電話等の通話	1,525	45.1%
通信事業者等の音声伝言サービス	26	0.8%
SNS・メール	1,365	40.4%
知人や入居施設等を介して	25	0.7%
その他	104	3.1%
未回答	34	1.0%
回答計	5,019	

「近くにいる」(1,940件,57.4%)が最も多く、次に「携帯電話の通話」(1,525件,45.1%)が多い。以下、「SNS・メール」(1,365件,40.4%)となっている。

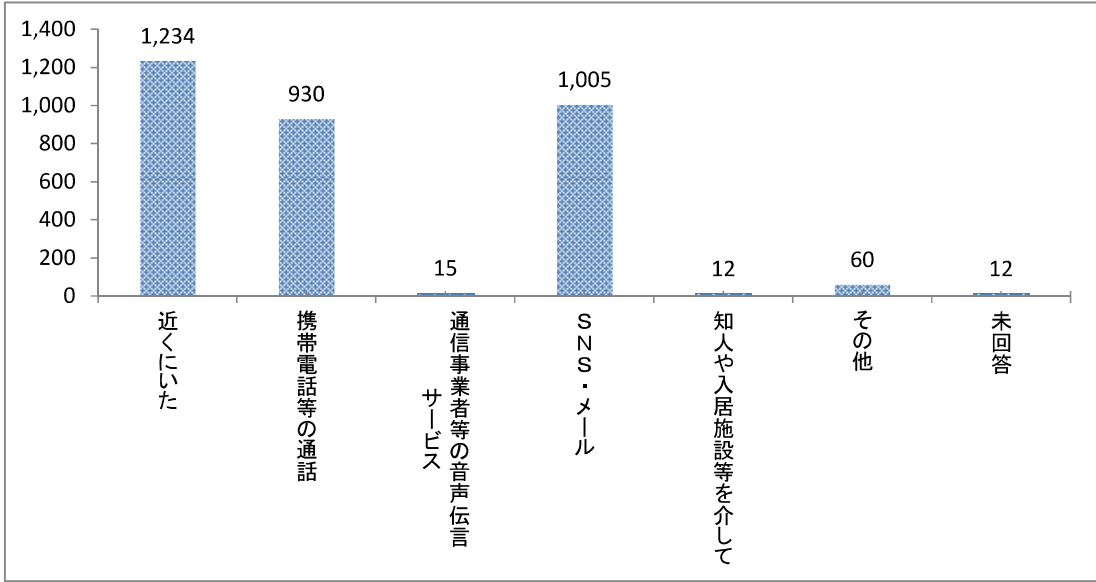
調査結果

【参考】 問10 ご家族との連絡・安否はどのようにとりましたか。(複数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

ご家族との連絡の取り方(インターネット)

N=2,204



N=2,204

近くにいた	1,234	56.0%
携帯電話等の通話	930	42.2%
通信事業者等の音声伝言サービス	15	0.7%
SNS・メール	1,005	45.6%
知人や入居施設等を介して	12	0.5%
その他	60	2.7%
未回答	12	0.5%
回答計	3,268	

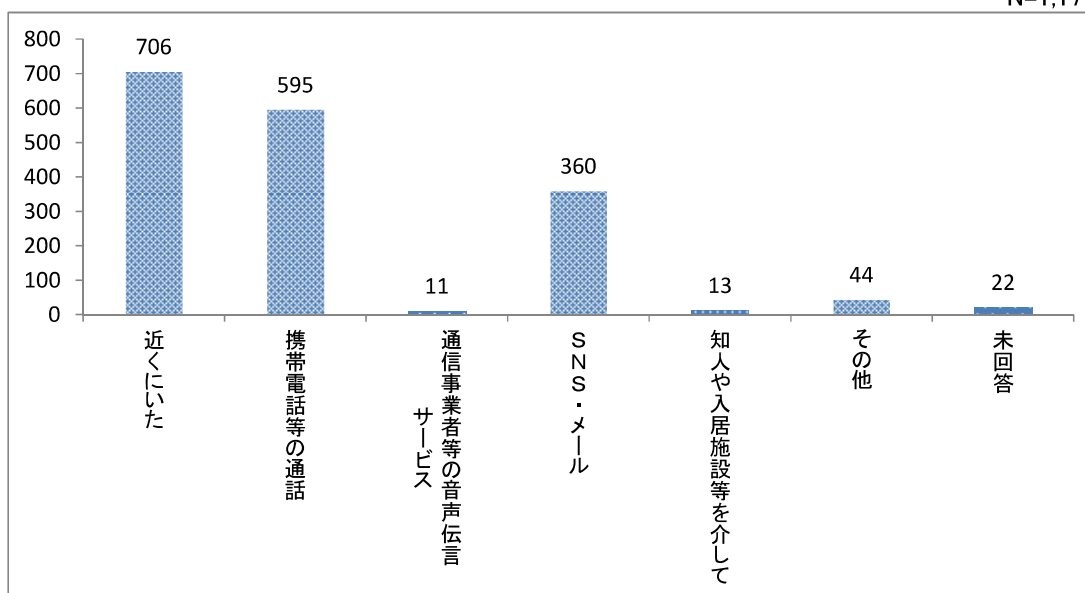
調査結果

【参考】 問10 ご家族との連絡・安否はどのようにとりましたか。(複数回答)

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。

ご家族との連絡の取り方(郵送)

N=1,177



N=1,177

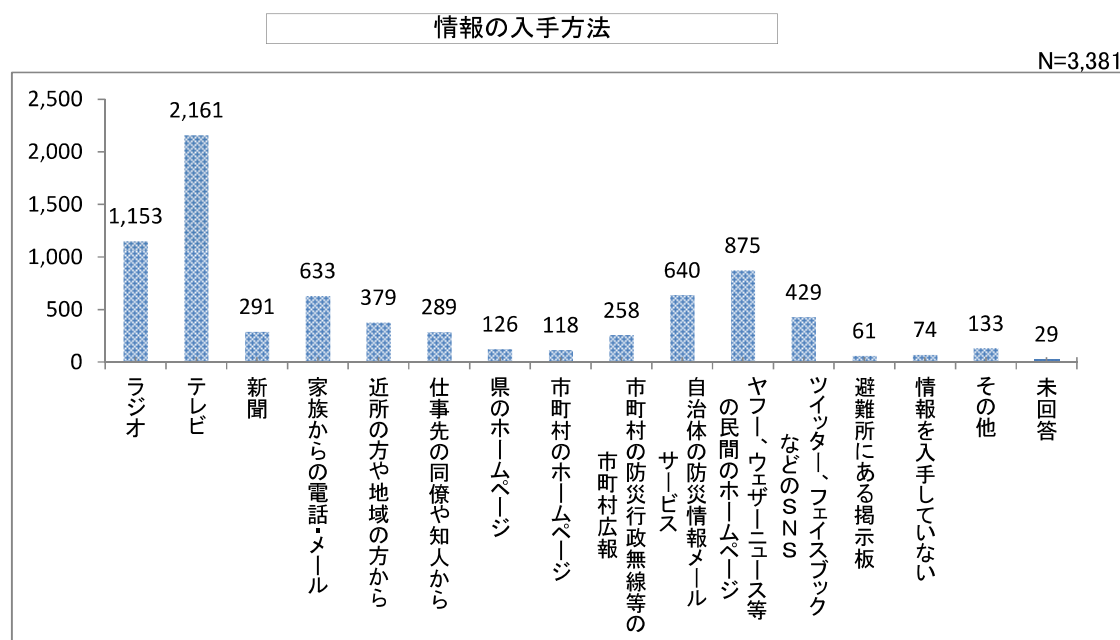
近くにいた	706	60.0%
携帯電話等の通話	595	50.6%
通信事業者等の音声伝言サービス	11	0.9%
SNS・メール	360	30.6%
知人や入居施設等を介して	13	1.1%
その他	44	3.7%
未回答	22	1.9%
回答計	1,751	

インターネット調査は、比較的「SNS・メール」により連絡を取った方が多く、郵送調査では「携帯電話等の通話」により連絡を取った方が多い。

調査結果

問11 地震直後の地震に関する情報をどこから入手しましたか。(複数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。



N=3,381

ラジオ	1,153	34.1%
テレビ	2,161	63.9%
新聞	291	8.6%
家族からの電話・メール	633	18.7%
近所の方や地域の方から	379	11.2%
仕事先の同僚や知人から	289	8.5%
県のホームページ	126	3.7%
市町村のホームページ	118	3.5%
市町村の防災行政無線等の市町村広報	258	7.6%
自治体の防災情報メールサービス	640	18.9%
ヤフー、ウェザーニュース等の民間のホームページ	875	25.9%
ツイッター、フェイスブックなどのSNS	429	12.7%
避難所にある掲示板	61	1.8%
情報を入手していない	74	2.2%
その他	133	3.9%
未回答	29	0.9%
回答計	7,649	

「テレビ」(2,161件,63.9%)、「ラジオ」(1,153件,34.1%)から情報を得た人が最も多い。また、「民間のホームページ」(875件,25.9%)、「自治体の防災情報メールサービス」(640件,18.9%)が続いている。

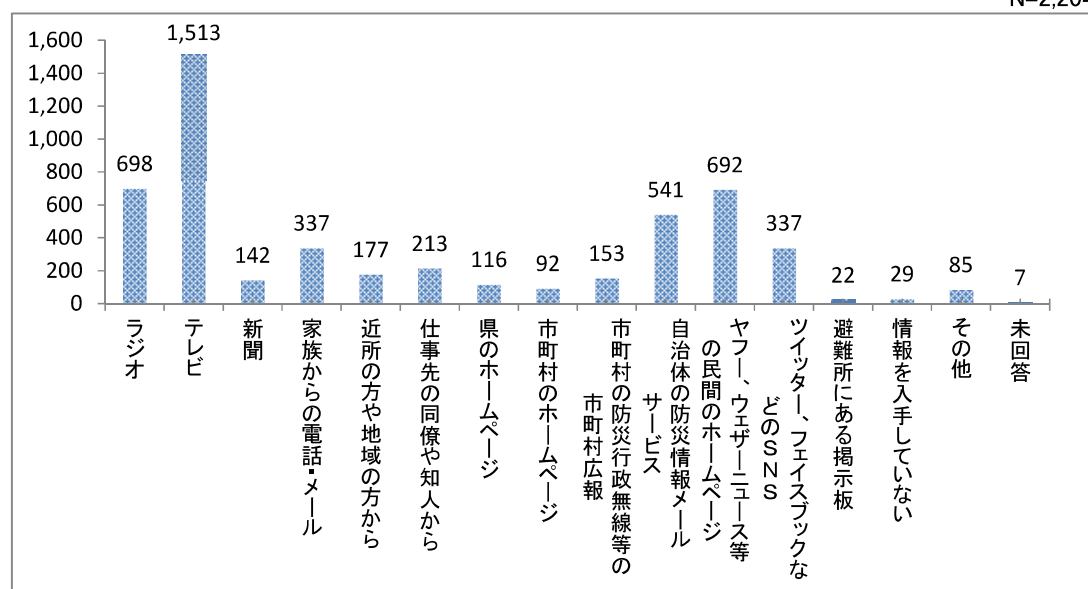
調査結果

【参考】 問11 地震直後の地震に関する情報をどこから入手しましたか。(複数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

情報の入手方法(インターネット)

N=2,204



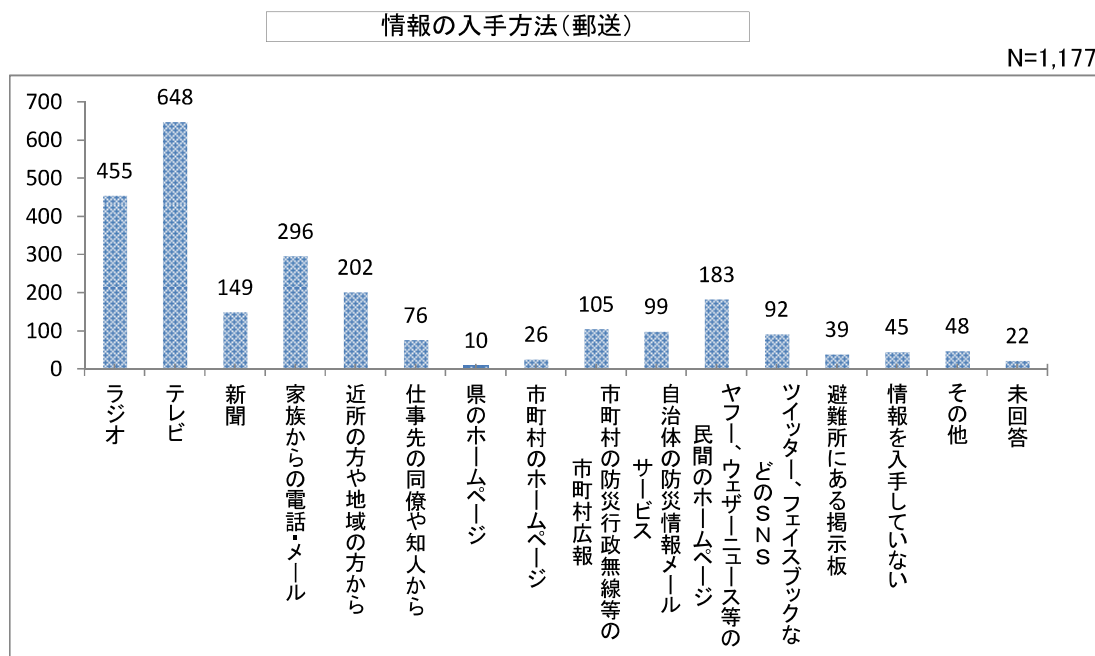
N=2,204

ラジオ	698	31.7%
テレビ	1,513	68.6%
新聞	142	6.4%
家族からの電話・メール	337	15.3%
近所の方や地域の方から	177	8.0%
仕事先の同僚や知人から	213	9.7%
県のホームページ	116	5.3%
市町村のホームページ	92	4.2%
市町村の防災行政無線等の市町村広報	153	6.9%
自治体の防災情報メールサービス	541	24.5%
ヤフー、ウェザーニュース等の民間のホームページ	692	31.4%
ツイッター、フェイスブックなどのSNS	337	15.3%
避難所にある掲示板	22	1.0%
情報を入手していない	29	1.3%
その他	85	3.9%
未回答	7	0.3%
回答計	5,154	

調査結果

【参考】 問11 地震直後の地震に関する情報をどこから入手しましたか。(複数回答)

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。



N=1,177

ラジオ	455	38.7%
テレビ	648	55.1%
新聞	149	12.7%
家族からの電話・メール	296	25.1%
近所の方や地域の方から	202	17.2%
仕事先の同僚や知人から	76	6.5%
県のホームページ	10	0.8%
市町村のホームページ	26	2.2%
市町村の防災行政無線等の市町村広報	105	8.9%
自治体の防災情報メールサービス	99	8.4%
ヤフー、ウェザーニュース等の民間のホームページ	183	15.5%
ツイッター、フェイスブックなどのSNS	92	7.8%
避難所にある掲示板	39	3.3%
情報を入手していない	45	3.8%
その他	48	4.1%
未回答	22	1.9%
回答計	2,495	

大きな揺れを感じた地域に限定した郵送調査の方が「ラジオ」(インターネット:698件,31.7% / 郵:455件,38.7%)により情報を得た人が多く、「テレビ」(インターネット:1,513件,68.4% / 郵:648件,55.1%)により情報を得た人が比較的に少ない。

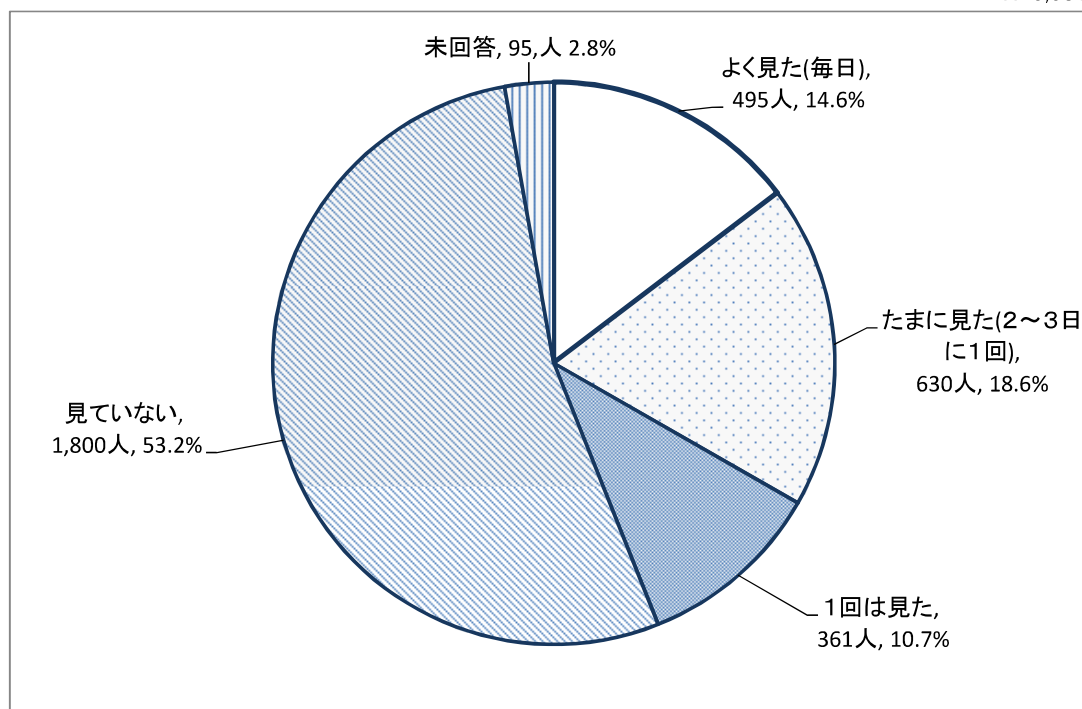
調査結果

問12 地震発生後、県のホームページはどのくらいご覧になりましたか。(単数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

県ホームページの利用状況

N=3,381



県のホームページを1度でも見たと回答している方は44.0%(1,486人)となっている。

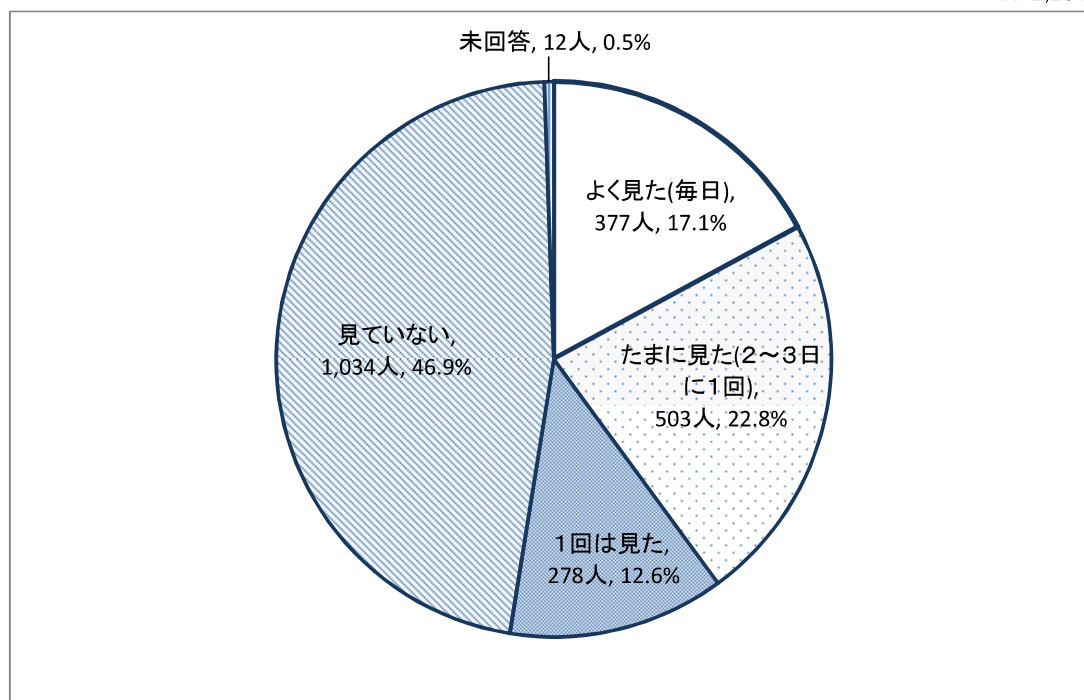
調査結果

【参考】 問12 地震発生後、県のホームページはどのくらいご覧になりましたか。(単数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

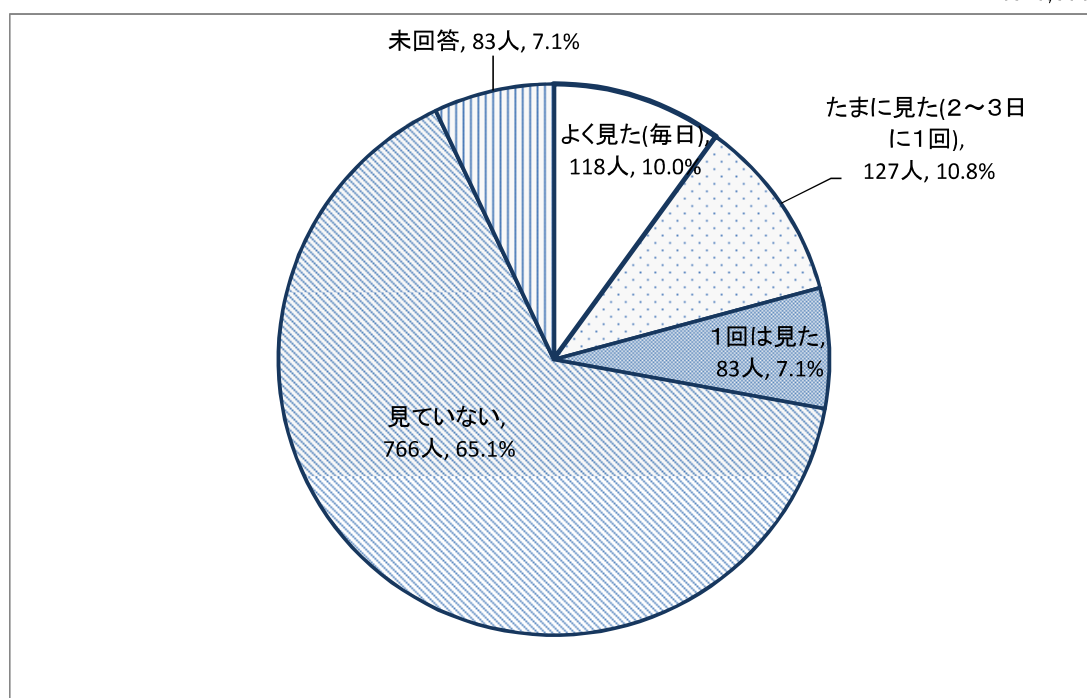
県ホームページの利用状況(インターネット)

N=2,204



県ホームページの利用状況(郵送)

N=1,177



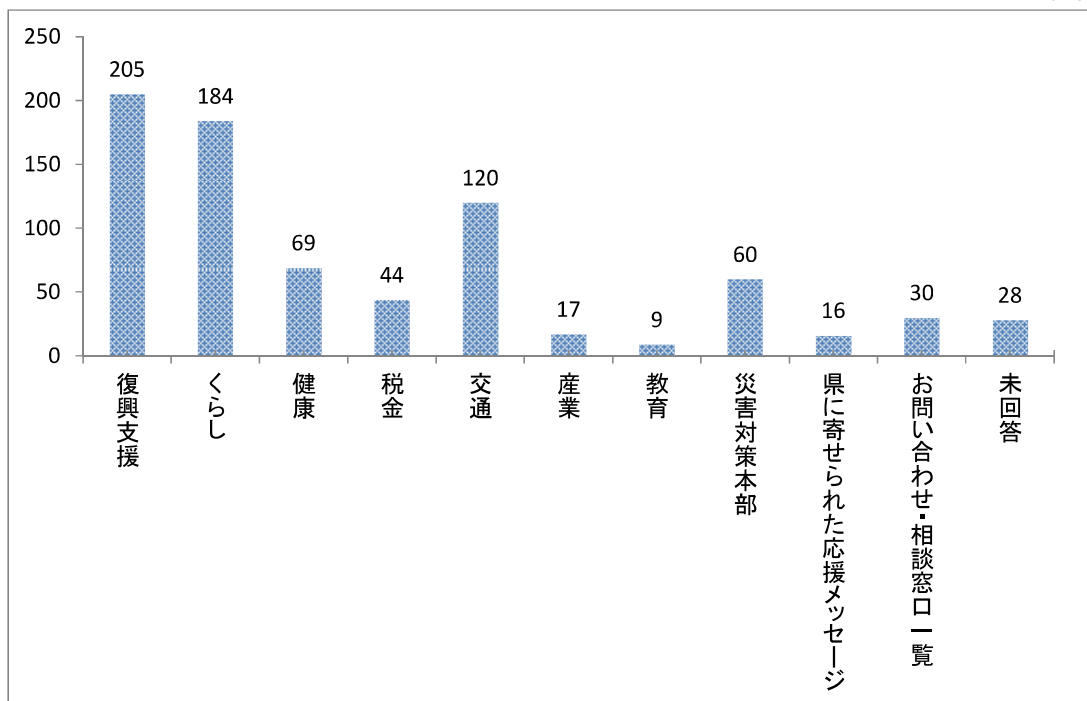
調査結果

問13 県のホームページでどういう情報を見ようと思いましたか。(複数回答・郵送調査のみ)

県ホームページを見たことがある方(328人/郵送回答の方のうち、問12で県ホームページを1回以上見たと回答した方)にお聞きしています。

県ホームページで利用したページ

N=328



N=328

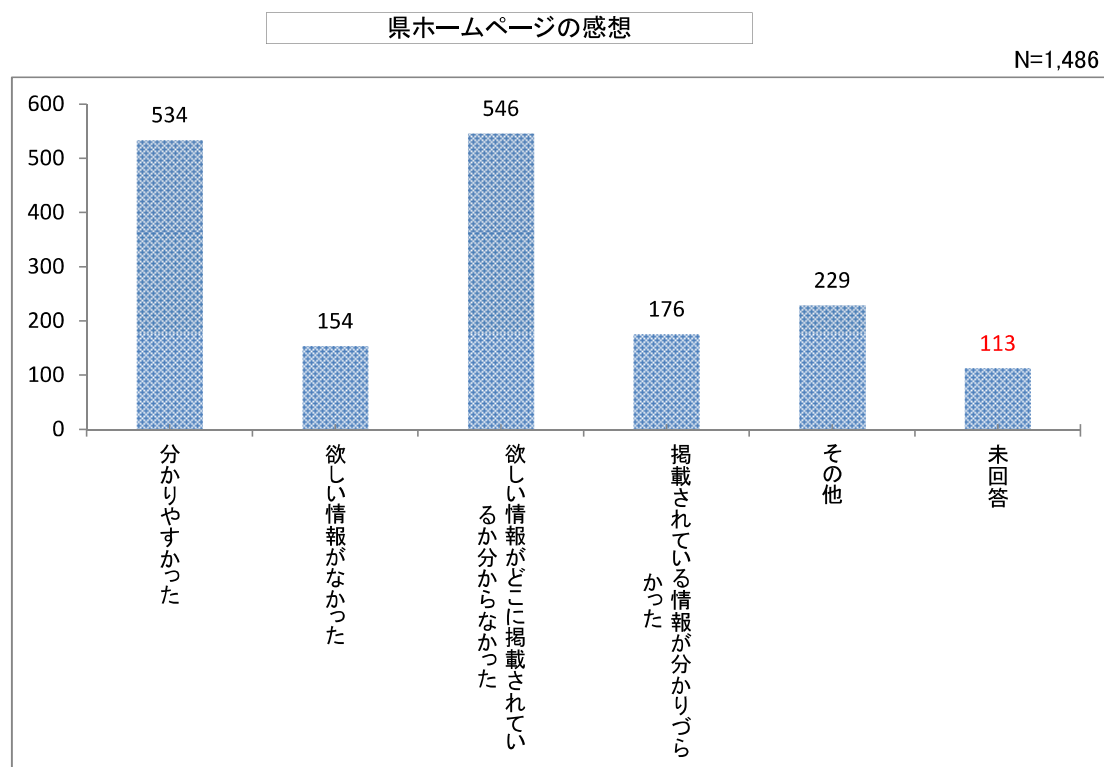
復興支援	205	62.5%
くらし	184	56.1%
健康	69	21.0%
税金	44	13.4%
交通	120	36.6%
産業	17	5.2%
教育	9	2.7%
災害対策本部	60	18.3%
県に寄せられた応援メッセージ	16	4.9%
お問い合わせ・相談窓口一覧	30	9.1%
未回答	28	8.5%
回答計	782	

「復興支援」「くらし」のページを見た方が多い。

調査結果

問14 県のホームページを見た感想のうち、あてはまるものを選んでください。(複数回答)

ホームページを利用した方(1,486人/問12で県ホームページを1回以上見たと回答した方)にお聞きしています。



N=1,486

分かりやすかった	534	35.9%
欲しい情報がなかった	154	10.4%
欲しい情報がどこに掲載されているか分からなかった	546	36.7%
掲載されている情報が分かりづらかった	176	11.8%
その他	229	15.4%
未回答	113	7.6%
回答計	1,752	

県ホームページに対する感想は、「分かりやすかった」が35.9%(534件)を占める一方、「欲しい情報がどこに掲載されているか分からなかった」が36.7%(546件)を占め、最も多かった。

調査結果

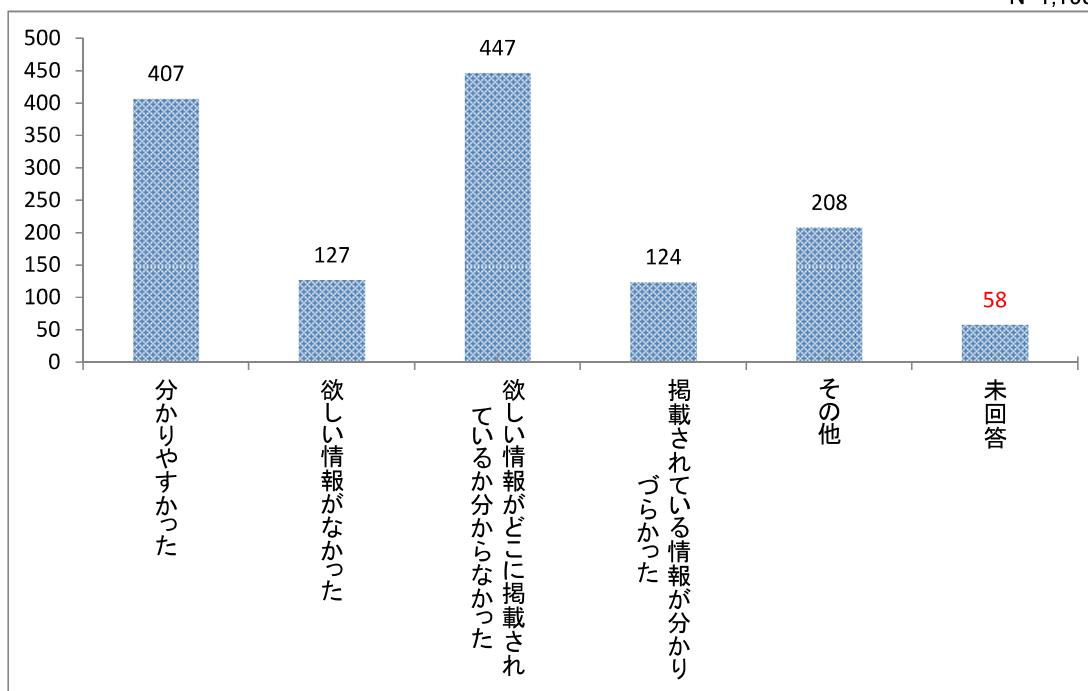
【参考】

問14 県のホームページを見た感想のうち、あてはまるものを選んでください。(複数回答)

県ホームページを利用した方(1,158人/インターネット回答者のみ)にお聞きしています。

県ホームページの感想(インターネット)

N=1,158



N=1,158

分かりやすかった	407	35.1%
欲しい情報がなかった	127	11.0%
欲しい情報がどこに掲載されているか分からなかった	447	38.6%
掲載されている情報が分かりづらかった	124	10.7%
その他	208	18.0%
未回答	58	5.0%
回答計	1,371	

調査結果

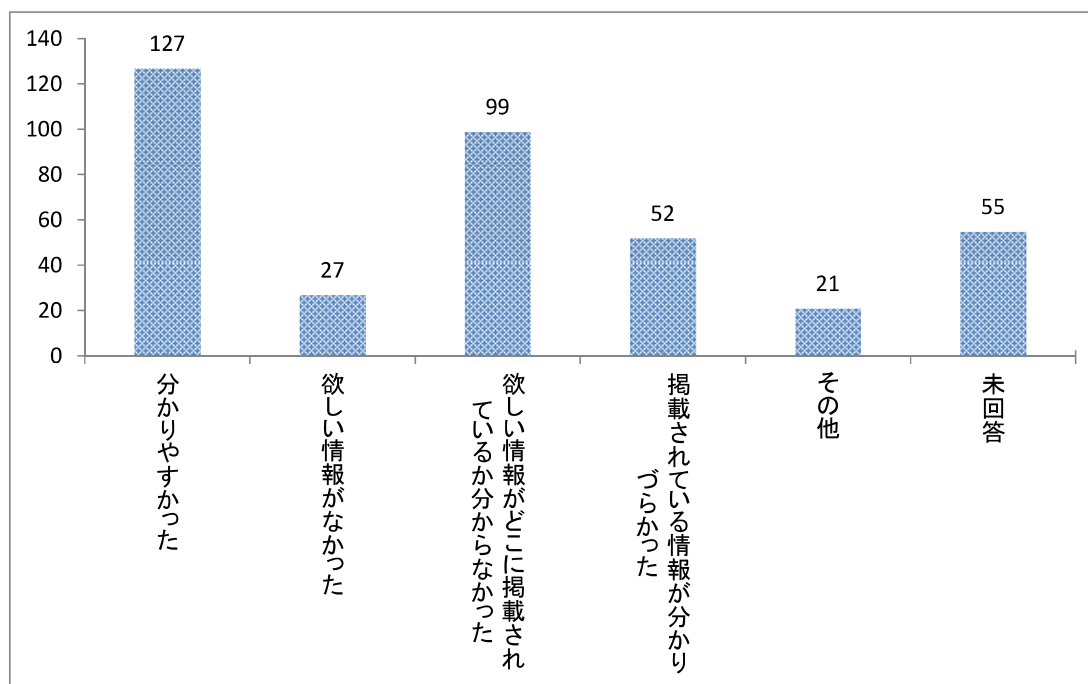
【参考】

問14 県のホームページを見た感想のうち、あてはまるものを選んでください。(複数回答)

県ホームページを利用した方(328人/郵送回答者のみ)にお聞きしています。

県ホームページの感想(郵送)

N=328



N=328

分かりやすかった	127	38.7%
欲しい情報がなかった	27	8.2%
欲しい情報がどこに掲載されているか分からなかった	99	30.2%
掲載されている情報が分かりづらかった	52	15.9%
その他	21	6.4%
未回答	55	16.8%
回答計	381	

県ホームページの感想は、インターネット調査、郵送調査ともに大きな差はない。

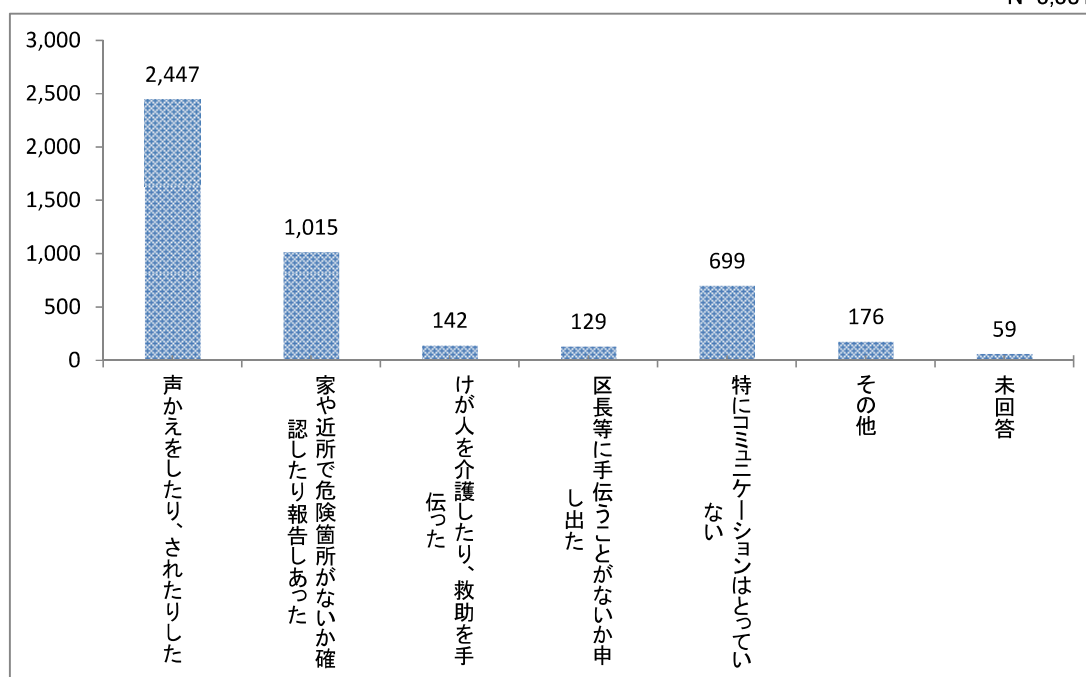
調査結果

問15 近所の方とのコミュニケーションはとれましたか。(複数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

近所とのコミュニケーションの状況

N=3,381



N=3,381

声をしたり、されたりした	2,447	72.4%
家や近所で危険箇所がないか確認したり報告しあった	1,015	30.0%
けが人を介護したり、救助を手伝った	142	4.2%
区長等に手伝えることがないか申し出た	129	3.8%
特にコミュニケーションはとっていない	699	20.7%
その他	176	5.2%
未回答	59	1.7%
回答計	4,667	

近所の方とのコミュニケーションについて、「声をしたり、されたりした」が72.4%(2,447件)を占め、最も多く、次いで「家や近所で危険箇所がないか確認したり報告しあった」が30.0%(1,015件)を占めている。

調査結果

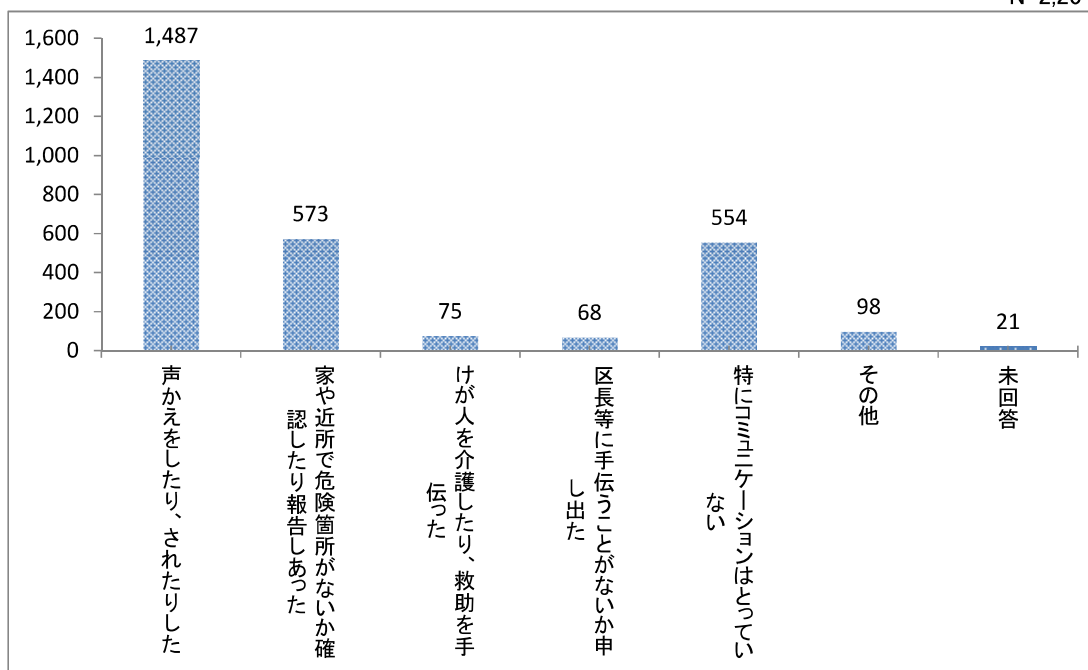
【参考】

問15 近所の方とのコミュニケーションはとれましたか。(複数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

近所とのコミュニケーションの状況(インターネット)

N=2,204



N=2,204

声かえをしたり、されたりした	1,487	67.5%
家や近所で危険箇所がないか確認したり報告しあった	573	26.0%
けが人を介護したり、救助を手伝った	75	3.4%
区長等に手伝うことがないか申し出た	68	3.1%
特にコミュニケーションはとっていない	554	25.1%
その他	98	4.4%
未回答	21	1.0%
回答計	2,876	

調査結果

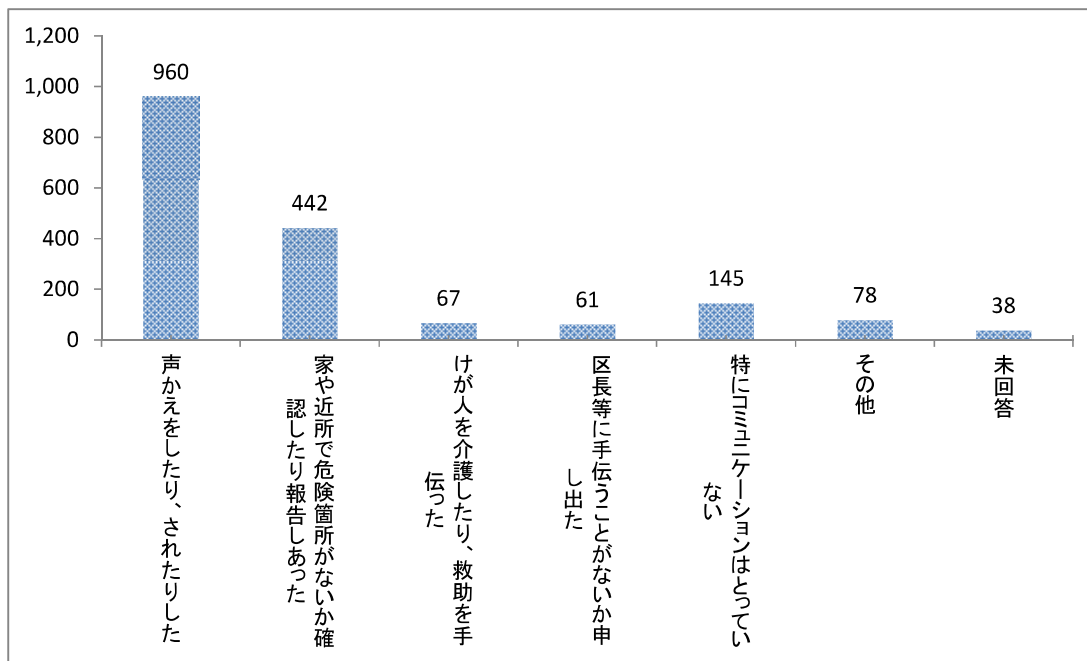
【参考】

問15 近所の方とのコミュニケーションはとれましたか。(複数回答)

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。

近所とのコミュニケーションの状況(郵送)

N=1,177



N=1,177

声をしたり、されたりした	960	81.6%
家や近所で危険箇所がないか確認したり報告しあった	442	37.6%
けが人を介護したり、救助を手伝った	67	5.7%
区長等に手伝うことがないか申し出た	61	5.2%
特にコミュニケーションはとっていない	145	12.3%
その他	78	6.6%
未回答	38	3.2%
回答計	1,791	

大きな揺れを感じた地域に限定した郵送調査の方が「声をかけをしたり、されたりした」方の割合(インターネット:67.5% / 郵送:81.6%)が比較的多く、逆に「特にコミュニケーションをとっていない」方の割合(インターネット:25.1% / 郵送:12.3%)は少ない。

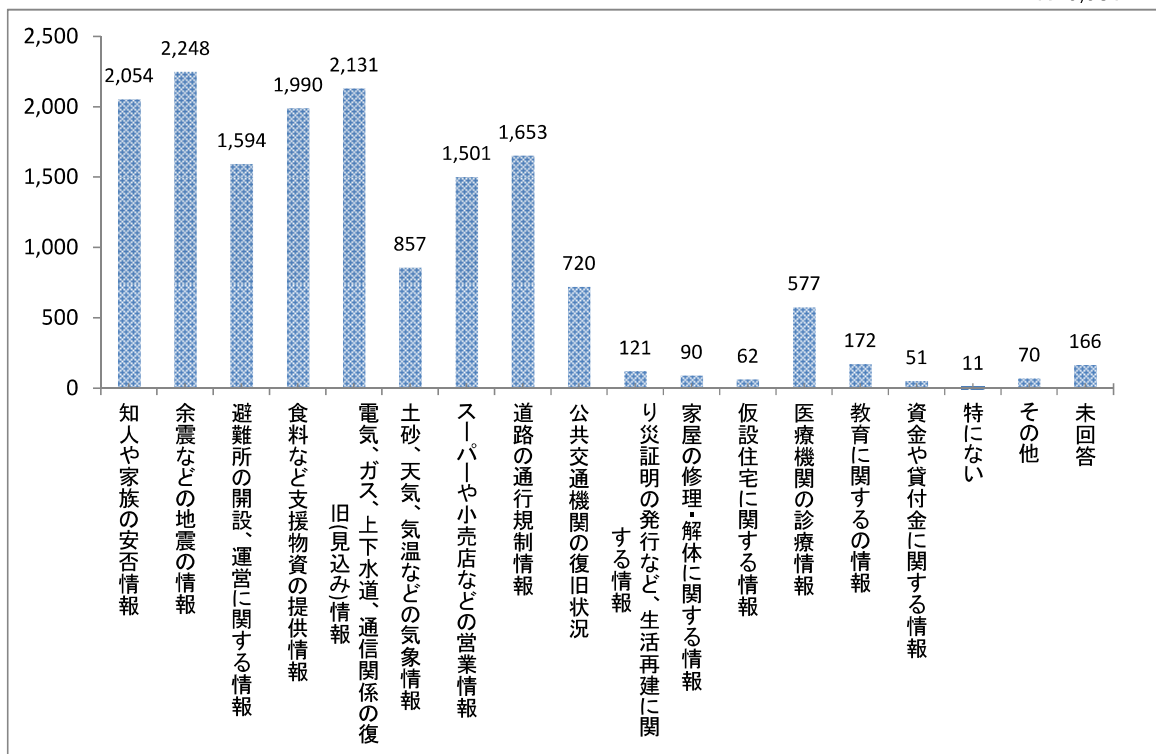
調査結果

問16① 避難所や自宅で生活する中で、特に必要と感じた情報はどれですか。(震災後3日まで)(複数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

必要な情報(震災後3日まで)

N=3,381



N=3,381

知人や家族の安否情報	2,054	60.8%
余震などの地震の情報	2,248	66.5%
避難所の開設、運営に関する情報	1,594	47.1%
食料など支援物資の提供情報	1,990	58.9%
電気、ガス、上下水道、通信関係の復旧(見込み)情報	2,131	63.0%
土砂、天気、気温などの気象情報	857	25.3%
スーパーや小売店などの営業情報	1,501	44.4%
道路の通行規制情報	1,653	48.9%
公共交通機関の復旧状況	720	21.3%
り災証明の発行など、生活再建に関する情報	121	3.6%
家屋の修理・解体に関する情報	90	2.7%
仮設住宅に関する情報	62	1.8%
医療機関の診療情報	577	17.1%
教育に関する情報	172	5.1%
資金や貸付金に関する情報	51	1.5%
特にない	11	0.3%
その他	70	2.1%
未回答	166	4.9%
回答計	16,068	

震災後3日までで特に必要な情報は、第1位「余震などの震度情報」(2,248件,66.5%)、第2位「電気、ガス、上下水道、通信関係の復旧(見込み)情報」(2,131件,63.0%)、第3位「知人や家族の安否情報」(2,054件,60.8%)の順に多くなっている。

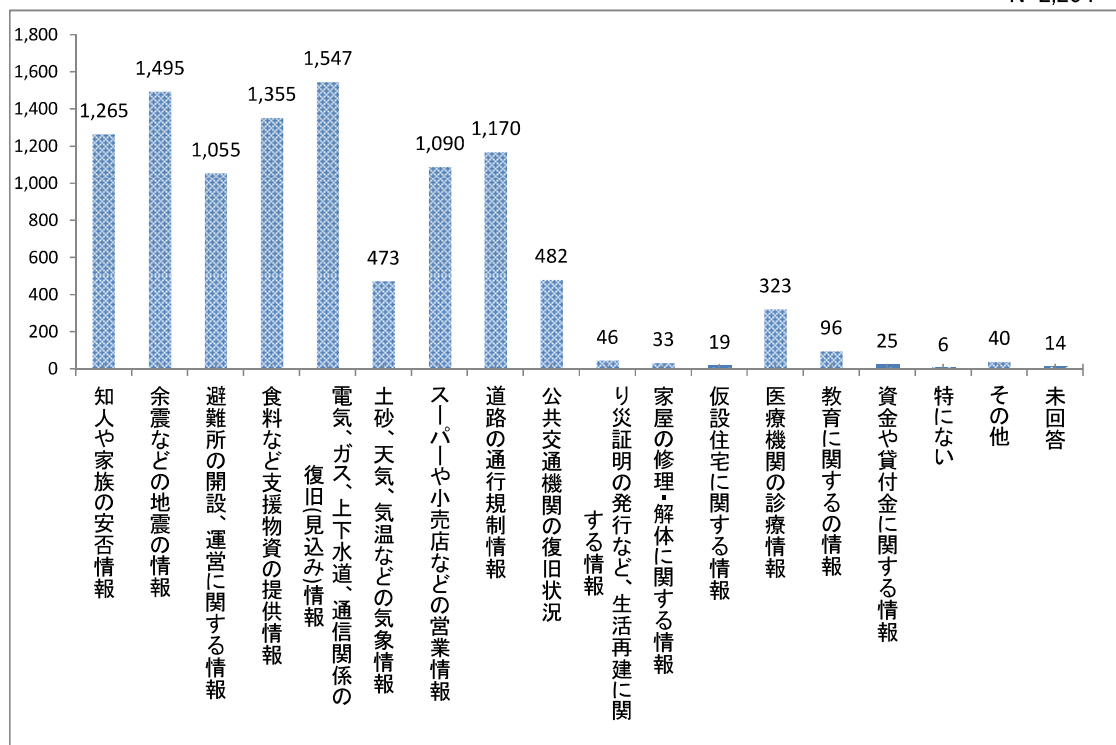
調査結果

【参考】問16① 避難所や自宅で生活する中で、特に必要と感じた情報はどれですか。(震災後3日まで)(複数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

必要な情報(震災後3日まで)(インターネット)

N=2,204



N=2,204

知人や家族の安否情報	1,265	57.4%
余震などの地震の情報	1,495	67.8%
避難所の開設、運営に関する情報	1,055	47.9%
食料など支援物資の提供情報	1,355	61.5%
電気、ガス、上下水道、通信関係の復旧(見込み)情報	1,547	70.2%
土砂、天気、気温などの気象情報	473	21.5%
スーパーや小売店などの営業情報	1,090	49.5%
道路の通行規制情報	1,170	53.1%
公共交通機関の復旧状況	482	21.9%
リ災証明の発行など、生活再建に関する情報	46	2.1%
家屋の修理・解体に関する情報	33	1.5%
仮設住宅に関する情報	19	0.9%
医療機関の診療情報	323	14.7%
教育に関する情報	96	4.4%
資金や貸付金に関する情報	25	1.1%
特にない	6	0.3%
その他	40	1.8%
未回答	14	0.6%
回答計	10,534	

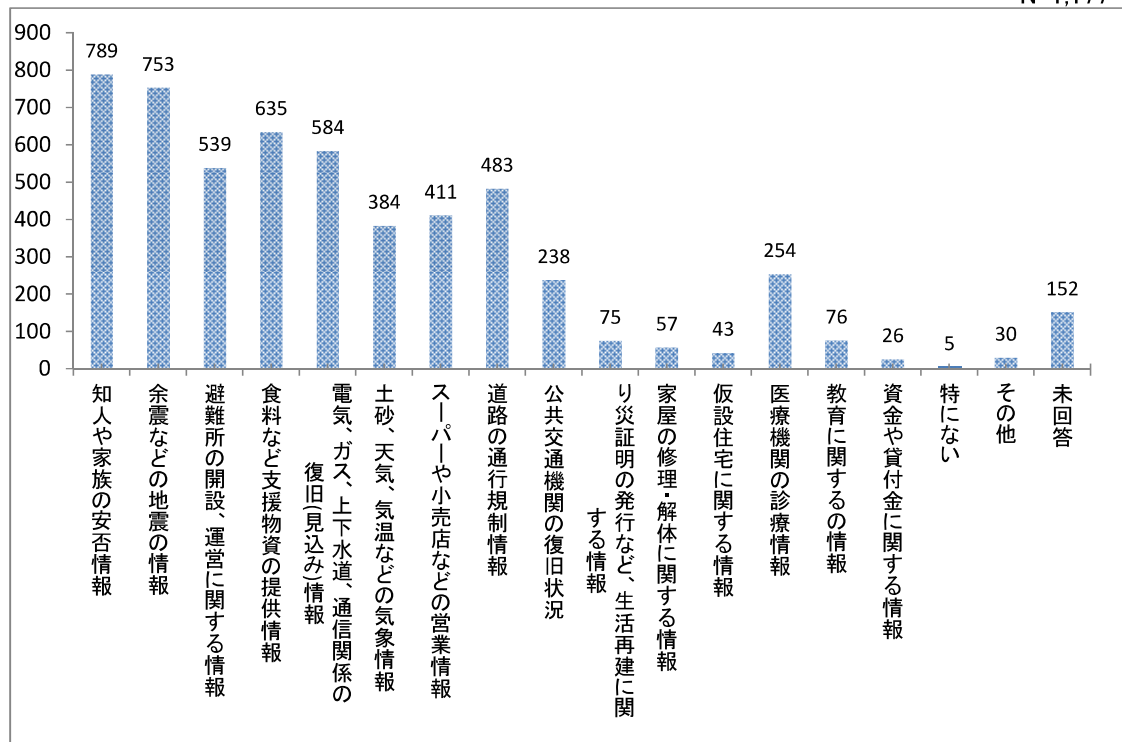
調査結果

【参考】問16① 避難所や自宅で生活する中で、特に必要と感じた情報はどれですか。(震災後3日まで)(複数回答)

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。

必要な情報(震災後3日まで)(郵送)

N=1,177



N=1,177

知人や家族の安否情報	789	67.0%
余震などの地震の情報	753	64.0%
避難所の開設、運営に関する情報	539	45.8%
食料など支援物資の提供情報	635	54.0%
電気、ガス、上下水道、通信関係の復旧(見込み)情報	584	49.6%
土砂、天気、気温などの気象情報	384	32.6%
スーパーや小売店などの営業情報	411	34.9%
道路の通行規制情報	483	41.0%
公共交通機関の復旧状況	238	20.2%
リ災証明の発行など、生活再建に関する情報	75	6.4%
家屋の修理・解体に関する情報	57	4.8%
仮設住宅に関する情報	43	3.7%
医療機関の診療情報	254	21.6%
教育に関する情報	76	6.5%
資金や貸付金に関する情報	26	2.2%
特にない	5	0.4%
その他	30	2.5%
未回答	152	12.9%
回答計	5,534	

大きな揺れを感じた地域に限定した郵送調査の方が、全県向けのインターネット調査に比べ「知人や家族の安否情報」(インターネット:57.4% / 郵送:67.0%)の情報が必要と考えていることが分かる。

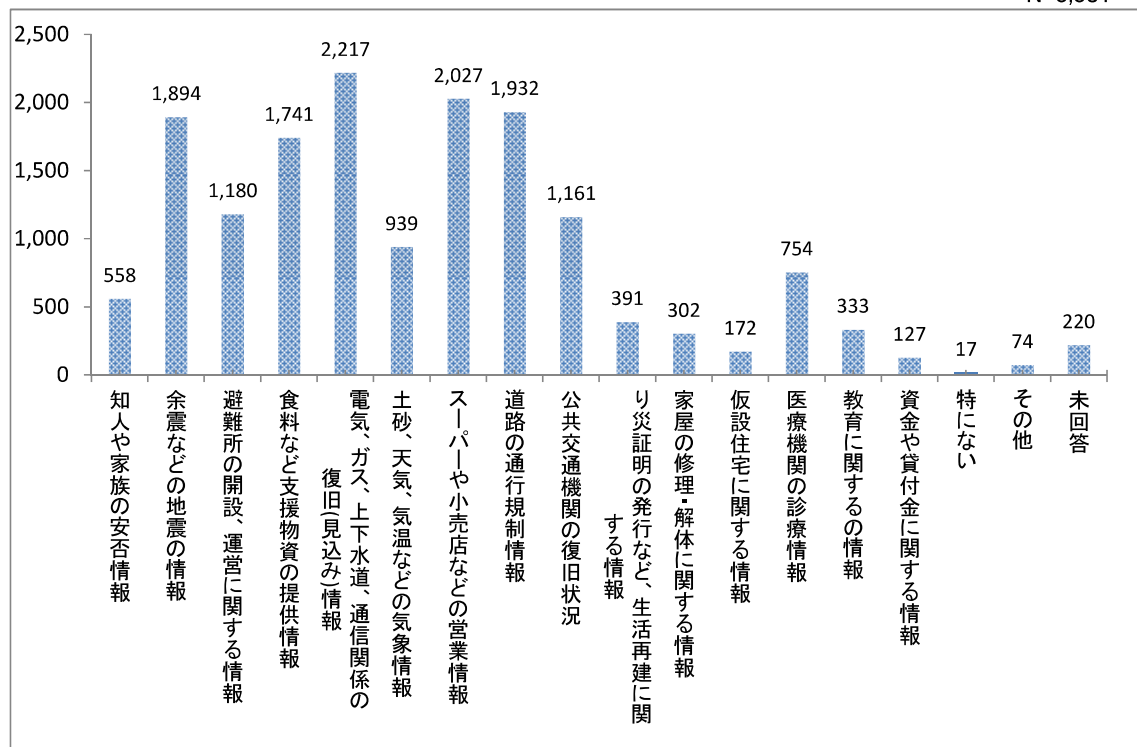
調査結果

問16② 避難所や自宅で生活する中で、特に必要と感じた情報はどれですか。(震災後3日から10日まで)(複数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

必要な情報(震災後3日から10日まで)

N=3,381



N=3,381

知人や家族の安否情報	558	16.5%
余震などの地震の情報	1,894	56.0%
避難所の開設、運営に関する情報	1,180	34.9%
食料など支援物資の提供情報	1,741	51.5%
電気、ガス、上下水道、通信関係の復旧(見込み)情報	2,217	65.6%
土砂、天気、気温などの気象情報	939	27.8%
スーパーや小売店などの営業情報	2,027	60.0%
道路の通行規制情報	1,932	57.1%
公共交通機関の復旧状況	1,161	34.3%
り災証明の発行など、生活再建に関する情報	391	11.6%
家屋の修理・解体に関する情報	302	8.9%
仮設住宅に関する情報	172	5.1%
医療機関の診療情報	754	22.3%
教育に関する情報	333	9.8%
資金や貸付金に関する情報	127	3.8%
特にない	17	0.5%
その他	74	2.2%
未回答	220	6.5%
回答計	16,039	

震災後3日から10日までで特に必要な情報は、第1位「電気、ガス、上下水道、通信関係の復旧(見込み)情報」(2,217件,65.6%)、第2位「スーパーや小売店などの営業情報」(2,027件,60.0%)、第3位「道路の通行規制情報」(1,932件,57.1%)の順に多くなっている。

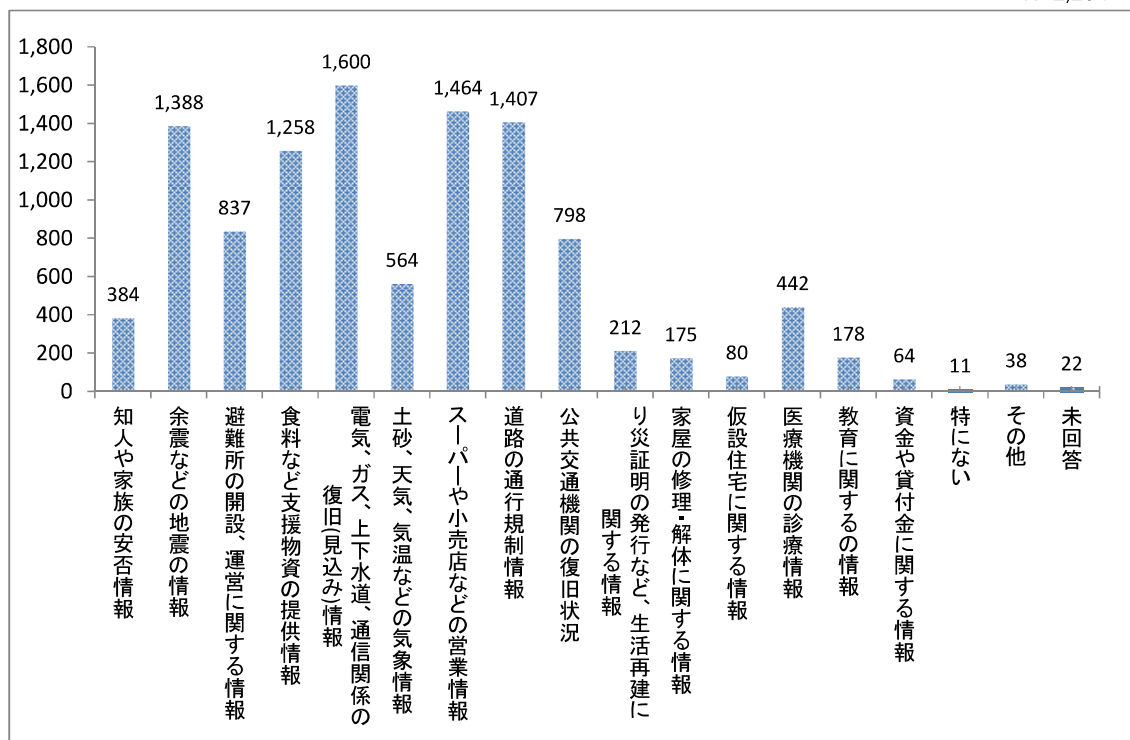
調査結果

【参考】問16② 避難所や自宅で生活する中で、特に必要と感じた情報はどれですか。必要な情報(震災後3日から10日まで)(複数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

必要な情報(震災後3日から10日まで)(インターネット)

N=2,204



N=2,204

知人や家族の安否情報	384	17.4%
余震などの地震の情報	1,388	63.0%
避難所の開設、運営に関する情報	837	38.0%
食料など支援物資の提供情報	1,258	57.1%
電気、ガス、上下水道、通信関係の復旧(見込み)情報	1,600	72.6%
土砂、天気、気温などの気象情報	564	25.6%
スーパーや小売店などの営業情報	1,464	66.4%
道路の通行規制情報	1,407	63.8%
公共交通機関の復旧状況	798	36.2%
り災証明の発行など、生活再建に関する情報	212	9.6%
家屋の修理・解体に関する情報	175	7.9%
仮設住宅に関する情報	80	3.6%
医療機関の診療情報	442	20.1%
教育に関する情報	178	8.1%
資金や貸付金に関する情報	64	2.9%
特にない	11	0.5%
その他	38	1.7%
未回答	22	1.0%
回答計	10,922	

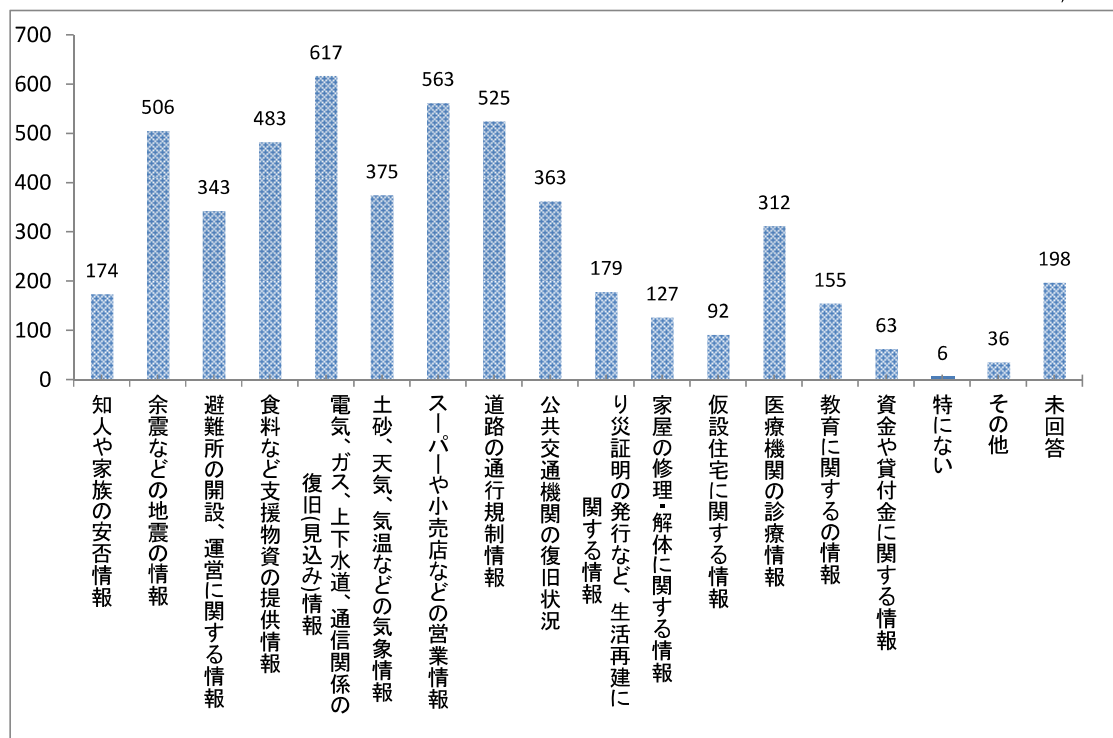
調査結果

【参考】問16② 避難所や自宅で生活する中で、特に必要と感じた情報はどれですか。必要な情報(震災後3日から10日まで)(複数回答)

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。

必要な情報(震災後3日から10日まで)(郵送)

N=1,177



N=1,177

知人や家族の安否情報	174	14.8%
余震などの地震の情報	506	43.0%
避難所の開設、運営に関する情報	343	29.1%
食料など支援物資の提供情報	483	41.0%
電気、ガス、上下水道、通信関係の復旧(見込み)情報	617	52.4%
土砂、天気、気温などの気象情報	375	31.9%
スーパーや小売店などの営業情報	563	47.8%
道路の通行規制情報	525	44.6%
公共交通機関の復旧状況	363	30.8%
り災証明の発行など、生活再建に関する情報	179	15.2%
家屋の修理・解体に関する情報	127	10.8%
仮設住宅に関する情報	92	7.8%
医療機関の診療情報	312	26.5%
教育に関する情報	155	13.2%
資金や貸付金に関する情報	63	5.4%
特にない	6	0.5%
その他	36	3.1%
未回答	198	16.8%
回答計	5,117	

全県向けのインターネット調査が、大きな揺れを感じた地域に限定した郵送調査の方に比べ「余震などの地震の情報」(インターネット: 63.0% / 郵送: 43.0%)や「電気、ガス、上下水道、通信関係の復旧(見込み)情報」(インターネット: 72.6% / 郵送: 52.4%)の情報が必要と考えていることが分かる。

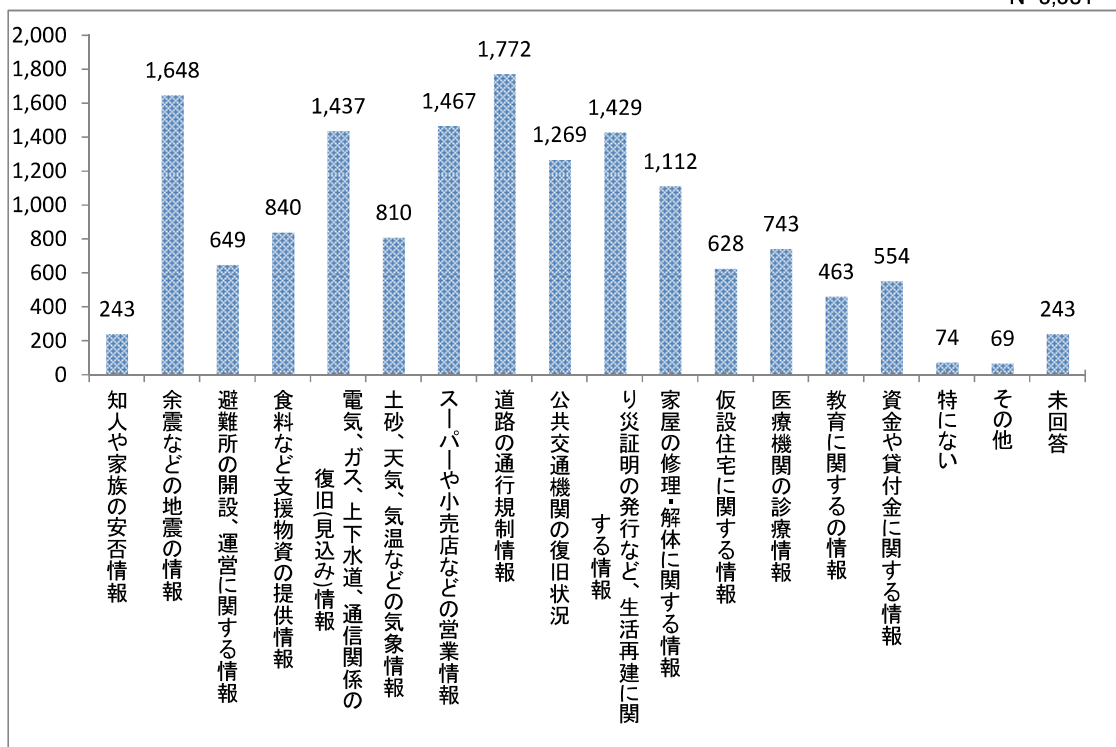
調査結果

問16③ 避難所や自宅で生活する中で、特に必要と感じた情報はどれですか。(震災後10日から1ヵ月まで)(複数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

必要な情報(震災後10日から1ヵ月まで)

N=3,381



N=3,381

知人や家族の安否情報	243	7.2%
余震などの地震の情報	1,648	48.7%
避難所の開設、運営に関する情報	649	19.2%
食料など支援物資の提供情報	840	24.8%
電気、ガス、上下水道、通信関係の復旧(見込み)情報	1,437	42.5%
土砂、天気、気温などの気象情報	810	24.0%
スーパーや小売店などの営業情報	1,467	43.4%
道路の通行規制情報	1,772	52.4%
公共交通機関の復旧状況	1,269	37.5%
り災証明の発行など、生活再建に関する情報	1,429	42.3%
家屋の修理・解体に関する情報	1,112	32.9%
仮設住宅に関する情報	628	18.6%
医療機関の診療情報	743	22.0%
教育に関する情報	463	13.7%
資金や貸付金に関する情報	554	16.4%
特にない	74	2.2%
その他	69	2.0%
未回答	243	7.2%
回答計	15,450	

震災後10日から1ヵ月までで特に必要な情報は、第1位「道路の通行規制情報」(1,772件,52.4%)、第2位「余震などの地震の情報」(1,648件,48.7%)、第3位「スーパーや小売店などの営業情報」(1,467件,43.4%)の順に多くなっている。

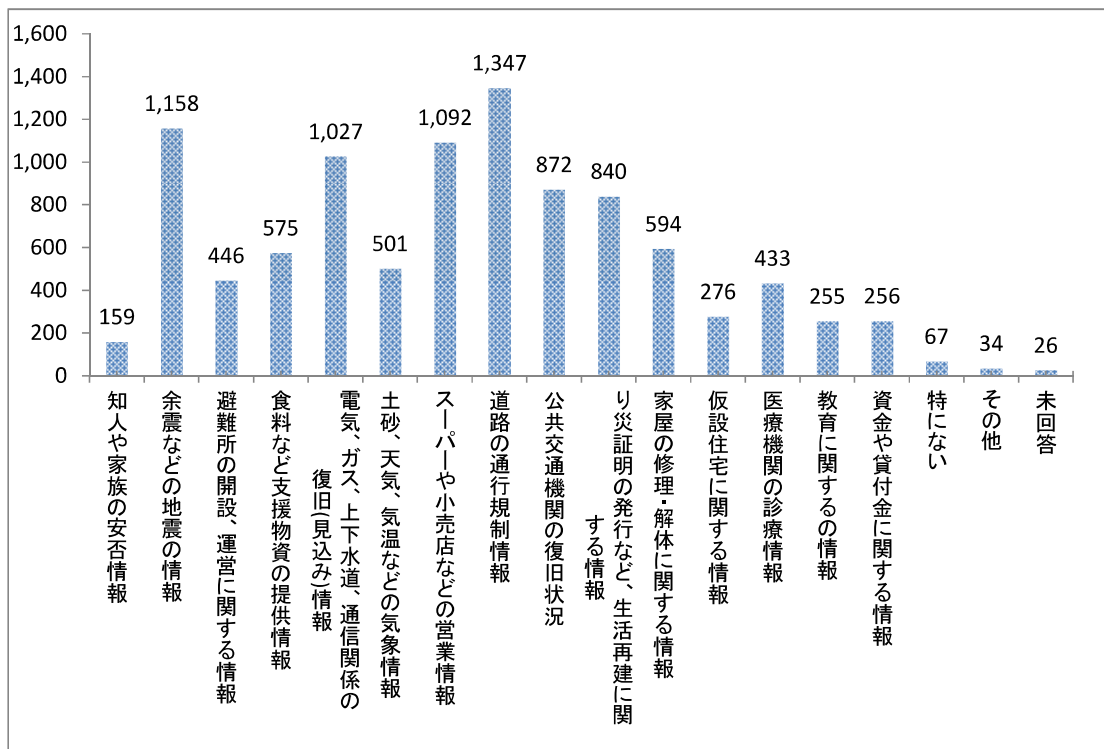
調査結果

【参考】問16③ 避難所や自宅で生活する中で、特に必要と感じた情報はどれですか。(震災後10日から1ヵ月まで)(複数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

必要な情報(震災後10日から1ヵ月まで)(インターネット)

N=2,204



N=2,204

知人や家族の安否情報	159	7.2%
余震などの地震の情報	1,158	52.5%
避難所の開設、運営に関する情報	446	20.2%
食料など支援物資の提供情報	575	26.1%
電気、ガス、上下水道、通信関係の復旧(見込み)情報	1,027	46.6%
土砂、天気、気温などの気象情報	501	22.7%
スーパーや小売店などの営業情報	1,092	49.5%
道路の通行規制情報	1,347	61.1%
公共交通機関の復旧状況	872	39.6%
リ災証明の発行など、生活再建に関する情報	840	38.1%
家屋の修理・解体に関する情報	594	27.0%
仮設住宅に関する情報	276	12.5%
医療機関の診療情報	433	19.6%
教育に関する情報	255	11.6%
資金や貸付金に関する情報	256	11.6%
特にない	67	3.0%
その他	34	1.5%
未回答	26	1.2%
回答計	9,958	

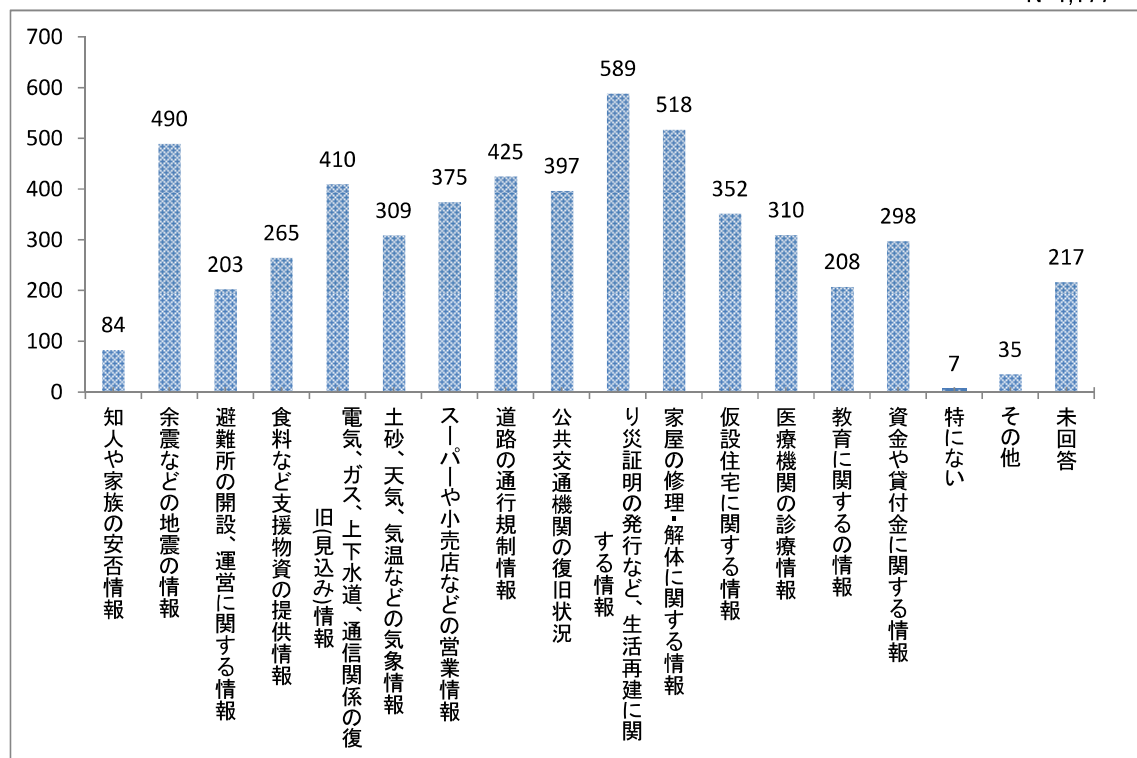
調査結果

【参考】問16③ 避難所や自宅で生活する中で、特に必要と感じた情報はどれですか。(震災後10日から1ヵ月まで)(複数回答)

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。

必要な情報(震災後10日から1ヵ月まで)(郵送)

N=1,177



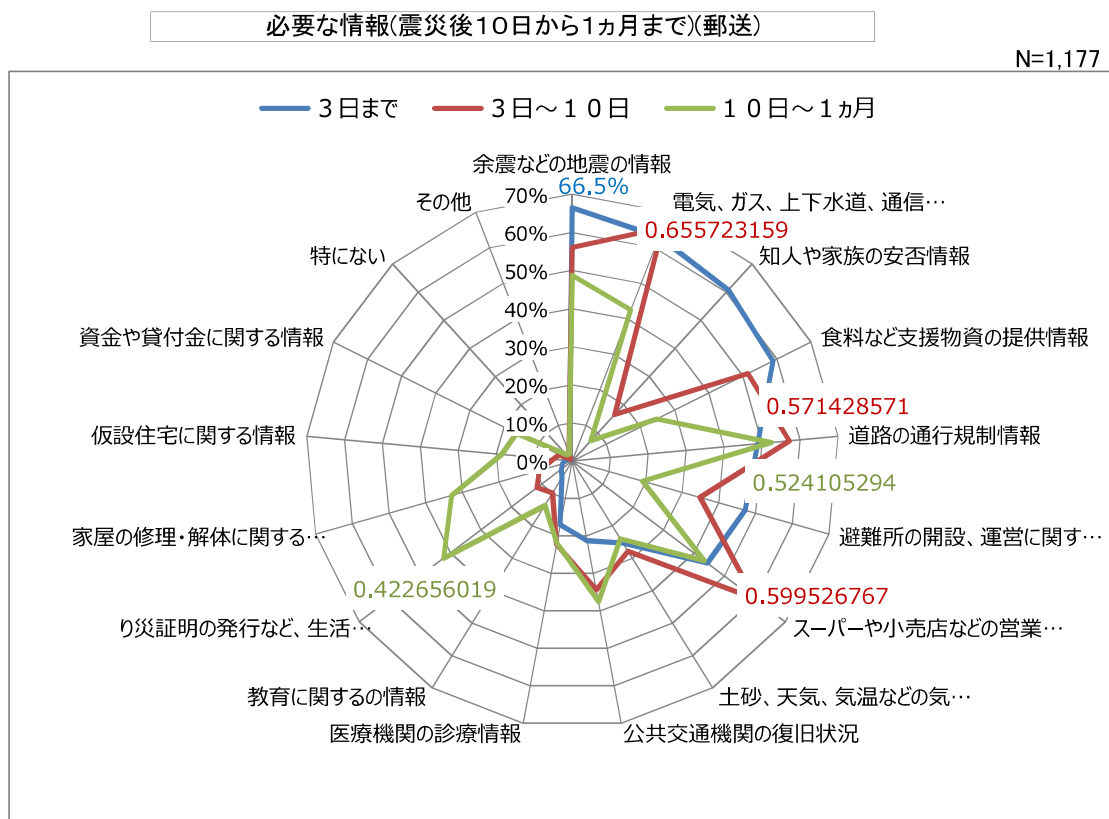
N=1,177

知人や家族の安否情報	84	7.1%
余震などの地震の情報	490	41.6%
避難所の開設、運営に関する情報	203	17.2%
食料など支援物資の提供情報	265	22.5%
電気、ガス、上下水道、通信関係の復旧(見込み)情報	410	34.8%
土砂、天気、気温などの気象情報	309	26.3%
スーパーや小売店などの営業情報	375	31.9%
道路の通行規制情報	425	36.1%
公共交通機関の復旧状況	397	33.7%
り災証明の発行など、生活再建に関する情報	589	50.0%
家屋の修理・解体に関する情報	518	44.0%
仮設住宅に関する情報	352	29.9%
医療機関の診療情報	310	26.3%
教育に関する情報	208	17.7%
資金や貸付金に関する情報	298	25.3%
特にない	7	0.6%
その他	35	3.0%
未回答	217	18.4%
回答計	5,492	

大きな揺れを感じた地域に限定した郵送調査の方が、全県向けのインターネット調査に比べ「り災証明の発行など、生活再建に関する情報」(インターネット:38.1%/郵送:50.0%)や「家屋の修理・解体に関する情報」(インターネット27.0%/郵送:44.0%)が必要と考えていることが分かる。

調査結果

【参考】問16 避難所や自宅で生活する中で、特に必要と感じた情報はどれですか。(複数回答)

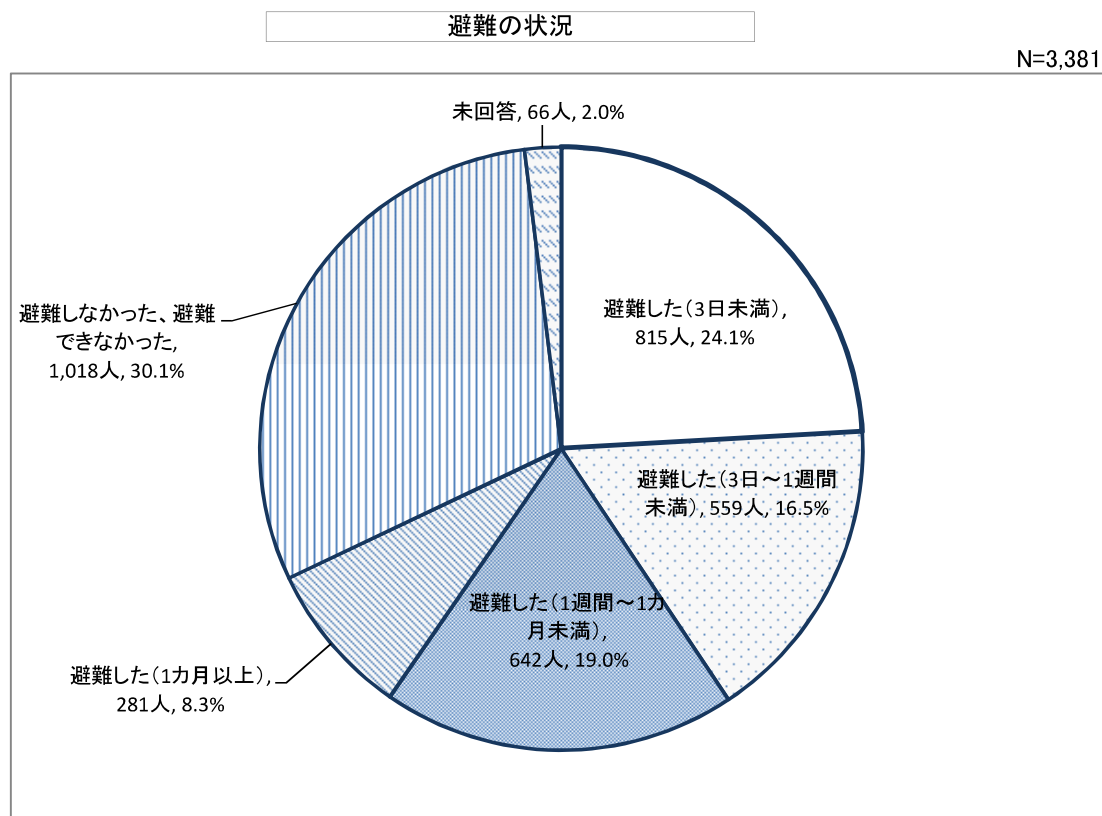


	3日まで	3日～10日	10日～1ヵ月
知人や家族の安否情報	60.8%	16.5%	7.2%
余震などの地震の情報	66.5%	56.0%	48.7%
避難所の開設、運営に関する情報	47.1%	34.9%	19.2%
食料など支援物資の提供情報	58.9%	51.5%	24.8%
電気、ガス、上下水道、通信関係の復旧(見込み)情報	63.0%	65.6%	42.5%
土砂、天気、気温などの気象情報	25.3%	27.8%	24.0%
スーパーや小売店などの営業情報	44.4%	60.0%	43.4%
道路の通行規制情報	48.9%	57.1%	52.4%
公共交通機関の復旧状況	21.3%	34.3%	37.5%
り災証明の発行など、生活再建に関する情報	3.6%	11.6%	42.3%
家屋の修理・解体に関する情報	2.7%	8.9%	32.9%
仮設住宅に関する情報	1.8%	5.1%	18.6%
医療機関の診療情報	17.1%	22.3%	22.0%
教育に関する情報	5.1%	9.8%	13.7%
資金や貸付金に関する情報	1.5%	3.8%	16.4%
特になし	0.3%	0.5%	2.2%
その他	2.1%	2.2%	2.0%
未回答	4.9%	6.5%	7.2%

調査結果

問17 地震(前震の揺れ)以降、あなたは避難しましたか。(単数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。



前震以降、避難した方は67.9%となっている。

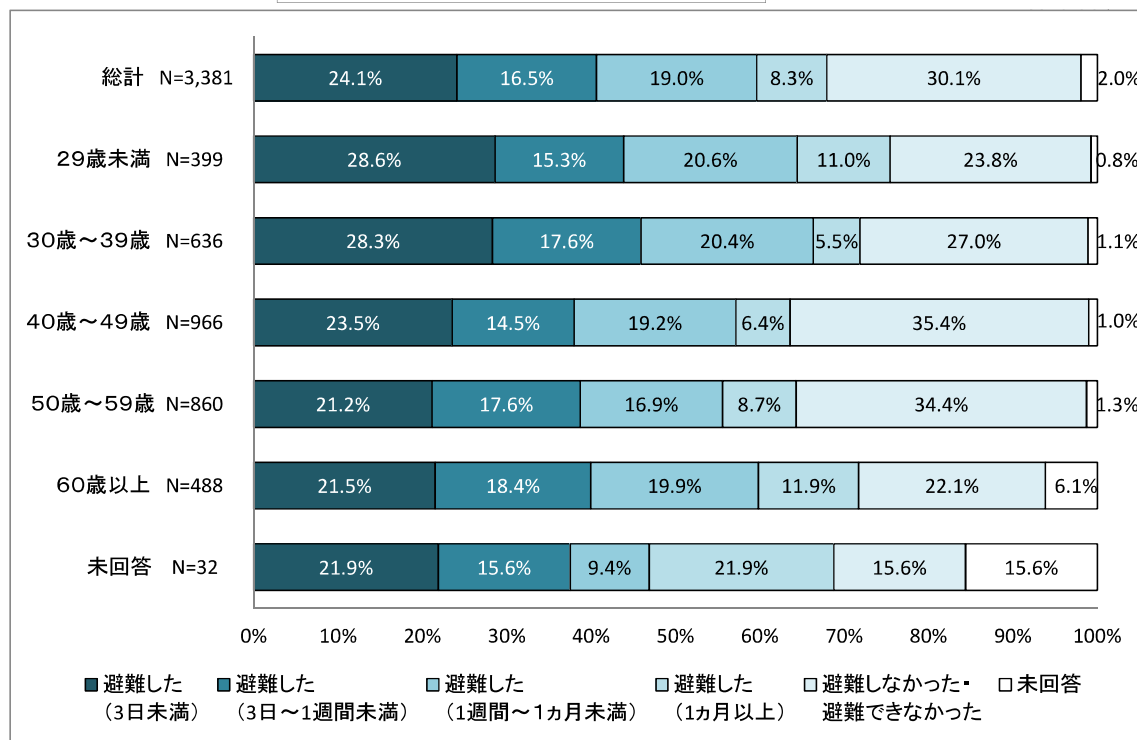
調査結果

【参考】問17 年齢別の地震(前震の揺れ)以降の避難状況。(単数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

○年齢別、前震以降の避難の有無(問17×年齢別クロス集計)

避難の状況＜年齢別＞



	避難した (3日未満)	避難した (3日～1週間未満)	避難した (1週間～1ヵ月未満)	避難した (1ヵ月以上)	避難しなかった・ 避難できなかった	未回答
未回答 N=32	7	5	3	7	5	5
60歳以上 N=488	105	90	97	58	108	30
50歳～59歳 N=860	182	151	145	75	296	11
40歳～49歳 N=966	227	140	185	62	342	10
30歳～39歳 N=636	180	112	130	35	172	7
29歳未満 N=399	114	61	82	44	95	3
総計 N=3,381	815	559	642	281	1,018	66

避難の状況について年齢別でみると、「避難した」人の割合は29歳未満(75.4%)で最も多く、次いで30代(71.9%)、60歳以上(71.7%)となっている。

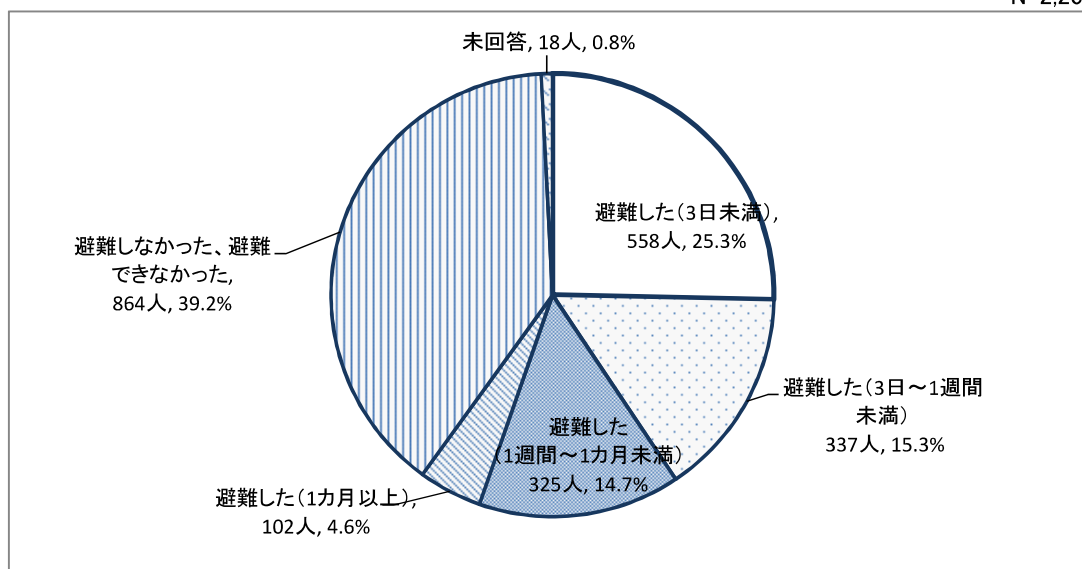
調査結果

【参考】 問17 地震(前震の揺れ)以降、あなたは避難しましたか。(単数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

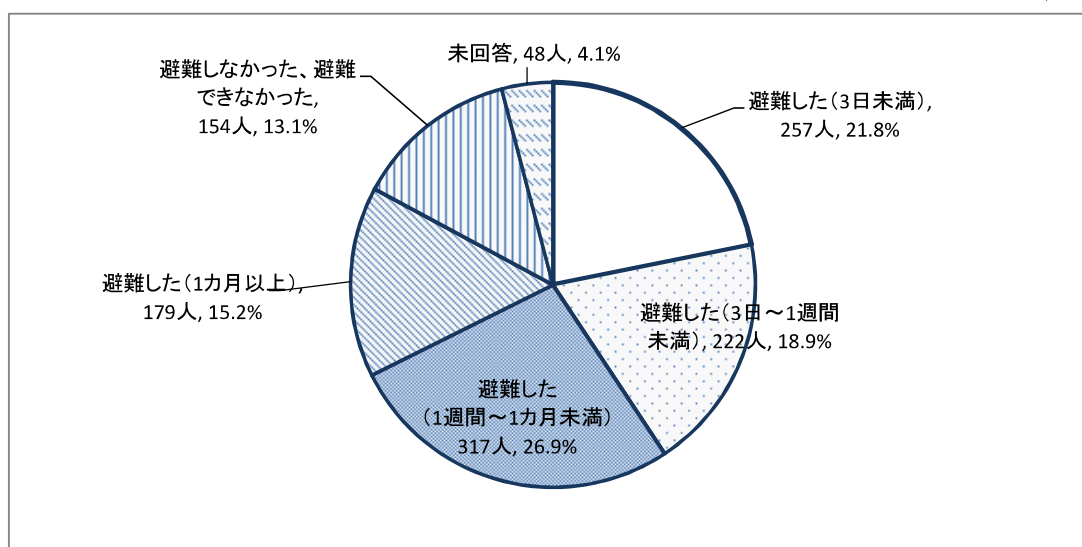
避難の状況(インターネット)

N=2,204



避難の状況(郵送)

N=1,177

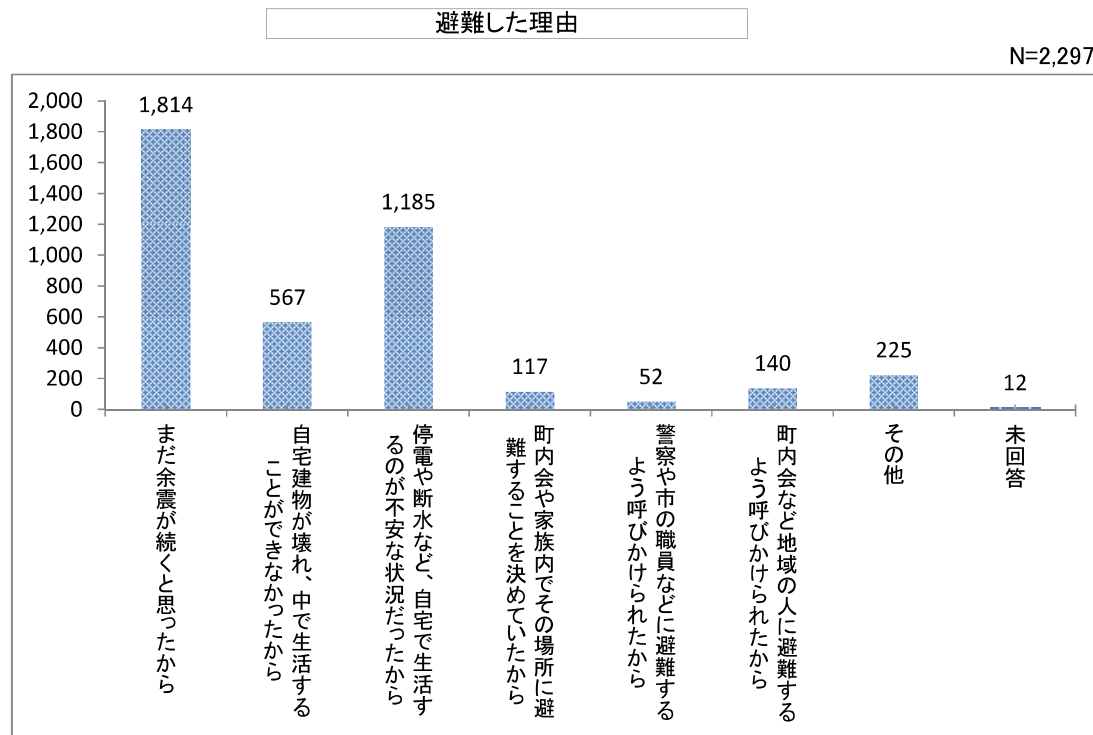


大きな揺れを感じた地域に限定した郵送調査の方が、避難をした方が多く、また避難期間も長期化している。

調査結果

問18 避難した理由は何ですか。(複数回答)

避難した方(2,297人)にお聞きしています。



N=2,297

まだ余震が続くと思ったから	1,814	79.0%
自宅建物が壊れ、中で生活することができなかったから	567	24.7%
停電や断水など、自宅で生活するのが不安な状況だったから	1,185	51.6%
町内会や家族内でその場所に避難することを決めていたから	117	5.1%
警察や市の職員などに避難するよう呼びかけられたから	52	2.3%
町内会など地域の人に避難するよう呼びかけられたから	140	6.1%
その他	225	9.8%
未回答	12	0.5%
回答計	4,112	

避難した理由は、「まだ余震が続くと思ったから」が79.0%(1,814件)で最も多く、「停電や断水など、自宅で生活するのが不安な状況だったから」が51.6%(1,185件)が続いている。

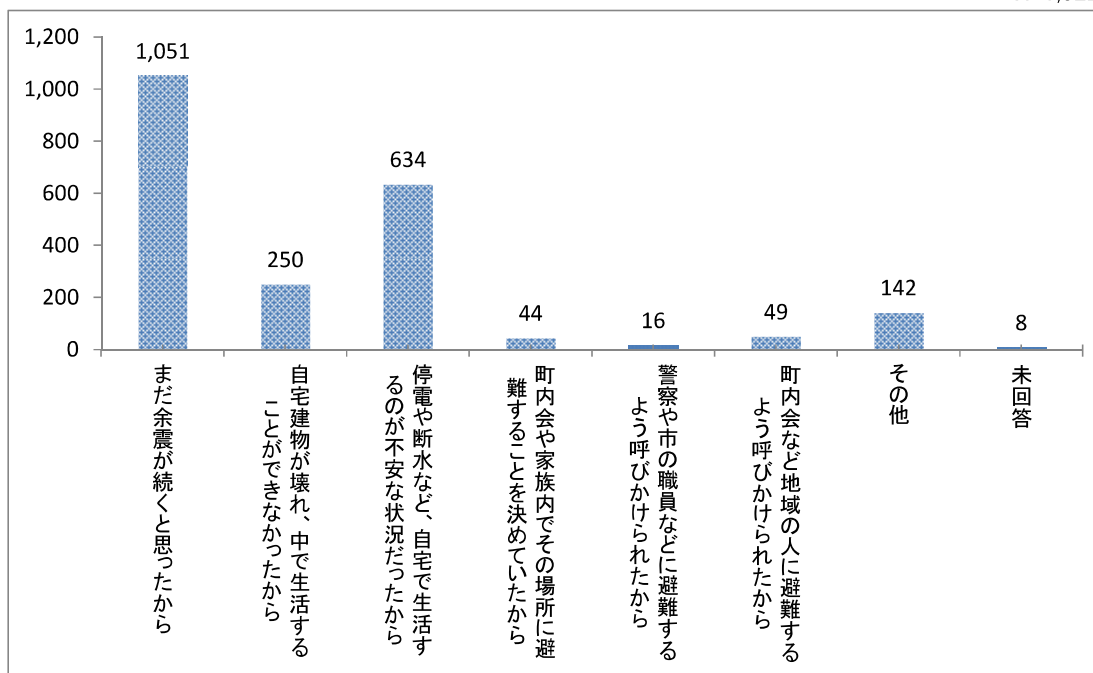
調査結果

【参考】問18 避難した理由は何ですか。(複数回答)

避難した方(1,322人・インターネット回答者)にお聞きしています。

避難した理由(インターネット)

N=1,322



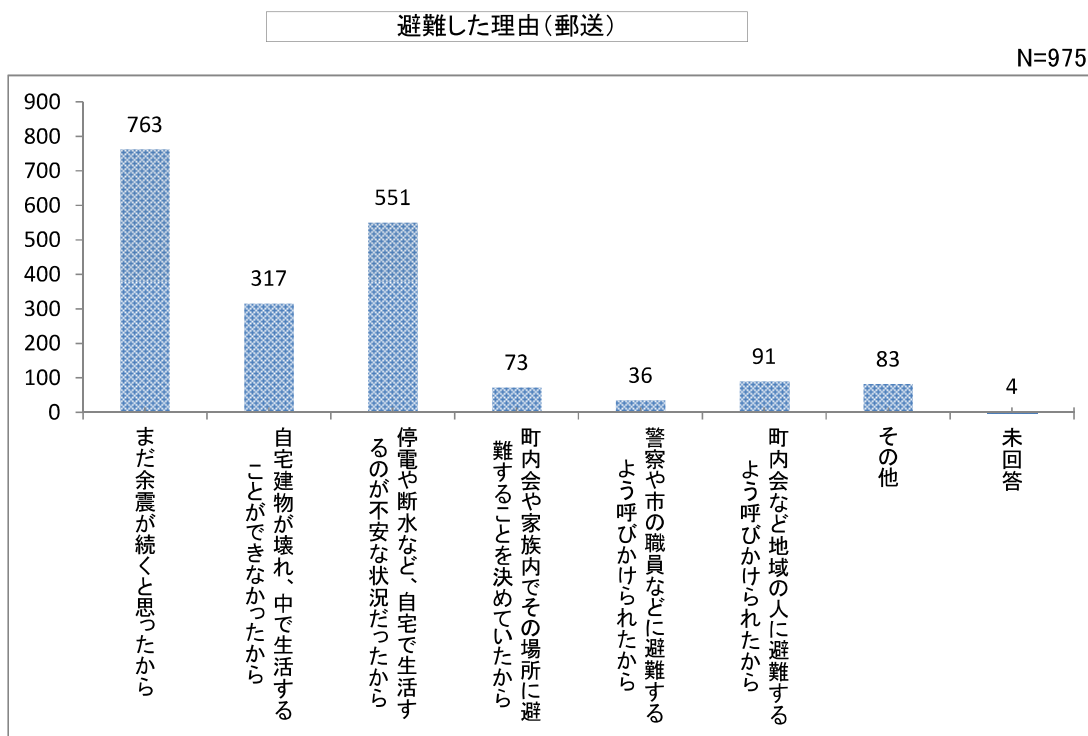
N=1,322

まだ余震が続くと思ったから	1,051	79.5%
自宅建物が壊れ、中で生活することができなかったから	250	18.9%
停電や断水など、自宅で生活するのが不安な状況だったから	634	48.0%
町内会や家族内でその場所に避難することを決めていたから	44	3.3%
警察や市の職員などに避難するよう呼びかけられたから	16	1.2%
町内会など地域の人に避難するよう呼びかけられたから	49	3.7%
その他	142	10.7%
未回答	8	0.6%
回答計	2,194	

調査結果

【参考】問18 避難した理由は何ですか。(複数回答)

避難した方(975人・郵送回答者)にお聞きしています。



N=975

まだ余震が続くと思ったから	763	78.3%
自宅建物が壊れ、中で生活することができなかったから	317	32.5%
停電や断水など、自宅で生活するのが不安な状況だったから	551	56.5%
町内会や家族内でその場所に避難することを決めていたから	73	7.5%
警察や市の職員などに避難するよう呼びかけられたから	36	3.7%
町内会など地域の人に避難するよう呼びかけられたから	91	9.3%
その他	83	8.5%
未回答	4	0.4%
回答計	1,918	

避難した理由は、インターネット調査に比べ、大きな揺れを感じた地域に限定した郵送調査の方が、「自宅建物が壊れ、中で生活することができなかったから」の割合が大きい。

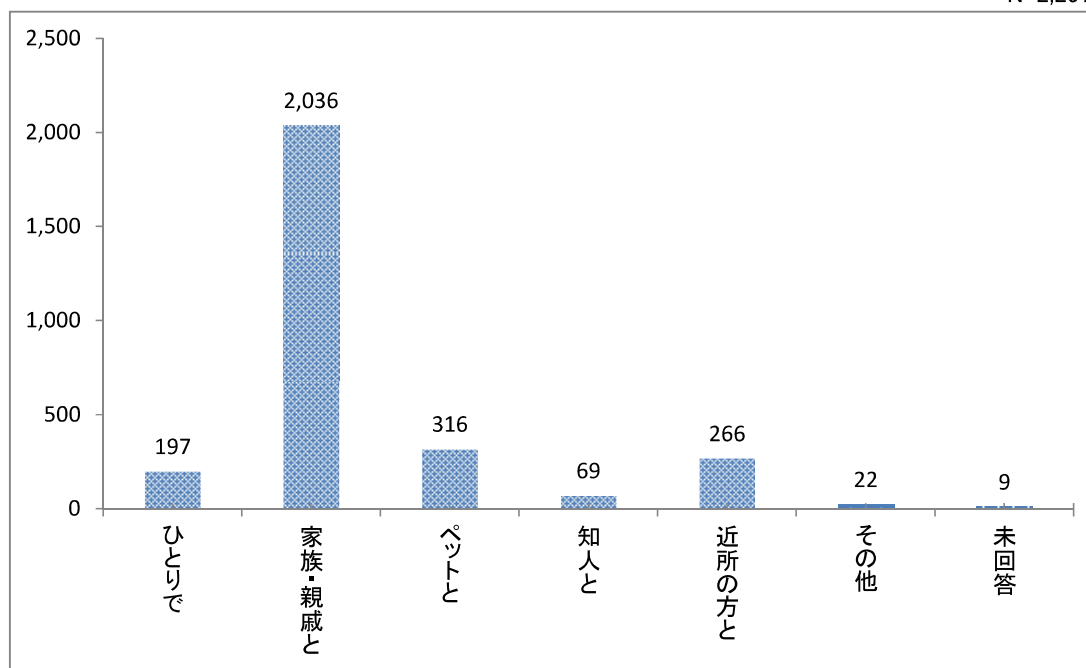
調査結果

問19 誰と一緒に避難しましたか。(複数回答)

避難した方(2,297人)にお聞きしています。

一緒に避難した方

N=2,297



N=2,297

ひとりで	197	8.6%
家族・親戚と	2,036	88.6%
ペットと	316	13.8%
知人と	69	3.0%
近所の方と	266	11.6%
その他	22	1.0%
未回答	9	0.4%
回答計	2,915	

一緒に避難した方は、「家族・親戚」が88.6%(2,036件)と最も多く、「ペット」が13.8%(316件)、「近所の方」が11.6%(266件)と続いている。また、8.6%(197件)の方が「ひとりで」避難している。

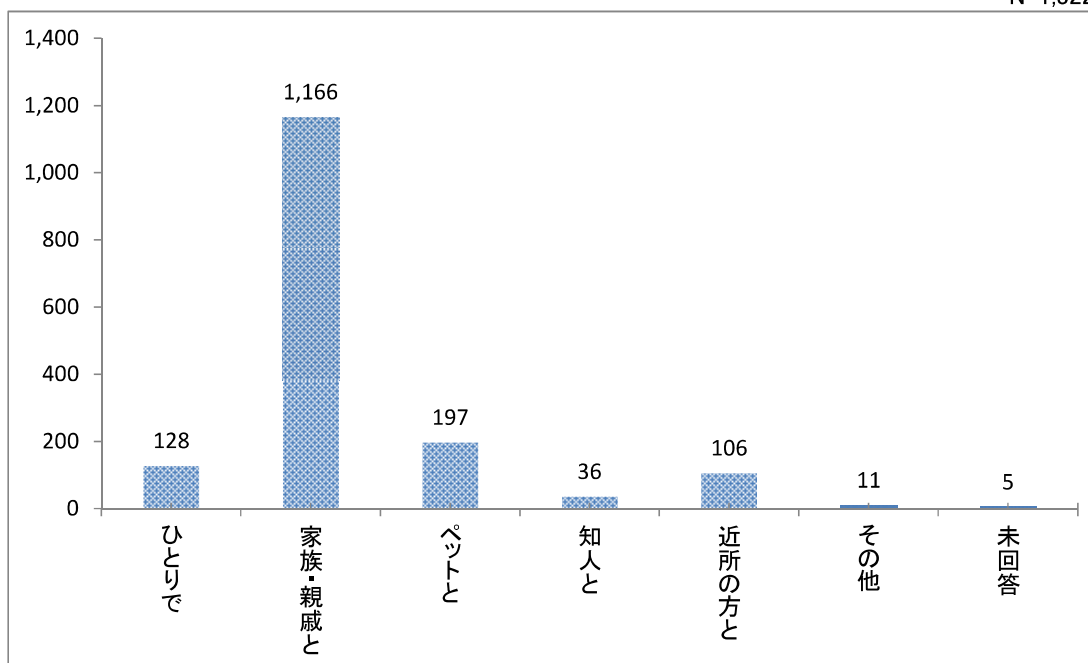
調査結果

【参考】問19 誰と一緒に避難しましたか。(複数回答)

避難した方(1,322人・インターネット回答者)にお聞きしています。

一緒に避難した方(インターネット)

N=1,322



N=1,322

ひとりで	128	9.7%
家族・親戚と	1,166	88.2%
ペットと	197	14.9%
知人と	36	2.7%
近所の方と	106	8.0%
その他	11	0.8%
未回答	5	0.4%
回答計	1,649	

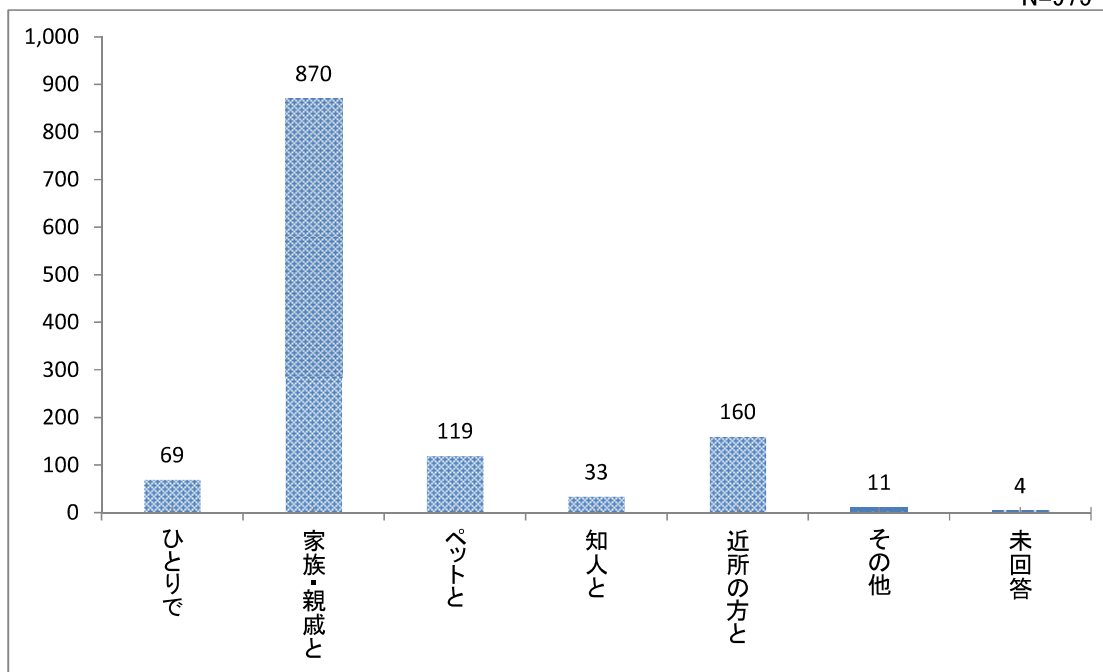
調査結果

【参考】問19 誰と一緒に避難しましたか。(複数回答)

避難した方(975人・郵送回答者)にお聞きしています。

一緒に避難した方(郵送)

N=975



N=975

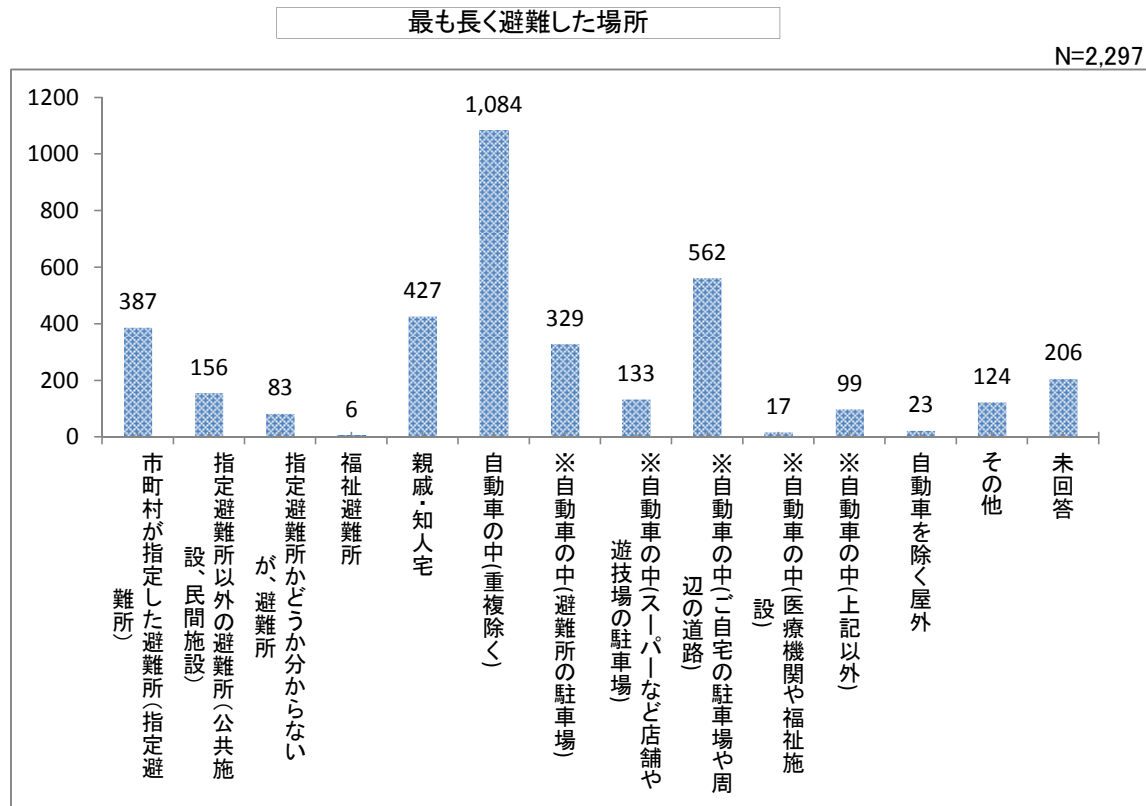
ひとりで	69	7.1%
家族・親戚と	870	89.2%
ペットと	119	12.2%
知人と	33	3.4%
近所の方と	160	16.4%
その他	11	1.1%
未回答	4	0.4%
回答計	1,266	

一緒に避難した方は、インターネット調査、郵送調査ともに大きな差はない。

調査結果

問20 最も長い期間、避難した場所はどこですか。(複数回答)

避難した方(2,297人)にお聞きしています。



(注)「自動車の中(重複除く)」は「※」が付いた選択肢を回答した方の人数

N=2,297

市町村が指定した避難所(指定避難所)	387	387	16.8%
指定避難所以外の避難所(公共施設、民間施設)	156	156	6.8%
指定避難所かどうか分からないが、避難所	83	83	3.6%
福祉避難所	6	6	0.3%
親戚・知人宅	427	427	18.6%
自動車の中(重複除く)	1,084	1,084	47.2%
※自動車の中(避難所の駐車場)	329	329	14.3%
※自動車の中(スーパーなど店舗や遊技場の駐車場)	133	133	5.8%
※自動車の中(ご自宅の駐車場や周辺の道路)	562	562	24.5%
※自動車の中(医療機関や福祉施設)	17	17	0.7%
※自動車の中(上記以外)	99	99	4.3%
自動車を除く屋外	23	23	1.0%
その他	124	124	5.4%
未回答	206	206	9.0%
回答計	2,552	2,552	

最も長く避難した場所は、「自動車の中(ご自宅の駐車場や周辺の道路)」が24.5%(562件)で最も多く、「親戚・知人宅」が18.6%(427件)、「市町村が指定した避難所」が16.8%(387件)が続いている。

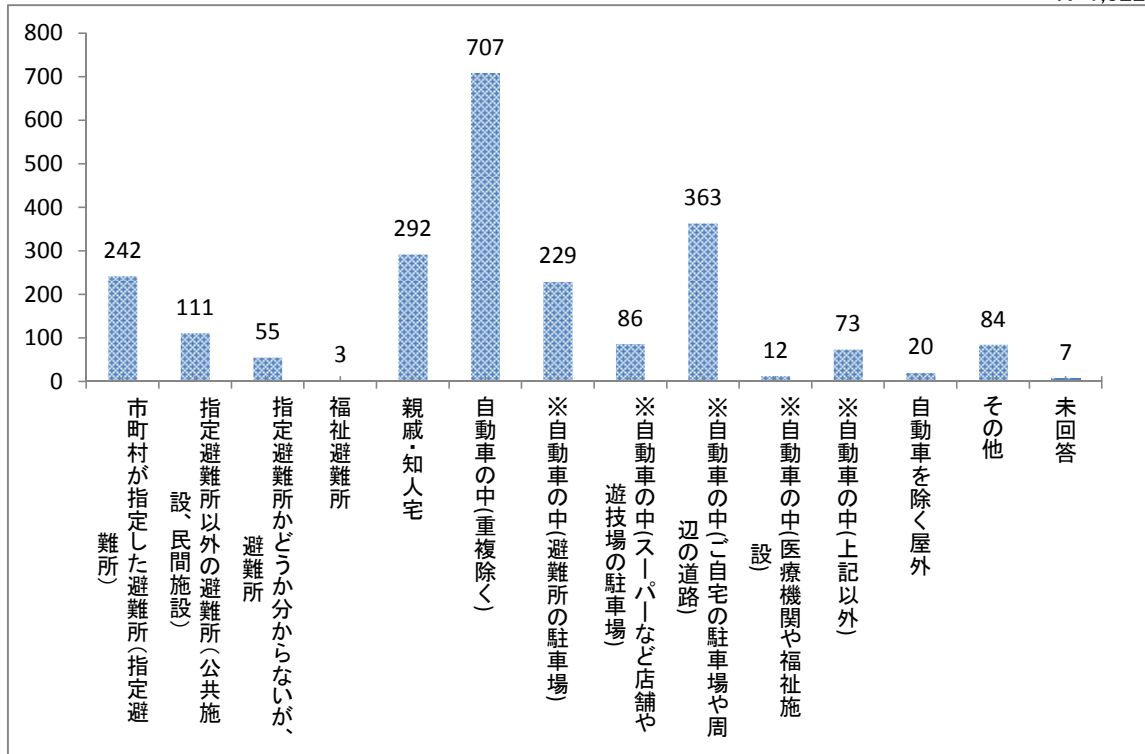
調査結果

【参考】問20 最も長い期間、避難した場所はどこですか。(複数回答)

避難した方(1,322人・インターネット回答者)にお聞きしています。

最も長く避難した場所(インターネット)

N=1,322



(注)「自動車の中(重複除く)」は「※」が付いた選択肢を回答した方の人数

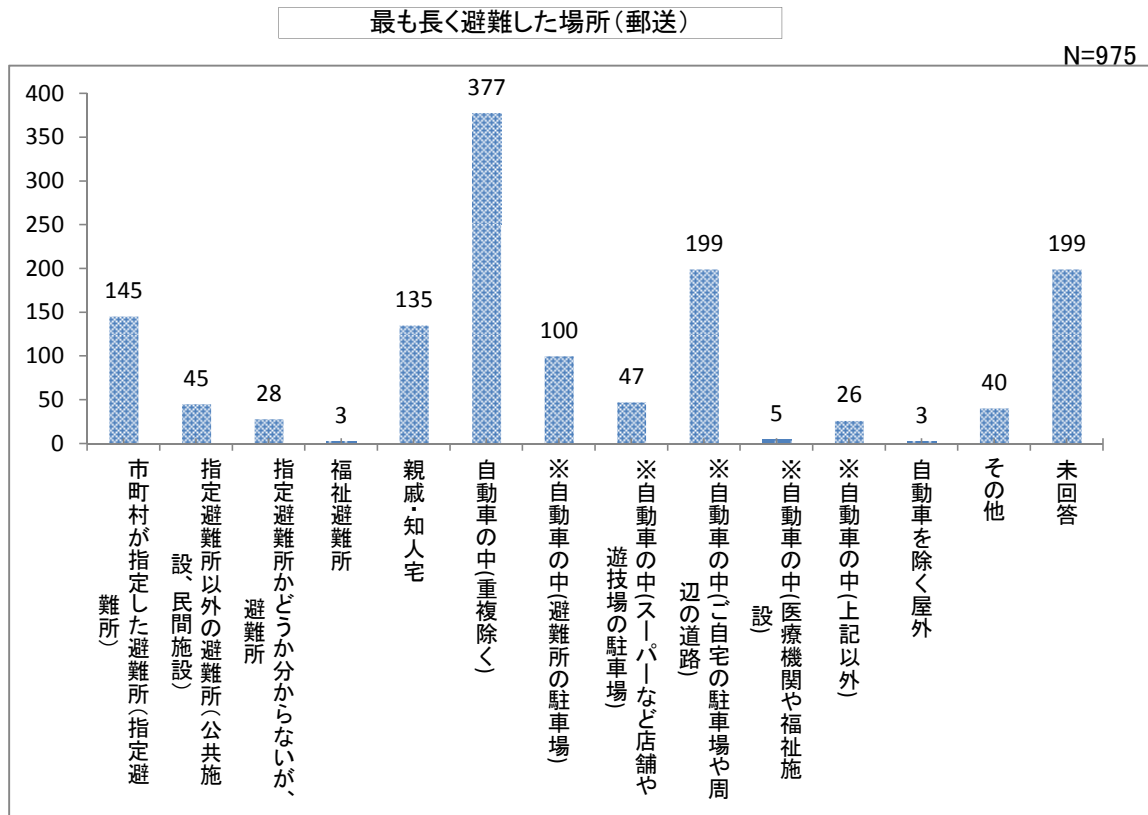
N=1,322

市町村が指定した避難所(指定避難所)	242	18.3%
指定避難所以外の避難所(公共施設、民間施設)	111	8.4%
指定避難所かどうか分からないが、避難所	55	4.2%
福祉避難所	3	0.2%
親戚・知人宅	292	22.1%
自動車の中(重複除く)	707	53.5%
※自動車の中(避難所の駐車場)	229	17.3%
※自動車の中(スーパーなど店舗や遊技場の駐車場)	86	6.5%
※自動車の中(ご自宅の駐車場や周辺の道路)	363	27.5%
※自動車の中(医療機関や福祉施設)	12	0.9%
※自動車の中(上記以外)	73	5.5%
自動車を除く屋外	20	1.5%
その他	84	6.4%
未回答	7	0.5%
回答計	1,577	

調査結果

【参考】問20 最も長い期間、避難した場所はどこですか。(複数回答)

避難した方(975人・郵送回答者)にお聞きしています。



(注)「自動車の中(重複除く)」は「※」が付いた選択肢を回答した方の人数

N=975		
市町村が指定した避難所(指定避難所)	145	14.9%
指定避難所以外の避難所(公共施設、民間施設)	45	4.6%
指定避難所かどうか分からないが、避難所	28	2.9%
福祉避難所	3	0.3%
親戚・知人宅	135	13.8%
自動車の中(重複除く)	377	38.7%
※自動車の中(避難所の駐車場)	100	10.3%
※自動車の中(スーパーなど店舗や遊技場の駐車場)	47	4.8%
※自動車の中(ご自宅の駐車場や周辺の道路)	199	20.4%
※自動車の中(医療機関や福祉施設)	5	0.5%
※自動車の中(上記以外)	26	2.7%
自動車を除く屋外	3	0.3%
その他	40	4.1%
未回答	199	20.4%
回答計	975	

全県向けのインターネット調査の方が、大きな揺れを感じた地域に限定した郵送調査に比べ「自動車の中」に避難していた方が比較的多い(インターネット:707件,53.5% / 郵送:377件,38.7%)。

調査結果

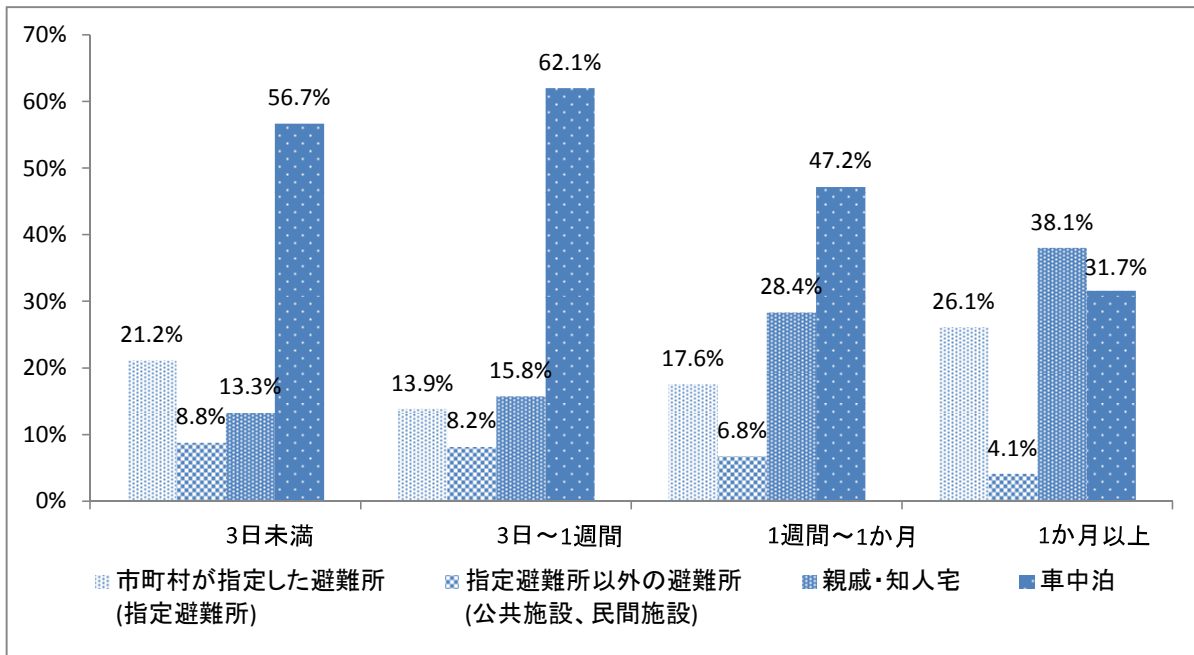
問20① 最も長い期間、避難した場所はどこですか(避難期間別)。(複数回答)

避難した方(2,297人)にお聞きしています。

○避難期間別、最も長く避難した場所(問17×問20クロス集計)

※避難場所は「指定避難場所」「指定避難場所以外の避難所」「親戚・知人宅」「車中泊(重複除く)」

最も長く避難した場所<避難期間別>

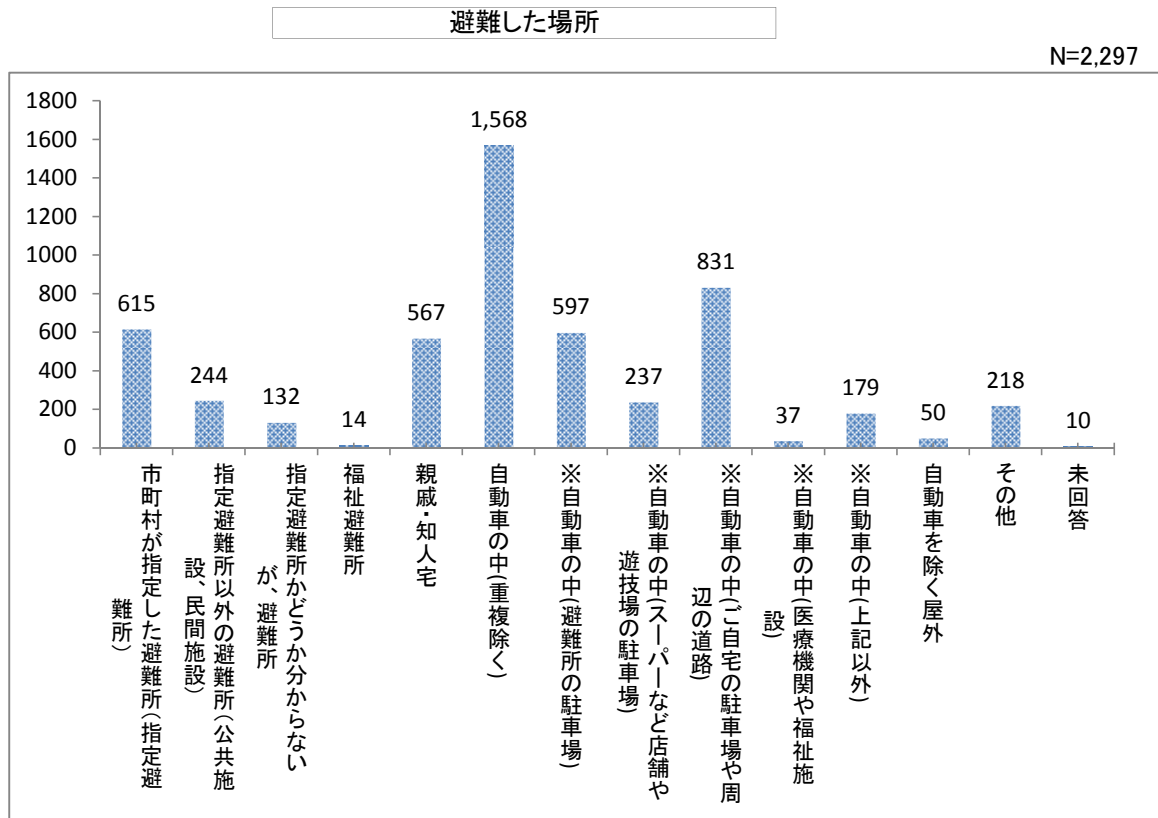


	3日未満	3日 ～1週間	1週間 ～1か月	1か月以上
市町村が指定した避難所(指定避難所)	156	73	101	57
指定避難所以外の避難所(公共施設、民間施設)	65	43	39	9
親戚・知人宅	98	83	163	83
車中泊	418	326	271	69
回答計(n)	737	525	574	218

調査結果

問20② 避難した場所(最も長い期間避難した場所含む)はどこですか。(複数回答)

避難した方(2,297人)にお聞きしています。



(注)「自動車の中(重複除く)」は「※」が付いた選択肢を回答した方の人数
(「※」が付いた選択肢を2つ以上選択した場合も1人とみなす)

N=2,297

市町村が指定した避難所(指定避難所)	615	26.8%
指定避難所以外の避難所(公共施設、民間施設)	244	10.6%
指定避難所かどうか分からないが、避難所	132	5.7%
福祉避難所	14	0.6%
親戚・知人宅	567	24.7%
自動車の中(重複除く)	1,568	68.3%
※自動車の中(避難所の駐車場)	597	26.0%
※自動車の中(スーパーなど店舗や遊技場の駐車場)	237	10.3%
※自動車の中(ご自宅の駐車場や周辺の道路)	831	36.2%
※自動車の中(医療機関や福祉施設)	37	1.6%
※自動車の中(上記以外)	179	7.8%
自動車を除く屋外	50	2.2%
その他	218	9.5%
未回答	10	0.4%
回答計	3,731	

最も長く避難した場所は、「自動車の中(ご自宅の駐車場や周辺の道路)」が36.2%(831件)で最も多く、「市町村が指定した避難所」が26.8%(615件)で続いている。

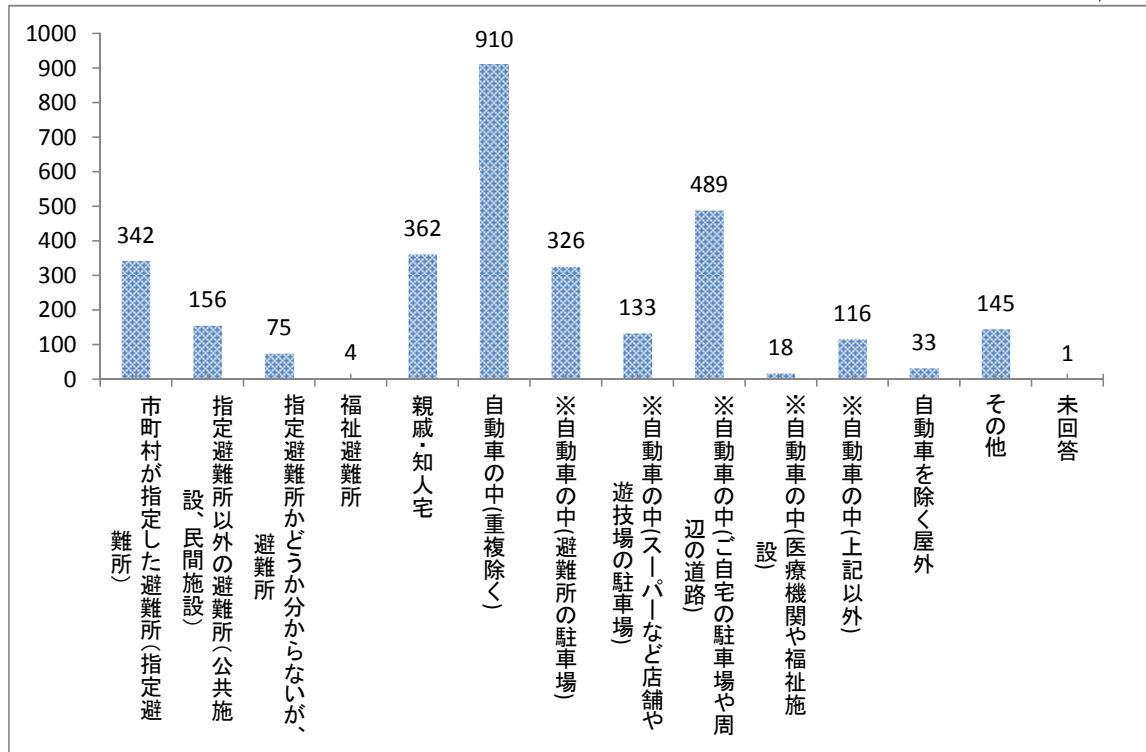
調査結果

【参考】問20② 避難した場所(最も長い期間避難した場所含む)はどこですか。(複数回答)

避難した方(1,322人・インターネット回答者)にお聞きしています。

最も長く避難した場所(インターネット)

N=1,322



(注)「自動車の中(重複除く)」は「※」が付いた選択肢を回答した方の人数
(「※」が付いた選択肢を2つ以上選択した場合も1人とみなす)

N=1,322

市町村が指定した避難所(指定避難所)	342	25.9%
指定避難所以外の避難所(公共施設、民間施設)	156	11.8%
指定避難所かどうか分からないが、避難所	75	5.7%
福祉避難所	4	0.3%
親戚・知人宅	362	27.4%
自動車の中(重複除く)	910	68.8%
※自動車の中(避難所の駐車場)	326	24.7%
※自動車の中(スーパーなど店舗や遊技場の駐車場)	133	10.1%
※自動車の中(ご自宅の駐車場や周辺の道路)	489	37.0%
※自動車の中(医療機関や福祉施設)	18	1.4%
※自動車の中(上記以外)	116	8.8%
自動車を除く屋外	33	2.5%
その他	145	11.0%
未回答	1	0.1%
回答計	2,200	

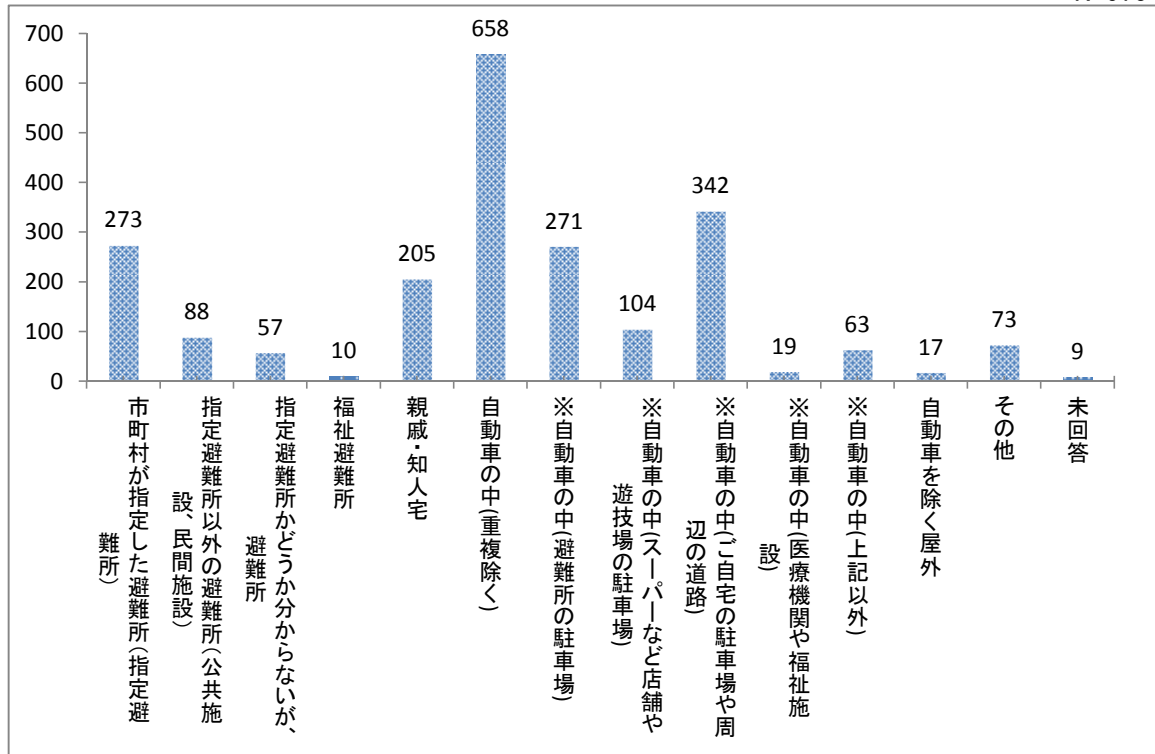
調査結果

【参考】問20② 避難した場所(最も長い期間避難した場所含む)はどこですか。(複数回答)

避難した方(975人・郵送回答者)にお聞きしています。

最も長く避難した場所(郵送)

N=975



(注)「自動車の中(重複除く)」は「※」が付いた選択肢を回答した方の人数
(「※」が付いた選択肢を2つ以上選択した場合も1人とみなす)

N=975

市町村が指定した避難所(指定避難所)	273	28.0%
指定避難所以外の避難所(公共施設、民間施設)	88	9.0%
指定避難所かどうか分からないが、避難所	57	5.8%
福祉避難所	10	1.0%
親戚・知人宅	205	21.0%
自動車の中(重複除く)	658	67.5%
※自動車の中(避難所の駐車場)	271	27.8%
※自動車の中(スーパーなど店舗や遊技場の駐車場)	104	10.7%
※自動車の中(ご自宅の駐車場や周辺の道路)	342	35.1%
※自動車の中(医療機関や福祉施設)	19	1.9%
※自動車の中(上記以外)	63	6.5%
自動車を除く屋外	17	1.7%
その他	73	7.5%
未回答	9	0.9%
回答計	1,531	

避難した場所は、インターネット調査、郵送調査ともに大きな差はない。

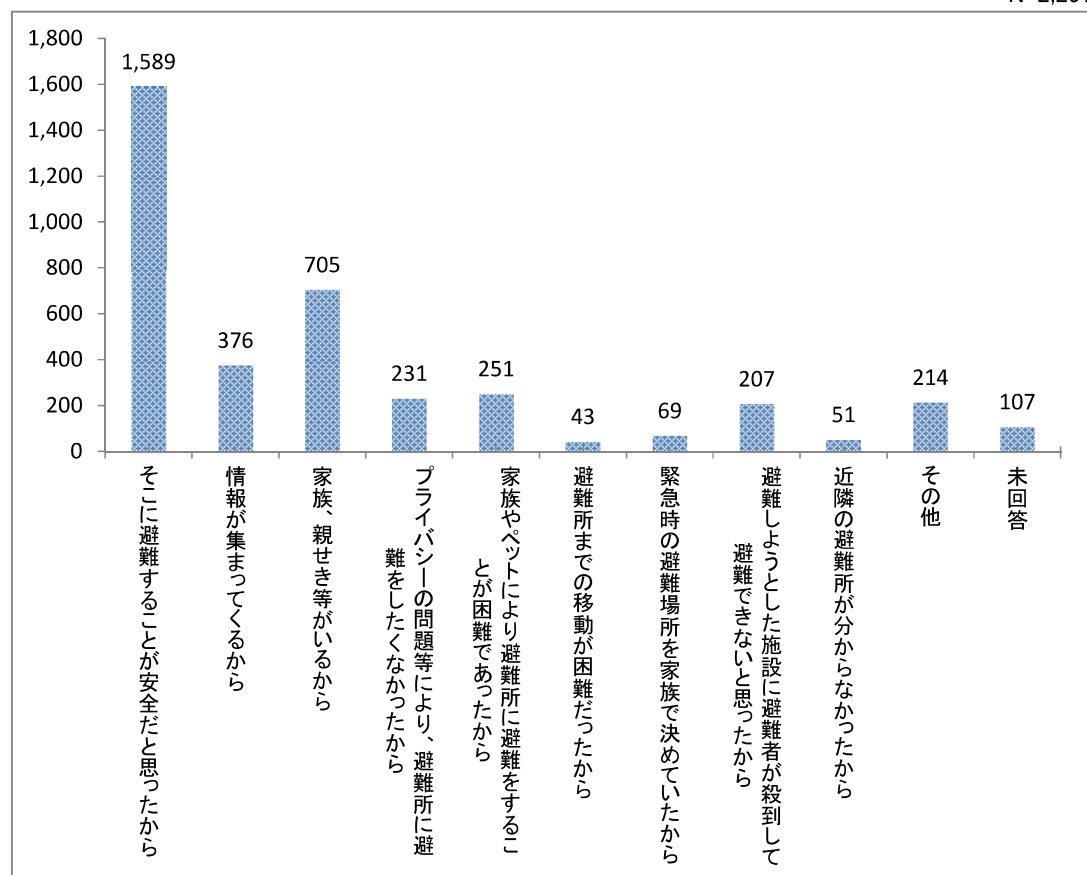
調査結果

問21 最も長く避難した場所を選択した理由を教えてください。(複数回答)

避難した方(2,297人)にお聞きしています。

最も長く避難した場所を選んだ理由

N=2,297



N=2,297

そこに避難することが安全だと思ったから	1,589	69.2%
情報が集まってくるから	376	16.4%
家族、親せき等がいるから	705	30.7%
プライバシーの問題等により、避難所に避難をしたくなかったから	231	10.1%
家族やペットにより避難所に避難することが困難であったから	251	10.9%
避難所までの移動が困難だったから	43	1.9%
緊急時の避難場所を家族で決めていたから	69	3.0%
避難しようとした施設に避難者が殺到して避難できないと思ったから	207	9.0%
近隣の避難所が分からなかったから	51	2.2%
その他	214	9.3%
未回答	107	4.7%
回答計	3,843	

最も長く避難した場所を選択した理由は、「そこに避難することが安全だと思ったから」が69.2% (1,589件) で最も多く、「家族、親せき等がいるから」が30.7% (705件) で続いている。

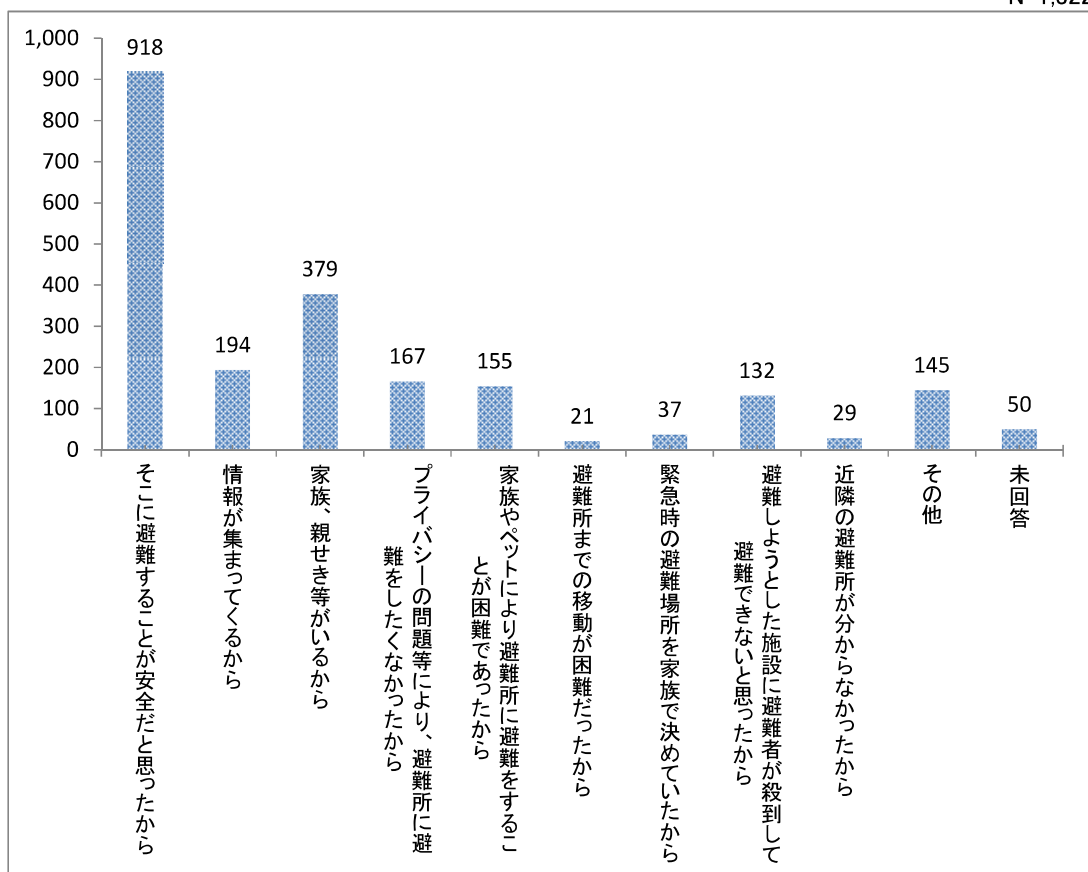
調査結果

【参考】問21 最も長く避難した場所を選択した理由を教えてください。(複数回答)

避難した方(1,322人・インターネット回答者)にお聞きしています。

最も長く避難した場所を選んだ理由(インターネット)

N=1,322



N=1,322

そこに避難することが安全だと思ったから	918	69.4%
情報が集まってくるから	194	14.7%
家族、親せき等がいるから	379	28.7%
プライバシーの問題等により、避難所に避難をしたくなかったから	167	12.6%
家族やペットにより避難所に避難をすることが困難であったから	155	11.7%
避難所までの移動が困難だったから	21	1.6%
緊急時の避難場所を家族で決めていたから	37	2.8%
避難しようとした施設に避難者が殺到して避難できないと思ったから	132	10.0%
近隣の避難所が分からなかったから	29	2.2%
その他	145	11.0%
未回答	50	3.8%
回答計	2,227	

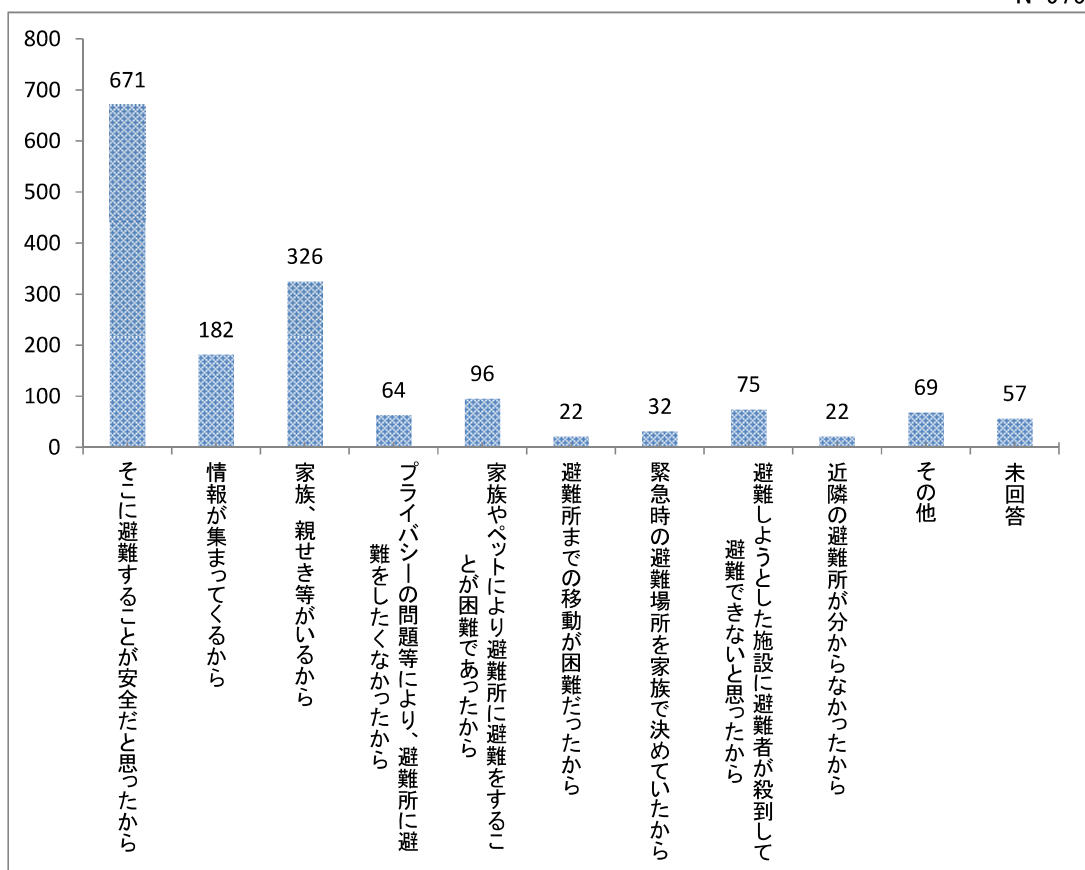
調査結果

【参考】問21 最も長く避難した場所を選択した理由を教えてください。(複数回答)

避難した方(975人・郵送回答者)にお聞きしています。

最も長く避難した場所を選んだ理由(郵送)

N=975



N=975

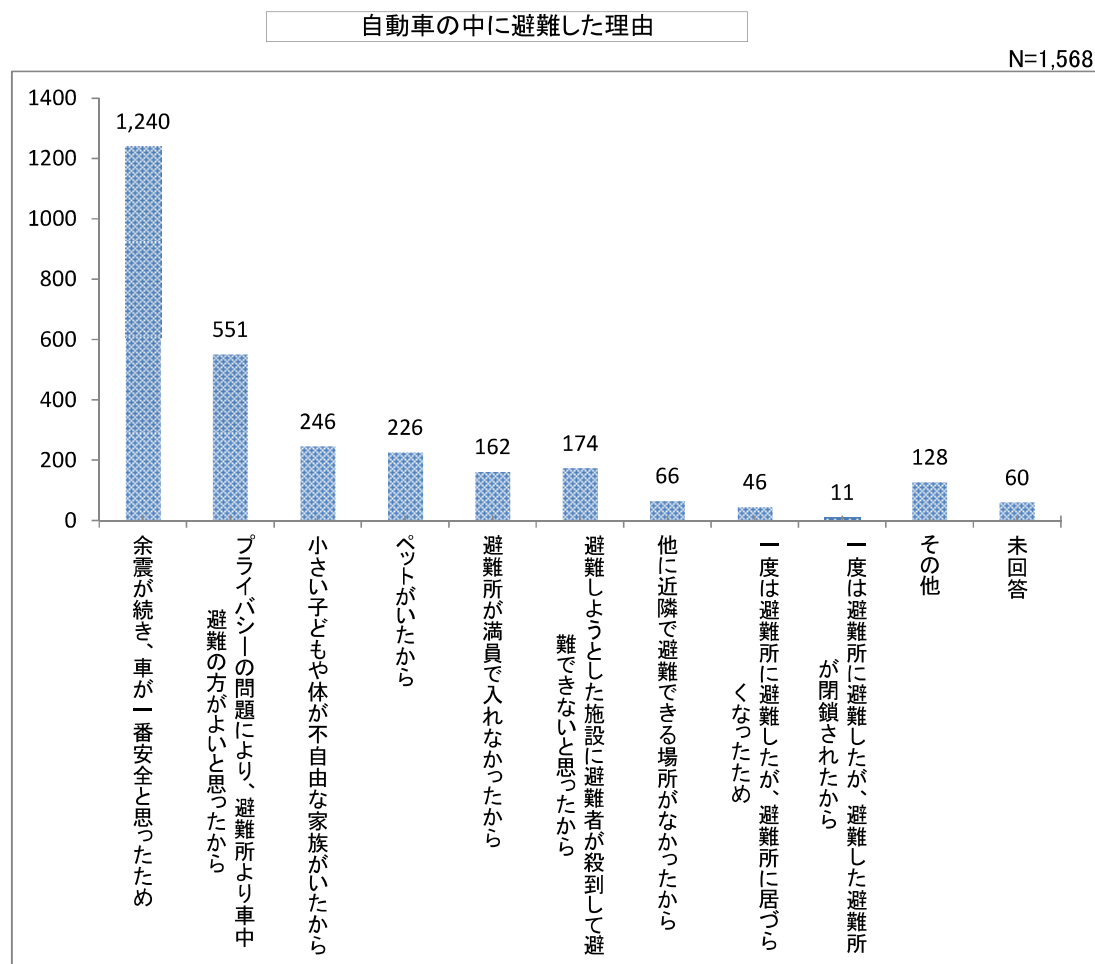
そこに避難することが安全だと思ったから	671	68.8%
情報が集まってくるから	182	18.7%
家族、親せき等がいるから	326	33.4%
プライバシーの問題等により、避難所に避難をしたくなかったから	64	6.6%
家族やペットにより避難所に避難をすることが困難であったから	96	9.8%
避難所までの移動が困難だったから	22	2.3%
緊急時の避難場所を家族で決めていたから	32	3.3%
避難しようとした施設に避難者が殺到して避難できないと思ったから	75	7.7%
近隣の避難所が分からなかったから	22	2.3%
その他	69	7.1%
未回答	57	5.8%
回答計	1,616	

最も長く避難した場所を選択した理由は、インターネット調査、郵送調査ともに大きな差はない。

調査結果

問22 自動車の中に避難した理由は、何ですか。(複数回答)

自動車の中に避難した方(1,568人)にお聞きしています。



N=1,568

余震が続き、車が一番安全と思ったため	1,240	79.1%
プライバシーの問題により、避難所より車中避難の方がよいと思ったから	551	35.1%
小さい子どもや体が不自由な家族がいたから	246	15.7%
ペットがいたから	226	14.4%
避難所が満員で入れなかったから	162	10.3%
避難しようとした施設に避難者が殺到して避難できないと思ったから	174	11.1%
他に近隣で避難できる場所がなかったから	66	4.2%
一度は避難所に避難したが、避難所に居づらくなったため	46	2.9%
一度は避難所に避難したが、避難した避難所が閉鎖されたから	11	0.7%
その他	128	8.2%
未回答	60	3.8%
回答計	2,910	

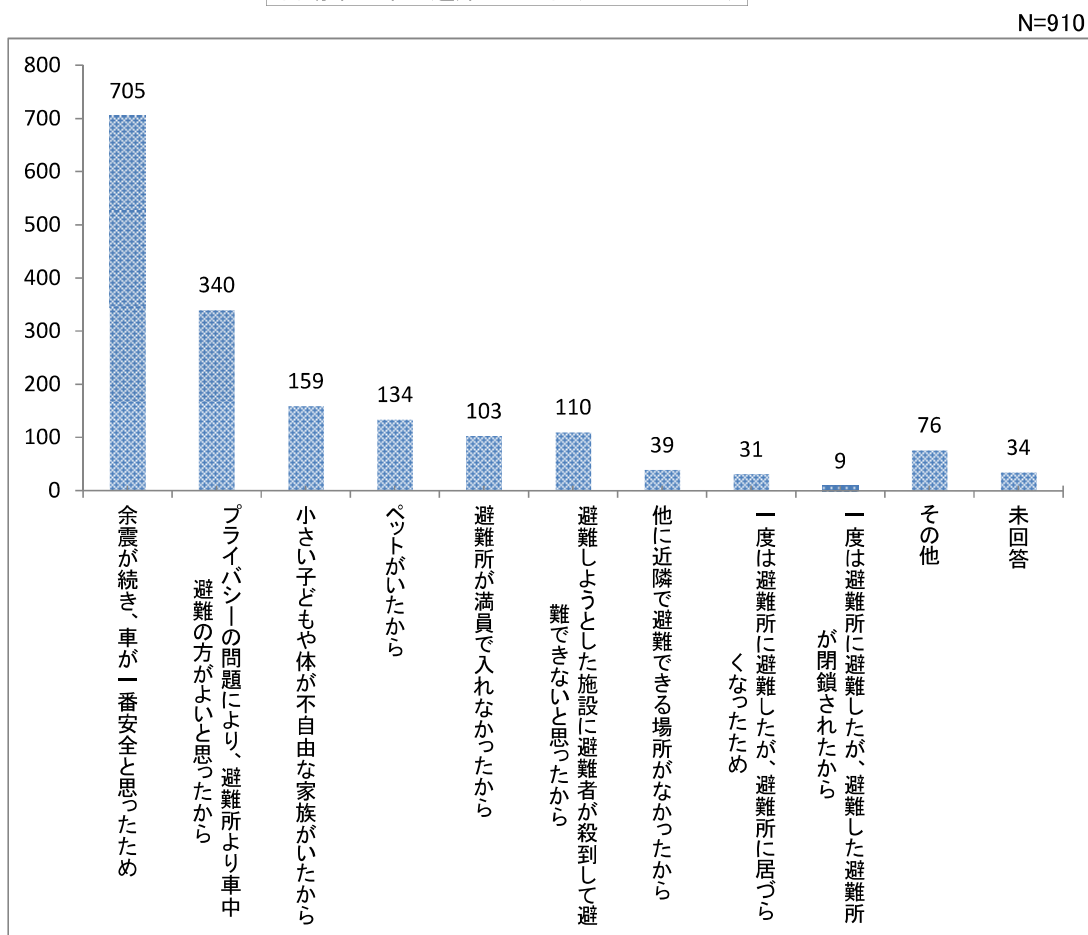
車の中に避難した理由は、「余震が続き、車が一番安全と思ったため」が79.1%(1,240件)で最も多く、「プライバシーの問題により避難所より車中避難の方が良いと思ったから」が35.1%(551件)で続いている。

調査結果

【参考】問22 自動車の中に避難した理由は、何ですか。(複数回答)

自動車の中に避難した方(910人・インターネット回答者)にお聞きしています。

自動車の中に避難した理由(インターネット)



N=910

余震が続き、車が一番安全と思ったため	705	77.5%
プライバシーの問題により、避難所より車中避難の方がよいと思ったから	340	37.4%
小さい子どもや体が不自由な家族がいたから	159	17.5%
ペットがいたから	134	14.7%
避難所が満員で入れなかったから	103	11.3%
避難しようとした施設に避難者が殺到して避難できないと思ったから	110	12.1%
他に近隣で避難できる場所がなかったから	39	4.3%
一度は避難所に避難したが、避難所に居づらくなったため	31	3.4%
一度は避難所に避難したが、避難した避難所が閉鎖されたから	9	1.0%
その他	76	8.4%
未回答	34	3.7%
回答計	1,740	

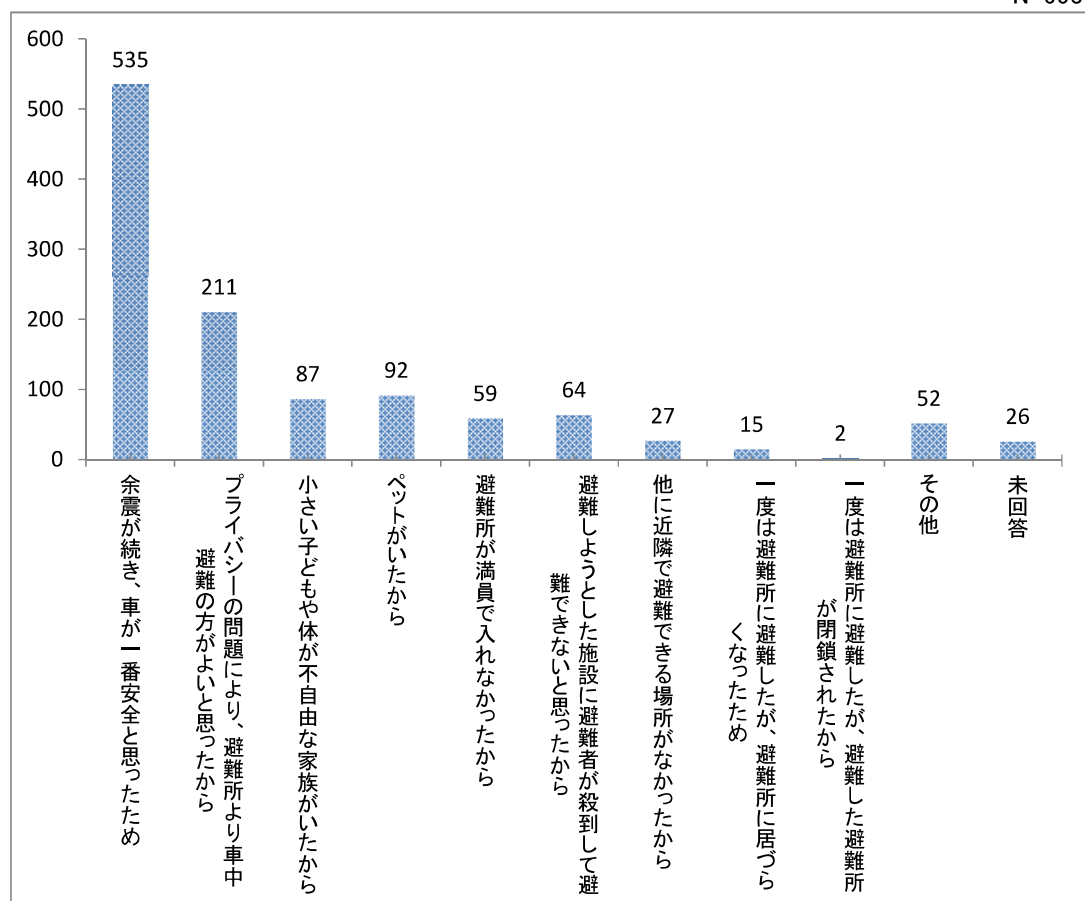
調査結果

【参考】問22 自動車の中に避難した理由は、何ですか。(複数回答)

自動車の中に避難した方(658人・郵送回答者)にお聞きしています。

自動車の中に避難した理由(郵送)

N=658



N=658

余震が続き、車が一番安全と思ったため	535	81.3%
プライバシーの問題により、避難所より車中避難の方がよいと思ったから	211	32.1%
小さい子どもや体が不自由な家族がいたから	87	13.2%
ペットがいたから	92	14.0%
避難所が満員で入れなかったから	59	9.0%
避難しようとした施設に避難者が殺到して避難できないと思ったから	64	9.7%
他に近隣で避難できる場所がなかったから	27	4.1%
一度は避難所に避難したが、避難所に居づらくなったため	15	2.3%
一度は避難所に避難したが、避難した避難所が閉鎖されたから	2	0.3%
その他	52	7.9%
未回答	26	4.0%
回答計	1,170	

自動車の中に避難した理由は、インターネット調査、郵送調査ともに大きな差はない。

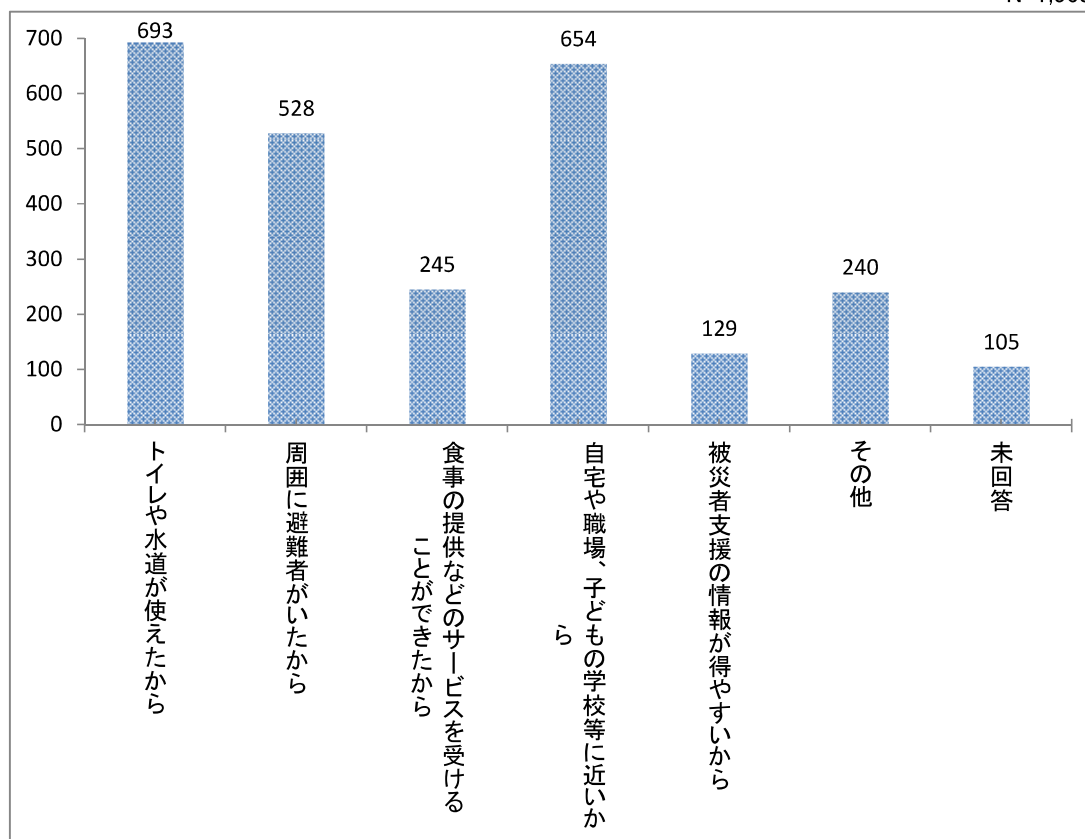
調査結果

問23 なぜ、その駐車場に避難されましたか。(複数回答)

自動車の中に避難した方(1,568人)にお聞きしています。

避難した場所を選択した理由<車中泊>

N=1,568



N=1,568

トイレや水道が使えたから	693	44.2%
周囲に避難者がいたから	528	33.7%
食事の提供などのサービスを受けることができたから	245	15.6%
自宅や職場、子どもの学校等に近いか	654	41.7%
被災者支援の情報が得やすいから	129	8.2%
その他	240	15.3%
未回答	105	6.7%
回答計	2,594	

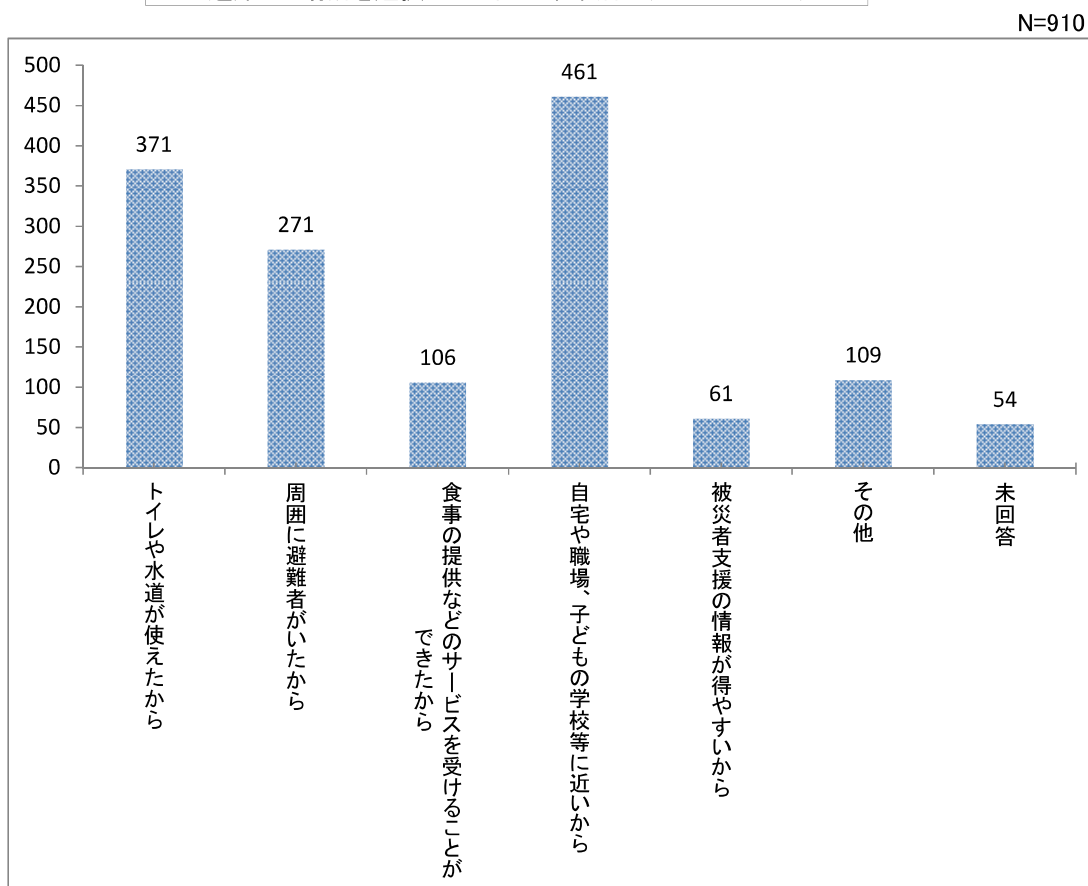
車の中に避難した方が避難場所を選択した理由は、「トイレや水道が使えたから」が44.2%(693件)で最も多く、「自宅や職場、子どもの学校に近いから」が41.7%(654件)で続いている。

調査結果

【参考】問23 なぜ、その駐車場に避難されましたか。(複数回答)

自動車の中に避難した方(910人・インターネット回答者)にお聞きしています。

避難した場所を選択した理由<車中泊>(インターネット)



N=910

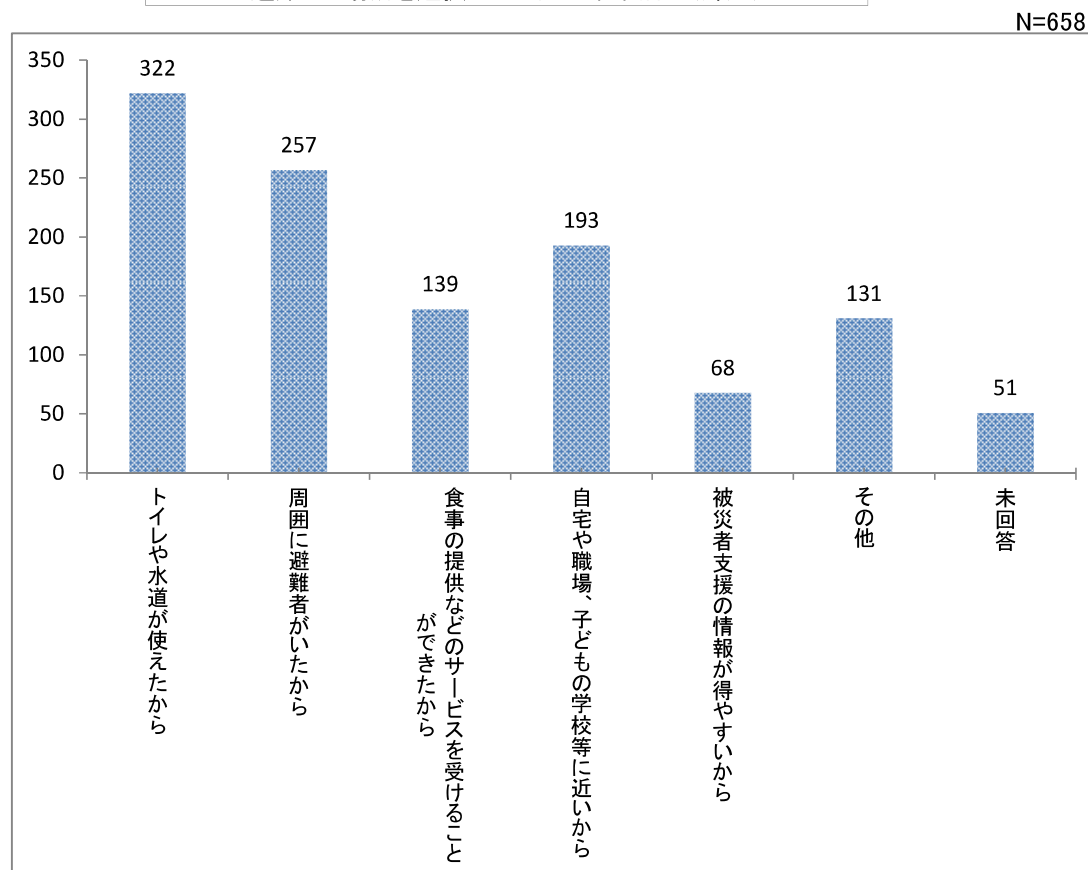
トイレや水道が使えたから	371	40.8%
周囲に避難者がいたから	271	29.8%
食事の提供などのサービスを受けることができたから	106	11.6%
自宅や職場、子どもの学校等に近いから	461	50.7%
被災者支援の情報が得やすいから	61	6.7%
その他	109	12.0%
未回答	54	5.9%
回答計	1,433	

調査結果

【参考】問23 なぜ、その駐車場に避難されましたか。(複数回答)

自動車の中に避難した方(658人・郵送回答者)にお聞きしています。

避難した場所を選択した理由＜車中泊＞(郵送)



N=658

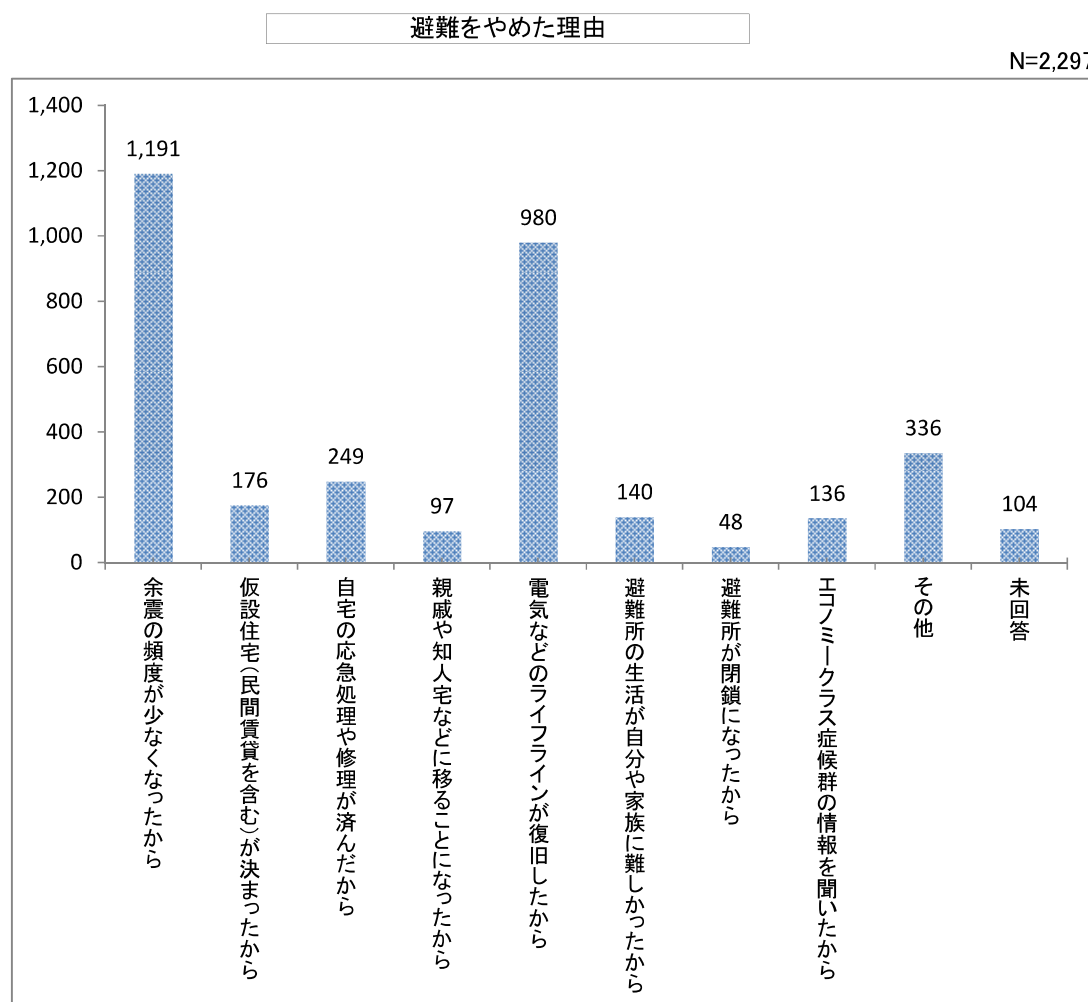
トイレや水道が使えたから	322	48.9%
周囲に避難者がいたから	257	39.1%
食事の提供などのサービスを受けることができたから	139	21.1%
自宅や職場、子どもの学校等に近いから	193	29.3%
被災者支援の情報が得やすいから	68	10.3%
その他	131	19.9%
未回答	51	7.8%
回答計	1,161	

車中泊における避難した場所を選択するにあたり、大きな揺れを感じた地域に限定した郵送調査の方が自宅などとの距離より、「周囲に避難者がいる」ことを重要視していることが分かる。

調査結果

問24 避難をやめるきっかけとなった理由は何ですか。(複数回答)

避難した方(2,297人)にお聞きしています。



N=2,297

余震の頻度が少なくなったから	1,191	51.9%
仮設住宅(民間賃貸を含む)が決まったから	176	7.7%
自宅の応急処理や修理が済んだから	249	10.8%
親戚や知人宅などに移ることになったから	97	4.2%
電気などのライフラインが復旧したから	980	42.7%
避難所の生活が自分や家族に難しかったから	140	6.1%
避難所が閉鎖になったから	48	2.1%
エコノミークラス症候群の情報を聞いたから	136	5.9%
その他	336	14.6%
未回答	104	4.5%
回答計	3,457	

避難をやめた理由は、「余震の頻度が少なくなったから」が51.9%で最も多く、「電気などのライフラインが復旧したから」が42.7%で続いている。

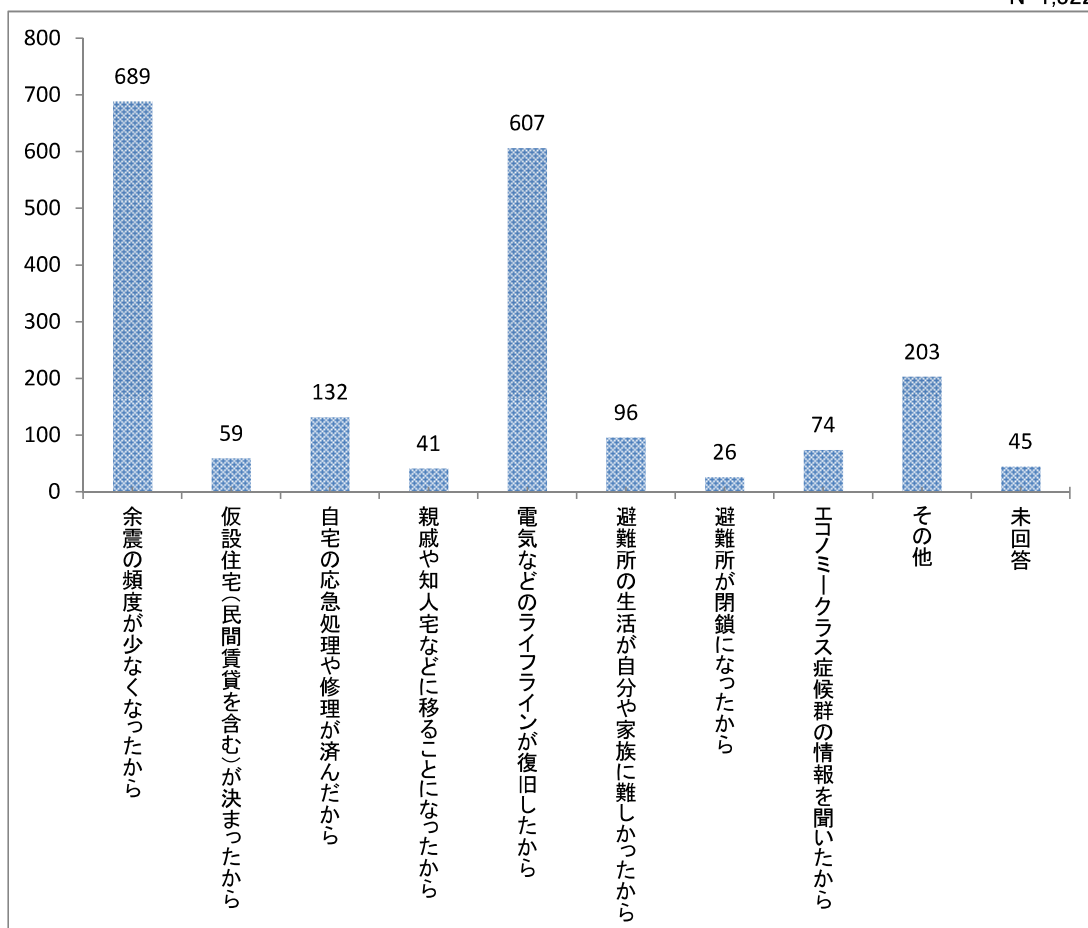
調査結果

【参考】問24 避難をやめるきっかけとなった理由は何ですか。(複数回答)

避難した方(1,322人・インターネット回答者)にお聞きしています。

避難をやめた理由(インターネット)

N=1,322



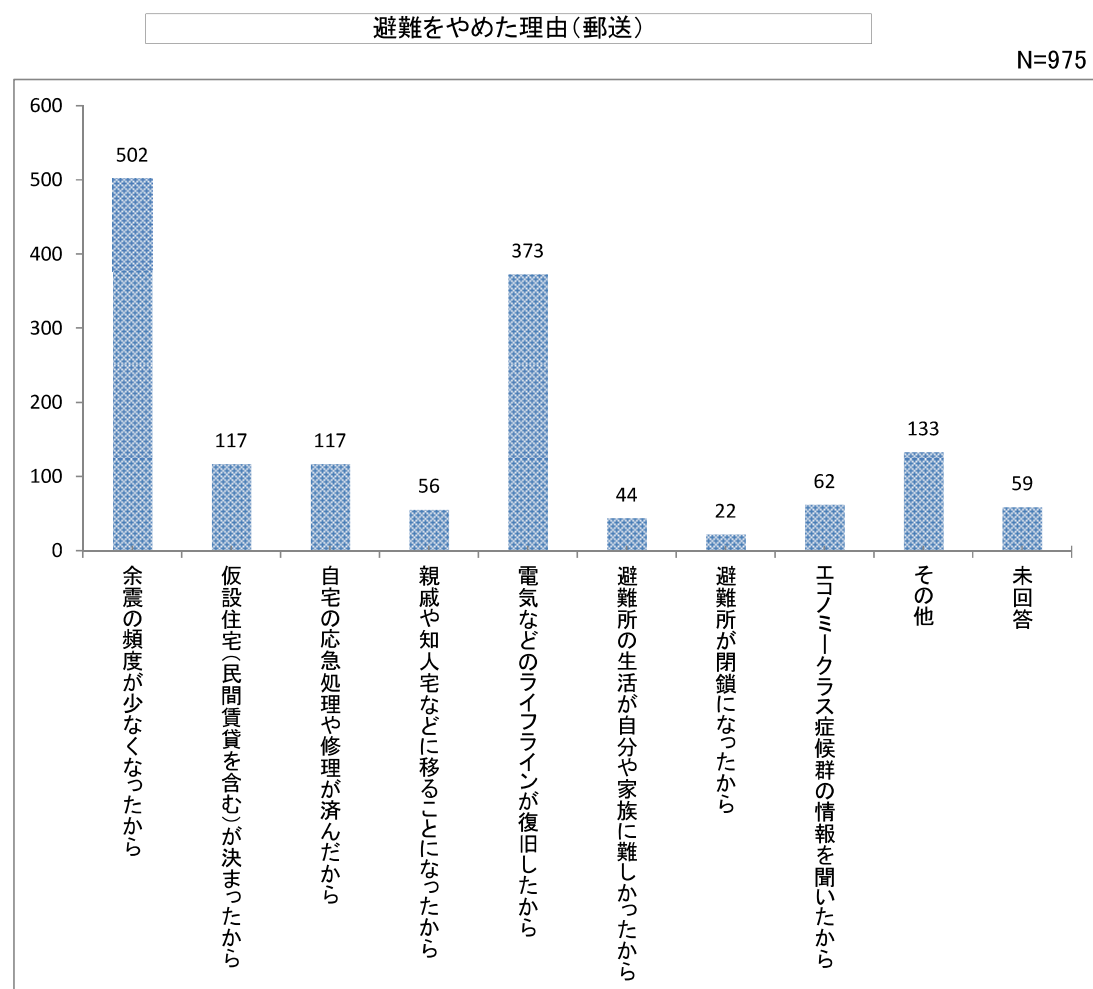
N=1,322

余震の頻度が少なくなったから	689	52.1%
仮設住宅(民間賃貸を含む)が決まったから	59	4.5%
自宅の応急処理や修理が済んだから	132	10.0%
親戚や知人宅などに移ることになったから	41	3.1%
電気などのライフラインが復旧したから	607	45.9%
避難所の生活が自分や家族に難しかったから	96	7.3%
避難所が閉鎖になったから	26	2.0%
エコノミークラス症候群の情報を聞いたから	74	5.6%
その他	203	15.4%
未回答	45	3.4%
回答計	1,972	

調査結果

【参考】問24 避難をやめるきっかけとなった理由は何ですか。(複数回答)

避難した方(975人・郵送回答者)にお聞きしています。



N=975

余震の頻度が少なくなったから	502	51.5%
仮設住宅(民間賃貸を含む)が決まったから	117	12.0%
自宅の応急処理や修理が済んだから	117	12.0%
親戚や知人宅などに移ることになったから	56	5.7%
電気などのライフラインが復旧したから	373	38.3%
避難所の生活が自分や家族に難しかったから	44	4.5%
避難所が閉鎖になったから	22	2.3%
エコノミークラス症候群の情報を聞いたから	62	6.4%
その他	133	13.6%
未回答	59	6.1%
回答計	1,485	

大きな揺れを感じた地域に限定した郵送調査の方が「仮設住宅(民間賃貸を含む)が決まったから」(インターネット:59件,4.5% / 郵:117件,12.0%)避難をやめた方が多い。一方、「電気などのライフラインが復旧したから」(インターネット:607件,45.9% / 郵:373件,38.3%)については、インターネッ

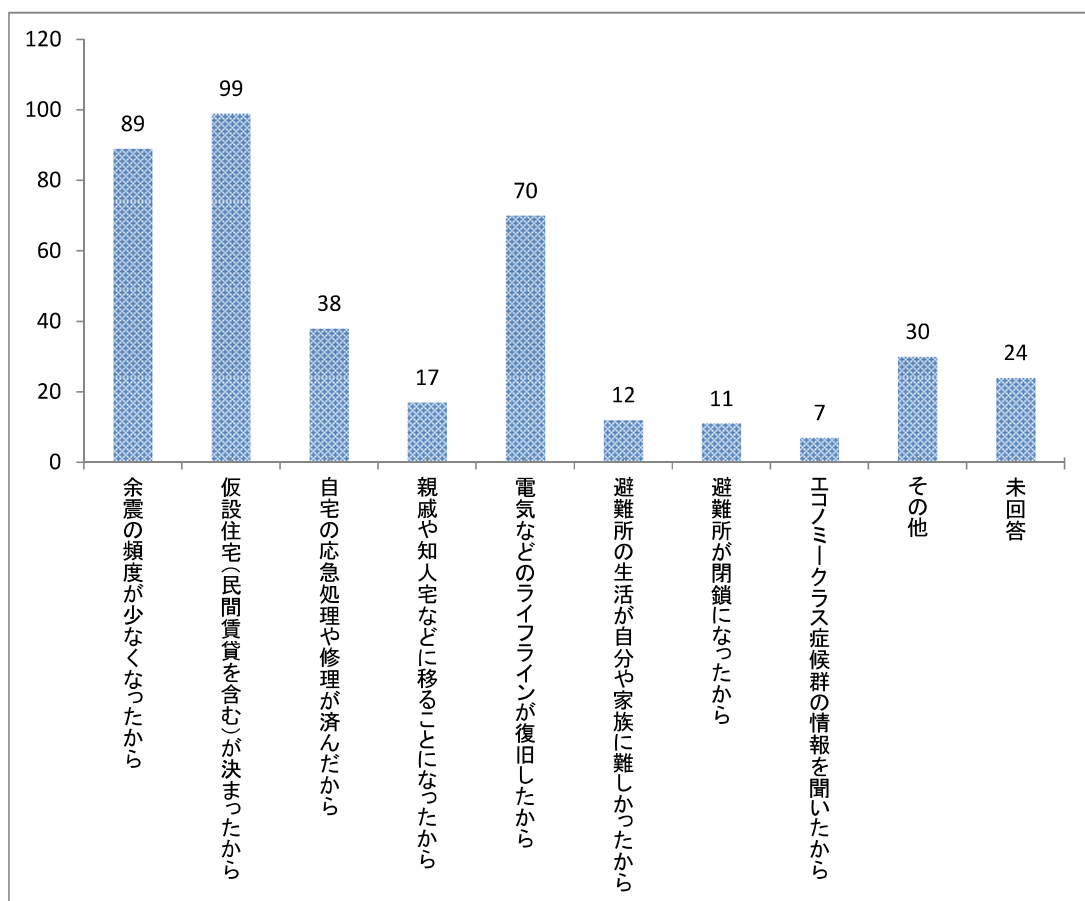
調査結果

問24 避難をやめるきっかけとなったのは何ですか。(複数回答)

○1ヵ月以上避難した方に対して、避難をやめた理由(問17×問24クロス集計)
1ヵ月以上避難した方(281人)にお聞きしています。

避難をやめた理由<1ヵ月以上避難>

N=281



N=281

余震の頻度が少なくなったから	89	31.7%
仮設住宅(民間賃貸を含む)が決まったから	99	35.2%
自宅の応急処理や修理が済んだから	38	13.5%
親戚や知人宅などに移ることになったから	17	6.0%
電気などのライフラインが復旧したから	70	24.9%
避難所の生活が自分や家族に難しかったから	12	4.3%
避難所が閉鎖になったから	11	3.9%
エコノミークラス症候群の情報を聞いたから	7	2.5%
その他	30	10.7%
未回答	24	8.5%
回答計	397	

1月以上避難した方が避難をやめた理由は、「仮設住宅が決まったから」が35.2%で最も多く、「余震の頻度が少なくなったから」が31.7%で続いている。

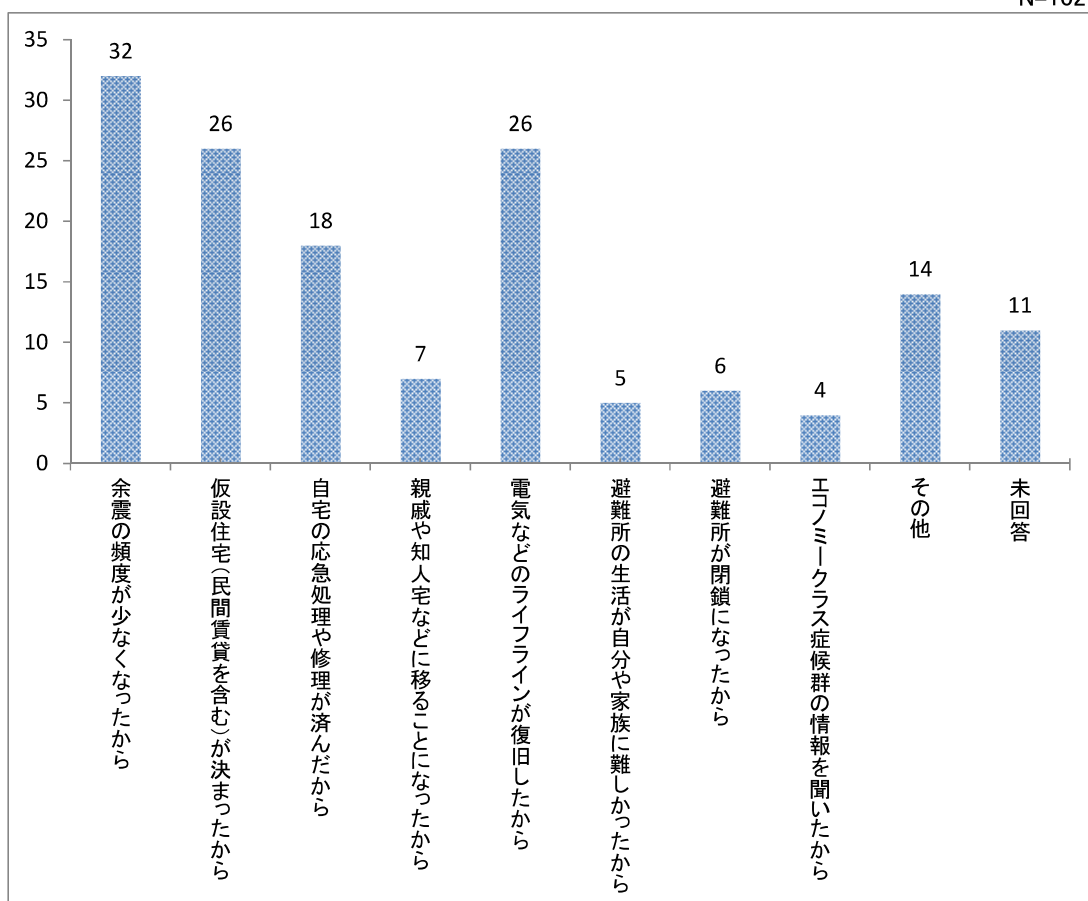
調査結果

【参考】問24 避難をやめるきっかけとなったのは何ですか。(複数回答)

○1ヵ月以上避難した方に対して、避難をやめた理由(問17×問24クロス集計)
1ヵ月以上避難した方(102人・インターネット回答者)にお聞きしています。

避難をやめた理由<1月以上避難>(インターネット)

N=102



N=102

余震の頻度が少なくなったから	32	31.4%
仮設住宅(民間賃貸を含む)が決まったから	26	25.5%
自宅の応急処理や修理が済んだから	18	17.6%
親戚や知人宅などに移ることになったから	7	6.9%
電気などのライフラインが復旧したから	26	25.5%
避難所の生活が自分や家族に難しかったから	5	4.9%
避難所が閉鎖になったから	6	5.9%
エコノミークラス症候群の情報を聞いたから	4	3.9%
その他	14	13.7%
未回答	11	10.8%
回答計	149	

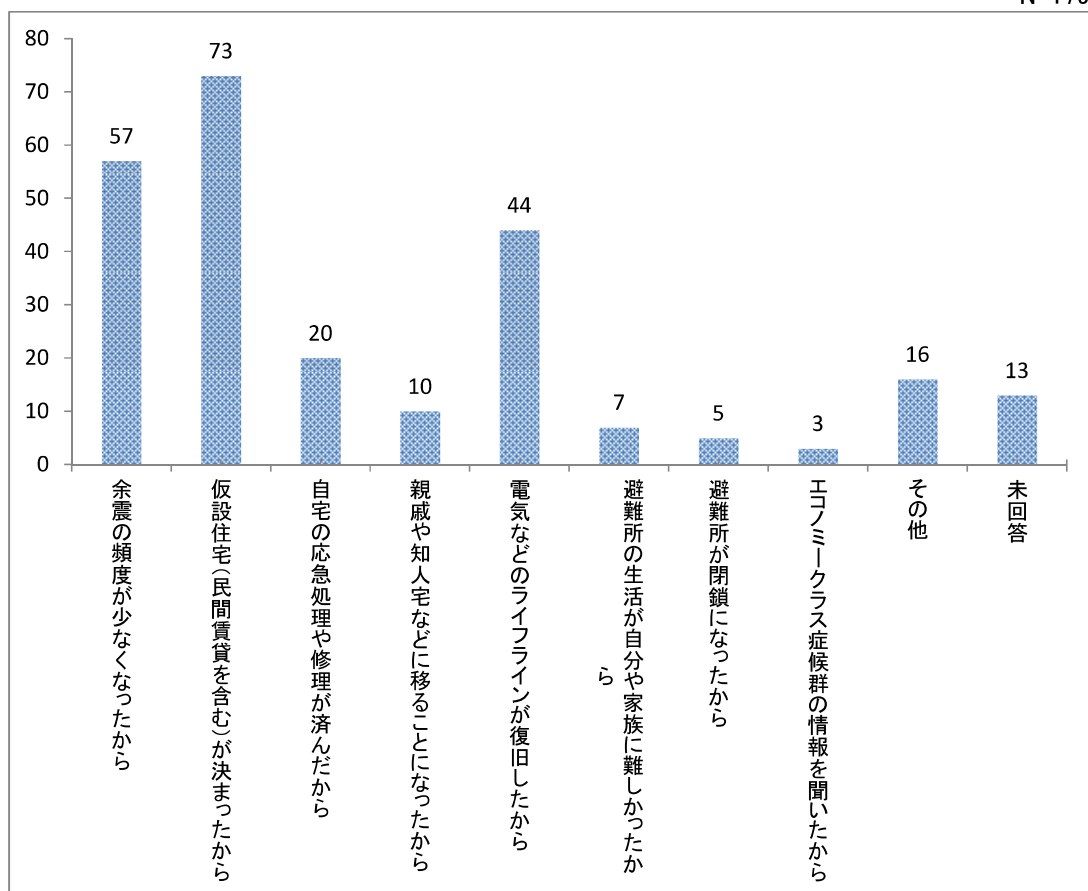
調査結果

【参考】問24 避難をやめるきっかけとなったのは何ですか。(複数回答)

○1ヵ月以上避難した方に対して、避難をやめた理由(問17×問24クロス集計)
1ヵ月以上避難した方(179人・郵送回答者)にお聞きしています。

避難をやめた理由<1月以上避難>(郵送)

N=179



N=179

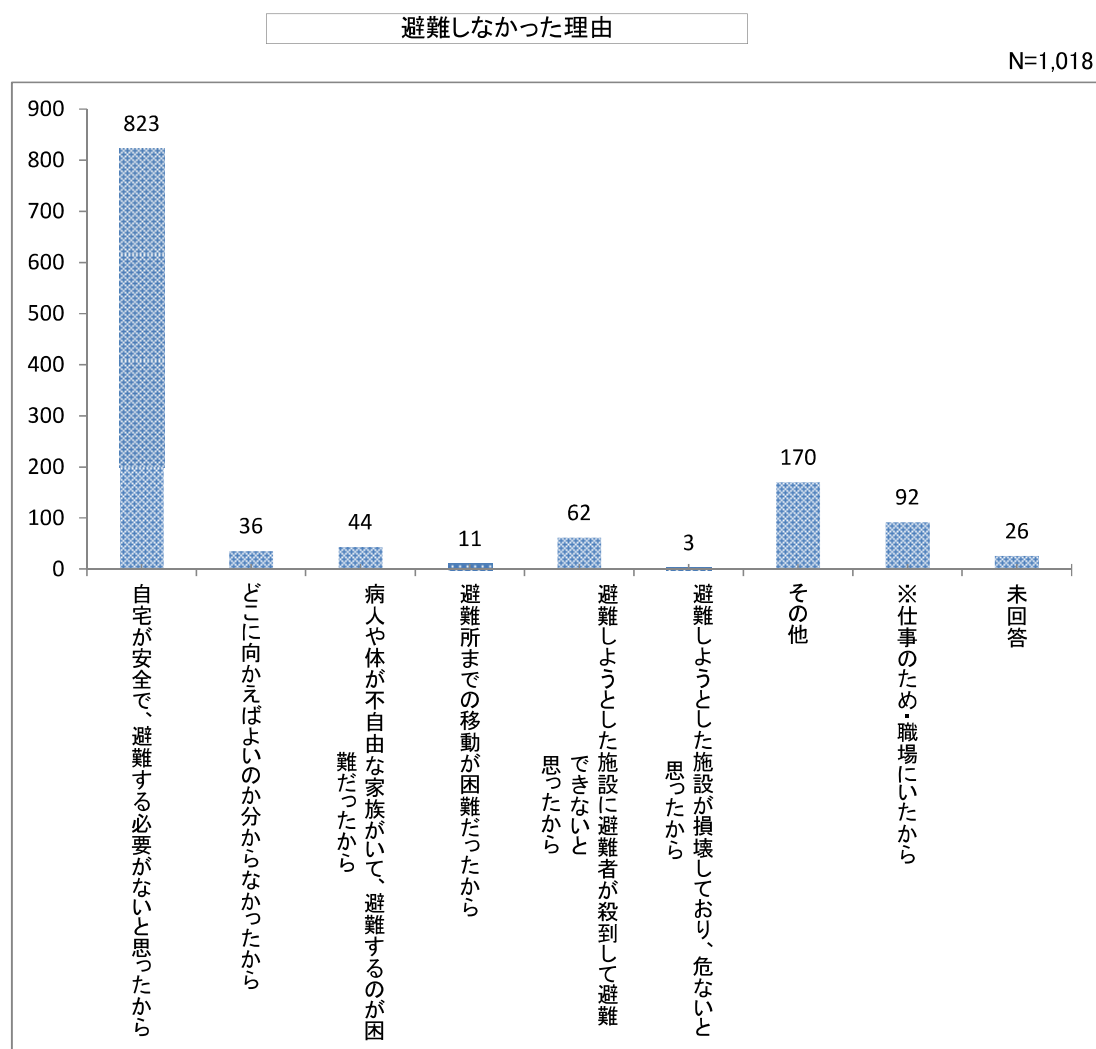
余震の頻度が少なくなったから	57	31.8%
仮設住宅(民間賃貸を含む)が決まったから	73	40.8%
自宅の応急処理や修理が済んだから	20	11.2%
親戚や知人宅などに移ることになったから	10	5.6%
電気などのライフラインが復旧したから	44	24.6%
避難所の生活が自分や家族に難しかったから	7	3.9%
避難所が閉鎖になったから	5	2.8%
エコノミークラス症候群の情報を聞いたから	3	1.7%
その他	16	8.9%
未回答	13	7.3%
回答計	248	

1ヵ月以上の長期避難の場合、大きな揺れを感じた地域に限定した郵送調査の方が、全県向けのインターネット調査に比べ「仮設住宅(民間賃貸を含む)が決まったから」との理由で避難をやめた方が多い(インターネット:26件,25.5% / 郵送:73件,40.8%)。

調査結果

問25 避難しなかった・できなかった理由を教えてください。(複数回答)

避難していない方(1,018人)にお聞きしています。



N=1,018

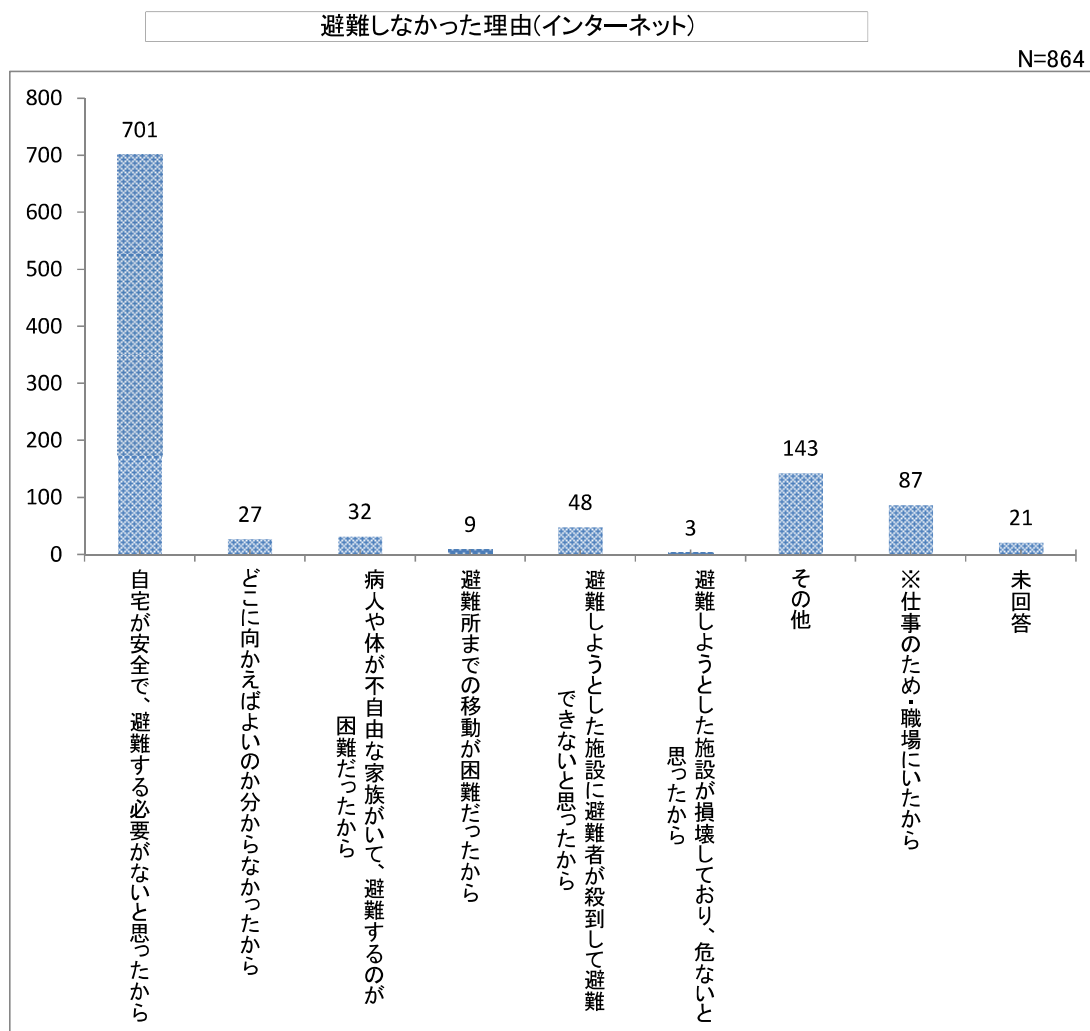
自宅が安全で、避難する必要があると思っただから	823	80.8%
どこに向かえばよいのか分からなかったから	36	3.5%
病人や体が不自由な家族がいて、避難するのが困難だったから	44	4.3%
避難所までの移動が困難だったから	11	1.1%
避難しようとした施設に避難者が殺到して避難できないと思っただから	62	6.1%
避難しようとした施設が損壊しており、危険と思っただから	3	0.3%
その他	170	16.7%
※仕事のため・職場にいたから	92	9.0%
未回答	26	2.6%
回答計	1,175	

避難をしなかった・できなかった理由は、「自宅が安全で、避難する必要があると思っただから」が80.8%(823件)で最も多く、「仕事のため・職場にいたから」が9.0%(92件)で続いている。

調査結果

【参考】問25 避難しなかった・できなかった理由を教えてください。(複数回答)

避難した方(864人・インターネット回答者)にお聞きしています。



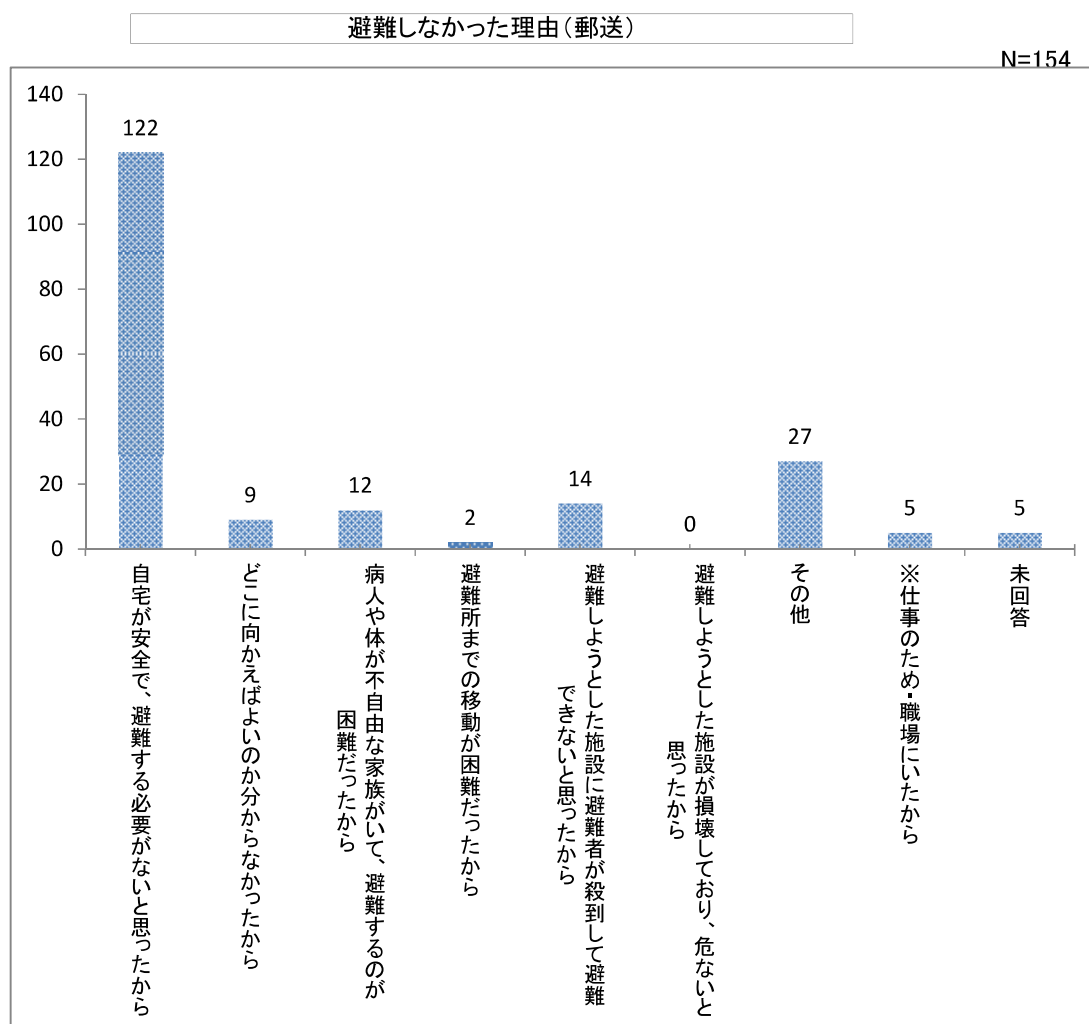
N=864

自宅が安全で、避難する必要がないと思ったから	701	81.1%
どこに向かえばよいのか分からなかったから	27	3.1%
病人や体が不自由な家族がいて、避難するのが困難だったから	32	3.7%
避難所までの移動が困難だったから	9	1.0%
避難しようとした施設に避難者が殺到して避難できないと思ったから	48	5.6%
避難しようとした施設が損壊しており、危ないと思ったから	3	0.3%
その他	143	16.6%
※仕事のため・職場にいたから	87	10.1%
未回答	21	2.4%
回答計	984	

調査結果

【参考】問25 避難しなかった・できなかった理由を教えてください。(複数回答)

避難した方(154人・郵送回答者)にお聞きしています。



N=154

自宅が安全で、避難する必要がないと思ったから	122	79.2%
どこに向かえばよいのか分からなかったから	9	5.8%
病人や体が不自由な家族がいて、避難するのが困難だったから	12	7.8%
避難所までの移動が困難だったから	2	1.3%
避難しようとした施設に避難者が殺到して避難できないと思ったから	14	9.1%
避難しようとした施設が損壊しており、危ないと思ったから	0	0.0%
その他	27	17.5%
※仕事のため・職場にいたから	5	3.2%
未回答	5	3.2%
回答計	191	

避難をしなかった・できなかった理由は、インターネット調査、郵送調査ともに大きな差はない。

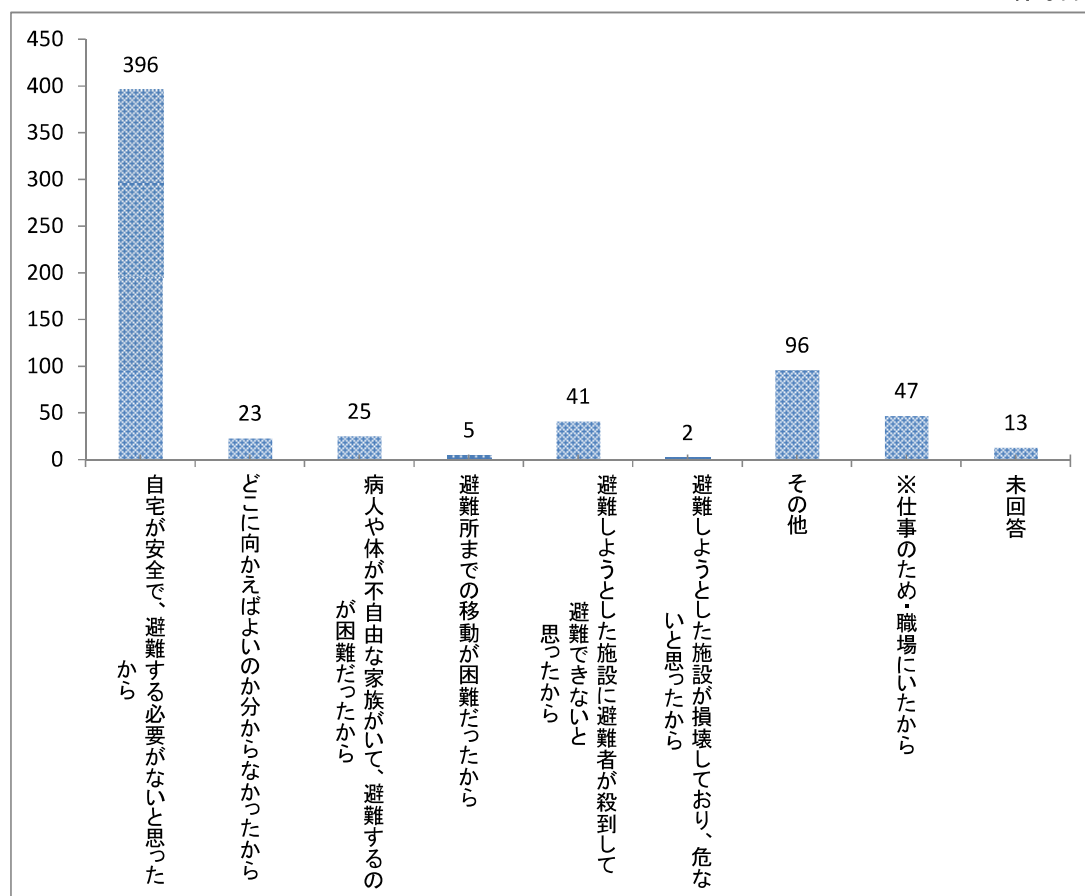
調査結果

問25 避難しなかった・できなかった理由を教えてください。(複数回答)

○ 自宅が損壊した人において、避難ができなかった、しなかった理由(問17×自宅被災状況クロス集計)
フェイスシート問6で「被害なし」「未回答」以外を選び、避難していない方(511人)にお聞きしています。

避難しなかった理由<自宅に被害があった方>

N=511



N=511

自宅が安全で、避難する必要がないと思ったから	396	77.5%
どこに向かえばよいのか分からなかったから	23	4.5%
病人や体が不自由な家族がいて、避難するのが困難だったから	25	4.9%
避難所までの移動が困難だったから	5	1.0%
避難しようとした施設に避難者が殺到して避難できないと思ったから	41	8.0%
避難しようとした施設が損壊しており、危険と思ったから	2	0.4%
その他	96	18.8%
※仕事のため・職場にいたから	47	9.2%
未回答	13	2.5%
回答計	601	

自宅が損壊した方について避難ができなかった、しなかった理由も「自宅が安全で、避難する必要がないと思ったから」が77.5%(396件)で最も多く、「仕事のため、職場にいたから」が9.2%(47件)で続いている。

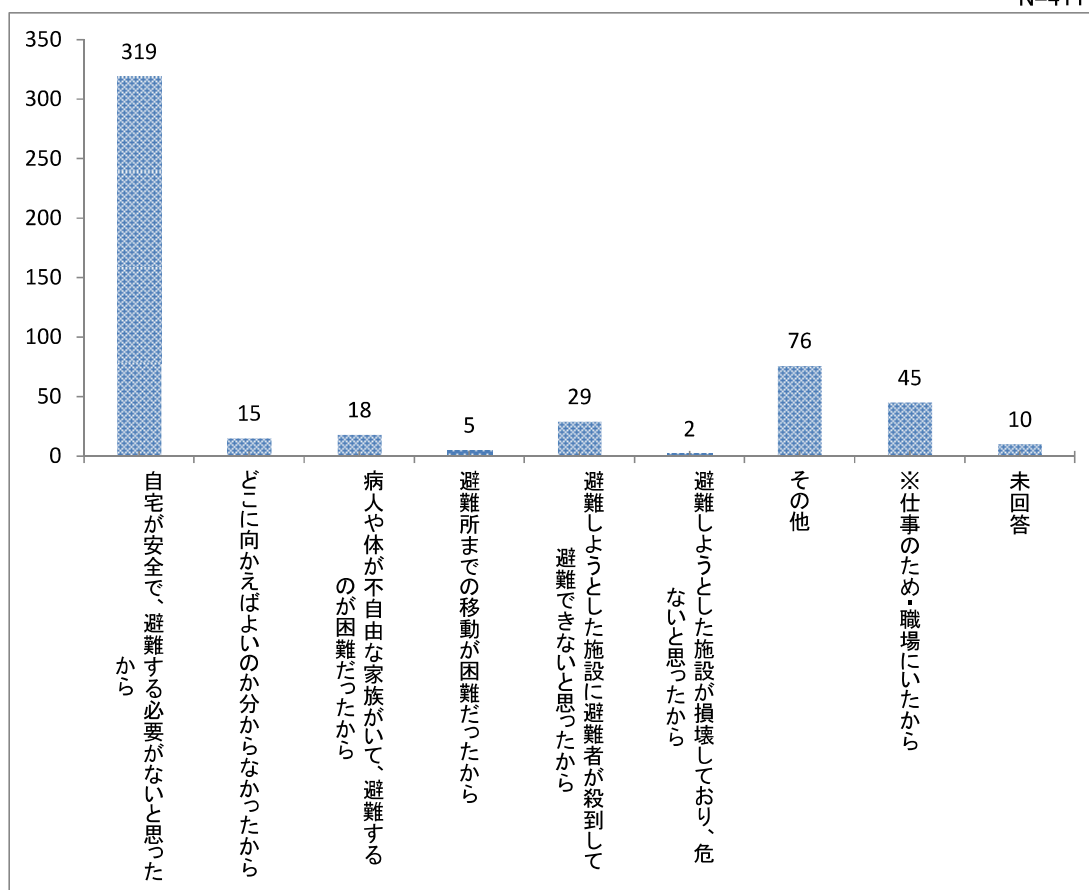
調査結果

【参考】問25 避難しなかった・できなかった理由を教えてください。(複数回答)

○自宅が損壊した人において、避難ができなかった、しなかった理由(問17×自宅被災状況クロス集計)
 エイスシート問6で「被害なし」「未回答」以外を選び、避難していない方(411人・インターネット回答者)にお聞きしています。

避難しなかった理由<自宅に被害があった方>(インターネット)

N=411



N=411

自宅が安全で、避難する必要がないと思ったから	319	77.6%
どこに向かえばよいのか分からなかったから	15	3.6%
病人や体が不自由な家族がいて、避難するのが困難だったから	18	4.4%
避難所までの移動が困難だったから	5	1.2%
避難しようとした施設に避難者が殺到して避難できないと思ったから	29	7.1%
避難しようとした施設が損壊しており、危ないと思ったから	2	0.5%
その他	76	18.5%
※仕事のため・職場にいたから	45	10.9%
未回答	10	2.4%
回答計	474	

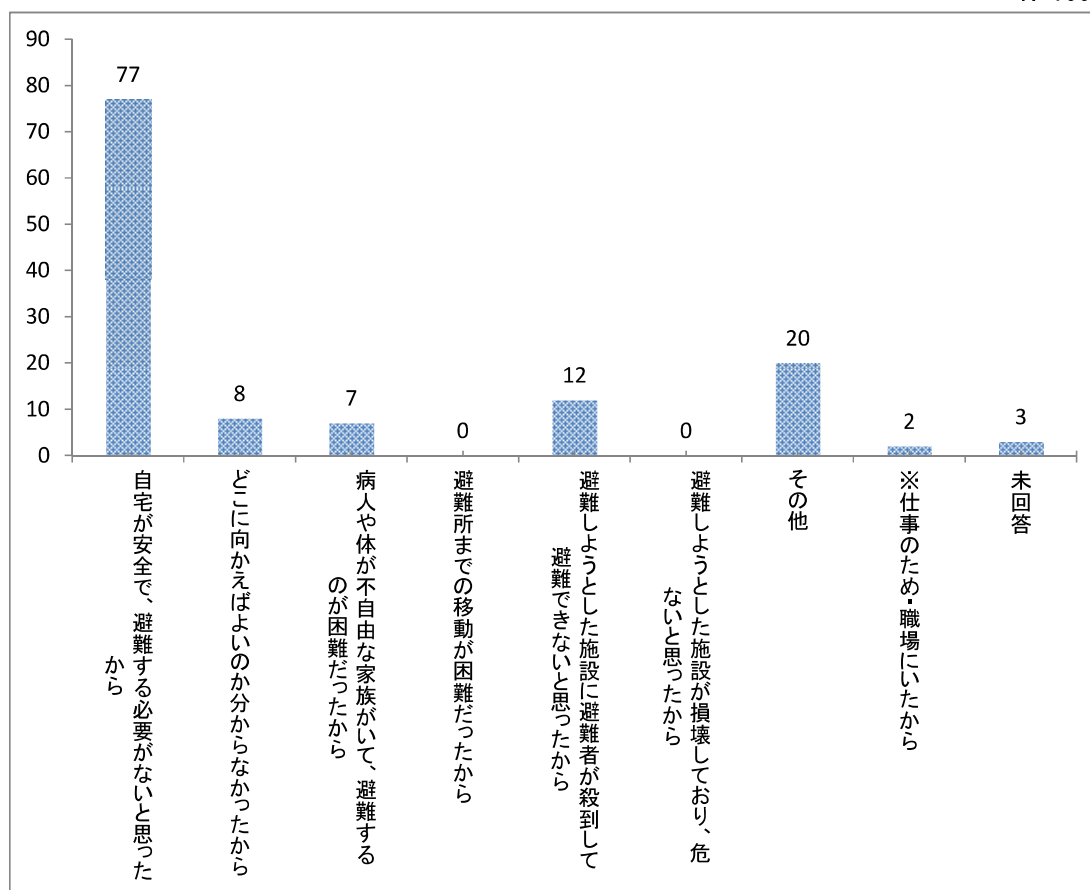
調査結果

【参考】問25 避難しなかった・できなかった理由を教えてください。(複数回答)

○ 自宅が損壊した人において、避難ができなかった、しなかった理由(問17×自宅被災状況クロス集計)
フェイスシート問6で「被害なし」「未回答」以外を選び、避難していない方(100人・郵送回答者)にお聞きしています。

避難しなかった理由＜自宅に被害があった方＞(郵送)

N=100



N=100

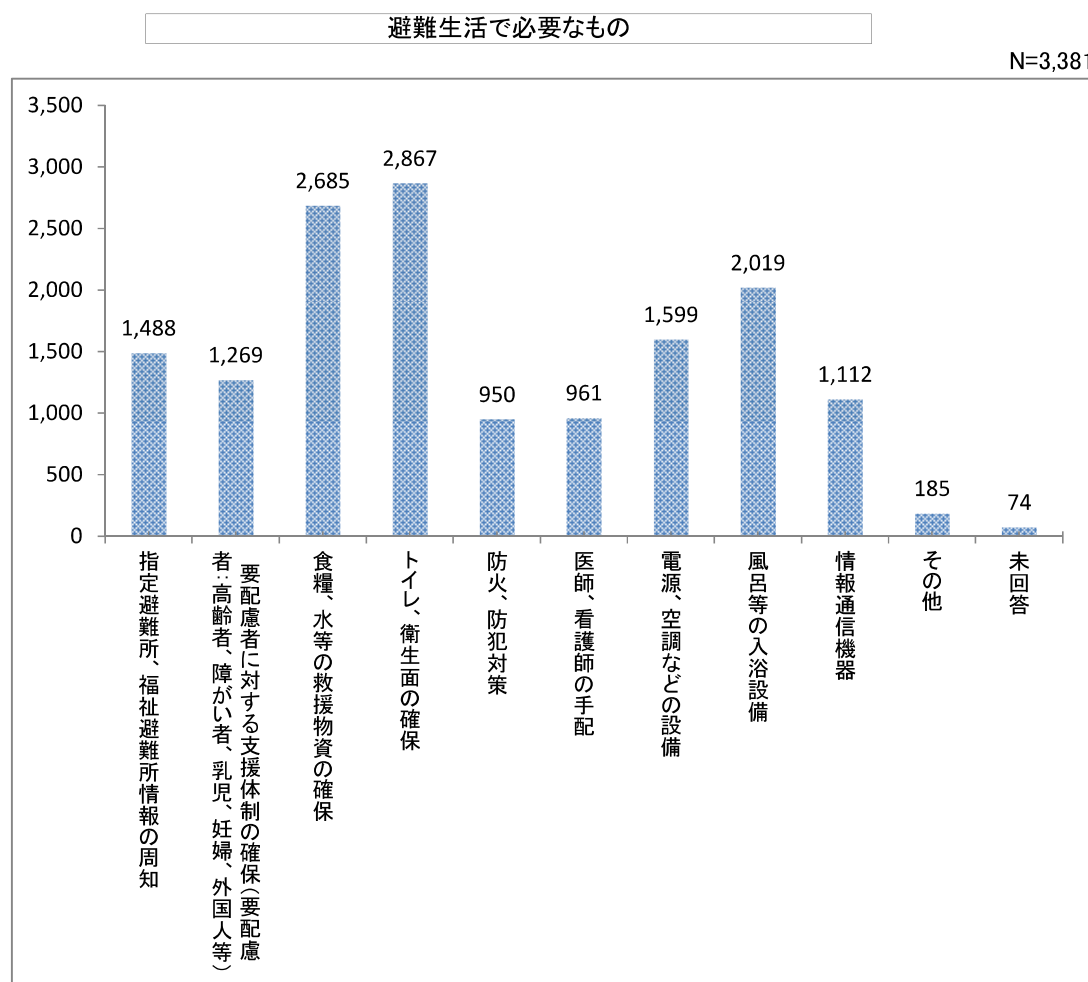
自宅が安全で、避難する必要がないと思ったから	77	77.0%
どこに向かえばよいのか分からなかったから	8	8.0%
病人や体が不自由な家族がいて、避難するのが困難だったから	7	7.0%
避難所までの移動が困難だったから	0	0.0%
避難しようとした施設に避難者が殺到して避難できないと思ったから	12	12.0%
避難しようとした施設が損壊しており、危ないと思ったから	0	0.0%
その他	20	20.0%
※仕事のため・職場にいたから	2	2.0%
未回答	3	3.0%
回答計	127	

自宅が損壊した方のうち、避難をしなかった、出来なかった理由には、大きな揺れを感じた地域に限定した郵送調査の方が「避難しようとした施設に避難者が殺到して避難できないと思った」方の割合が多い。

調査結果

問26 今後、避難生活を行う必要が生じた場合に、あってほしいものは何ですか。(複数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。



N=3,381

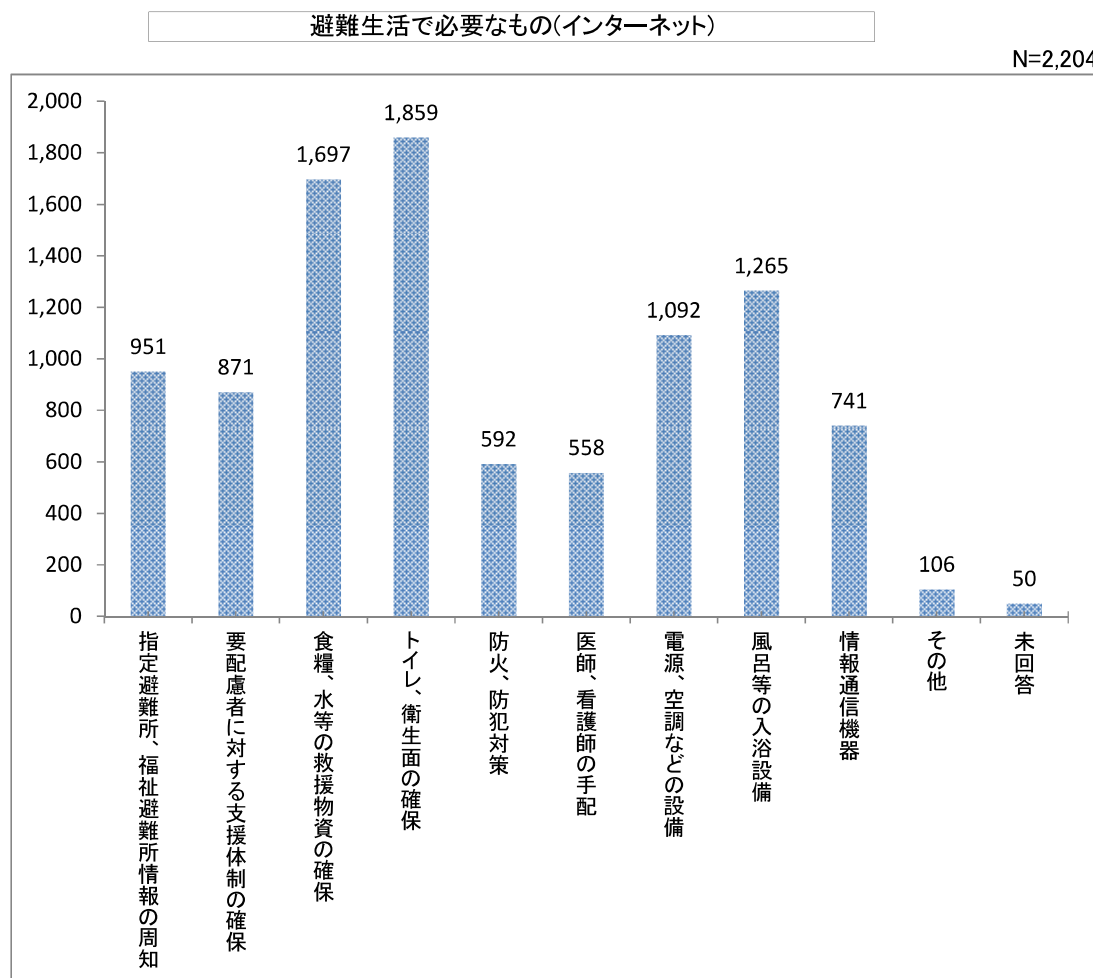
指定避難所、福祉避難所情報の周知	1,488	44.0%
要配慮者に対する支援体制の確保 (要配慮者:高齢者、障がい者、乳児、妊婦、外国人等)	1,269	37.5%
食糧、水等の救援物資の確保	2,685	79.4%
トイレ、衛生面の確保	2,867	84.8%
防火、防犯対策	950	28.1%
医師、看護師の手配	961	28.4%
電源、空調などの設備	1,599	47.3%
風呂等の入浴設備	2,019	59.7%
情報通信機器	1,112	32.9%
その他	185	5.5%
未回答	74	2.2%
回答計	15,209	

避難生活を行う上で必要なものは、第1位「トイレ、衛生面の確保」(2,867件,84.8%)、第2位「食糧、水等の救援物資の確保」(2,683件,79.4%)、第3位「風呂等の入浴設備」(2,019件,59.7%)の順に多くっており、衛生面に関する要請が高い。

調査結果

【参考】問26 今後、避難生活を行う必要が生じた場合に、あってほしいものは何ですか。
(複数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

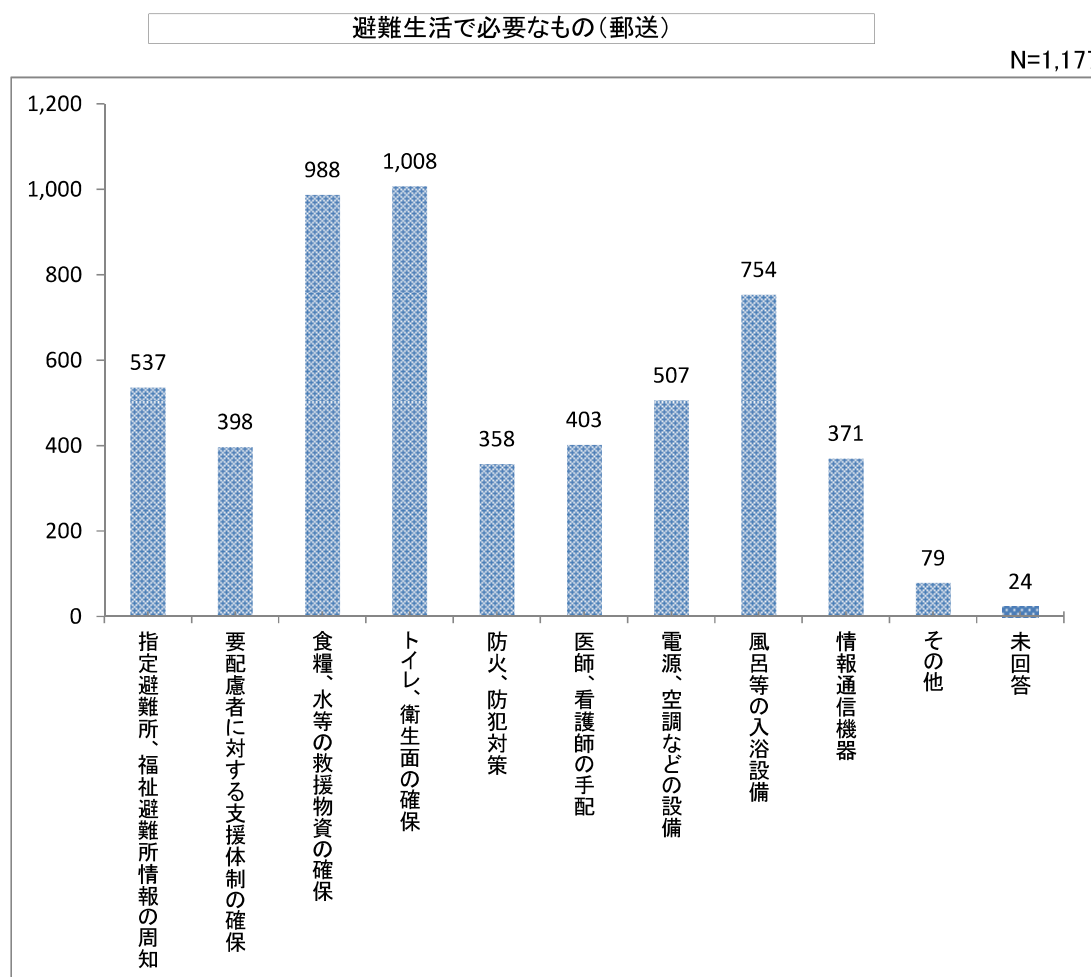


N=2,204		
指定避難所、福祉避難所情報の周知	951	43.1%
要配慮者に対する支援体制の確保	871	39.5%
食糧、水等の救援物資の確保	1,697	77.0%
トイレ、衛生面の確保	1,859	84.3%
防火、防犯対策	592	26.9%
医師、看護師の手配	558	25.3%
電源、空調などの設備	1,092	49.5%
風呂等の入浴設備	1,265	57.4%
情報通信機器	741	33.6%
その他	106	4.8%
未回答	50	2.3%
回答計	9,782	

調査結果

【参考】問26 今後、避難生活を行う必要が生じた場合に、あってほしいものは何ですか。
(複数回答)

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。



N=1,177

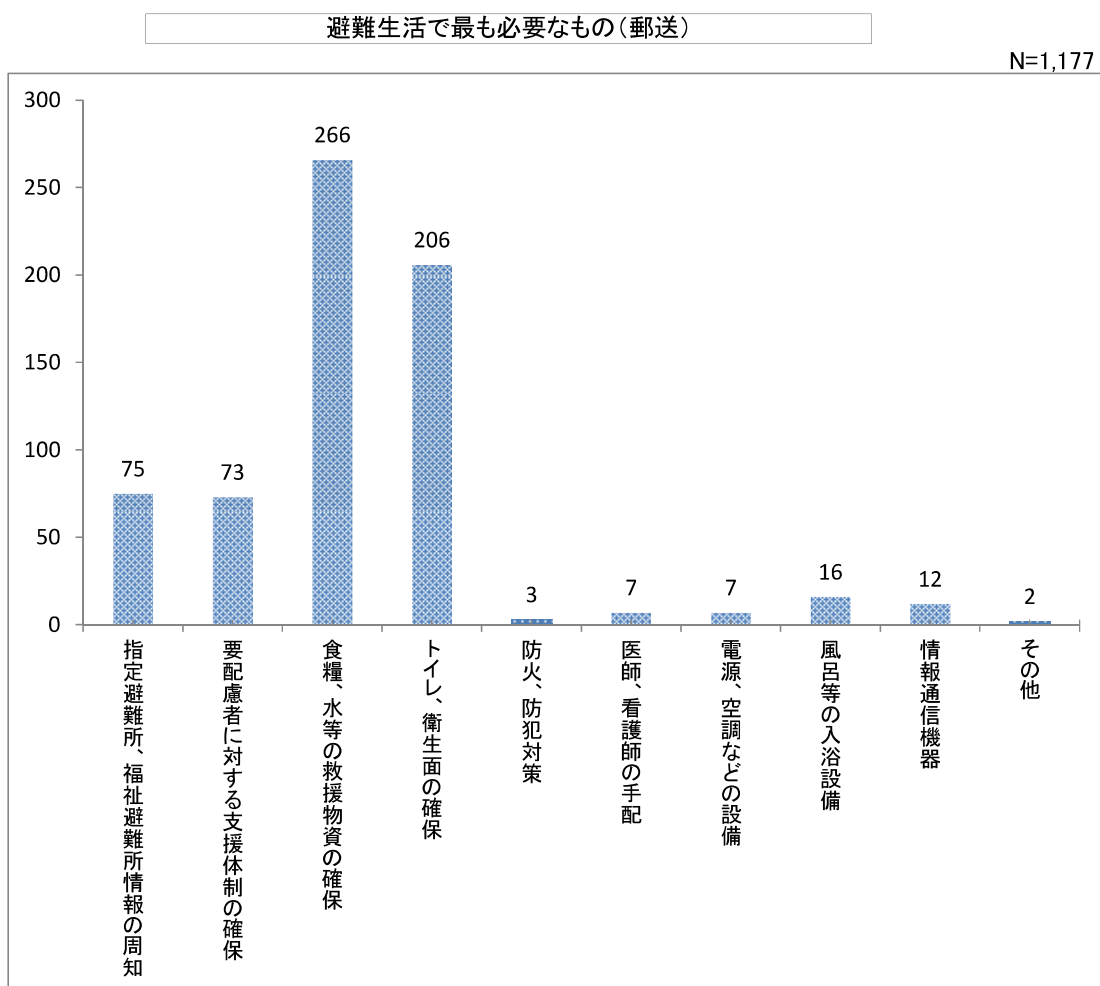
指定避難所、福祉避難所情報の周知	537	45.6%
要配慮者に対する支援体制の確保	398	33.8%
食糧、水等の救援物資の確保	988	83.9%
トイレ、衛生面の確保	1,008	85.6%
防火、防犯対策	358	30.4%
医師、看護師の手配	403	34.2%
電源、空調などの設備	507	43.1%
風呂等の入浴設備	754	64.1%
情報通信機器	371	31.5%
その他	79	6.7%
未回答	24	2.0%
回答計	5,427	

避難生活に必要なものは、インターネット調査、郵送調査ともに大きな差はない。

調査結果

問26 今後、避難生活を行う必要が生じた場合に、あってほしいものは何ですか。(複数回答)

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。



	N=1,177	
指定避難所、福祉避難所情報の周知	75	6.4%
要配慮者に対する支援体制の確保	73	6.2%
食糧、水等の救援物資の確保	266	22.6%
トイレ、衛生面の確保	206	17.5%
防火、防犯対策	3	0.3%
医師、看護師の手配	7	0.6%
電源、空調などの設備	7	0.6%
風呂等の入浴設備	16	1.4%
情報通信機器	12	1.0%
その他	2	0.2%
回答計	667	

調査結果

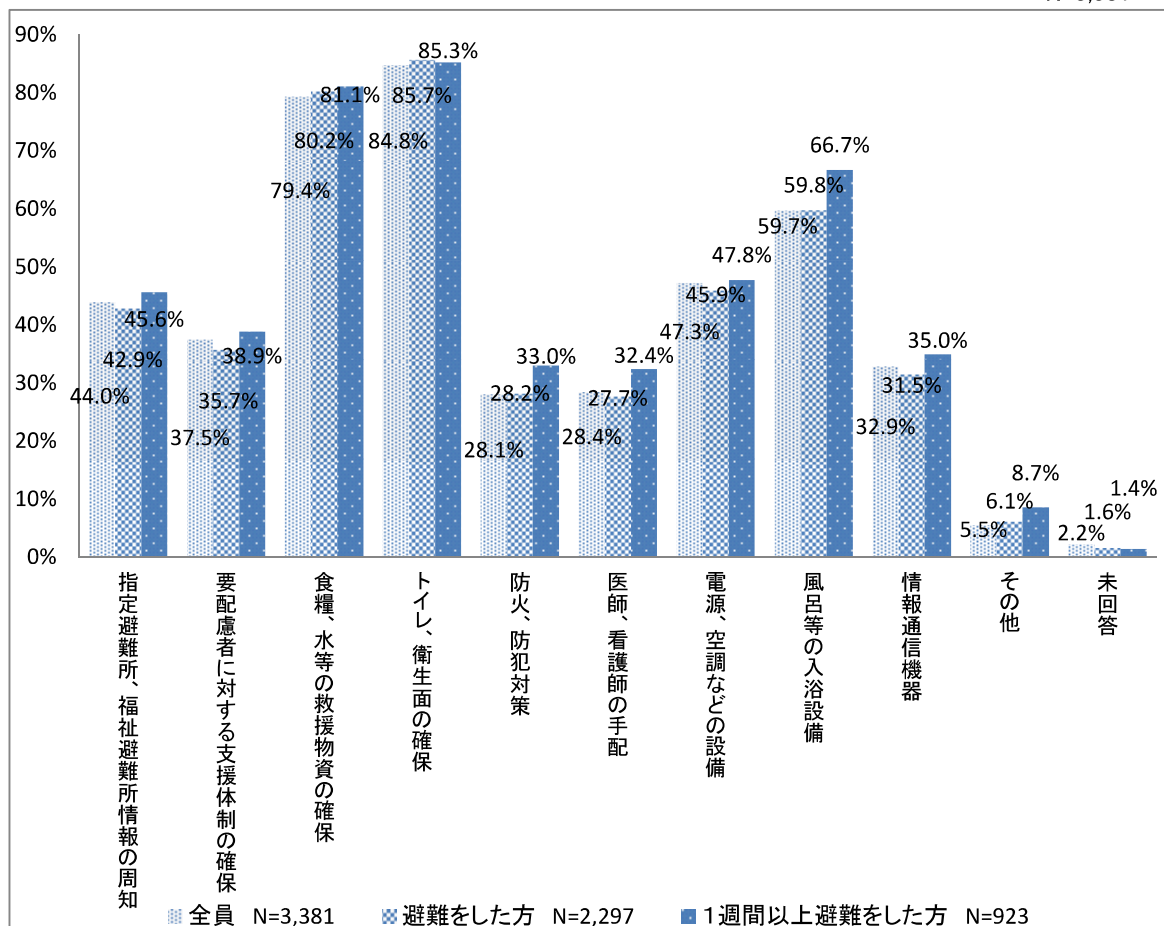
問26 今後、避難生活を行う必要が生じた場合に、あってほしいものは何ですか。(複数回答)

○避難期間ごとの避難生活に必要なもの(問26×問17(避難期間)クロス集計)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

避難生活で必要もの<避難期間毎>

N=3,381



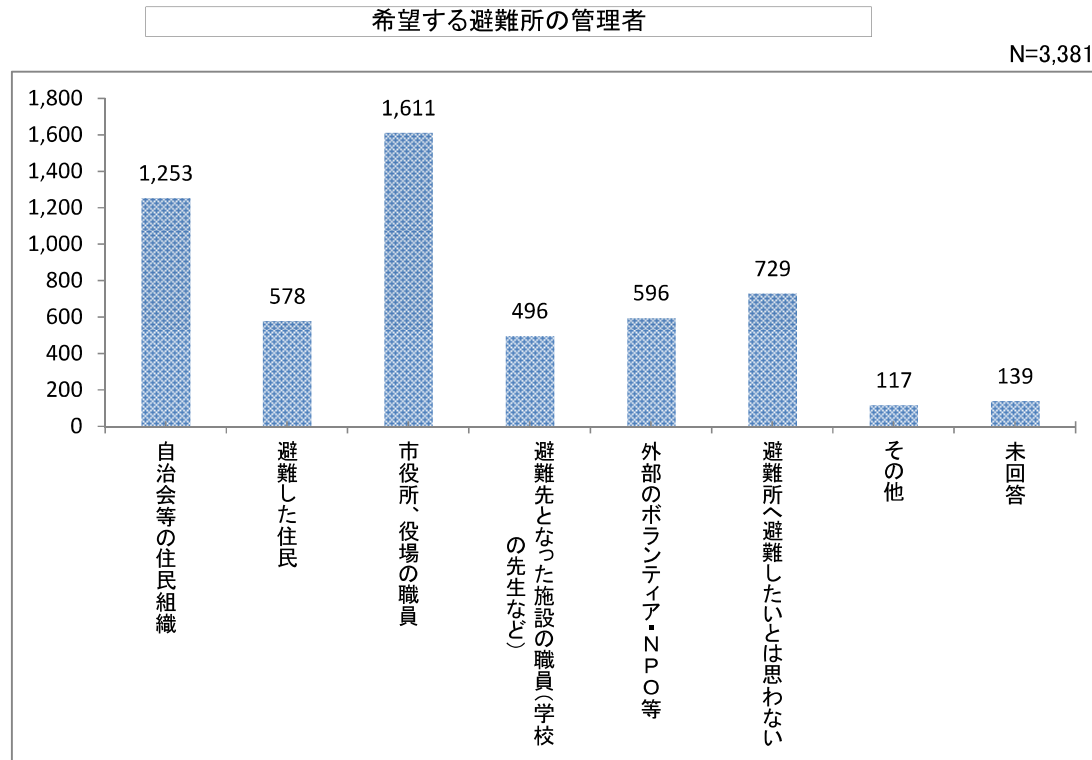
	全員(N=3,381)		避難をした方(N=2,297)		1週間以上避難をした方(N=923)	
指定避難所、福祉避難所情報の周知	1,488	44.0%	987	43.0%	422	45.7%
要配慮者に対する支援体制の確保	1,269	37.5%	821	35.7%	359	38.9%
食糧、水等の救援物資の確保	2,685	79.4%	1,845	80.3%	750	81.3%
トイレ、衛生面の確保	2,867	84.8%	1,968	85.7%	787	85.3%
防火、防犯対策	950	28.1%	647	28.2%	305	33.0%
医師、看護師の手配	961	28.4%	637	27.7%	299	32.4%
電源、空調などの設備	1,599	47.3%	1,055	45.9%	441	47.8%
風呂等の入浴設備	2,019	59.7%	1,374	59.8%	616	66.7%
情報通信機器	1,112	32.9%	723	31.5%	323	35.0%
その他	185	5.5%	141	6.1%	80	8.7%
未回答	74	2.2%	37	1.6%	13	1.4%
回答計	15,209		10,235		4,395	

避難生活を行う上で必要なものは、避難の有無、避難期間によって大きな差はなかったが、総じて避難期間が延びるにつれて各物品を必要と感じる割合も高くなる。

調査結果

問27 今後、避難生活を行う必要が生じた場合に、誰が管理・運営する避難所へ避難したいと思いますか。(複数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。



N=3,381

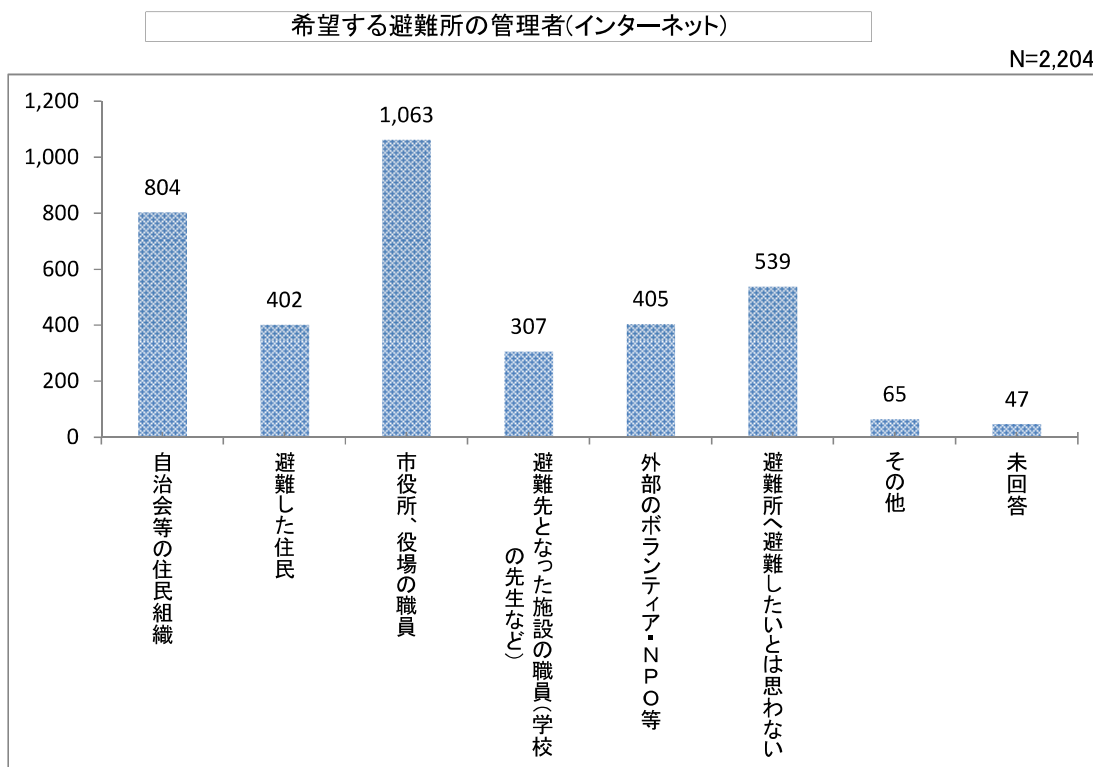
自治会等の住民組織	1,253	37.1%
避難した住民	578	17.1%
市役所、役場の職員	1,611	47.6%
避難先となった施設の職員(学校の先生など)	496	14.7%
外部のボランティア・NPO等	596	17.6%
避難所へ避難したいとは思わない	729	21.6%
その他	117	3.5%
未回答	139	4.1%
回答計	5,519	

避難を行う必要がある場合の希望する管理者は「市役所、役場の職員」が47.6%で最も多くなっており、「自治会等の住民組織」が37.1%で続いている。

調査結果

【参考】問27 今後、避難生活を行う必要が生じた場合に、誰が管理・運営する避難所へ避難したいと思いますか。(複数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。



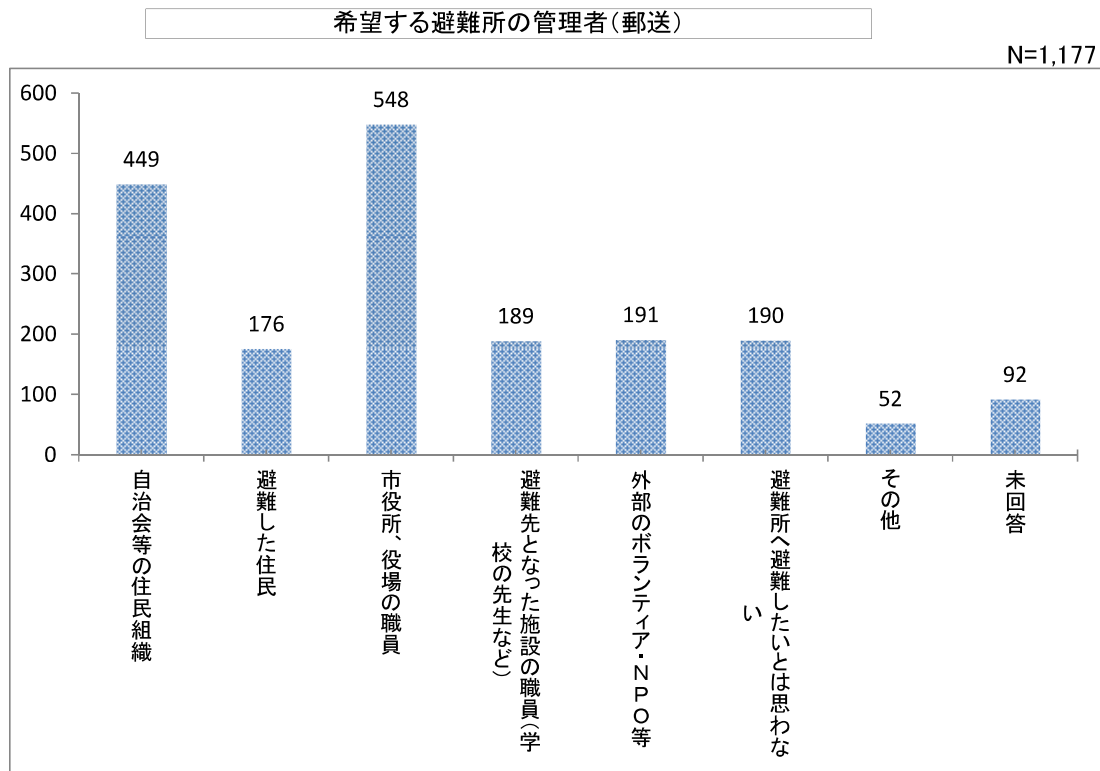
N=2,204

自治会等の住民組織	804	36.5%
避難した住民	402	18.2%
市役所、役場の職員	1,063	48.2%
避難先となった施設の職員(学校の先生など)	307	13.9%
外部のボランティア・NPO等	405	18.4%
避難所へ避難したいとは思わない	539	24.5%
その他	65	2.9%
未回答	47	2.1%
回答計	3,632	

調査結果

【参考】問27 今後、避難生活を行う必要が生じた場合に、誰が管理・運営する避難所へ避難したいと思いますか。(複数回答)

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。



N=1,177

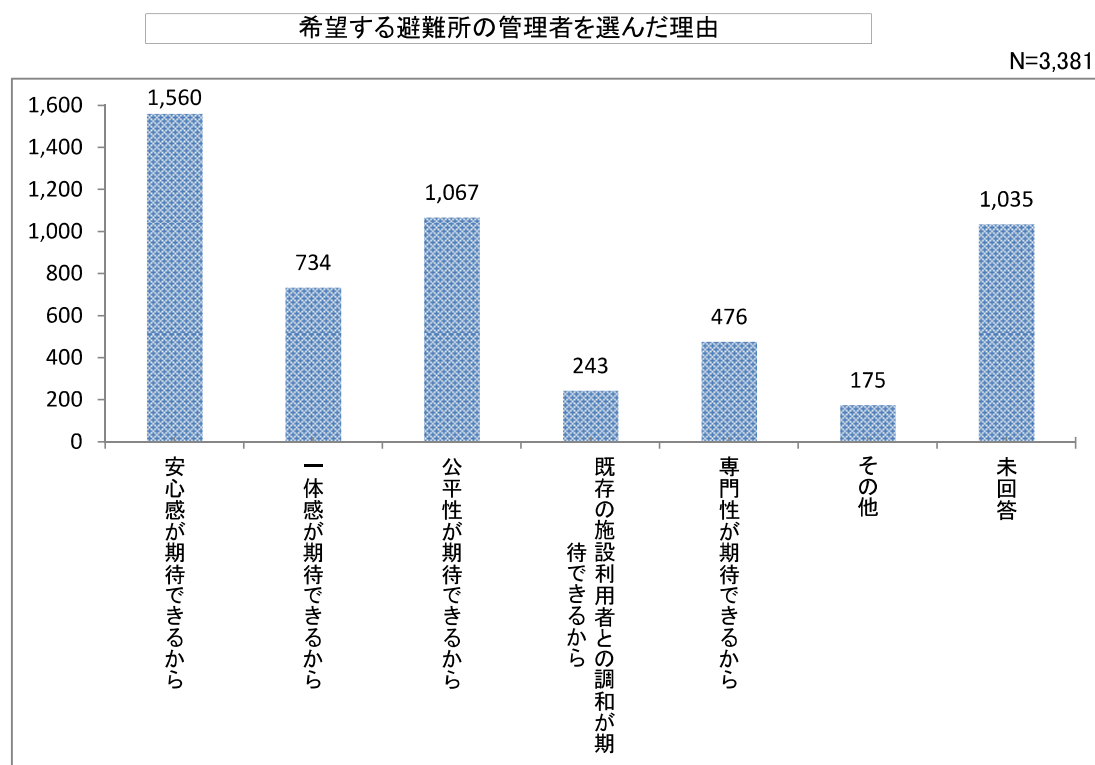
自治会等の住民組織	449	38.1%
避難した住民	176	15.0%
市役所、役場の職員	548	46.6%
避難先となった施設の職員(学校の先生など)	189	16.1%
外部のボランティア・NPO等	191	16.2%
避難所へ避難したいとは思わない	190	16.1%
その他	52	4.4%
未回答	92	7.8%
回答計	1,887	

避難を行うにある場合に希望する管理者は、インターネット調査、郵送調査ともに大きな差はない。

調査結果

問28 その理由について教えてください。(複数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。



N=3,381

安心感が期待できるから	1,560	46.1%
一体感が期待できるから	734	21.7%
公平性が期待できるから	1,067	31.6%
既存の施設利用者との調和が期待できるから	243	7.2%
専門性が期待できるから	476	14.1%
その他	175	5.2%
未回答	1,035	30.6%
回答計	5,290	

避難を行う必要がある場合の希望する管理者は、「安心感が期待できるから」が46.1%(1,560件)で最も多くなっており、「公平性が期待できるから」が31.6%(1,067件)、「一体感が期待できるから」21.7%(734件)が続いている。

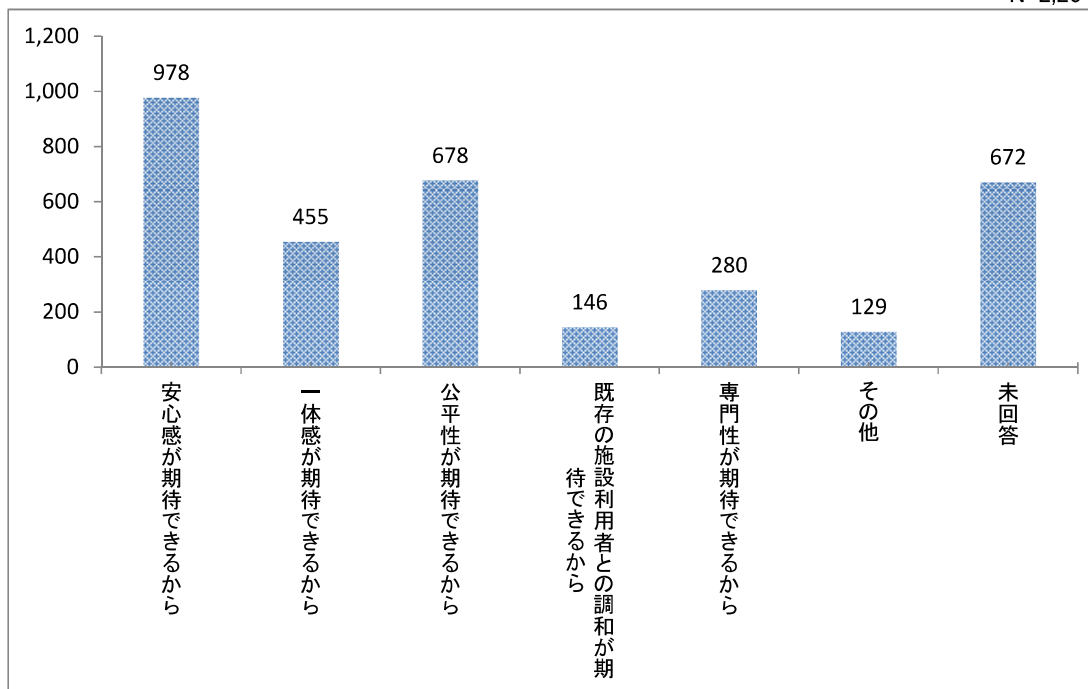
調査結果

【参考】問28 その理由について教えてください。(複数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

希望する避難所の管理者の理由(インターネット)

N=2,204



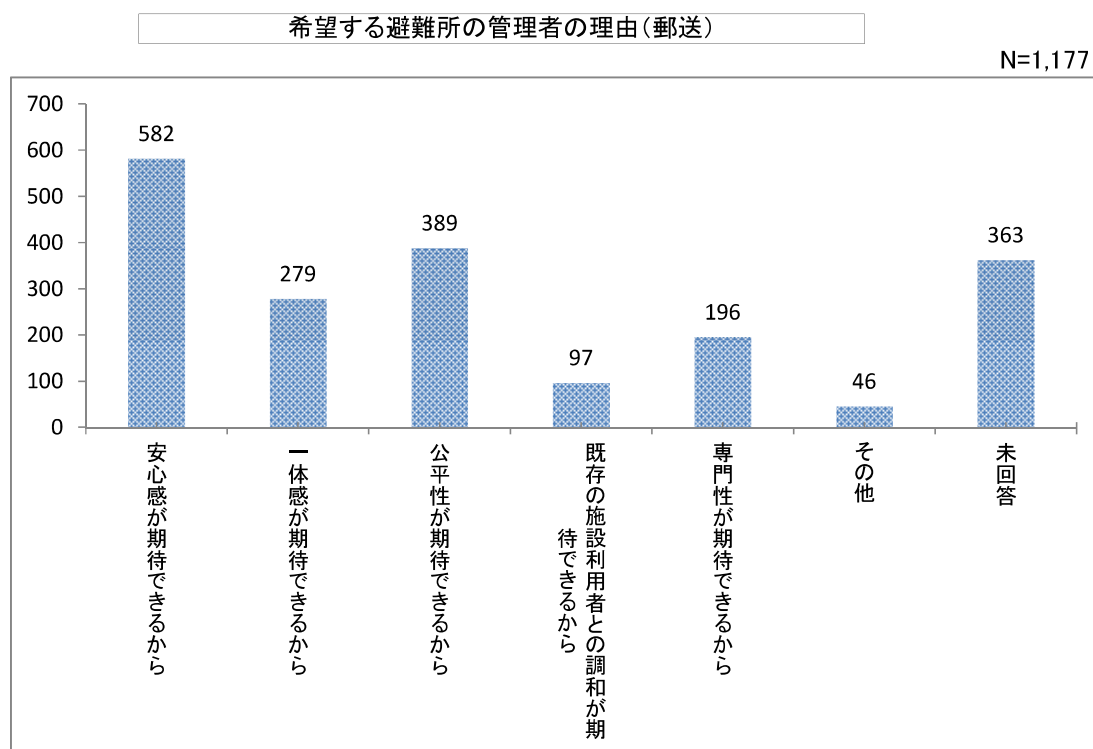
N=2,204

安心感が期待できるから	978	44.4%
一体感が期待できるから	455	20.6%
公平性が期待できるから	678	30.8%
既存の施設利用者との調和が期待できるから	146	6.6%
専門性が期待できるから	280	12.7%
その他	129	5.9%
未回答	672	30.5%
回答計	3,338	

調査結果

【参考】問28 その理由について教えてください。(複数回答)

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。



N=1,177

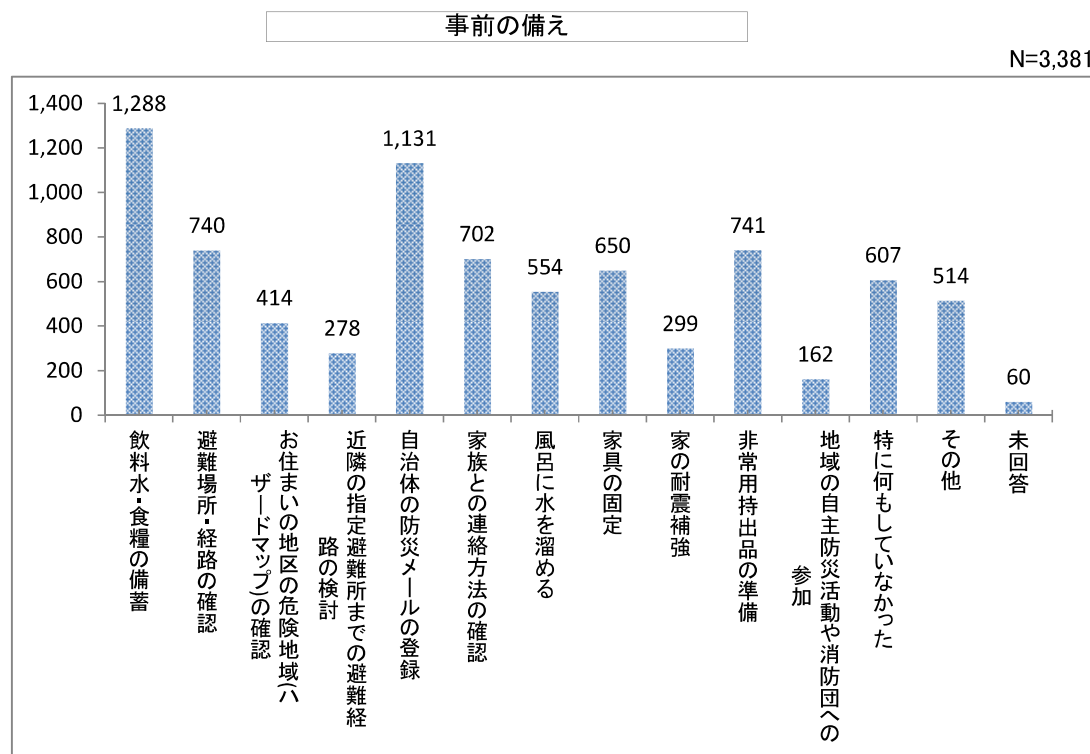
安心感が期待できるから	582	49.4%
一体感が期待できるから	279	23.7%
公平性が期待できるから	389	33.1%
既存の施設利用者との調和が期待できるから	97	8.2%
専門性が期待できるから	196	16.7%
その他	46	3.9%
未回答	363	30.8%
回答計	1,952	

避難を行うにある場合に希望する管理者を選んだ理由は、インターネット調査、郵送調査ともに大きな差はない。

調査結果

問29 事前に地震の備えとして何を行っていましたか。(複数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。



N=3,381

飲料水・食糧の備蓄	1,288	38.1%
避難場所・経路の確認	740	21.9%
お住まいの地区の危険地域(ハザードマップ)の確認	414	12.2%
近隣の指定避難所までの避難経路の検討	278	8.2%
自治体の防災メールの登録	1,131	33.5%
家族との連絡方法の確認	702	20.8%
風呂に水を溜める	554	16.4%
家具の固定	650	19.2%
家の耐震補強	299	8.8%
非常用持出品の準備	741	21.9%
地域の自主防災活動や消防団への参加	162	4.8%
特に何もしていなかった	607	18.0%
その他	514	15.2%
未回答	60	1.8%
回答計	8,140	

震災前、事前に備えていたことは、第1位「飲料水・食糧の備蓄」(1,288件,38.1%)、第2位「自治体の防災メールの登録」(1,131件,33.5%)、第3位「非常用持出品の準備」(741件,21.9%)の順に多い。

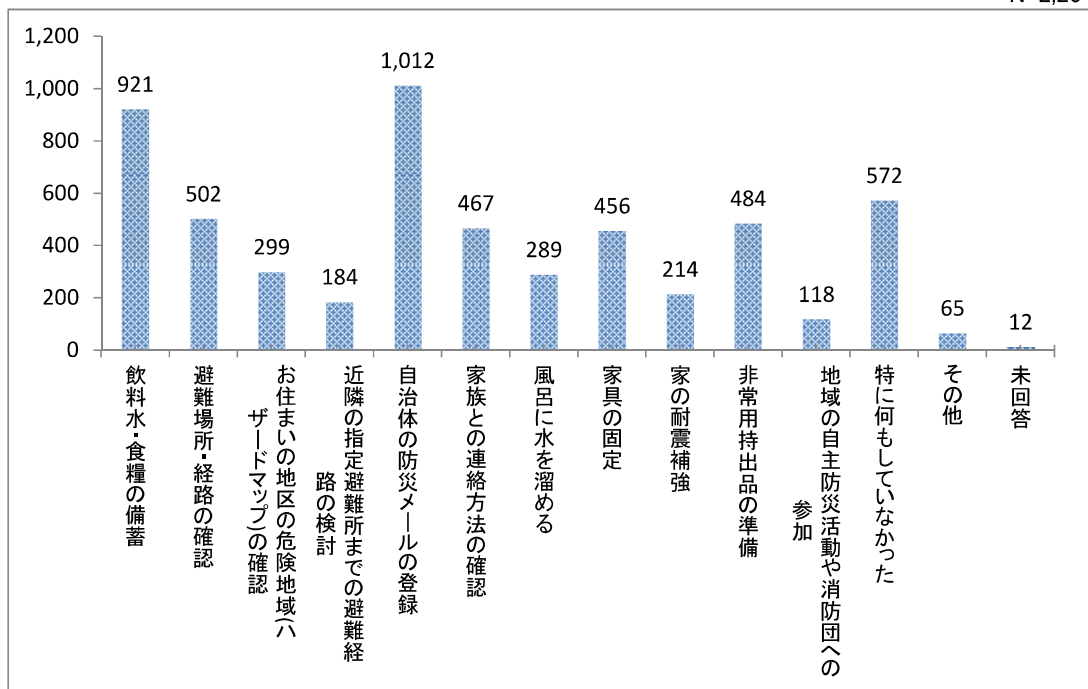
調査結果

【参考】問29 事前に地震の備えとして何を行っていましたか。(複数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

事前の備え(インターネット)

N=2,204



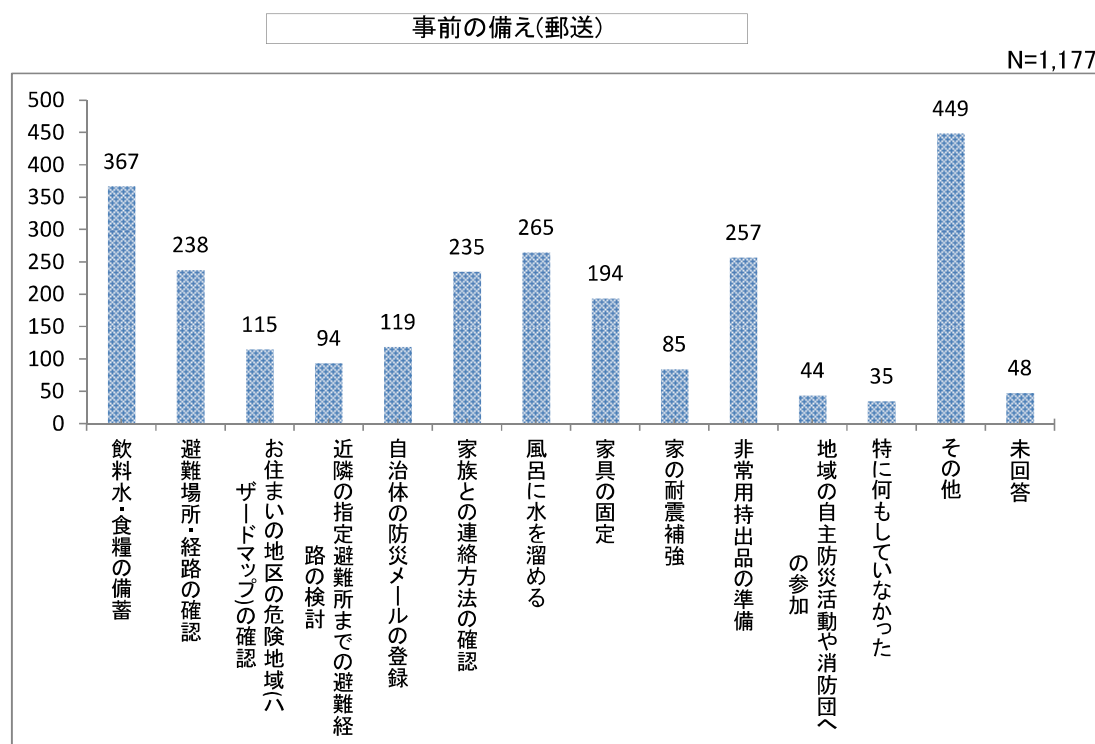
N=2,204

飲料水・食糧の備蓄	921	41.8%
避難場所・経路の確認	502	22.8%
お住まいの地区の危険地域(ハザードマップ)の確認	299	13.6%
近隣の指定避難所までの避難経路の検討	184	8.3%
自治体の防災メールの登録	1,012	45.9%
家族との連絡方法の確認	467	21.2%
風呂に水を溜める	289	13.1%
家具の固定	456	20.7%
家の耐震補強	214	9.7%
非常用持出品の準備	484	22.0%
地域の自主防災活動や消防団への参加	118	5.4%
特に何もしていなかった	572	26.0%
その他	65	2.9%
未回答	12	0.5%
回答計	5,595	

調査結果

【参考】問29 事前に地震の備えとして何を行っていましたか。(複数回答)

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。



N=1,177

飲料水・食糧の備蓄	367	31.2%
避難場所・経路の確認	238	20.2%
お住まいの地区の危険地域(ハザードマップ)の確認	115	9.8%
近隣の指定避難所までの避難経路の検討	94	8.0%
自治体の防災メールの登録	119	10.1%
家族との連絡方法の確認	235	20.0%
風呂に水を溜める	265	22.5%
家具の固定	194	16.5%
家の耐震補強	85	7.2%
非常用持出品の準備	257	21.8%
地域の自主防災活動や消防団への参加	44	3.7%
特に何もしていなかった	35	3.0%
その他	449	38.1%
未回答	48	4.1%
回答計	2,545	

インターネット調査の方が「自治体の防災メールの登録」や「飲料水・食料の備蓄」などの事前の備えを行っていた割合が高い。

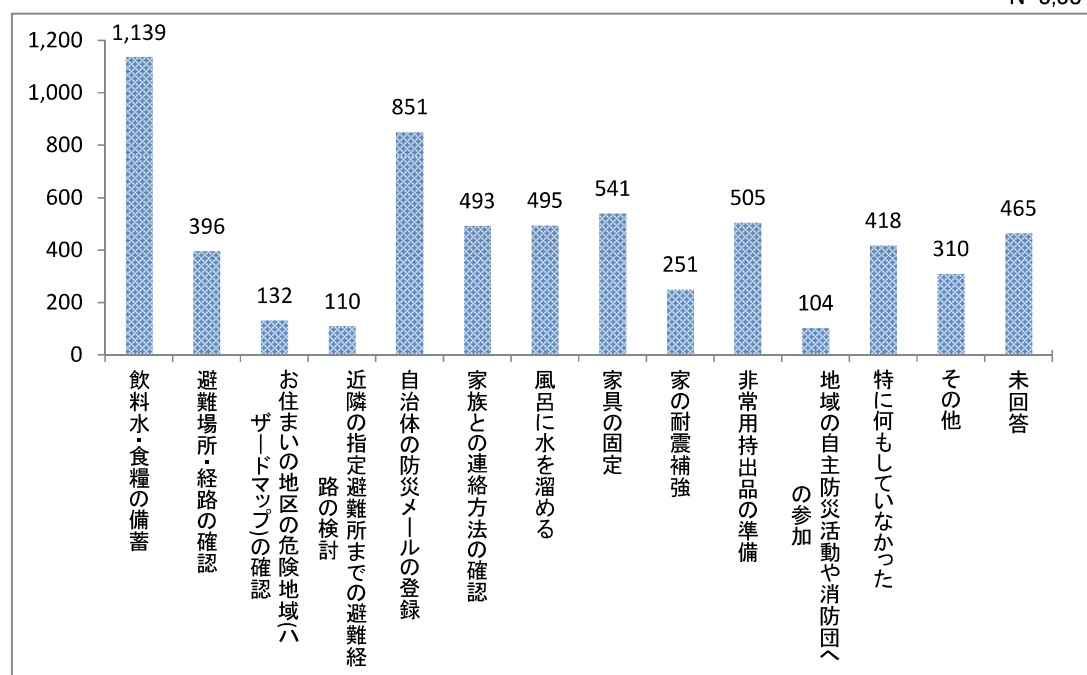
調査結果

問30 問29のうち、役に立ったことはありますか。(複数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

事前の備えのうち役に立ったこと

N=3,381



N=3,381

飲料水・食糧の備蓄	1,139	33.7%
避難場所・経路の確認	396	11.7%
お住まいの地区の危険地域(ハザードマップ)の確認	132	3.9%
近隣の指定避難所までの避難経路の検討	110	3.3%
自治体の防災メールの登録	851	25.2%
家族との連絡方法の確認	493	14.6%
風呂に水を溜める	495	14.6%
家具の固定	541	16.0%
家の耐震補強	251	7.4%
非常用持出品の準備	505	14.9%
地域の自主防災活動や消防団への参加	104	3.1%
特に何もしていなかった	418	12.4%
その他	310	9.2%
未回答	465	13.8%
回答計	6210	

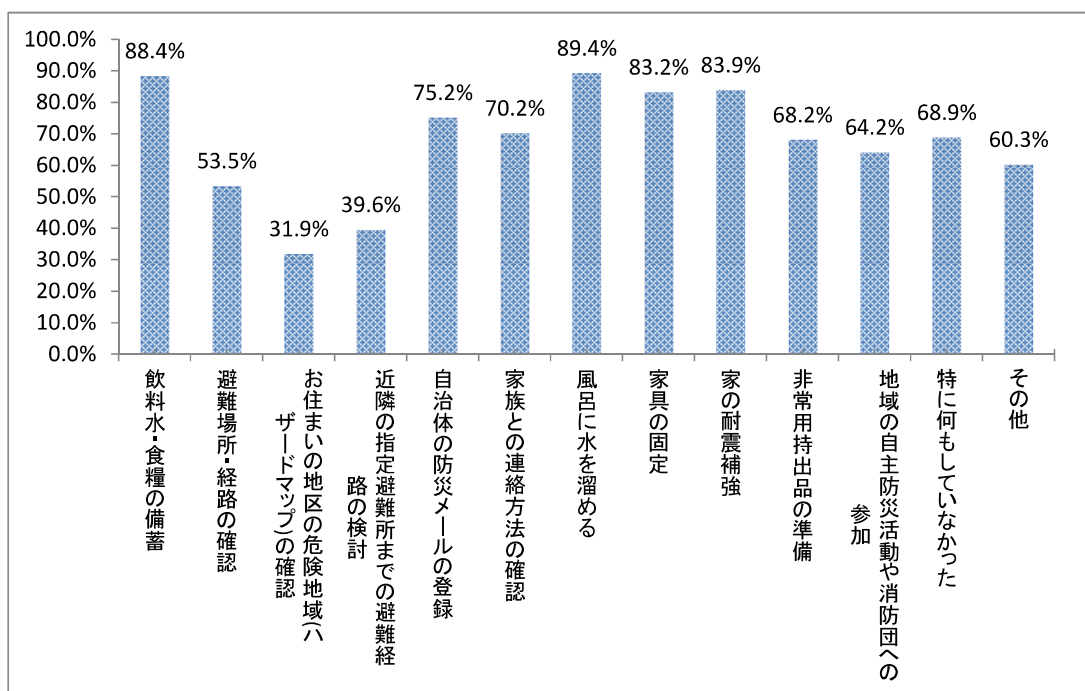
調査結果

問30 問29のうち、役に立ったことはありますか。(複数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

事前の備えのうち役に立ったこと<割合>

N=問29で事前に各備えを行っていた人数



	①	②	③
飲料水・食糧の備蓄	1,288	1,139	88.4%
避難場所・経路の確認	740	396	53.5%
お住まいの地区の危険地域(ハザードマップ)の確認	414	132	31.9%
近隣の指定避難所までの避難経路の検討	278	110	39.6%
自治体の防災メールの登録	1,131	851	75.2%
家族との連絡方法の確認	702	493	70.2%
風呂に水を溜める	554	495	89.4%
家具の固定	650	541	83.2%
家の耐震補強	299	251	83.9%
非常用持出品の準備	741	505	68.2%
地域の自主防災活動や消防団への参加	162	104	64.2%
特に何もしていなかった	607	418	68.9%
その他	514	310	60.3%
回答計	8,080	5,745	

※①=問29の回答者数

②=問30の回答者数

③=事前の備えが役に立った割合(②/①)

震災前の備えのうち、第1位「風呂に水を溜める」(89.4%)、第2位「飲料水・食糧の備蓄」(88.4%)、第3位「家の耐震補強」(83.9%)、第4位「家具の固定」(83.2%)が8割以上の方が実際に役に立ったと感じている。

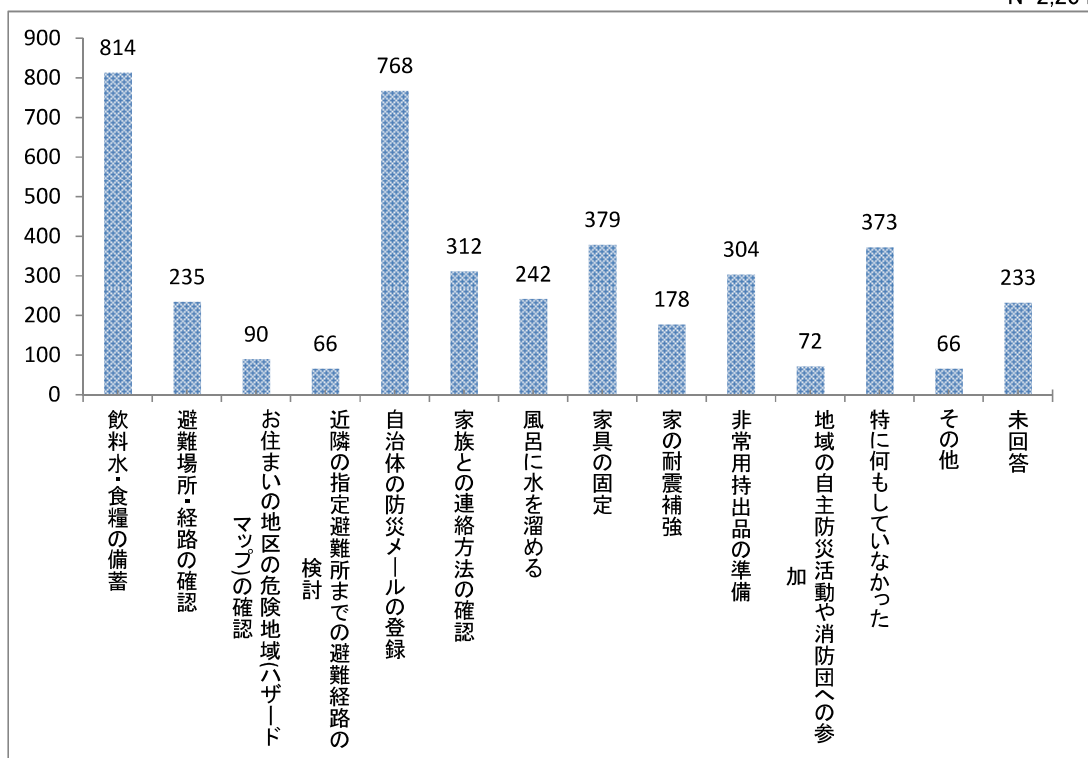
調査結果

【参考】問30 問29のうち、役に立ったことはありますか。(複数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

事前の備えのうち役に立ったこと(インターネット)

N=2,204



N=2,204

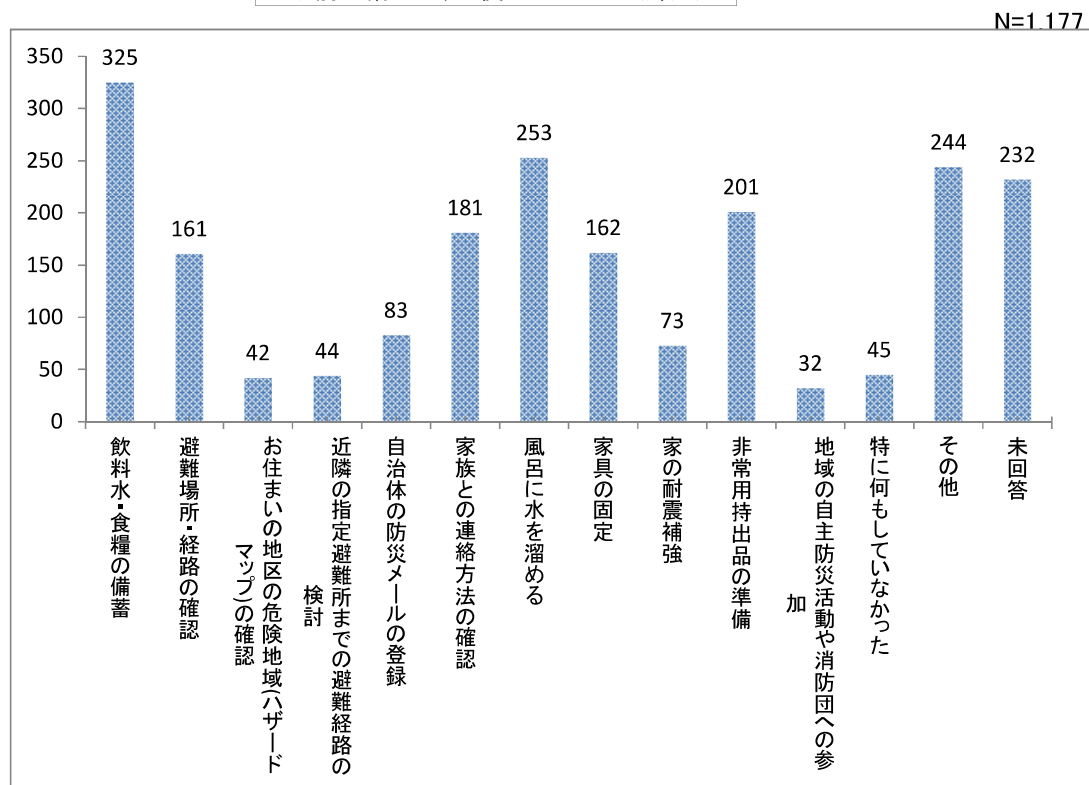
飲料水・食糧の備蓄	814
避難場所・経路の確認	235
お住まいの地区の危険地域(ハザードマップ)の確認	90
近隣の指定避難所までの避難経路の検討	66
自治体の防災メールの登録	768
家族との連絡方法の確認	312
風呂に水を溜める	242
家具の固定	379
家の耐震補強	178
非常用持出品の準備	304
地域の自主防災活動や消防団への参加	72
特に何もしていなかった	373
その他	66
未回答	233
回答計	4,132

調査結果

【参考】問30 問29のうち、役に立ったことはありますか。(複数回答)

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。

事前の備えのうち役に立ったこと(郵送)



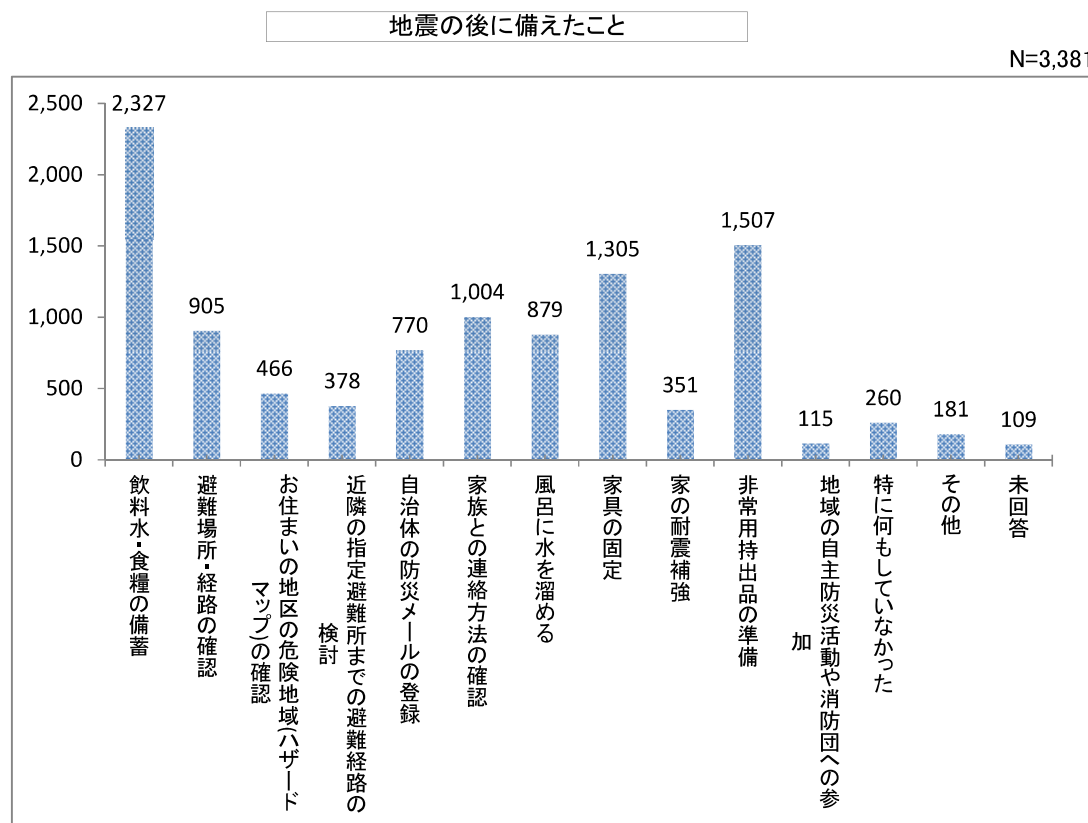
N=1,177	
飲料水・食糧の備蓄	325
避難場所・経路の確認	161
お住まいの地区の危険地域(ハザードマップ)の確認	42
近隣の指定避難所までの避難経路の検討	44
自治体の防災メールの登録	83
家族との連絡方法の確認	181
風呂に水を溜める	253
家具の固定	162
家の耐震補強	73
非常用持出品の準備	201
地域の自主防災活動や消防団への参加	32
特に何もしていなかった	45
その他	244
未回答	232
回答計	2,078

事前の備えのうち、役に立ったことはインターネットアンケートの方が「飲料水・食料の備蓄」、「自治体の防災メールの登録」がより役に立ったと考える人が多い。

調査結果

問31 地震の後、今後の災害への備えとして何を行いましたか。地震の前から備えているものも含めて教えてください。(複数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。



N=3,381

飲料水・食糧の備蓄	2,327	68.8%
避難場所・経路の確認	905	26.8%
お住まいの地区の危険地域(ハザードマップ)の確認	466	13.8%
近隣の指定避難所までの避難経路の検討	378	11.2%
自治体の防災メールの登録	770	22.8%
家族との連絡方法の確認	1,004	29.7%
風呂に水を溜める	879	26.0%
家具の固定	1,305	38.6%
家の耐震補強	351	10.4%
非常用持出品の準備	1,507	44.6%
地域の自主防災活動や消防団への参加	115	3.4%
特に何もしていなかった	260	7.7%
その他	181	5.4%
未回答	109	3.2%
回答計	10,557	

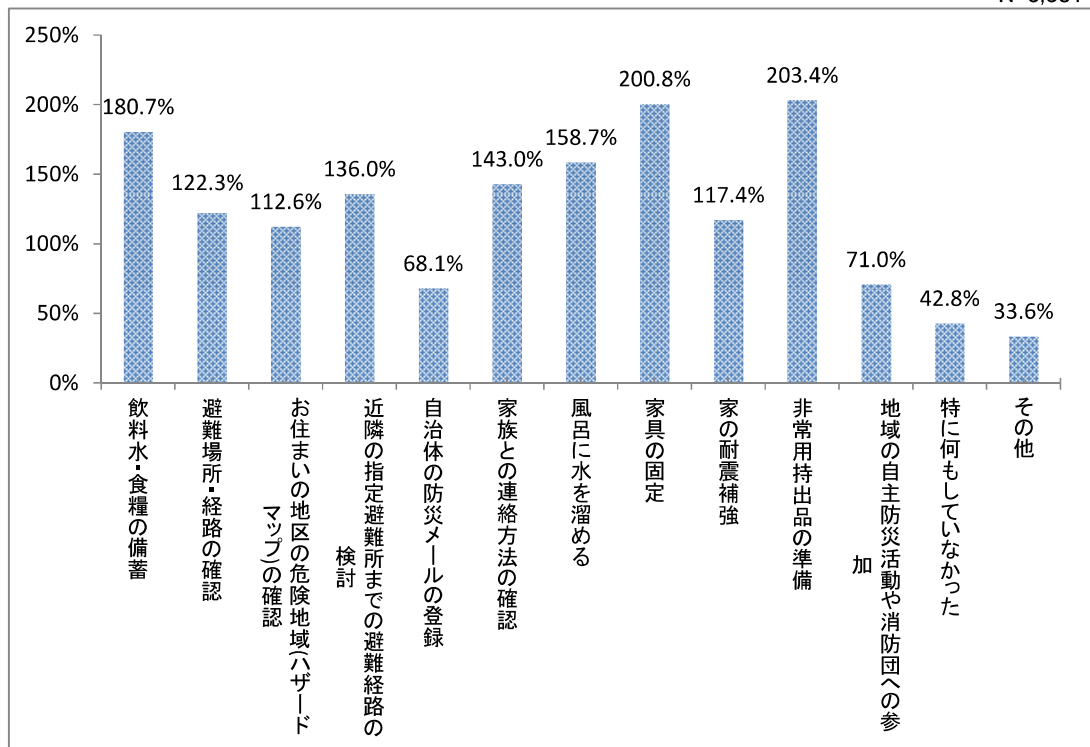
調査結果

問31 地震の後、今後の災害への備えとして何を行いましたか。地震の前から備えているものも含めて教えてください。(複数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

地震の後に備えたこと＜増加率＞

N=3,381



○地震の前と地震の後の備えの増減(割合)

	①	②	③
飲料水・食糧の備蓄	1,288	2,327	180.7%
避難場所・経路の確認	740	905	122.3%
お住まいの地区の危険地域(ハザードマップ)の確認	414	466	112.6%
近隣の指定避難所までの避難経路の検討	278	378	136.0%
自治体の防災メールの登録	1,131	770	68.1%
家族との連絡方法の確認	702	1,004	143.0%
風呂に水を溜める	554	879	158.7%
家具の固定	650	1,305	200.8%
家の耐震補強	299	351	117.4%
非常用持出品の準備	741	1,507	203.4%
地域の自主防災活動や消防団への参加	162	115	71.0%
特に何もしていなかった	607	260	42.8%
その他	514	181	35.2%
回答計	8,080	10,448	

※①=問29の回答者数

②=問31の回答者数

③=地震後の備えの増減率(②/①)

「飲料水・食糧の備蓄」は、地震の後に備えた方も含め68.8%(2,327件/3,381件)の方が備えている。また、「家具の固定」(202.3%)、非常用持出品の準備(200.9%)は2倍以上の方が備えをしている。

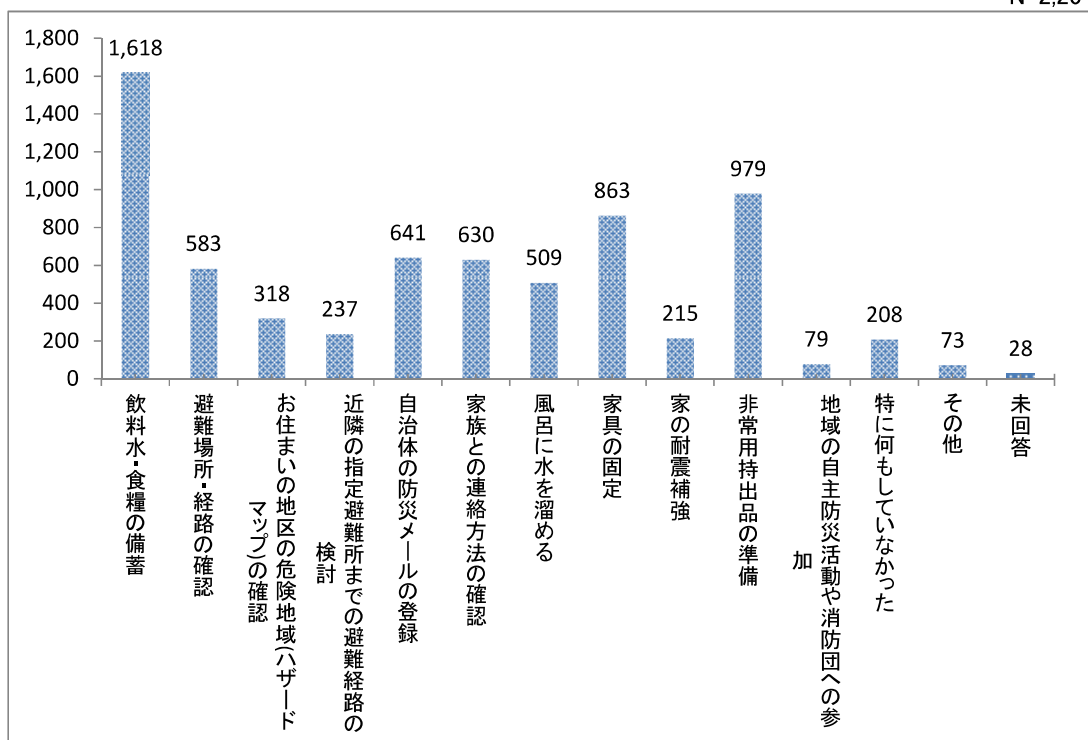
調査結果

【参考】問31 地震の後、今後の災害への備えとして何を行いましたか。地震の前から備えているものも含めて教えてください。(複数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

地震の後に備えたこと(インターネット)

N=2,204



N=2,204

飲料水・食糧の備蓄	1,618	73.4%
避難場所・経路の確認	583	26.5%
お住まいの地区の危険地域(ハザードマップ)の確認	318	14.4%
近隣の指定避難所までの避難経路の検討	237	10.8%
自治体の防災メールの登録	641	29.1%
家族との連絡方法の確認	630	28.6%
風呂に水を溜める	509	23.1%
家具の固定	863	39.2%
家の耐震補強	215	9.8%
非常用持出品の準備	979	44.4%
地域の自主防災活動や消防団への参加	79	3.6%
特に何もしていなかった	208	9.4%
その他	73	3.3%
未回答	28	1.3%
回答計	6,981	

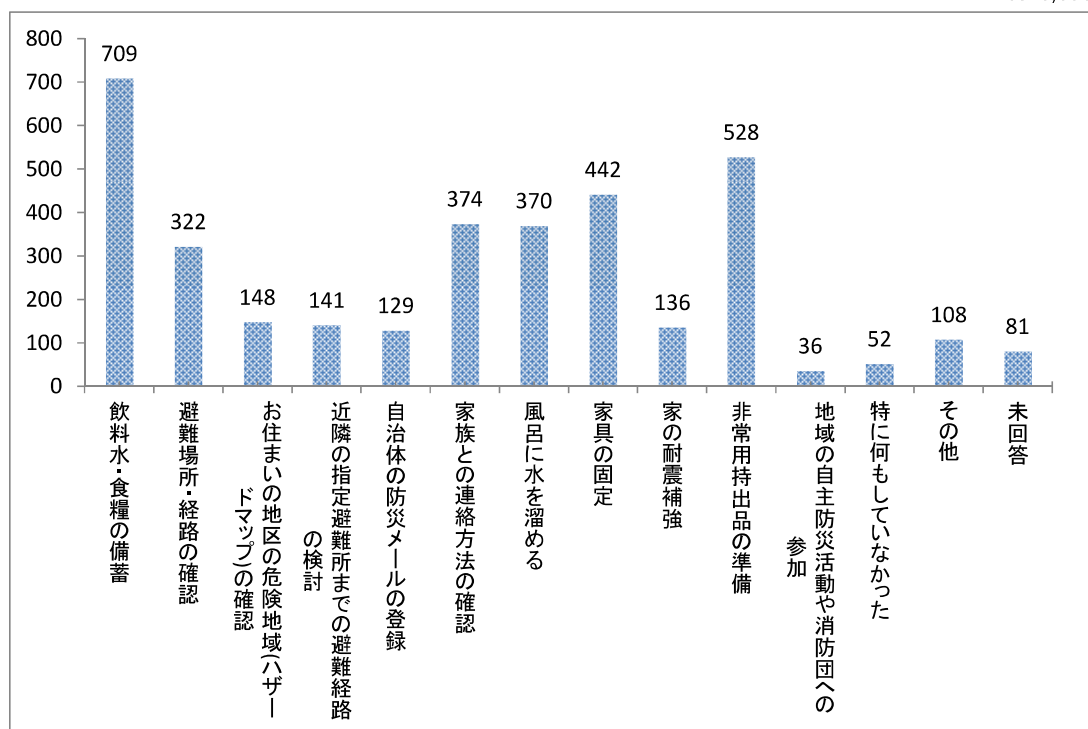
調査結果

【参考】問31 地震の後、今後の災害への備えとして何を行いましたか。地震の前から備えているものも含めて教えてください。(複数回答)

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。

地震の後に備えたこと(郵送)

N=1,177



N=1,177

飲料水・食糧の備蓄	709	60.2%
避難場所・経路の確認	322	27.4%
お住まいの地区の危険地域(ハザードマップ)の確認	148	12.6%
近隣の指定避難所までの避難経路の検討	141	12.0%
自治体の防災メールの登録	129	11.0%
家族との連絡方法の確認	374	31.8%
風呂に水を溜める	370	31.4%
家具の固定	442	37.6%
家の耐震補強	136	11.6%
非常用持出品の準備	528	44.9%
地域の自主防災活動や消防団への参加	36	3.1%
特に何もしていなかった	52	4.4%
その他	108	9.2%
未回答	81	6.9%
回答計	3,576	

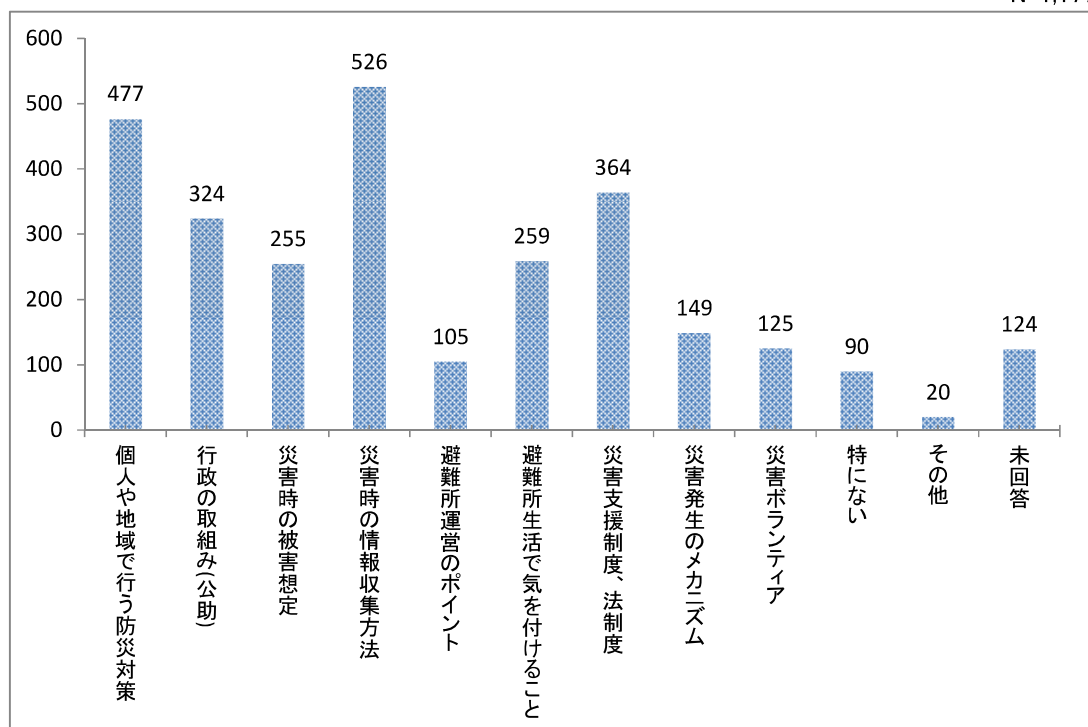
調査結果

問32 あなたが今後取得したい防災に関する知識は何ですか。(複数回答)

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。

取得したい防災に関する知識(郵送)

N=1,177



N=1,177

個人や地域で行う防災対策	477	40.5%
行政の取組み(公助)	324	27.5%
災害時の被害想定	255	21.7%
災害時の情報収集方法	526	44.7%
避難所運営のポイント	105	8.9%
避難所生活で気を付けること	259	22.0%
災害支援制度、法制度	364	30.9%
災害発生メカニズム	149	12.7%
災害ボランティア	125	10.6%
特にない	90	7.6%
その他	20	1.7%
未回答	124	10.5%
回答計	2,818	239.4%

今後取得したい防災に関する知識は「災害時の情報収取方法」が44.7%(526件)で最も多く、「個人や地域で行う防災対策」40.5%(477件)が続いた。

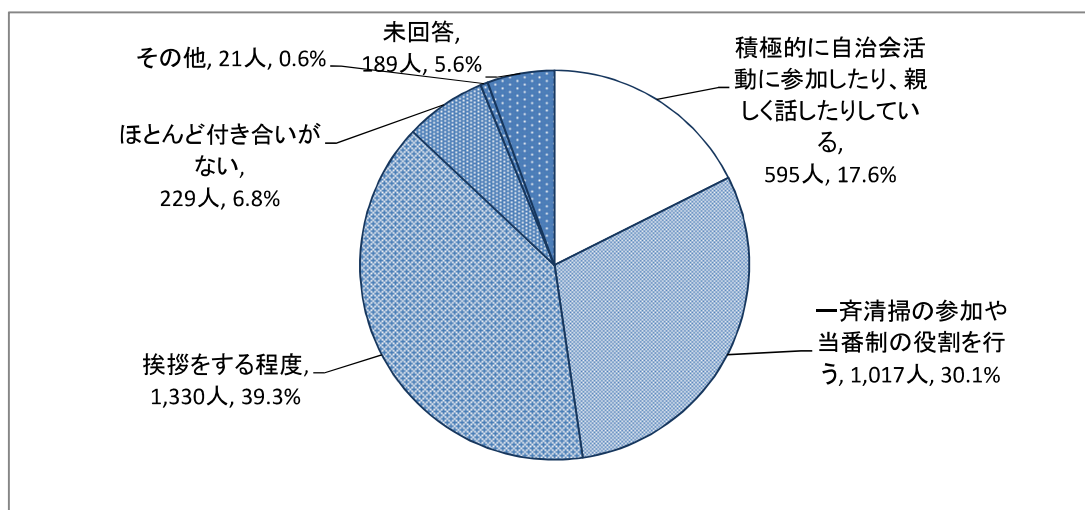
調査結果

問33 あなたは普段、近所付き合いをどのようにしていますか。(複数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

近所付き合いの状況

N=3,381



普段の近所付き合いの状況として、「挨拶をする程度」が39.3%で最も多くを占めている。また、6.8%(229件)の方が「ほとんど付き合いがない」。

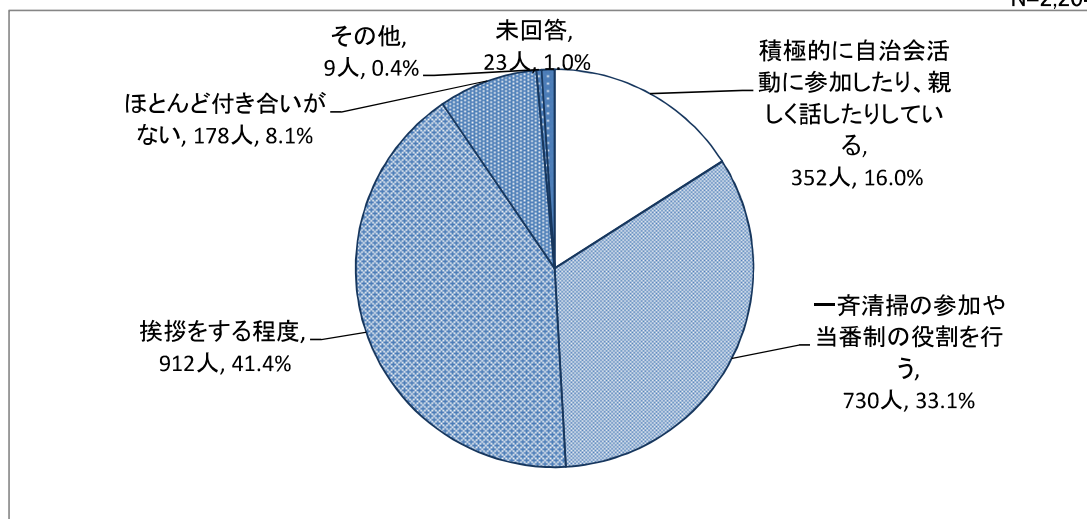
調査結果

【参考】 問33 あなたは普段、近所付き合いをどのようにしていますか。(複数回答)

インターネット回答の方(2, 204人)にお聞きしています。

近所付き合いの状況(インターネット)

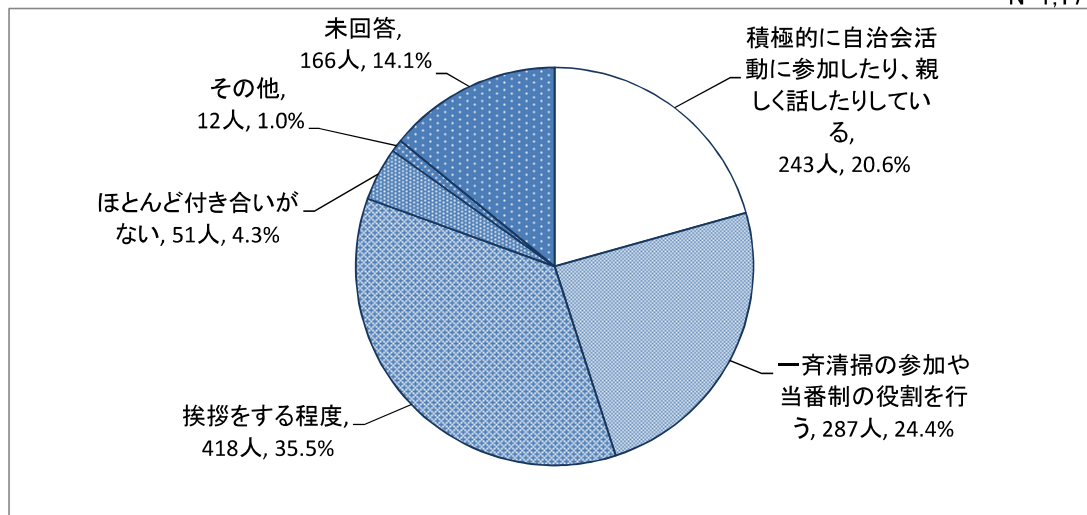
N=2,204



郵送回答の方(1, 177人)にお聞きしています。

近所付き合いの状況(郵送)

N=1,177



インターネット調査の方が、郵送調査に比べ、地域とのかかわり合いが深い方が多い。

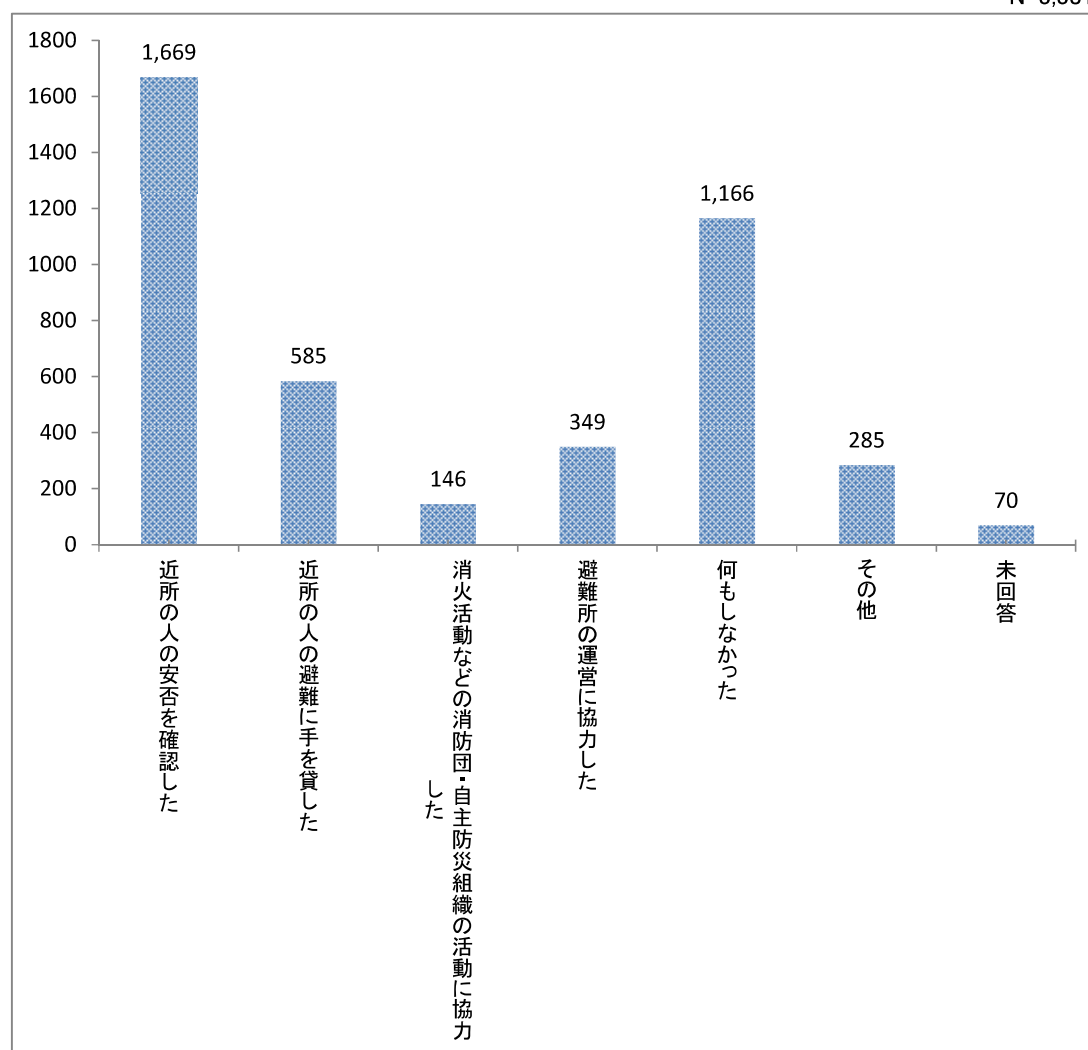
調査結果

問34 あなたは今回の地震で地域や近所の方と協力して何をしましたか。(複数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

近所との協力の状況

N=3,381



N=3,381

近所の人々の安否を確認した	1,669	49.4%
近所の人々の避難に手を貸した	585	17.3%
消火活動などの消防団・自主防災組織の活動に協力した	146	4.3%
避難所の運営に協力した	349	10.3%
何もしなかった	1,166	34.5%
その他	285	8.4%
未回答	70	2.1%
回答計	4,270	

共助の状況として、「近所の人々の安否を確認した」方が49.4%(1,669件)で最も多く、「何もしなかった」方が34.5%で続いている。

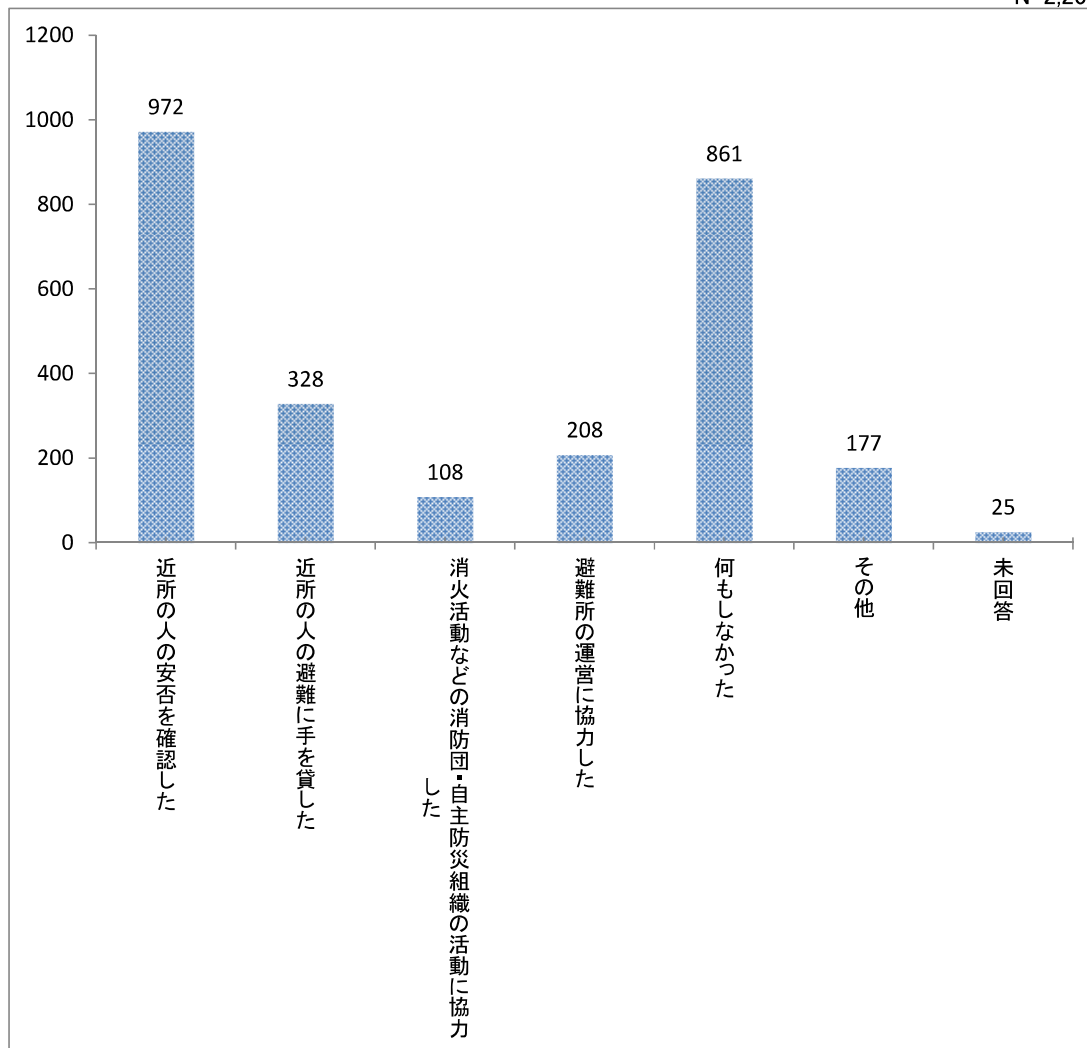
調査結果

【参考】 問34 あなたは今回の地震で地域や近所の方と協力して何をしましたか。(複数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

近所との協力の状況(インターネット)

N=2,204



N=2,204

近所の方の安否を確認した	972	44.1%
近所の方の避難に手を貸した	328	14.9%
消火活動などの消防団・自主防災組織の活動に協力した	108	4.9%
避難所の運営に協力した	208	9.4%
何もしなかった	861	39.1%
その他	177	8.0%
未回答	25	1.1%
回答計	2,679	

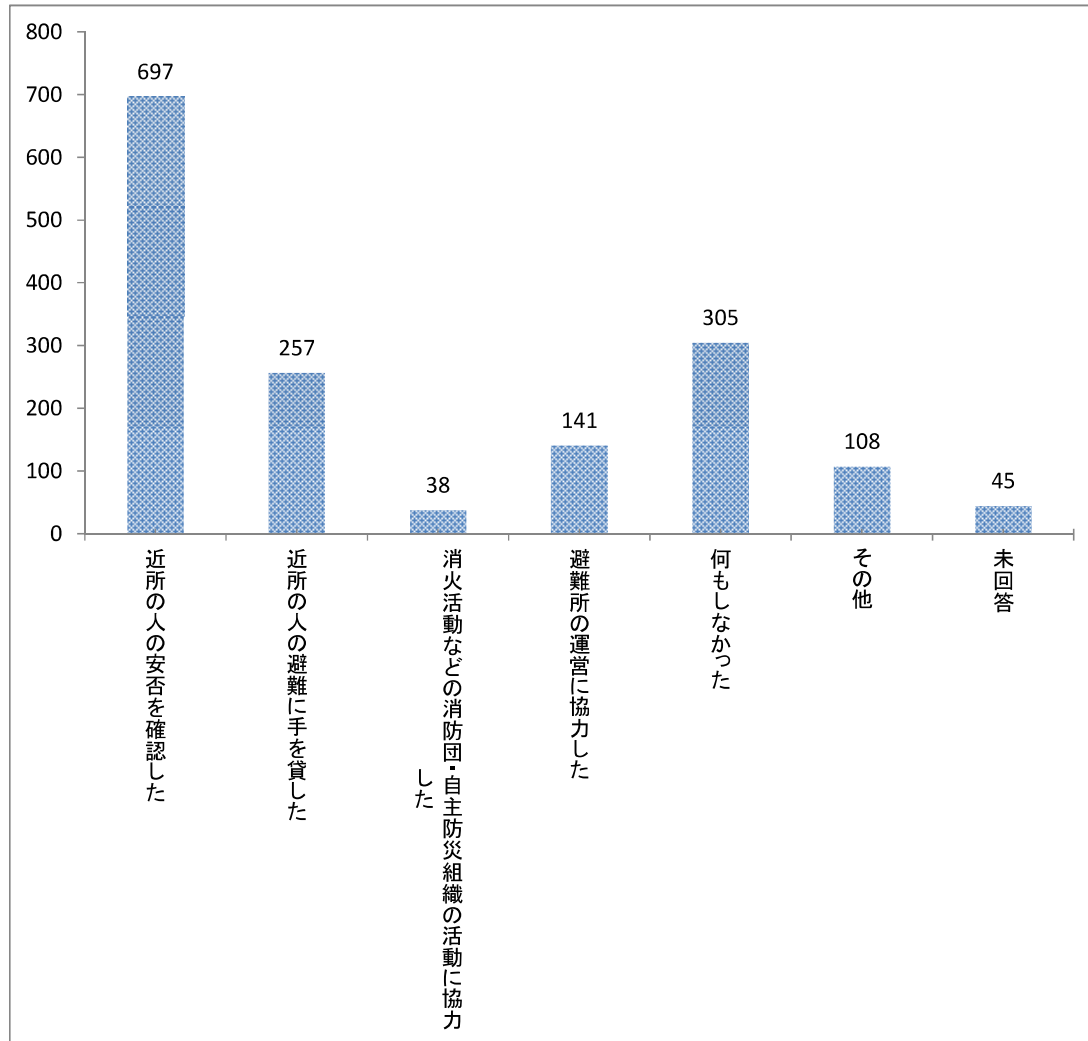
調査結果

【参考】 問34 あなたは今回の地震で地域や近所の方と協力して何をしましたか。(複数回答)

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。

近所との協力の状況(郵送)

N=1,177



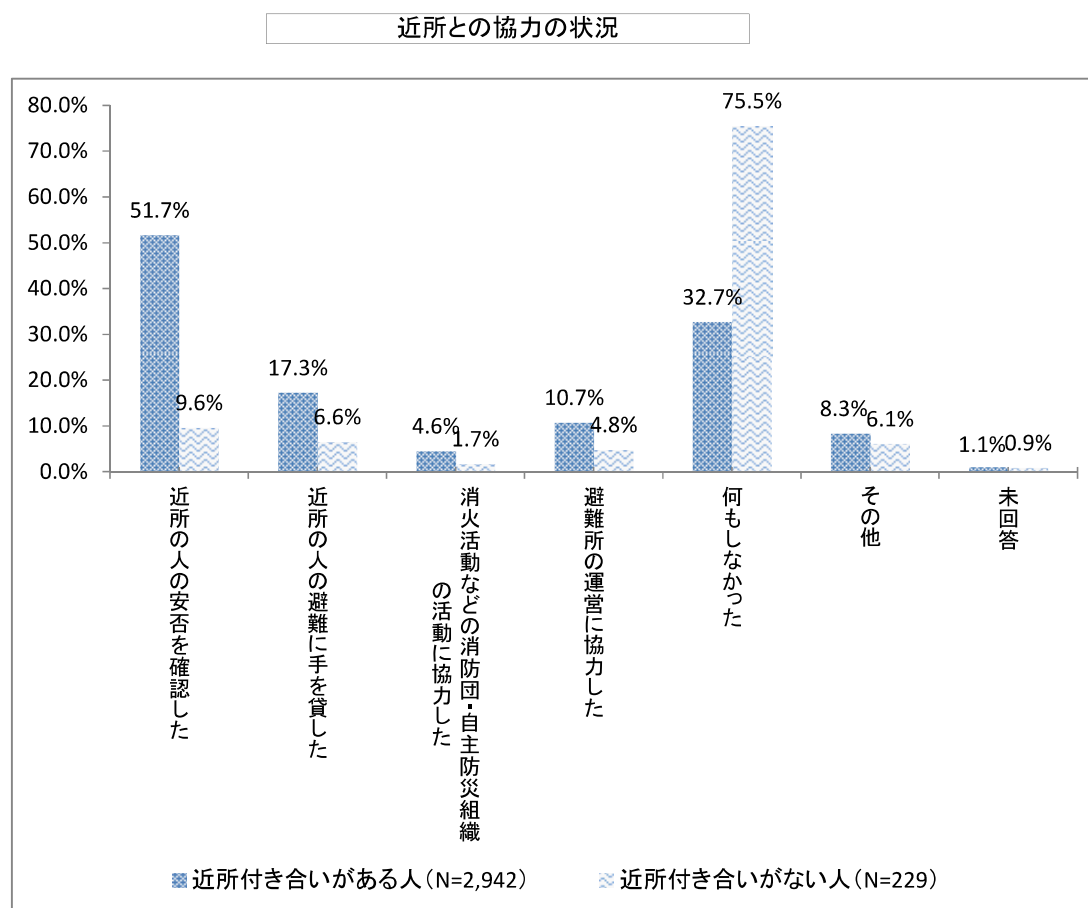
N=1,177

近所の方の安否を確認した	697	59.2%
近所の方の避難に手を貸した	257	21.8%
消火活動などの消防団・自主防災組織の活動に協力した	38	3.2%
避難所の運営に協力した	141	12.0%
何もしなかった	305	25.9%
その他	108	9.2%
未回答	45	3.8%
回答計	1,591	

インターネット調査、郵送調査ともに大きな差はない。

調査結果

【参考】 問34 あなたは今回の地震で地域や近所の方と協力して何をしましたか。(複数回答)



	①		②	
近所の人の安否を確認した	1,521	51.7%	22	9.6%
近所の人の避難に手を貸した	508	17.3%	15	6.6%
消火活動などの消防団・自主防災組織の活動に協力した	134	4.6%	4	1.7%
避難所の運営に協力した	316	10.7%	11	4.8%
何もしなかった	962	32.7%	173	75.5%
その他	245	8.3%	14	6.1%
未回答	31	1.1%	2	0.9%
回答計	3,717		241	

※①近所付き合いがある人(問33で以下の選択肢を選択した回答者数)

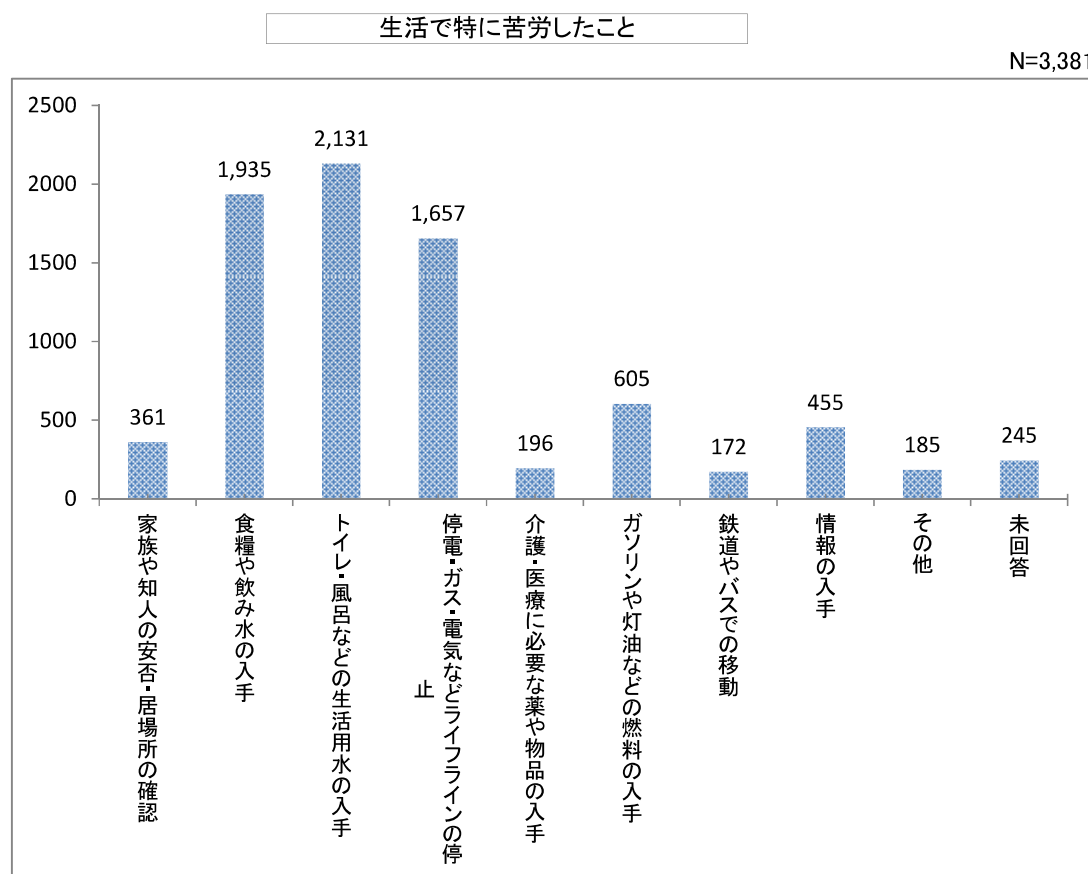
- ・積極的に自治会活動に参加したり、親しく話したりしている
- ・一斉清掃の参加や当番制の役割を行う
- ・挨拶をする程度

②近所付き合いがない人(問33で「ほとんど付き合いがない」を選択した回答者数)

調査結果

問35 これまでの自宅や避難先での生活で、あなたが特に困ったり、苦勞したことは何ですか。(複数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。



N=3,381

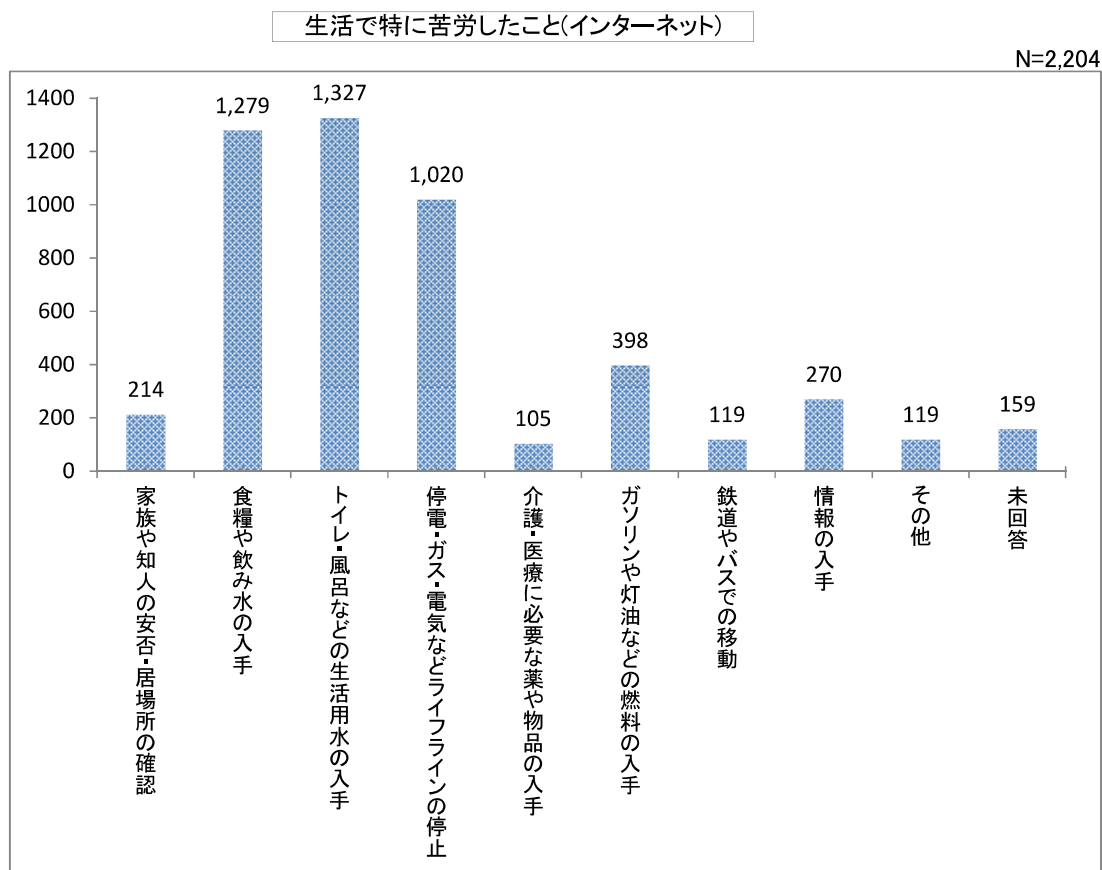
家族や知人の安否・居場所の確認	361	10.7%
食糧や飲み水の入手	1,925	56.9%
トイレ・風呂などの生活用水の入手	2,131	63.0%
停電・ガス・電気などライフラインの停止	1,657	49.0%
介護・医療に必要な薬や物品の入手	196	5.8%
ガソリンや灯油などの燃料の入手	605	17.9%
鉄道やバスでの移動	172	5.1%
情報の入手	455	13.5%
その他	185	5.5%
未回答	245	7.2%
回答計	7,932	

自宅や避難先での生活で特に困ったり、苦勞したことは、「トイレ・風呂などの生活用水の入手」が63.0%(2,131件)と最も多く、次に「食糧や飲み水の入手」が56.9%(1,925件)、「停電・ガス・電気などのライフラインの停止」が49%(1,657件)と続いている。

調査結果

【参考】 問35 これまでの自宅や避難先での生活で、あなたが特に困ったり、苦勞したことは何ですか。(複数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。



N=2,204

家族や知人の安否・居場所の確認	214	9.7%
食糧や飲み水の入手	1,279	58.0%
トイレ・風呂などの生活用水の入手	1,327	60.2%
停電・ガス・電気などライフラインの停止	1,020	46.3%
介護・医療に必要な薬や物品の入手	105	4.8%
ガソリンや灯油などの燃料の入手	398	18.1%
鉄道やバスでの移動	119	5.4%
情報の入手	270	12.3%
その他	119	5.4%
未回答	159	7.2%
回答計	5,010	

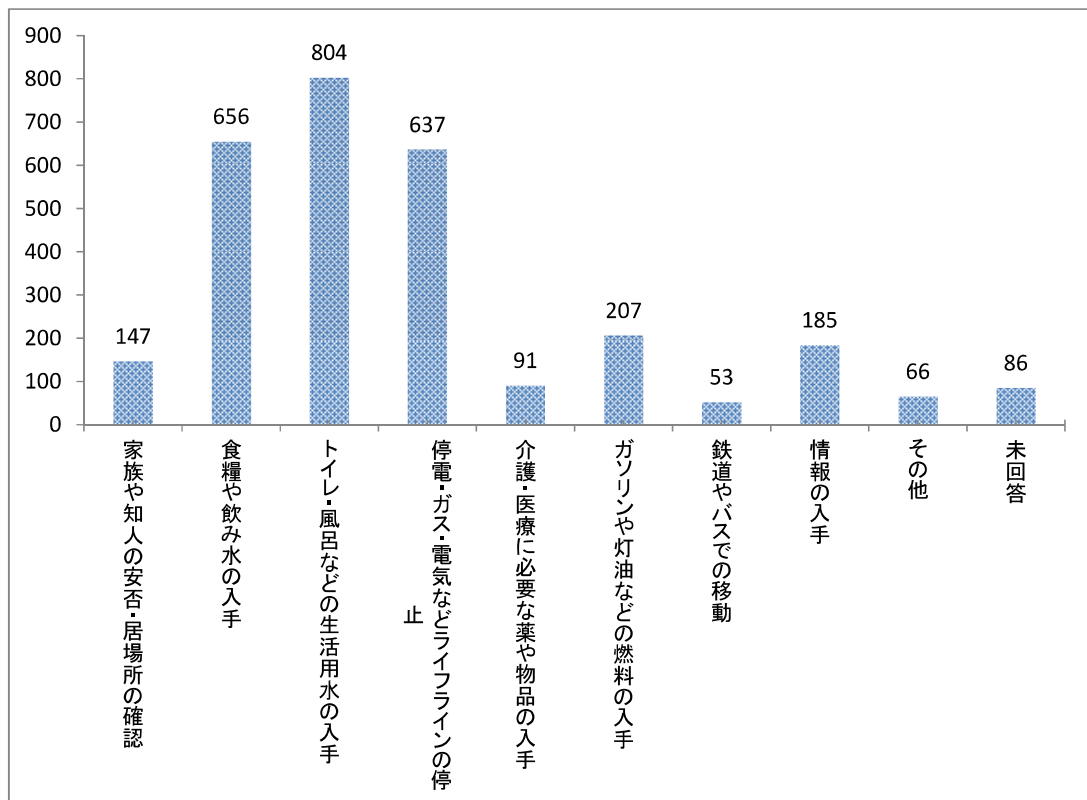
調査結果

【参考】 問35 これまでの自宅や避難先での生活で、あなたが特に困ったり、苦勞したことは何ですか。(複数回答)

郵送の方(1,177人)にお聞きしています。

近所との協力の状況(郵送)

N=1,177



N=1,177

家族や知人の安否・居場所の確認	147	12.5%
食糧や飲み水の入手	646	54.9%
トイレ・風呂などの生活用水の入手	804	68.3%
停電・ガス・電気などライフラインの停止	637	54.1%
介護・医療に必要な薬や物品の入手	91	7.7%
ガソリンや灯油などの燃料の入手	207	17.6%
鉄道やバスでの移動	53	4.5%
情報の入手	185	15.7%
その他	66	5.6%
未回答	86	7.3%
回答計	2,922	

インターネット調査、郵送調査ともに大きな差はない。

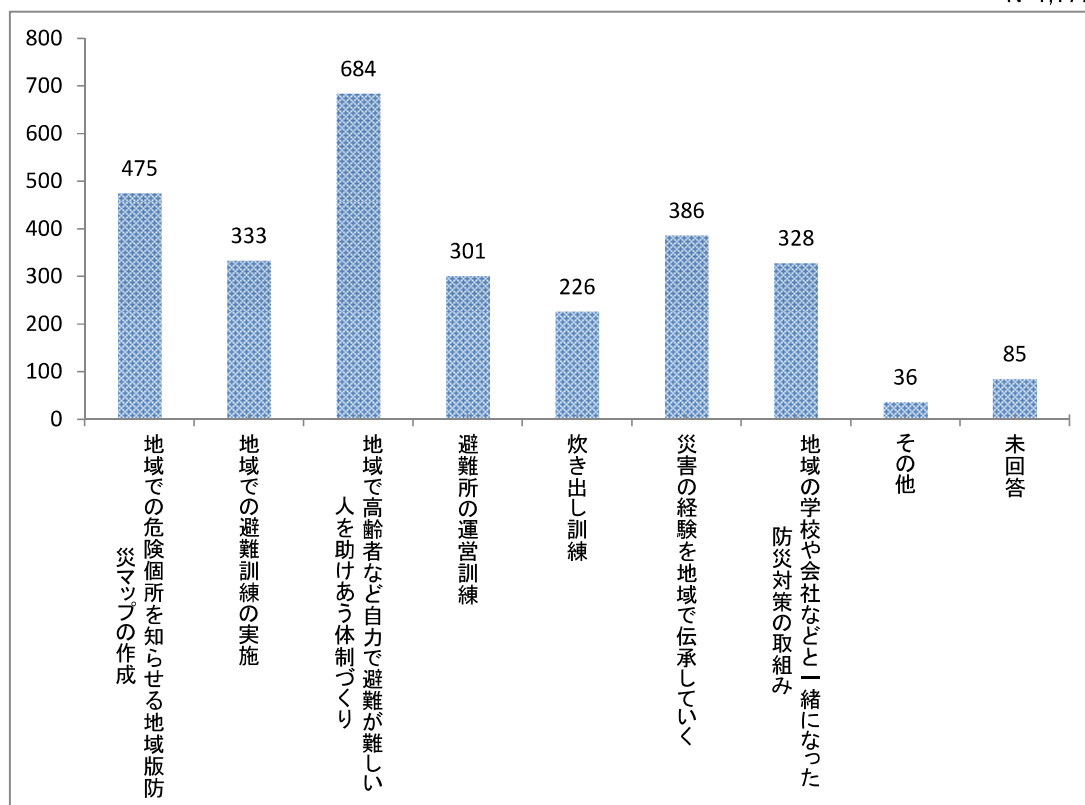
調査結果

問36 あなたは今後地域での防災活動として、大切だと思うことは何ですか。(複数回答)

郵送の方(1,177人)にお聞きしています。

地域の防災活動で大切なこと(郵送)

N=1,177



N=1,177

地域での危険個所を知らせる地域版防災マップの作成	475	40.4%
地域での避難訓練の実施	333	28.3%
地域で高齢者など自力で避難が難しい人を助けあう体制づくり	684	58.1%
避難所の運営訓練	301	25.6%
炊き出し訓練	226	19.2%
災害の経験を地域で伝承していく	386	32.8%
地域の学校や会社などと一緒に防災対策の取り組み	328	27.9%
その他	36	3.1%
未回答	85	7.2%
回答計	2,854	

地域での防災活動で大切だと思うことは、「自力で避難することが難しい人を助けあう体制づくり」が58.1%(684件)で最も多く、次に、「地域での危険個所を知らせる地域版防災マップの作成」が40.4%(475件)が続いている。

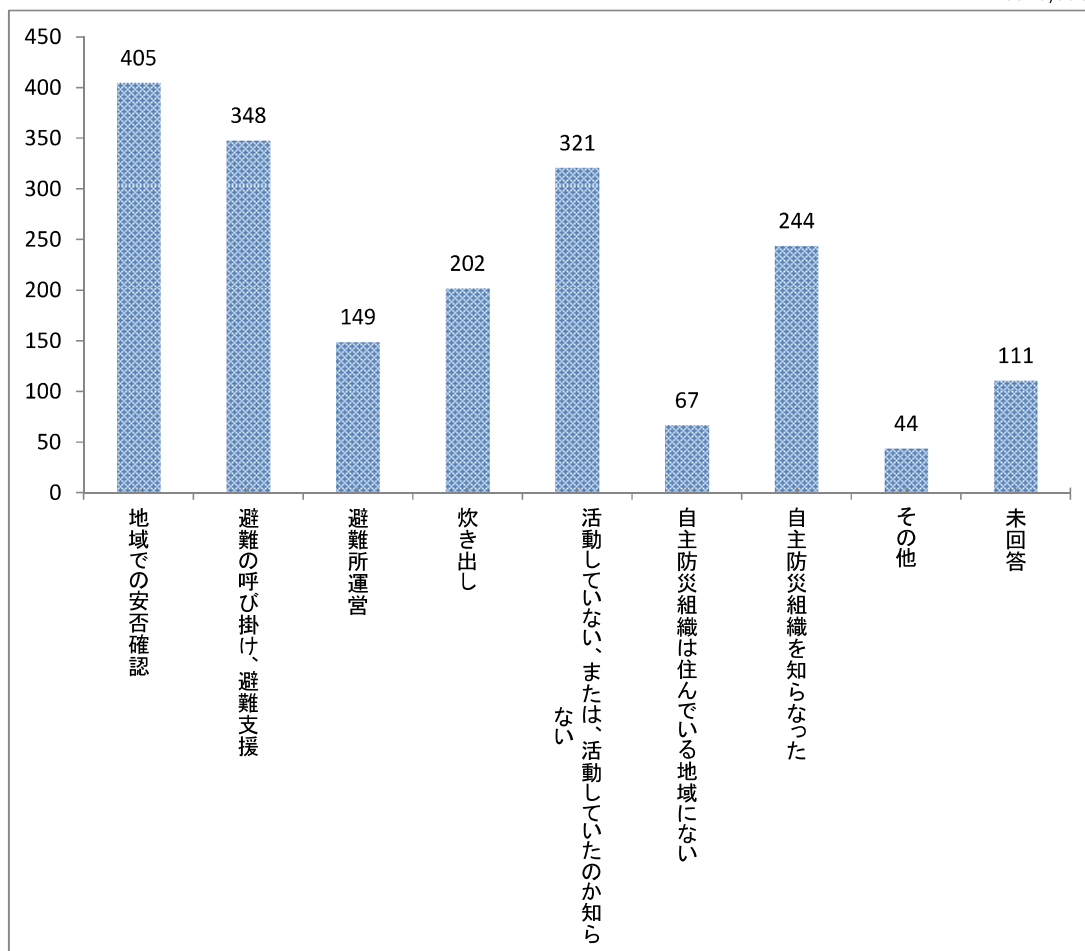
調査結果

問37 今回の地震であなたの地域の自主防災組織はどのような活動を行いましたか。(複数回答)

郵送の方(1,177人)にお聞きしています。

自主防災組織の活動(郵送)

N=1,177



N=1,177

地域での安否確認	405	34.4%
避難の呼び掛け、避難支援	348	29.6%
避難所運営	149	12.7%
炊き出し	202	17.2%
活動していない、または、活動していたのか知らない	321	27.3%
自主防災組織は住んでいる地域にない	67	5.7%
自主防災組織を知らなかった	244	20.7%
その他	44	3.7%
未回答	111	9.4%
回答計	1,891	

今回の地震において、自主防災組織の活動は「地域での安否確認」が34.4%(405件)で最も多く、「避難の呼び掛け、避難支援」が29.6%(348件)で続いている。また、「活動していない、又は活動していたのか知らない」が27.3%(321件)となっている。

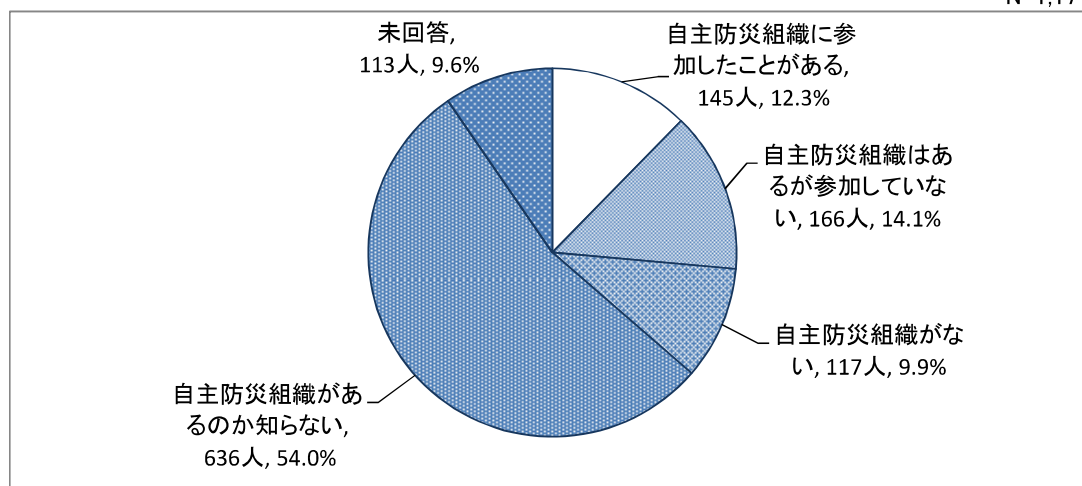
調査結果

問38 あなたはこれまで自主防災組織活動に参加したことがありますか。(単数回答)

郵送の方(1,177人)にお聞きしています。

自主防災組織への参加状況(郵送)

N=1,177



自主防災組織の活動について、12.3%(145人)の方が参加したことがある一方、78.1%(919人)の方は自主防災組織に参加していない。そのうち、636人の方は自主防災組織があるのか知らない。

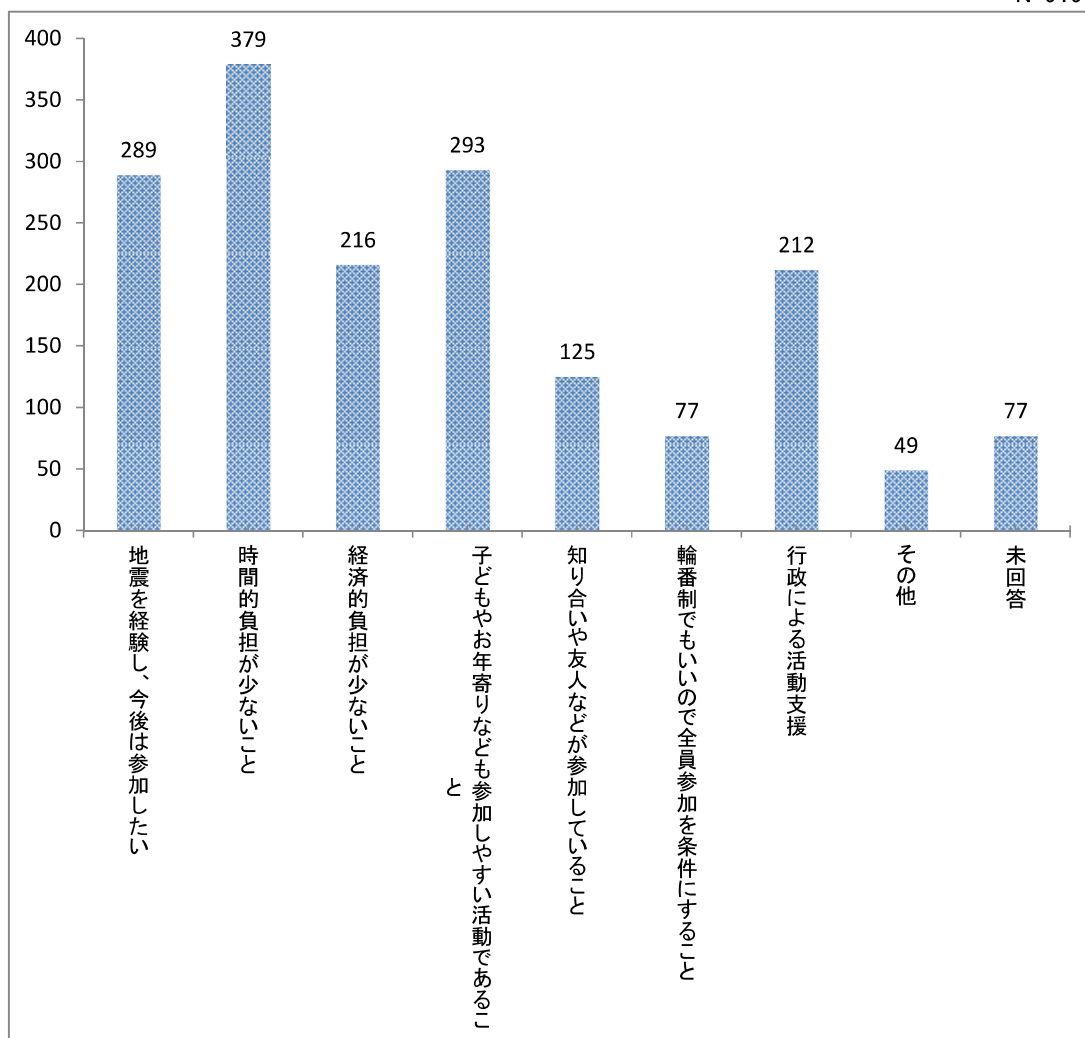
調査結果

問39 あなたは今後どのような条件があれば、自主防災組織に参加できると思いますか。
(複数回答)

自主防災組織に参加したことがない方(919人)にお聞きしています。

自主防災組織への参加の条件

N=919



N=919

地震を経験し、今後は参加したい	289	31.4%
時間的負担が少ないこと	379	41.2%
経済的負担が少ないこと	216	23.5%
子どもやお年寄りなども参加しやすい活動であること	293	31.9%
知り合いや友人などが参加していること	125	13.6%
輪番制でもいいので全員参加を条件にすること	77	8.4%
行政による活動支援	212	23.1%
その他	49	5.3%
未回答	77	8.4%
回答計	1,717	

自主防災組織に参加したことがない方のうち、41.2%(379件)の方が「時間的負担が少ないこと」を参加の条件と考えている。また、31.4%(289件)の方が「地震を経験し、今後、自主防災組織に参加したい」と考えている。

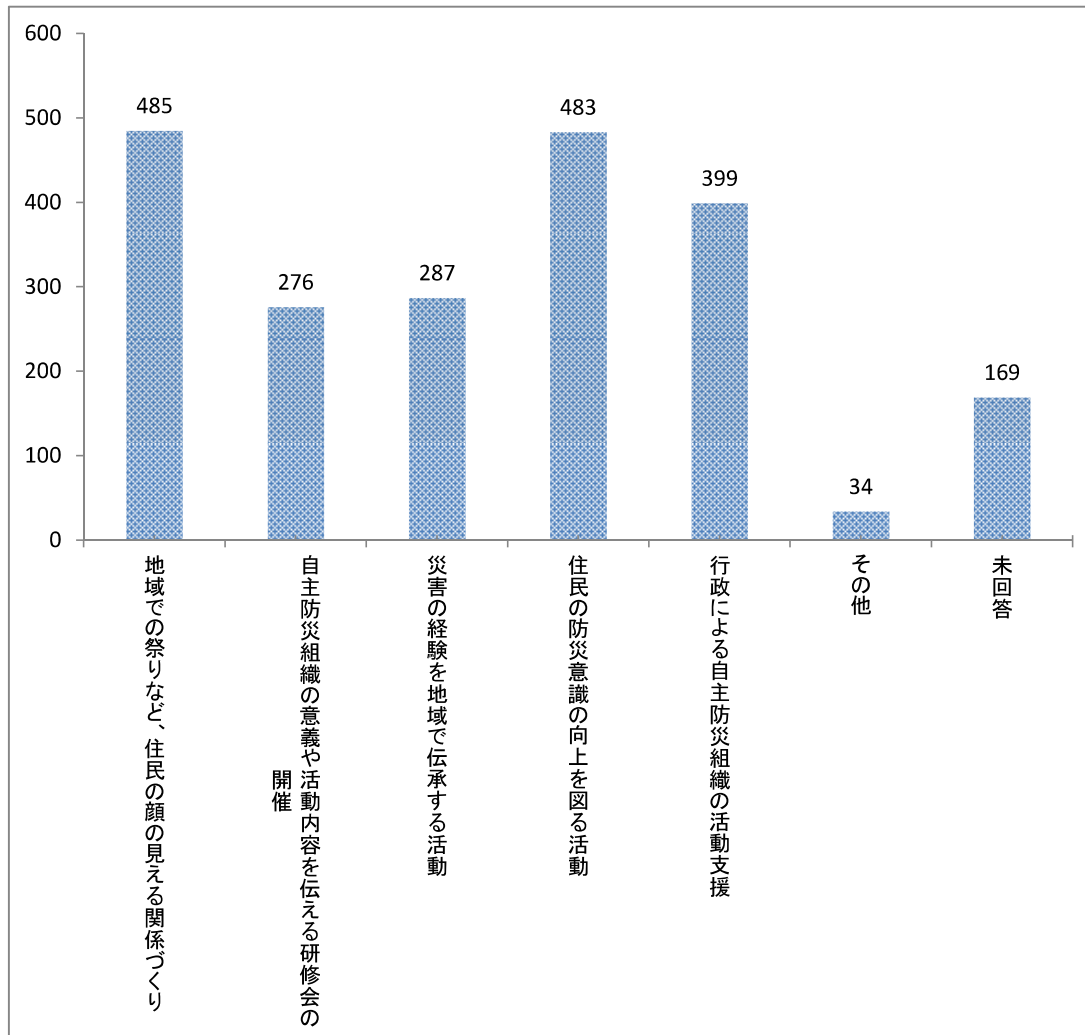
調査結果

問40 あなたは、災害時の地域での自主防災組織などによる共助の取組が円滑に行われるために、普段どのような取組が必要だと思いますか。(複数回答)

郵送の方(1,177人)にお聞きしています。

共助に向けた普段の取組み(郵送)

N=1,177



N=1,177

地域での祭りなど、住民の顔の見える関係づくり	485	41.2%
自主防災組織の意義や活動内容を伝える研修会の開催	276	23.4%
災害の経験を地域で伝承する活動	287	24.4%
住民の防災意識の向上を図る活動	483	41.0%
行政による自主防災組織の活動支援	399	33.9%
その他	34	2.9%
未回答	169	14.4%
回答計	2,133	

地域における共助の取組が円滑に行われるための普段の取組として、「住民の顔の見える関係づくり」が必要と考える方が、41.2%(485人)と最も多く、「住民の防災意識の向上を図る活動」が41.0%(483人)、「行政による自主防災組織の活動支援」が33.9%(399人)と続いている。

調査結果

問41 災害への備え(自助)、地域での協力体制(共助)や行政の支援体制(公助)で、良かった点を自由にご記入ください。(自由記述)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

全員の方(3,381人)に自由記述形式でたずねたところ、1,418人の方からご意見をいただいた。具体的な記述内容は以下のとおりである。

○自由記述抜粋

1. 自助

①水・食糧、物資の備蓄

- ・ ある程度の食糧の備蓄があり、また近所の方の好意により所有地で車中泊ができた。
- ・ 期限の切れた水を保存していたので、食器洗い等に使えた。いつ水道が復旧するか分からなかったのも、給水車からもらった水は貴重で飲料にしか使えなかったため。
- ・ 停電(7日間)、断水(3日間)の中、電気は昼太陽光発電、夜カンテラ、懐中電灯、ラジオ。水は近所の井戸、風呂の水を溜めていたのは、トイレの水を流すことにとても助かりました。

②耐震補強や家具の固定の実施、家具の配置

- ・ 食器棚を固定していたので、破損したものがなく、割れた食器の処分をしないで済んだことが、精神的ショックの回避につながった。
- ・ 家を建てる際、地震・火災に強い家を建てていたのも、避難所生活や車中泊をする必要がなくてよかった。
- ・ 寝室に家具を置いていなかったのも、深夜の地震でも怪我をしなかった。
- ・ 家具の固定やすべり止めシートはやっぱり大事。

③その他

- ・ 防災メールは非常に役立った。
- ・ 古い井戸ポンプを発電機で動かして水洗トイレ用水を確保し用を足せた事が非常に助かった。
- ・ 東日本大震災の時、東京にいて大きな災害を一度経験したので、地震直後どういう行動をすればいいのかなんとなく分かっていたことが情報入手やこれからの行動予測に役立った。

2. 共助

①知人や地域の方と声をかけあえたこと、情報共有ができたこと

- ・ 地震の際それまで挨拶程度の隣近所の方と声をかけあって避難できたのでよかった。
- ・ 停電で情報が入りにくくデマが多数流れる中、ご近所さんからの情報が何より迅速で正確で大変助かったこと。
- ・ 近所の人と情報共有できたのはよかった。一体感が高まり、その後の近所付き合いがよりスムーズになった。ラインができてよかった。

②自治会や消防団、自主防災組織の活動

- ・ 本震後、地域の消防団や自衛隊の車両の巡回がとても心強く有難かった。
- ・ 自主防災組織があり、みんなで声を掛け合えたり、消防団が来てくれるのはとてもいい。
- ・ 区長さんが、安否確認にあたられている姿は心強かった。
- ・ 自治会で非常時の行政への連絡網を把握していたので、被災直後の連絡・報告がスムーズにできて、対応も早くしてもらえた。

③知人や地域で物資や水(風呂)を融通できたこと

- ・ 水道の復旧までに時間がかかったが、近所の方が職場から水を汲んできてくれたりして、ありがたかった。
- ・ ご近所の方から水と食料を分けていただいた。

④その他

- ・ 近所の施設に避難したが食材の提供・調理場所の提供・ボランティアで世話をしていただいていたありがたかった。
- ・ 水が止まっていた時に学生がプールの水をトイレまで運んでくれたこと。
- ・ 近所に看護師の免許を持った方がいて、子どもの体調など気にかけてくださり、とてもうれしい思いをした。
- ・ 防犯面でもご近所の男性陣が留守中の自宅周辺を時間を決めて見回りをしたり、女性がトイレに行くときは必ずついてきてくれて助かった。

調査結果

問41 災害への備え(自助)、地域での協力体制(共助)や行政の支援体制(公助)で、良かった点を自由にご記入ください。(自由記述)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

○自由記述抜粋

3. 公助

①水や支援物資の提供

- ・一部混乱はあったが、避難所の開設や食料水の供給などが迅速だった。
- ・給水所での水の提供は、安心感ももたらしてくれた。
- ・飲料水については、他県から支援に入ってくれて入手できた。
- ・支援物資が早急に届いたみたいでありがたい。私たちは自宅にいたため3日後に支援のことを知り利用させていただいた。その間は親戚から助けを借りていた。

②自衛隊の支援

- ・自衛隊の避難所での活動は、炊きだしも素晴らしく良かったが、周囲に安心感を与えた。
- ・近所の方が自衛隊に給水車をお願いしたところ、翌日ぐらいに地域に配置され、対応が早かった。
- ・自衛隊の食事配布は、ガスを使った料理ができなかった家庭では、ありがたかった(余震が続く火を使うのが怖かった)。
- ・自衛隊による風呂の設置があり、夜帰ってもすぐに寝ることができたこと。電力復帰に他県から支援があり、使えるようになったのはありがたい。

③その他

- ・自衛隊や市役所の方々の24時間体制の対応がすごく心強かった。また、他県からのたくさんの支援にちからをいただいた。
- ・近くの小学校が、プールの水をトイレ用に開放してくれた。
- ・行政からのメールが毎日届いて安心した。
- ・居住地では水道の復旧が早くて助かった。
- ・自治体の防災メールが入ってきて、どう対処するのかの判断材料になった。

4. その他

①避難所に関すること

- ・町内の避難所開設が早く被害の情報提供もはやかった。
- ・すぐに避難所をあげていただき、津波注意報等も知らせてくださりありがたかった。

②ライフラインに関すること

- ・ライフラインや公共交通機関の技術者が全国から一斉に応援に駆け付けたこと。おかげで飲み水には困らなかったし、予想よりガスも早く復旧したのでうれしかった。JRも連休前に再開したのは助かった。
- ・ライフラインの復旧が思ったより早かったので助かりました。

③その他

- ・通行可能な道路が何処にあるのかマップで表示されたサービスは助かった。
- ・FM791は災害情報が早くかついろいろな情報があつて助かった。車避難ではTVがなかなか長時間見ることができなかった。

調査結果

問42 災害への備え(自助)、地域での協力体制(共助)や行政の支援体制(公助)で、悪かった点、改善すべき点を自由にご記入ください。(自由記述)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

全員の方(3,381人)に自由記述形式でたずねたところ、1,548人からご意見をいただいた。具体的な記述内容は以下のとおりである。

○自由記述抜粋

1. 自助

- ・まさか水が出なくなると思っていなかったので、備蓄水を使用後買い足していなかったです。
- ・食料の備えなど、日ごろから準備しなければとは思っていたが、地震は起きないだろうという油断があり、出来ていなかった。
- ・家具を固定していなかった。壁掛け時計は全て落ちたが、プラスチックのところがった形だったので、人に当たっていたら怪我をしていたらと思った。
- ・自分の事しか考えない人がいて、食料分けて配給する時など、不快な思いをすることがあった。水の備蓄は本当に大切だと思った。
- ・自分も火災保険は入っていたけど地震保険は入っていないくて、備えを考えさせられた。
- ・台風と違い地震に対する備えはほぼしていなかった。停電、断水など思いもかけないことが続き、ガソリンの入手もできず食料や水の確保が全くできず、日頃からの備えの必要性を痛感。

2. 共助

- ・普段から付き合いがある方とのコミュニケーションはとれたが、あまり付き合いがない方の安否確認がとりにくかった。
- ・地元の自治会がほとんど機能しなかったこと。自治会からは全く音沙汰がなかった。
- ・避難所は、基本的には地域住民で素早く手伝いや運営をするべきと思った。避難はしていないが、行政の方々も被災者なので、避難所の運営をに人手を取られるのも考えものだ。
- ・避難所となっている学校や大学で、生徒や学生たちに比べ、大人が大して動いていなかったことが残念だった。動ける人は、自分のことは自分で何とかするべきだと感じた。
- ・行政に全てを頼ろうとするあまり、何かあると行政に文句を言う人がある。地域は自分達で守る運営するという意識改革が必要。
- ・地区の避難所は指定避難所ではなかったので、地区区長さんの負担が大きすぎた。炊き出しの参加に差が出てきて、限界があった。地区避難所への支援を円滑に行うシステムが必要(物資不足で自宅にあるものを余震の中取りに戻り、地域で分けていた)。
- ・自宅近所との会話等なかったもので、日常からのつながりがあればよかった。
- ・新しい住宅地だったため正直どこの集落に属しているのかわからず町内会もなかった。周辺一帯の自治会等に関する情報も入手できなかった。

調査結果

問42 災害への備え(自助)、地域での協力体制(共助)や行政の支援体制(公助)で、悪かった点、改善すべき点を自由にご記入ください。(自由記述)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

○自由記述抜粋

3. 公助

①支援物資に関すること

- ・避難所への食料等の供給がなかった。
- ・救援物資の配送がスムーズにできていなかったように思う。避難所(駐車場合む)のニーズを取りまとめる体制づくりに課題があったように思う。
- ・避難所によって、運営にかなりバラツキがでているようなのが気になった。
- ・地域では避難所には行っていないので全く物資や情報が届かなかった。行政に対してはホームページでもう少しわかりやすい言葉や例などを挙げて説明してほしい。
- ・避難所が壊れた、避難できず学校があくまで朝方まで外で過ごした事。

②避難所の運営に関すること

- ・避難所の運営者(自治体の職員など)も被災者で、大変だった。
- ・避難所が少なく、地震直後は屋外で夜を明かした人がいて可哀そうだった。
- ・支援物資について、学校など指定されたところに行かないと支援物資がもらえなかった。指定外の駐車場で車中避難されている方には届かなかったのが残念だ。

③その他

- ・公的な機関は意思決定に時間がかかりすぎ。緊急時に行動できる人員を平時に確保しておくべき。
- ・行政の人員が少なく、負担が大きかったと思うので、正職員を増やすべきでは。
- ・罹災証明の発行(国と思いますが)が外からの一部の審査で全世帯回って多くの時間を使っても、結局二次申込の必要で、又、多くの時間をムダにしている。最短で正しい判定を行って時間を大切に、被災者がスムーズに元の生活が出来る様、今後の大震災には法的な学ぶ事がある。
- ・地震の影響で市役所・役場の庁舎が被災したこともそうだが、普段からの危機管理の甘さが露呈されたと感じている。
- ・行政支援のほとんどは民間人にとって即効性のあるものは無いように思った。地域や中小企業の動きは早くてもまとまりが無く時間をムダにした事も多かったように思う。
- ・誰も経験しなかった事が起こり市の職員も何をどうしたらいいのか大変だったと思う。県も市もこの経験を生かして耳くばり気くばりをしてほしい。
- ・ブルーシートがはれずに、雨漏りを止められず、家具にブルーシートをかける事があったが専門的に、早めに応急対応していただける団体の紹介を早く知りたかった。二次災害的な現状有。

4. その他

- ・東北の震災教訓がいかにされていなかった。
- ・支援物資が本当に必要としている人のもとに届いていない。店で買えるのに、無料だからと、もらいに来る人がいた。
- ・被災者の自助・共助意識が低く、公助に頼りすぎていた。行政任せの意識改善が必要だと思う。
- ・妻が役場で働いているので、休みが減ったことが心配だ。身体が特に。県外からの支援がもっとあっていいのかなと。ただよくわからない自分がいうのも申し訳ないが。

調査結果

問43 地震前後で変化のあったこと(価値観、心構え、地域とのつながり など)がありましたら教えてください。(自由記述)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

全員の方(3,381人)に自由記述形式でたずねたところ、1,564人から意見をいただいた。具体的な記述内容は以下のとおりである。

○自由記述抜粋

1. 備えが大事、日頃から災害の備えをする

- ・ 災害はいつどのような形で襲ってくるかわからないことを肝に銘じ、備えを怠らないようにすべきと考えている
- ・ 想定外のことが起こりうるので、備え(家の耐震補強)は何より重要だ。
- ・ 災害が起こってからへの対応も大事だが、やはり、災害が起こる前に十分な準備を整えていることが重要だと感じた。
- ・ 地震の少ない地域と言って安心してはダメだと思った。自然災害はどんな規模で起こるか分からないので常に最悪な事は考えておいたほうが良いと思った。
- ・ 普段からの備えがいかに大事かと思い知った、いろいろと思い知らされたし勉強になった。知識を持ち、強い意志を持ち、周囲と助け合う気持ちを持たねばと思った。熊本はこれを教訓に常日頃から具体的な知識を啓発や訓練や様々な情報を発信しつづけるべきだと思う。
- ・ 1ヶ月ほど水が出なかったのも、本当に水のありがたさを感じました。今は節水に心がけている。最低3日分の水や食料は支援物資が来るまでは自分たちで備えていないといけな。人も大事だけれどペットの備えも必要だと思った。高齢者もだけど妊婦さんのストレス、幼児のストレス。小学校に1ヶ月避難した娘(妊婦、2歳児連れ)に会いに行ったとき、実家に呼ばなくて(震源地だから)教室の床に毛布一枚で生活していて涙が出た。

2. 近所とのつながりが大事、地域での助け合いが大切

- ・ 家族の絆、地域でのコミュニティ、近所付き合いの重要性をあらためて感じた。
- ・ 地域とのつながりが大切。いつ何があるか分からない。備えは大切。
- ・ 日頃から積極的に地域での取り組みに参加しているが、有事の際は人との繋がりが重要であることを、改めて実感した。
- ・ 避難中は地域とのつながりがあったが、みなし仮設に入ると地域とのつながりが薄れてくる。
- ・ 田舎で昔から隣の人達とのつながりはあったと思うが、より親近感が増した様に思う。(水の分け合い、物々交換等)区の自主防災組織ができつつある中、小組合ごとに4つの班があり(情報、避難誘導、消火救助、生活介護)人任せにせず、全員に班員を割り振ることになった。班ごと勉強会も必要だと思う。

3. 災害に対する危機意識の高まり

- ・ 熊本で大きな災害が起こるわけない、なんて油断をしていた。甘い考えがあった。
- ・ これまで阪神淡路大震災、東日本大震災など大きな震災を報道等で見聞きしているが、結局のところ「ひとごと」としてしか見ていなかったことを今回痛感した。
- ・ ゼッタイ無い、とはありえないという気持ちで過ごそうと思いました。
- ・ もしものことを考える様になりました。そして、マンションの住民の方たちとも、話す機会が増え、安心感が増した気がしています。
- ・ 地震の怖さを思い知らされた事。おさまらない余震に怒りや人間の力ではどうする事もできない虚しさや、生きている事への感謝等、考えさせられた。西原の親戚が、自宅が全壊になり、余震の中、近所の方々がチェーンソーや道具を持ち寄り、家の下敷きになった、姉達を助け出してくださり、西原のコミュニティの深さに頭が下がる。

調査結果

問43 地震前後で変化のあったこと(価値観、心構え、地域とのつながり など)がありましたら教えてください。(自由記述)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

全員の方(3,381人)に自由記述形式でたずねたところ、1,564人から意見をいただいた。具体的な記述内容は以下のとおりである。

○自由記述抜粋

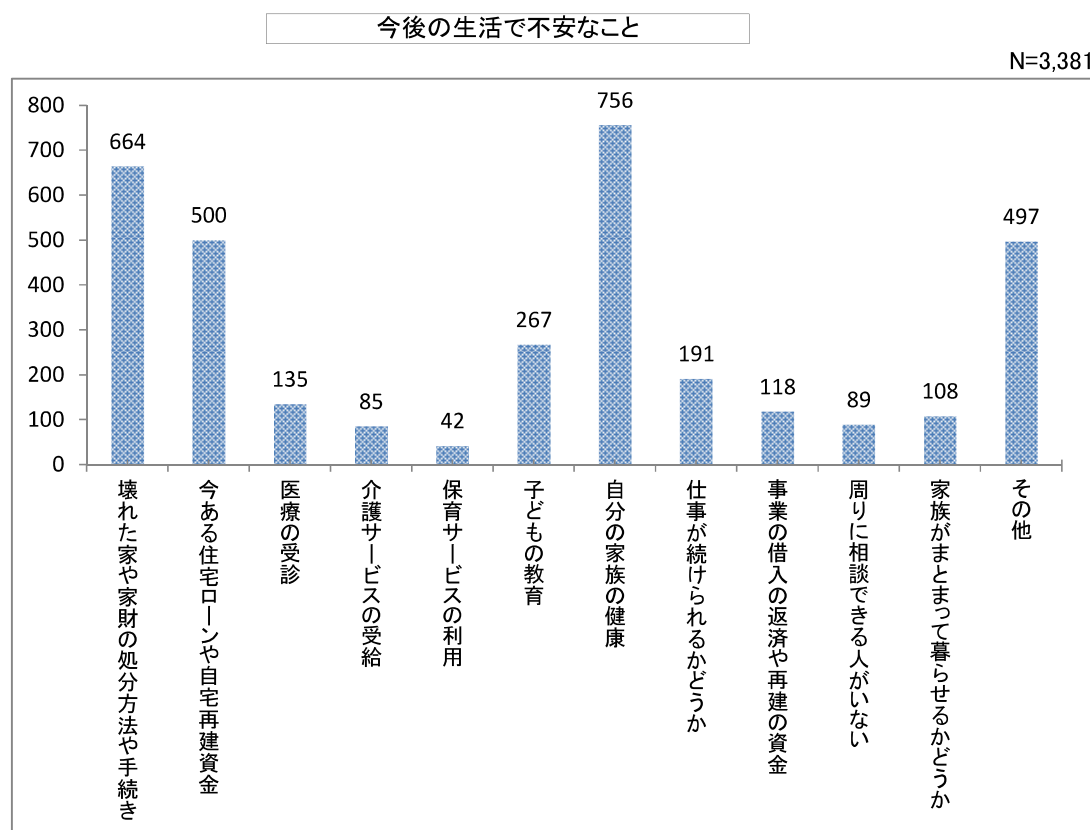
4. その他

- ・ 当たり前が当たり前じゃなく、どんなにありがたいことだったのかを知った。また人とのつながりの大切さを実感できた。
- ・ 地震への恐怖が増した。
- ・ モノへの執着心が無くなり、今まで大事に取っておいた書籍、衣服、家具などを全て処分した。
- ・ 行政は当てに出来ない。自分の身は自分で守れということ。
- ・ 価値観は変わった。今まで大切にしてきたものへの考え方が生き抜く為に大切なものになんて変わった。物質的なものではなく、今、何が必要か、これからどう生きるか、又、自分の命は自分で守るためどうすべきか、一等考えた。支援を待っているのではなく、情報や物質などは自分たちで動いて得る事も大切だと思った。

調査結果

問44 今後の生活について、不安なことは何ですか。(複数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。



N=3,381

壊れた家や家財の処分方法や手続き	664	19.6%
今ある住宅ローンや自宅再建資金	500	14.8%
医療の受診	135	4.0%
介護サービスの受給	85	2.5%
保育サービスの利用	42	1.2%
子どもの教育	267	7.9%
自分の家族の健康	756	22.4%
仕事が続けられるかどうか	191	5.6%
事業の借入の返済や再建の資金	118	3.5%
周りに相談できる人がいない	89	2.6%
家族がまとまって暮らせるかどうか	108	3.2%
その他	497	14.7%
未回答	1,280	37.9%
回答計	4,732	

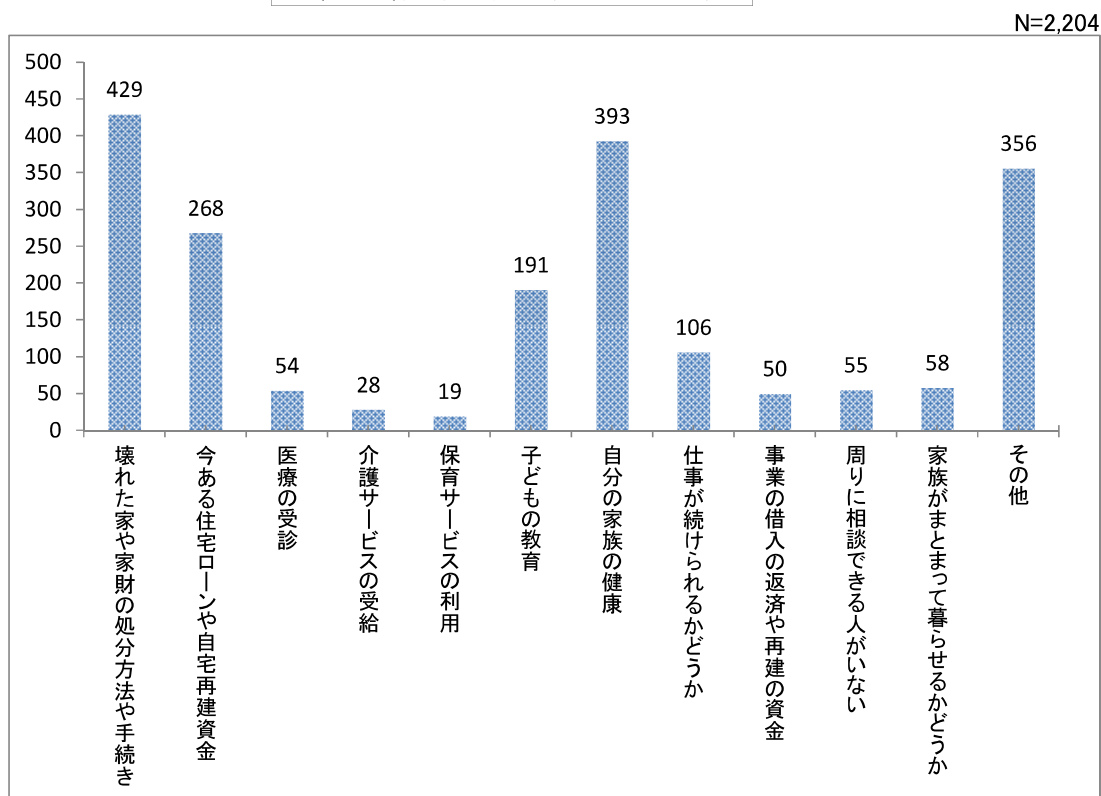
今後の生活について不安なことは、「自分の家族の健康」が22.4%(756件)と最も多く、「壊れた家や家財の処分方法や手続き」が19.6%(664件)、「今ある住宅ローンや自宅再建資金」が14.8%(500件)が続いている。

調査結果

【参考】 問44 今後の生活について、不安なことは何ですか。(複数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

今の生活で不安なこと(インターネット)



N=2,204

壊れた家や家財の処分方法や手続き	429	19.5%
今ある住宅ローンや自宅再建資金	268	12.2%
医療の受診	54	2.5%
介護サービスの受給	28	1.3%
保育サービスの利用	19	0.9%
子どもの教育	191	8.7%
自分の家族の健康	393	17.8%
仕事が続けられるかどうか	106	4.8%
事業の借入の返済や再建の資金	50	2.3%
周りに相談できる人がいない	55	2.5%
家族がまとまって暮らせるかどうか	58	2.6%
その他	356	16.2%
未回答	915	41.5%
回答計	2,922	

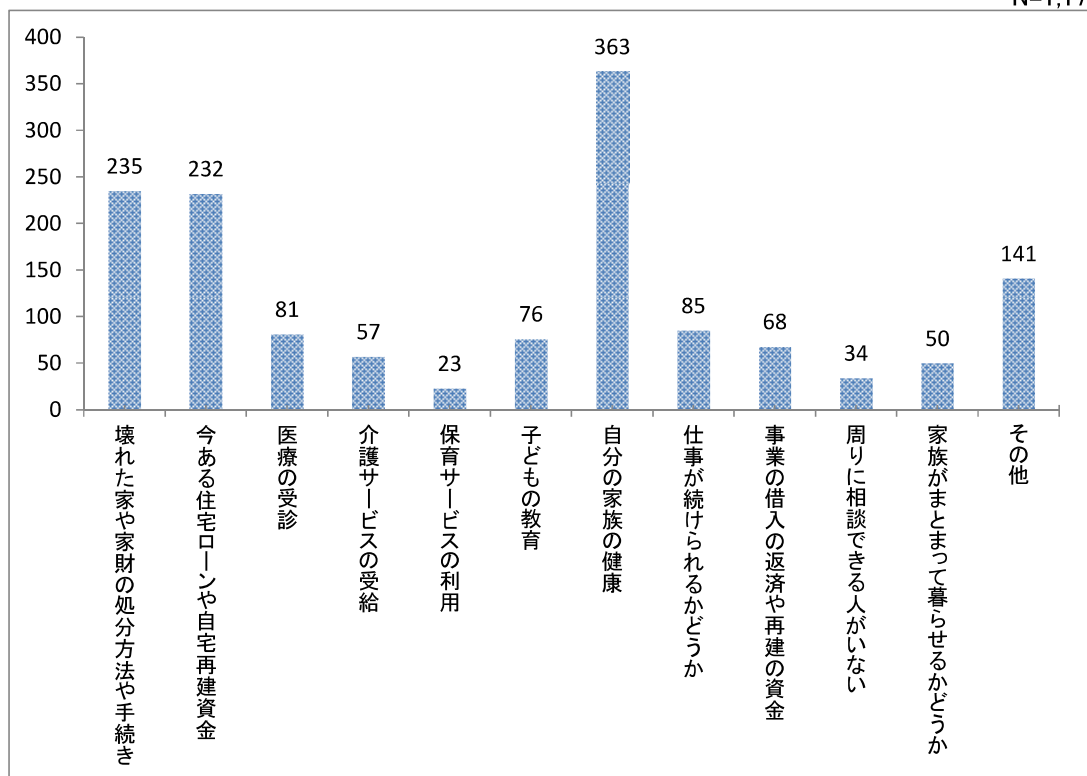
調査結果

【参考】 問44 今後の生活について、不安なことは何ですか。(複数回答)

郵送の方(1,177人)にお聞きしています。

今の生活で不安なこと(郵送)

N=1,177



N=1,177

壊れた家や家財の処分方法や手続き	235	20.0%
今ある住宅ローンや自宅再建資金	232	19.7%
医療の受診	81	6.9%
介護サービスの受給	57	4.8%
保育サービスの利用	23	2.0%
子どもの教育	76	6.5%
自分の家族の健康	363	30.8%
仕事が続けられるかどうか	85	7.2%
事業の借入の返済や再建の資金	68	5.8%
周りに相談できる人がいない	34	2.9%
家族がまとまって暮らせるかどうか	50	4.2%
その他	141	12.0%
未回答	365	31.0%
回答計	1,810	

大きな揺れを感じた地域に限定した郵送調査の方が、「自分の家族の健康」が不安と答える方が多かった。

調査結果

問45 【問44】で選択いただいた方にお尋ねします。選択いただいた不安なことについて、具体的にご記入ください。(自由記述)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

全員の方(3,381人)に問44で選択式により回答を求めたところ2,884人から回答をいただき、併せて同問において自由記述により回答を求めたところ、969人から回答をいただいた。

○自由記述抜粋

1. 壊れた家や家財の処分方法や手続き

①壊れた家や家財の処分経費が不安

- ・ 自宅が「要注意」建物と判定されており、補修が必要だが、補修費用が高騰している
- ・ 今回の地震で実家が全壊した。両親が高齢で、建て替え等今後の住宅、生活全般に関する費用工面が不安。

②修理の見通しが立たない

- ・ 公費解体申請をしているが時期が分からないので住居再建がみなし仮設住宅居住中にできるか分からない。
- ・ 対象家屋が多いためであろうが業者の対応が遅い。
- ・ 家の修理が来年になると言われ、それまでの間に余震が来てダメージを受けないかが不安。

③その他

- ・ 借家が壊れて住む家が見つからない。
- ・ 家は1～2年は大丈夫そうだが、長期居住は困難でどうするか悩み。
- ・ 南阿蘇村高野台地区に住んでいた。村の分譲区を購入し、自宅を建てたが、今回の地震で自宅は取り壊すことになった。敷地は土割れと沈下があり、地滑りした山肌が見える。水道の復旧もめどが立たず、何よりも5人の方が亡くなった危険な所に住み続けることに不安がある。安全な所に移住したいと考えている。またこのような土地を処分できるのか不安だ。

2. 今ある住宅ローンや自宅再建資金

- ・ 住宅ローンと修理にかかる費用の支払いが今後の生活に及ぼす影響が不安。
- ・ 家族が賃貸経営をしているが、補修費だけでも相当な金額になる。入居者の事を考えれば預金を切り崩してでも補修すべきだが、自宅も半壊している為、補修する資金が足りない。
- ・ 地震保険や見舞金では家はもとには戻らない。でも、資金もないし、いまからローンも組めない。贅沢は言わないのでせめて家が元にもどる位には修理したいが、それも無理。
- ・ 自宅が石垣の上にあり、地盤沈下し、地震や梅雨などで傾いている。屋根は応急修理でブルーシートを入っているが、地盤沈下している所は未だ修理が出来ないままだ。隣の古い小屋、空家が倒壊しそうで怖い。(解体予定ですが時期は不明)

3. 医療の受診

- ・ 持病で病院にかかっているが、本震後は通常診療してなかったもので、今後同じようなことが起きたときに、薬や体調悪化したときにどうすればいいか。

4. 介護サービスの受給

- ・ 介護が必要な人がいるので、費用の面でかなり心配だ。

5. 保育サービスの利用

- ・ 保育園に入りたいが普通の料金で利用となると生活が厳しい。

調査結果

問45 【問44】で選択いただいた方にお尋ねします。選択いただいた不安なことについて、具体的にご記入ください(自由記述)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

○自由記述抜粋

6. 子どもの教育

- ・ 行事等が出来なくなるんじゃないか不安
- ・ 家族や親族の被災により、今後、住宅の建設が控えており、また、それに伴い学校の転校も見込まれるため。
- ・ 受験の年を迎え、意欲的に新学期をスタートさせた子供が再開のめどの立たない長い休校で、やる気をなくしたり、将来をあきらめたりするのではないかと不安だった。今では被災したことに負けず甘えず頑張るようになった。この体験を糧にしてほしい。
- ・ 休校中の学習内容を詰め込むことにならないか。子供への負担が気がかり。防災無線の音声に子どもがビクビクしている。内容が災害に関係なくても音声が男性の低い声というだけで怖がっている。子供への心理的影響はいつまで続くのかが不安。
- ・ 給食センターが倒壊し、弁当給食。お弁当を提供いただいている業者さんには感謝しているが、添加物等考えると不安だ。早く給食センターを建設して欲しい。

7. 自分の家族の健康

- ・ 両親が70歳を超えて実家が全壊したため、建て直すための時間と費用だけでなく、気力が持つか心配。
- ・ 家族にかなりストレスがかかっており、一息つかせたいが、経済的な事もあり休めない
- ・ 余震が続いている毎日なので、先が見えなくて何を手に付けていいのかわからない状態だ。精神的から来る病気も出て、不安から悪化する事もあり得るので、何かあったら受診するようにしている。その為にも医療費もかかるし、年金暮らしの方は生活するにも大変だと思う。

8. 仕事が続けられるかどうか

- ・ 会社の収益減の為、収入が減るだけでなく今後倒産しないか不安。生活がたちいなくなる。
- ・ 会社を経営しているため、建物の再建はもちろん、従業員の生活をきちんと保障していけるか不安あり。

9. 事業の借入の返済や再建の資金

- ・ 自営の店舗の被害の復旧、かかる費用について心配。瓦屋などは、いまだに見積もりさえもらえず、本復旧がいつになるかの目処もつかず不安。
- ・ 事業の再建に対していろいろと後押しして頂いてはいるけど、各部所部所でお話が統一されていないこともあり、再建者が戸惑うこともよくあります。あまり再建に時間がかかりすぎるとやる気が薄れていきます。体力、気力がなくなってしまう前に早く事業が進められるような指導を統一してほしいです。

10. 周りに相談できる人がいない

- ・ 都市部では近所づきあいが少ないため、近隣の人の情報も少なくどのような支援が必要であるかわからない。

11. 家族がまとまって暮らせるかどうか

- ・ 老老介護中であり、全員での速やかな避難が困難

調査結果

問46 今後の生活再建に向けて県に求めることを教えてください。(自由記述)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

全員の方(3,381人)に自由記述形式でたずねたところ、1,332人から意見をいただいた。具体的な記述内容は以下のとおりである。

○自由記述抜粋

1. 見舞金や寄付金、融資の充実

- ・ 義援金、支援金を有効に使ってほしい。家が全壊してなくても困っているひとがたくさんいる。難しいと思うけどなるべくそういう人が少しでも安心できるようお願いしたい。
- ・ 義援金や、支援をどこで誰がいくくらい受けているか、きちんと知りたいし、県民全員が被災者なのだから平等に支援してもらいたい。
- ・ 本当に困っている方への公的補助。たいして困っていないのに便乗するようなことがあってはならないが本当に困っている人へは手厚い補助を。
- ・ 国と県等からの支援と義援金の使途が見えない。特に義援金は県民へ明示いただきたいです。
- ・ 家を修理すれば屋根、基礎、部屋の修理など300万～400万ぐらいかかるのに補助がない。低金利のローンとか無利子を考えてほしい。
- ・ 家屋の大規模な損害などはありませんでしたが、地震の被害からの復旧には費用がかかります。税金などの優遇があれば、とてもありがたい。

2. 道路の復旧、渋滞の緩和

- ・ 道路の復旧を急いでほしい。代替え道路も必要だが、当面既存の道路を通れるようにするのが先決。
- ・ 南阿蘇村在住なので、道路の復旧を早くお願いしたい。
- ・ まずは、道路、施設等ハード面の復旧を急いでほしい。同時に、再建支援の情報を随時提供してほしい。
- ・ 早く道路(57号)の開通をしてもらいたい。仕事が市内なので体の疲労がたまらなくて辛い。仕事に行かないと生活が出来ないのでやめる事も出来ないし、今年の冬はミルクロードもグリーンロードもだぶん通れなくなるので、すごく不安だ。立野大橋がなくなった事が一番の不便だ。早く道をどうにかしてほしい。

3. みなし仮設、仮設住宅への入居支援、すまいの確保

- ・ 避難者を早くみなしも含めた仮設に入所させ、その予算を次の段階に移行させること。
- ・ 皆さん大変かとは思いますが、公費解体が進まないと家を建てるにしても何も前に進まないのので、早急な対応をお願いします。
- ・ 仮設住宅に暮らす人々の一般住宅への移行等、様々な生活再建のための支援の充実。

4. 被害や復旧の見込みに係る情報提供

- ・ 本当の被害状況を細かく調査して欲しい。その情報を全国に流して欲しい。他県では熊本地震は終わったと思われている。
- ・ 復旧状況をもっとHPIに記載してほしい。
- ・ もっと笑顔で情報を発信してほしい、特に知事には県民が元気のような笑顔が欲しい。

調査結果

問46 今後の生活再建に向けて県に求めることを教えてください。(自由記述)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

○自由記述抜粋

5. 一部損壊や屋内損壊への支援

- ・ 一部損壊の人にもなんらかの支援があるといいと思う。
- ・ 半壊以上の人だけが被災しているわけではなく、一部損壊の方が圧倒的に多いので、もっと違った義援金の使い方があるのではないかな？
一部損壊の家でも、いろいろな負担がある。全壊、半壊の方だけでなく、一部損壊の被害を受けた人にも目を向けて欲しい。義援金が多かったからと全壊、半壊の人に上乘せするのではなく、幅広く援助してほしい。
- ・ 地盤の損壊や擁壁の損壊も支援があれば助かる。公費解体がいつになるかわからず、再建の準備ができない。解体を早くしてほしい。

6. その他

- ・ 失業されたかた、倒産や事業縮小をしなくてはならない雇用主のかた(農業、林業、漁業などすべてのお仕事)の再建。
- ・ 明るくがんばりたい。熊本城を再建してほしい。見るたびに悲しくなる。
- ・ 市町村では、予算や財源が不足しており、市町村のニーズを踏まえて、財政的、人的、専門的な支援をする。
- ・ 心のケアは長く続けていただきたいです
- ・ 熊本地震の記録を残し、それを将来へ引き継げる様な施設を作してほしい。
- ・ くまモンのより多い出沒を！！元気の源だ。あんなに子供から高齢者まで平等に喜べるキャラクターない。
- ・ 全国どこでいつまたこの規模の災害が起こるか分からない。阪神淡路や、東日本大震災のノウハウもあったが、熊本で起こった様々な事象をしっかりとめ、次に生かしていく事が大事になると思う。それが、熊本の大きな役割ではないだろうか。
- ・ わからない事で役場と県に電話したのだが、違う答えが返ってきたのでどちらの方を信用していいのかがわからなかった。電話に出られる人によって違ったので困った。
- ・ 下通り、上通り、銀座通り等、飲み屋さん等を活性化してもらいたい。景気を良くしてもらわないと生活が成り立たない。

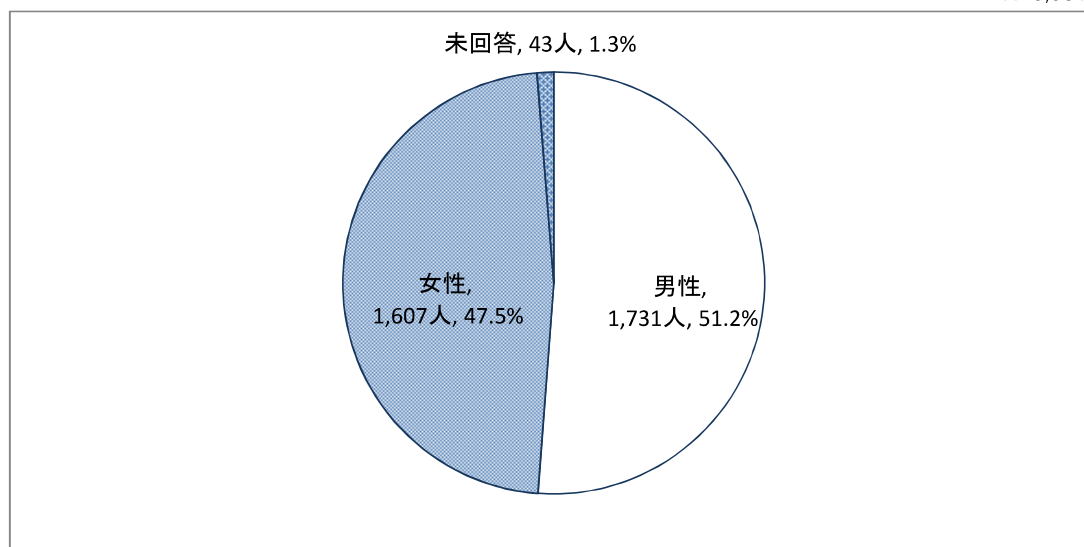
調査結果

フェイスシート問1 あなたの性別を教えてください。（単数回答）

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

性別

N=3,381



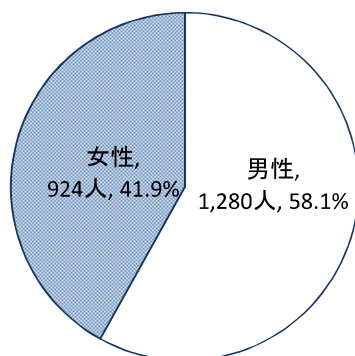
調査結果

【参考】フェイスシート問1 あなたの性別を教えてください。(単数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

性別(インターネット)

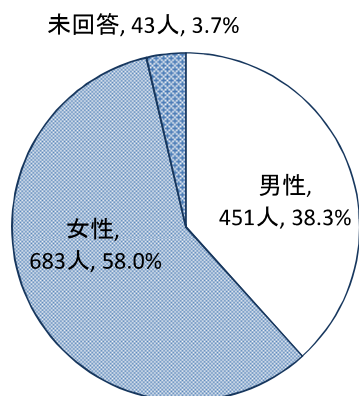
N=2,204



郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。

性別(郵送)

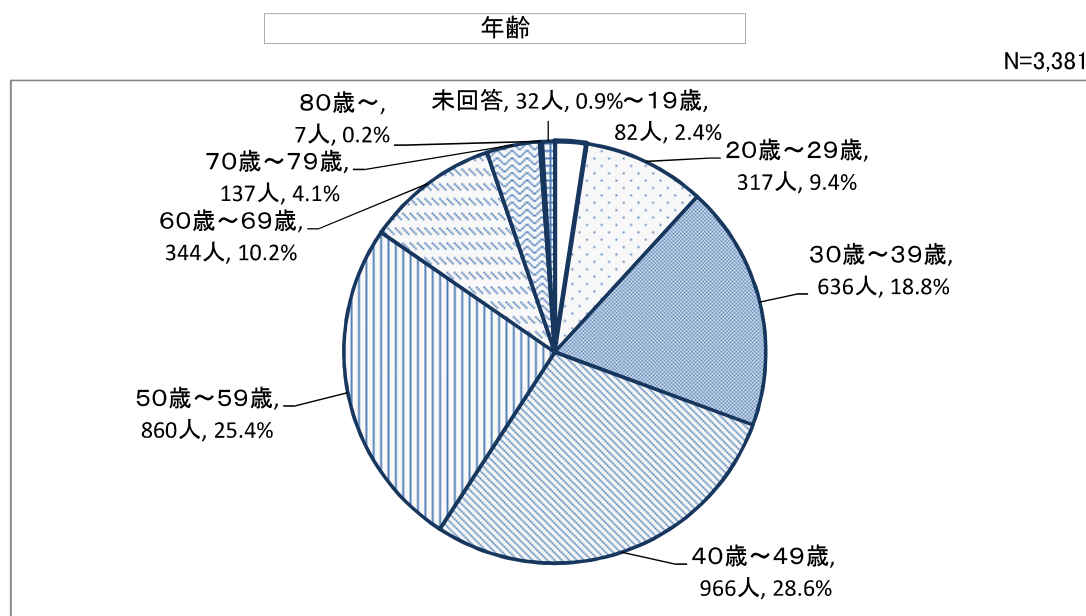
N=1,177



調査結果

フェイスシート問2 現在の年齢を教えてください。(単数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。



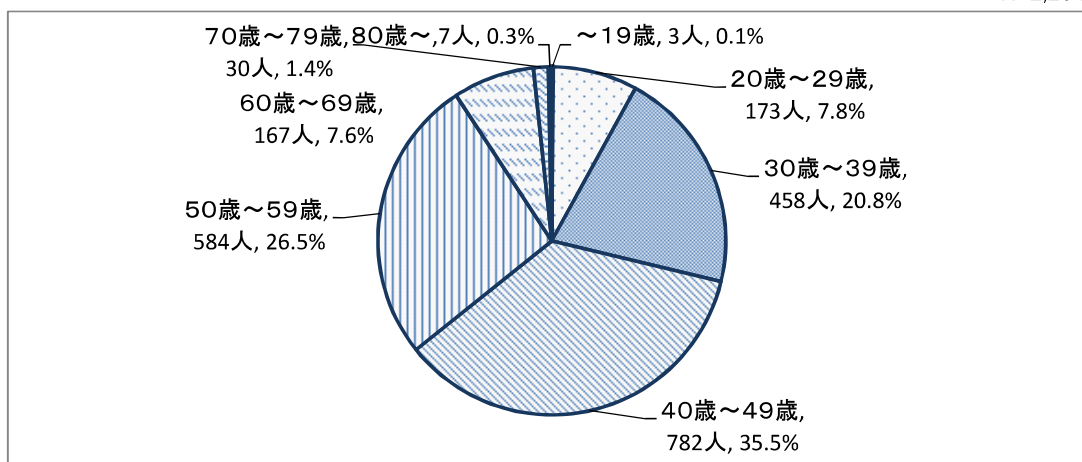
調査結果

【参考】フェイスシート問2 現在の年齢を教えてください。(単数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

年齢(インターネット)

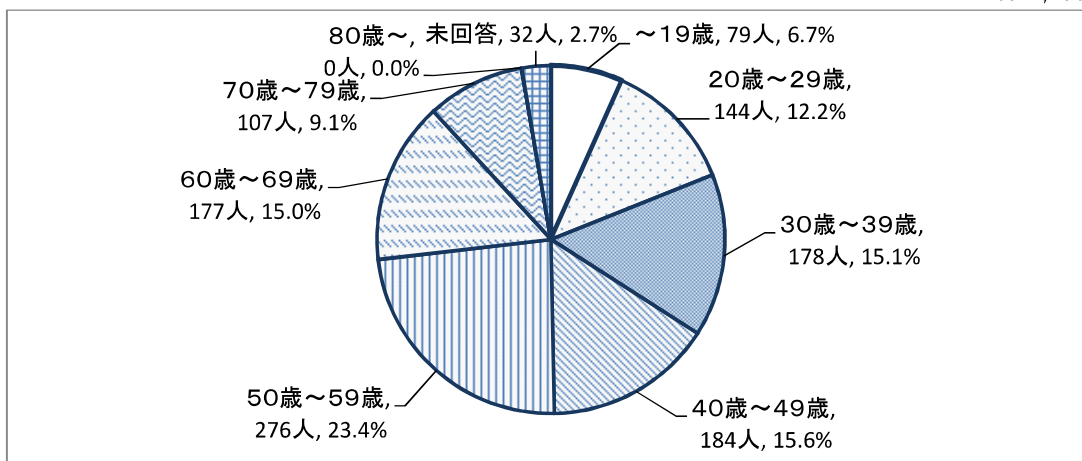
N=2,204



郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。

年齢(郵送)

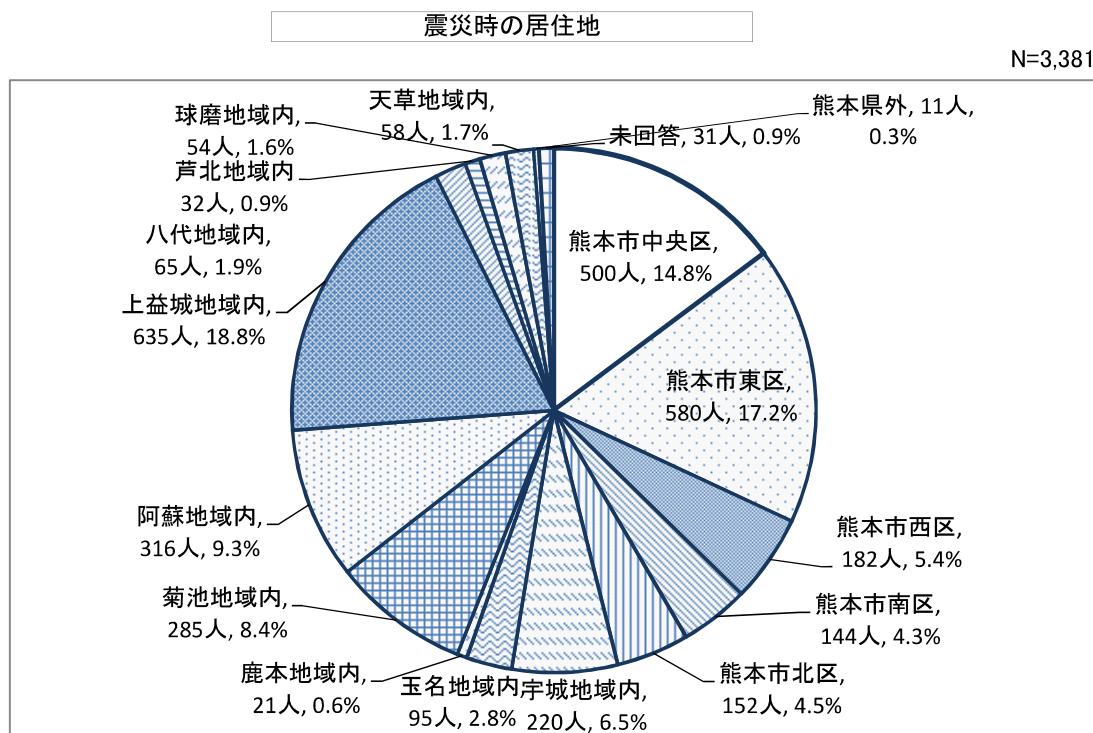
N=1,177



調査結果

フェイスシート問3 震災時のお住まいの場所はどこですか。(単数回答)

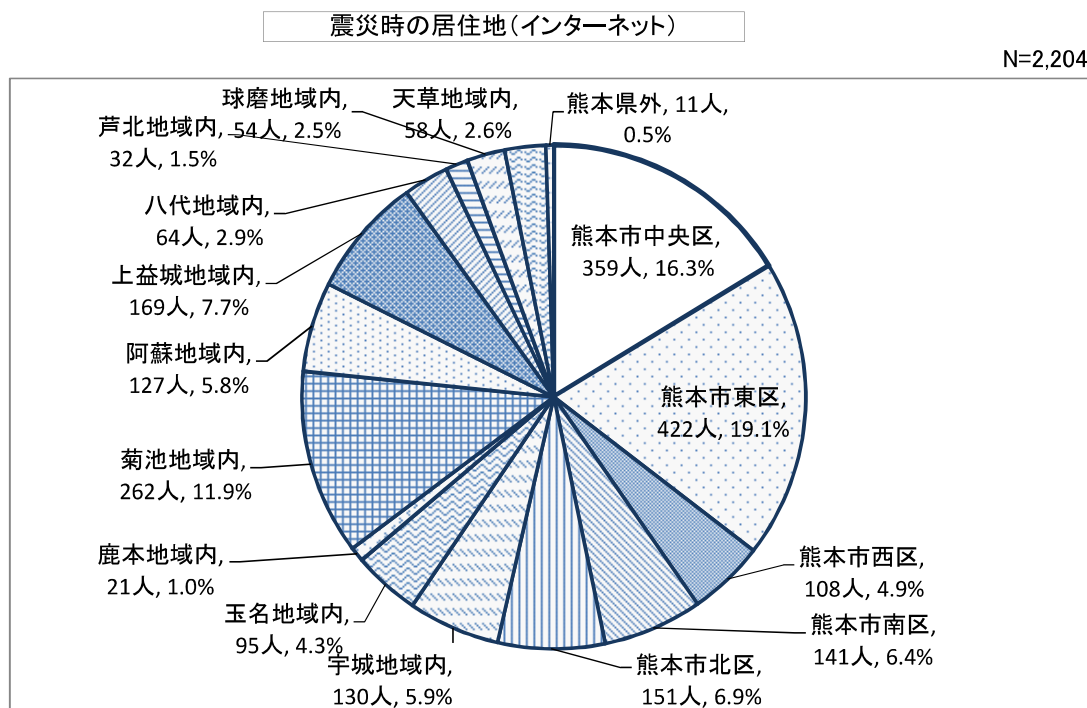
全員の方(3,381人)にお聞きしています。



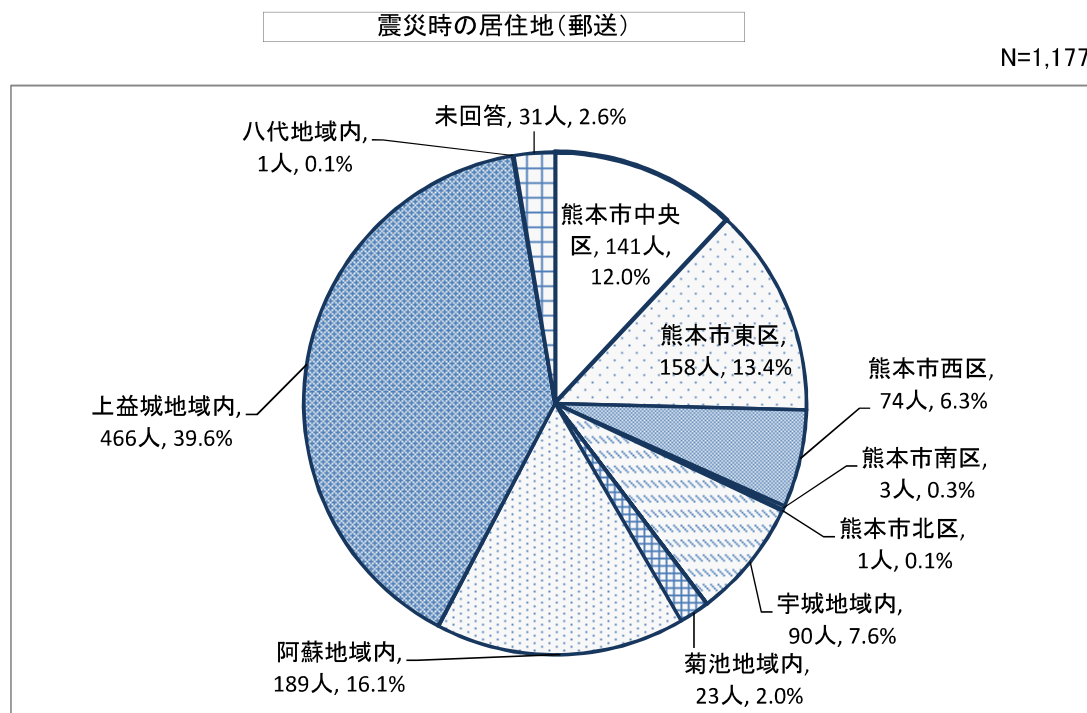
調査結果

【参考】フェイスシート問3 震災時のお住まいの場所はどこですか。（単数回答）

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。



郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。



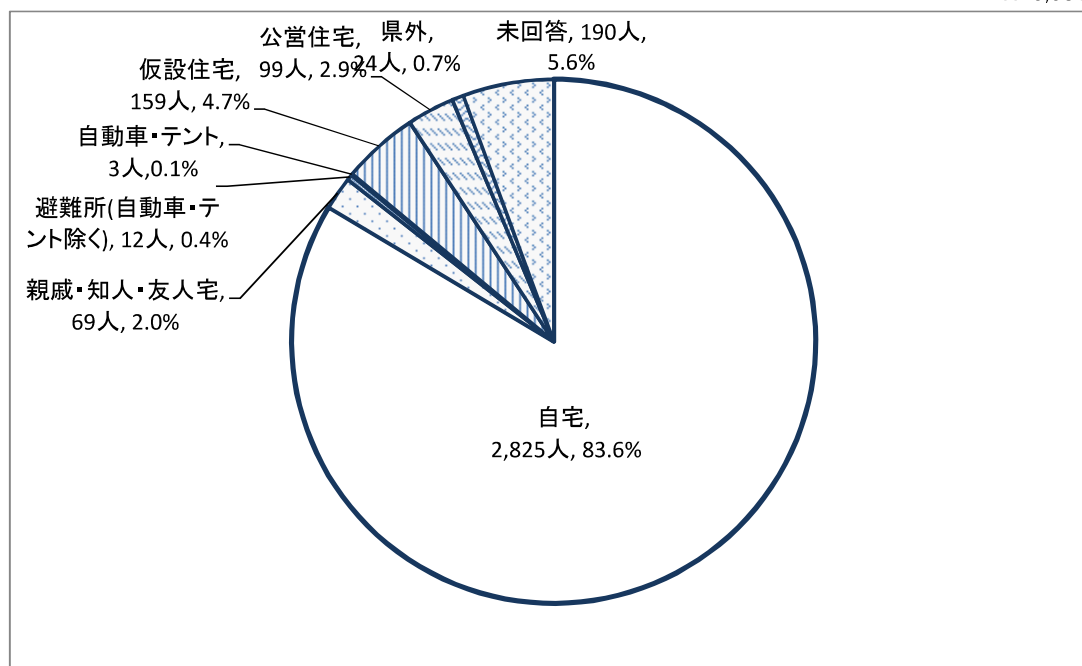
調査結果

フェイスシート問4 今のお住まいはどれですか。(単数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

今の住まいの状況

N=3,381



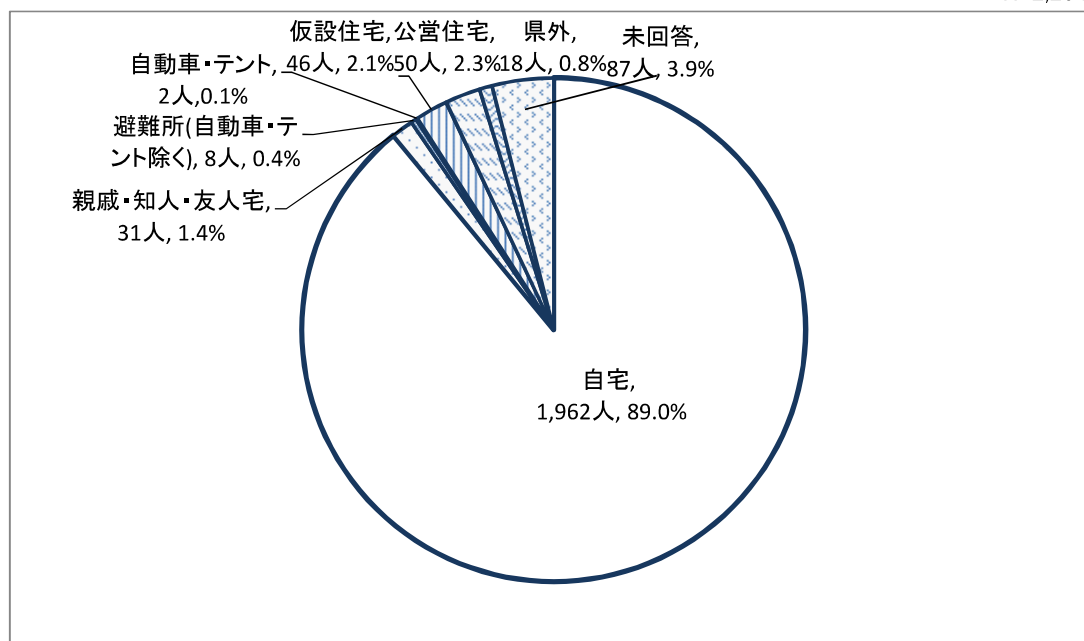
調査結果

【参考】フェイスシート問4 今のお住まいはどれですか。（単数回答）

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

今の住まいの状況(インターネット)

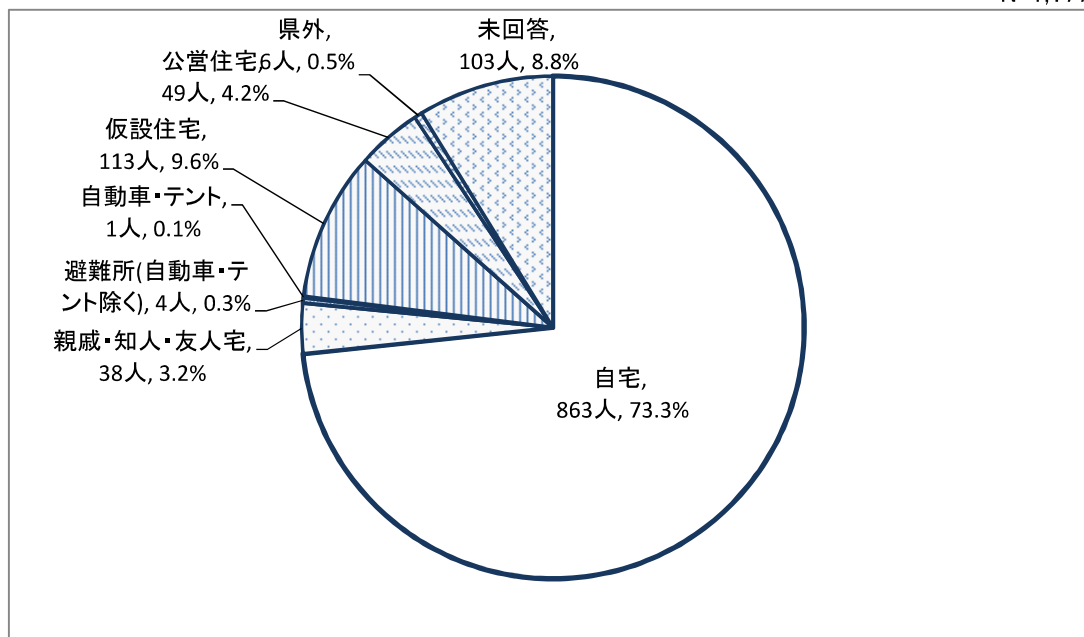
N=2,204



郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。

今の住まいの状況(郵送)

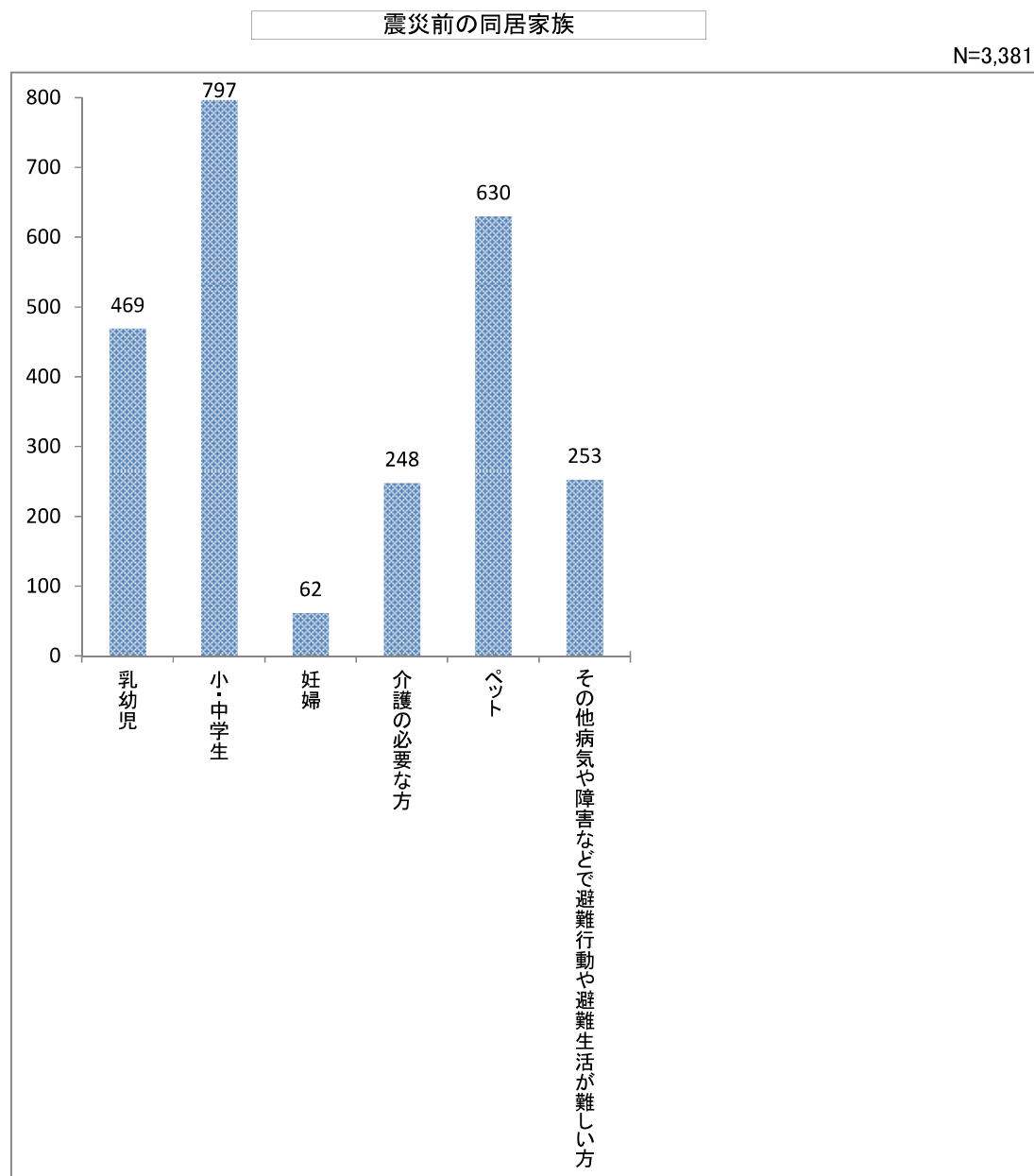
N=1,177



調査結果

フェイスシート問5 震災前の同居家族には、どのような方がいましたか。（複数回答）

全員の方(3,381人)にお聞きしています。



N=3,381

乳幼児	469	13.9%
小・中学生	797	23.6%
妊婦	62	1.8%
介護の必要な方	248	7.3%
ペット	630	18.6%
その他病気や障害などで避難行動や避難生活が難しい方	253	7.5%
未回答	1,504	44.5%
回答計	3,963	

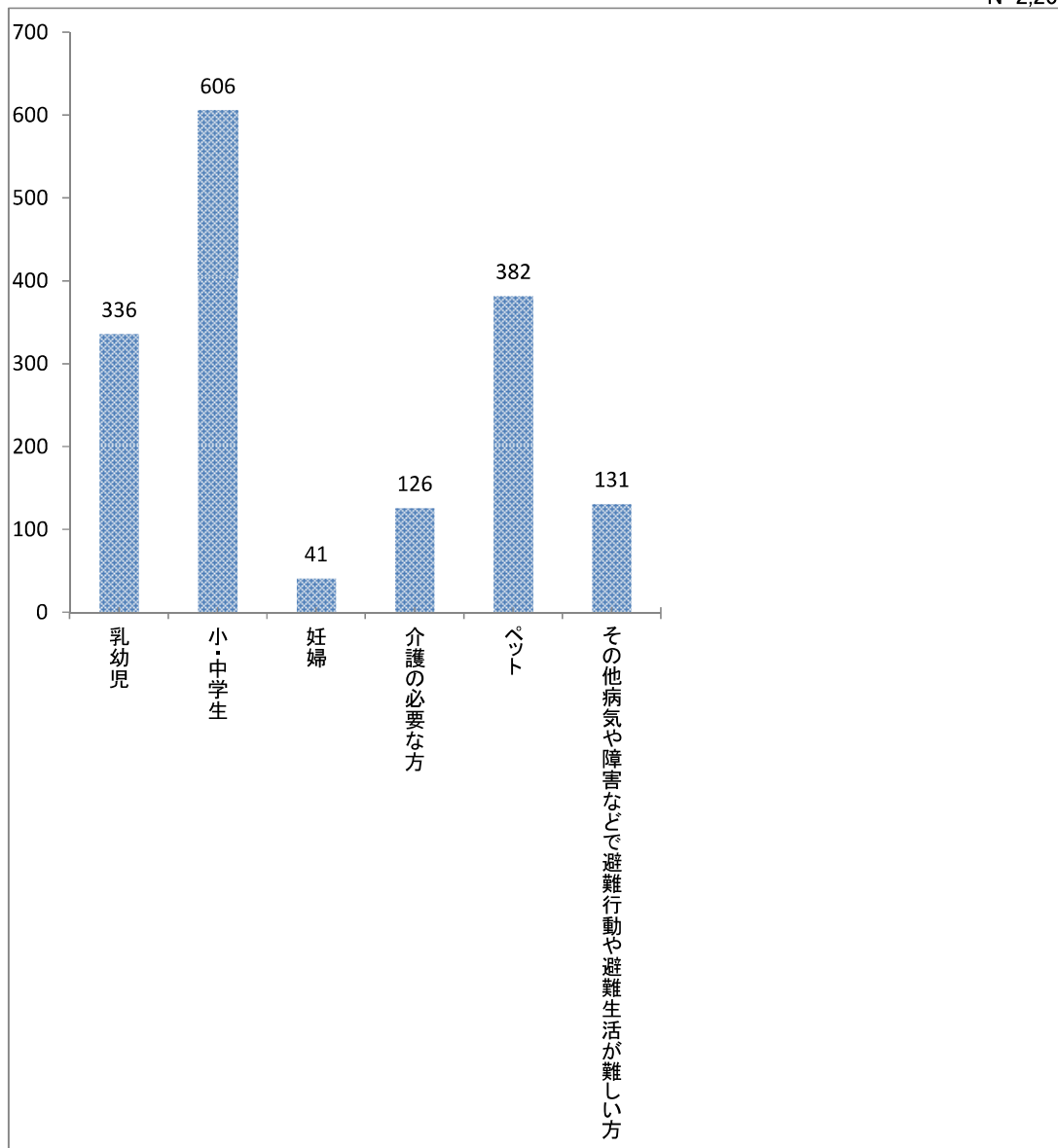
調査結果

【参考】フェイスシート問5 震災前の同居家族には、どのような方がいましたか。（複数回答）

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

震災前の同居家族（インターネット）

N=2,204



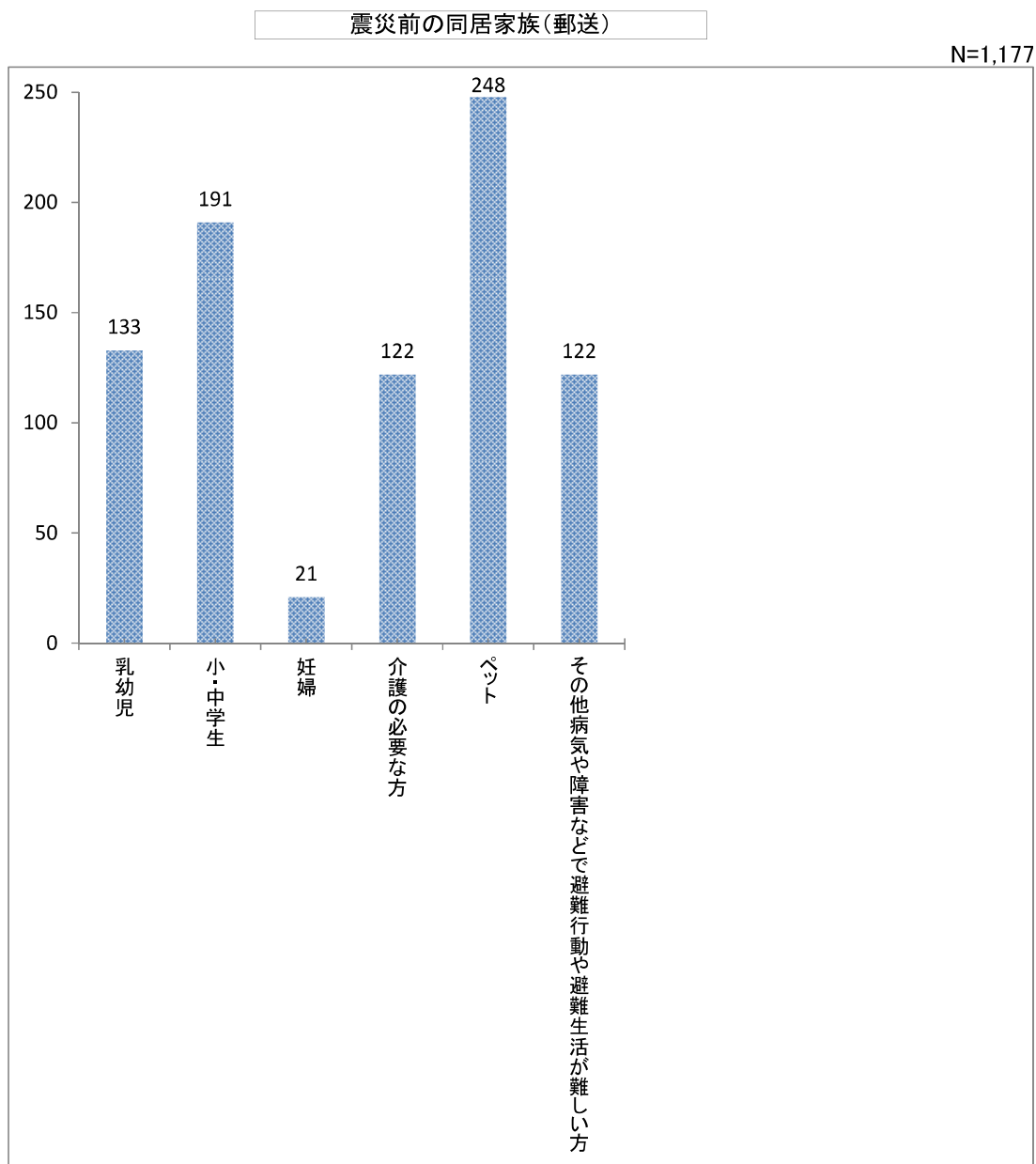
N=2,204

乳幼児	336	15.2%
小・中学生	606	27.5%
妊婦	41	1.9%
介護の必要な方	126	5.7%
ペット	382	17.3%
その他病気や障害などで避難行動や避難生活が難しい方	131	5.9%
未回答	966	43.8%
回答計	2,588	

調査結果

【参考】フェイスシート問5 震災前の同居家族には、どのような方がいましたか。（複数回答）

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。



N=1,177

乳幼児	133	11.3%
小・中学生	191	16.2%
妊婦	21	1.8%
介護の必要な方	122	10.4%
ペット	248	21.1%
その他病気や障害などで避難行動や避難生活が難しい方	122	10.4%
未回答	538	45.7%
回答計	1,375	

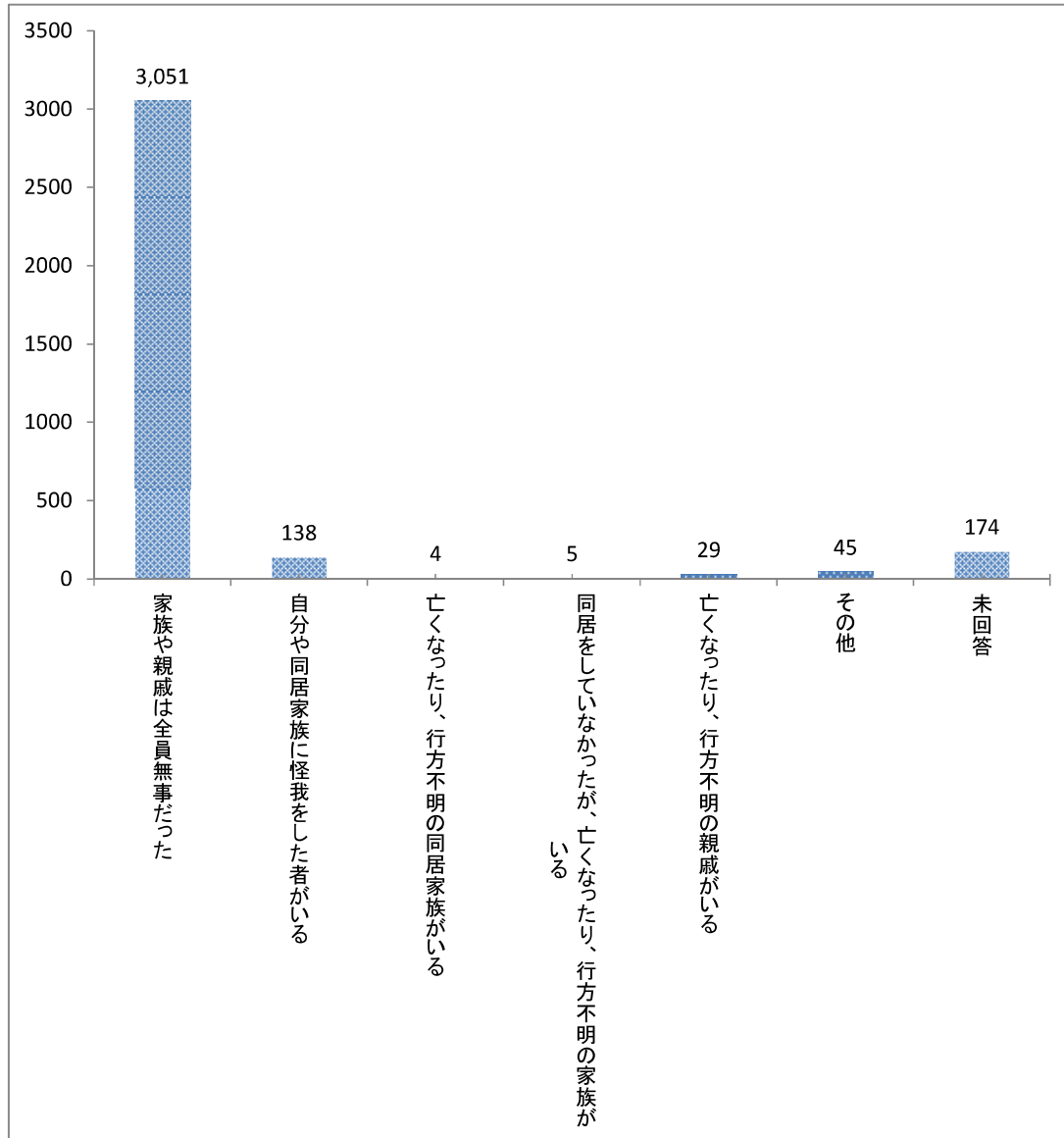
調査結果

フェイスシート問6 あなたご自身やご家族、ご親戚はどのような被害をお受けになりましたか。(複数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

ご自身や家族、親せきの被害

N=3,381



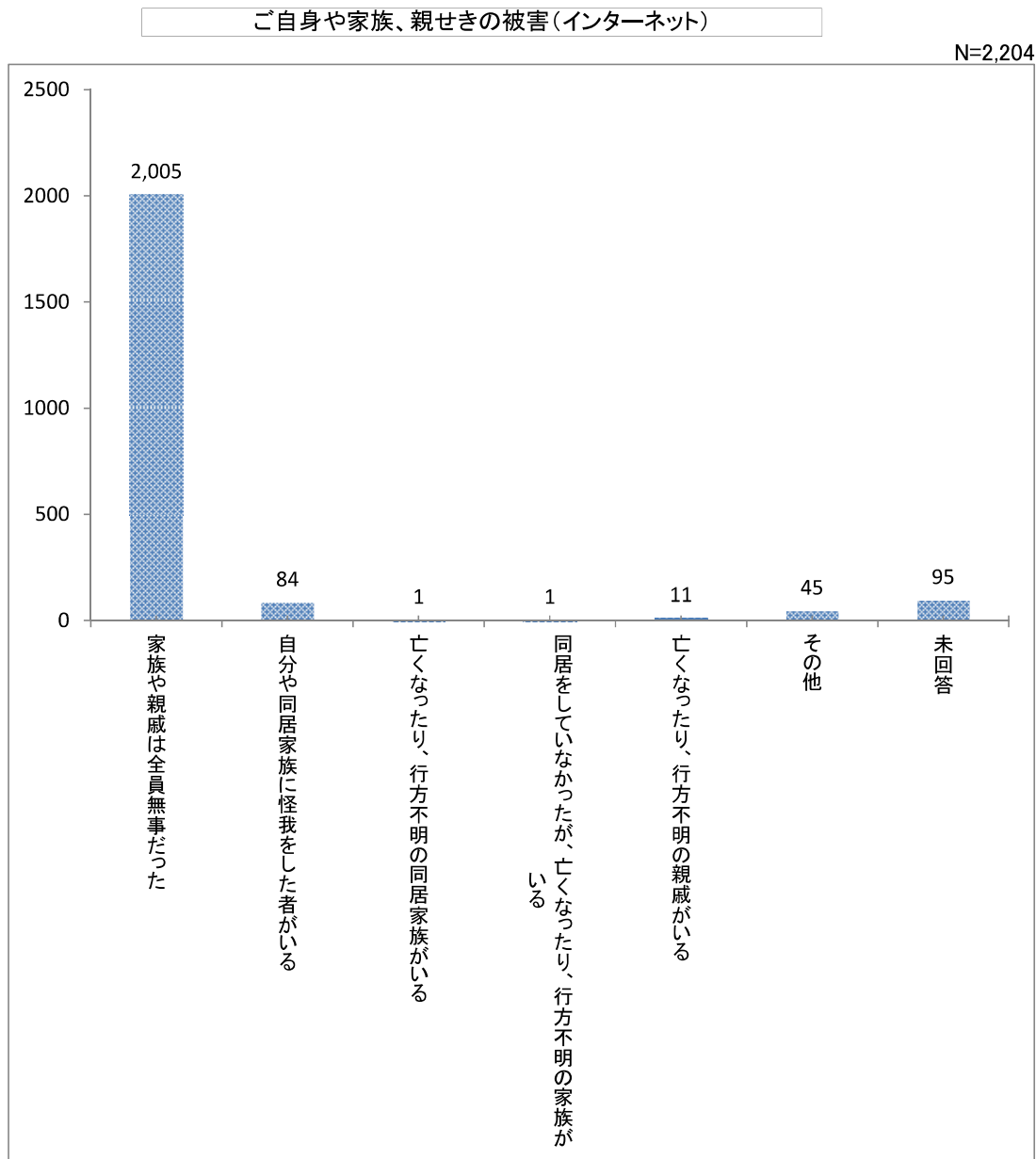
N=3,381

家族や親戚は全員無事だった	3,051	90.2%
自分や同居家族に怪我をした者がいる	138	4.1%
亡くなったり、行方不明の同居家族がいる	4	0.1%
同居をしていなかったが、亡くなったり、行方不明の家族がいる	5	0.1%
亡くなったり、行方不明の親戚がいる	29	0.9%
その他	45	1.3%
未回答	174	5.1%
回答計	3,446	

調査結果

【参考】フェイスシート問6 あなたご自身やご家族、ご親戚はどのような被害をお受けになりましたか。（複数回答）

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。



N=2,204

家族や親戚は全員無事だった	2,005	91.0%
自分や同居家族に怪我をした者がいる	84	3.8%
亡くなったり、行方不明の同居家族がいる	1	0.0%
同居をしていなかったが、亡くなったり、行方不明の家族がいる	1	0.0%
亡くなったり、行方不明の親戚がいる	11	0.5%
その他	45	2.0%
未回答	95	4.3%
回答計	2,242	

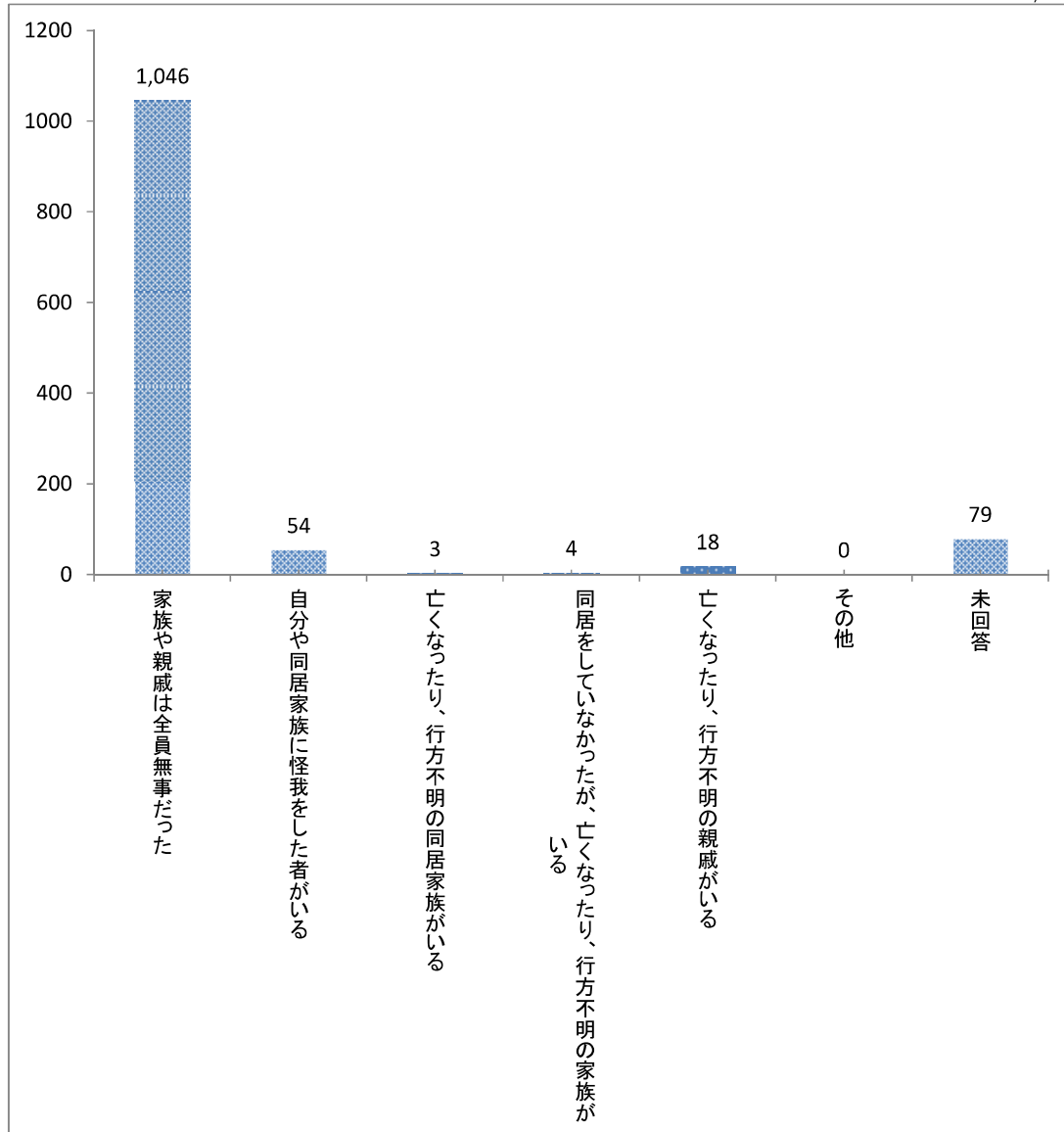
調査結果

【参考】フェイスシート問6 あなたご自身やご家族、ご親戚はどのような被害をお受けになりましたか。（複数回答）

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。

ご自身や家族、親せきの被害(郵送)

N=1,177



N=1,177

家族や親戚は全員無事だった	1,046	88.9%
自分や同居家族に怪我をした者がいる	54	4.6%
亡くなったり、行方不明の同居家族がいる	3	0.3%
同居をしていなかったが、亡くなったり、行方不明の家族がいる	4	0.3%
亡くなったり、行方不明の親戚がいる	18	1.5%
その他	0	0.0%
未回答	79	6.7%
回答計	1,204	

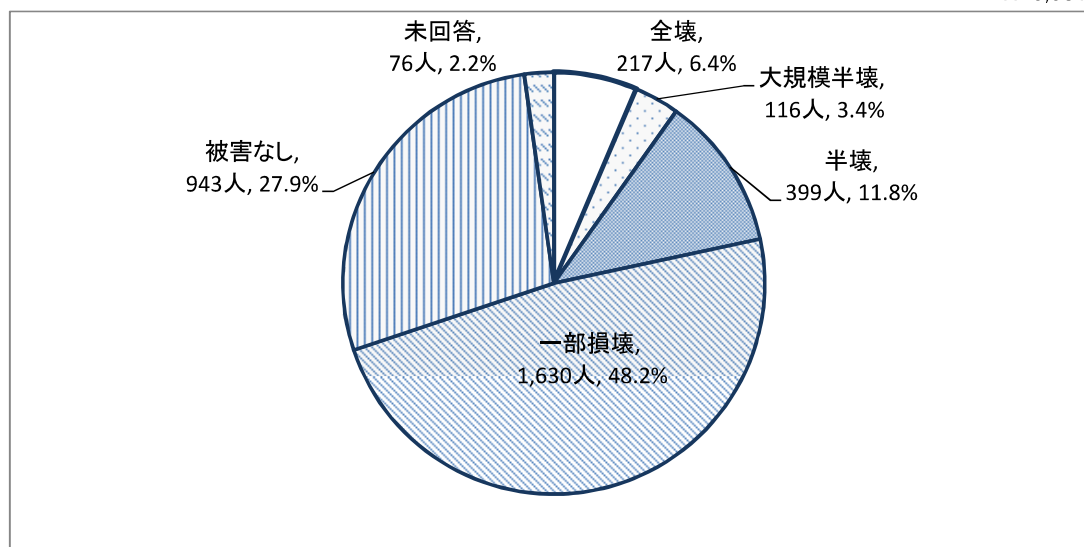
調査結果

フェイスシート問7 あなたの自宅の被害状況を教えてください。（単数回答）

全員の方(3,381人)にお聞きしています。

自宅の被害状況

N=3,381



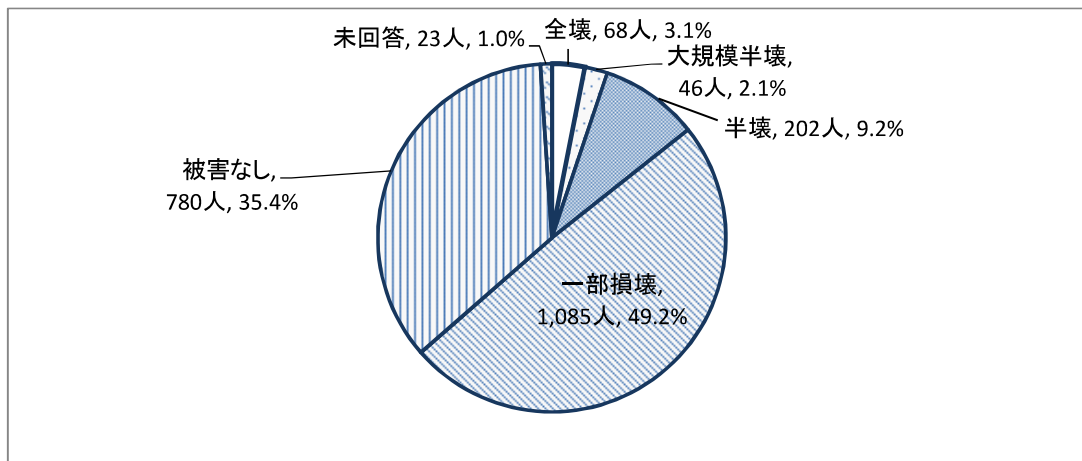
調査結果

【参考】フェイスシート問7 あなたの自宅の被害状況を教えてください。(単数回答)

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

自宅の被害状況(インターネット)

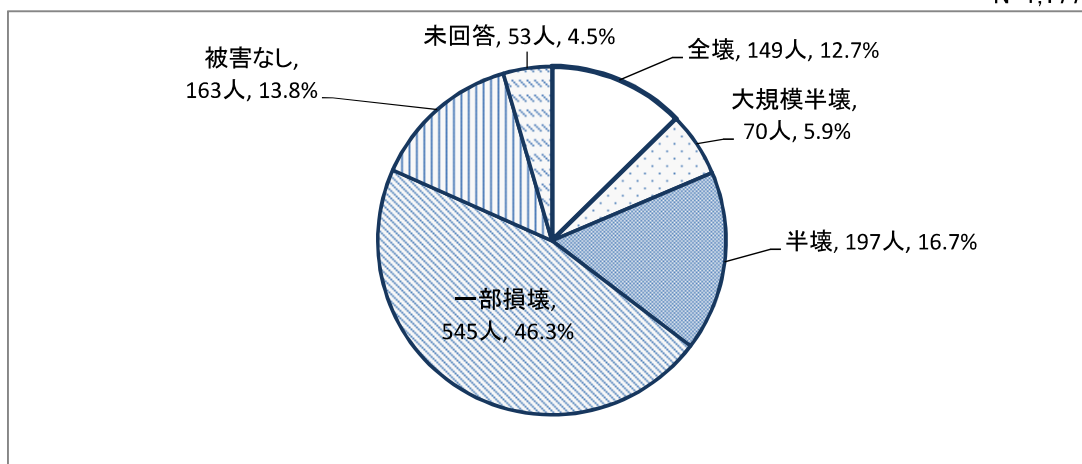
N=2,204



郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。

自宅の被害状況(郵送)

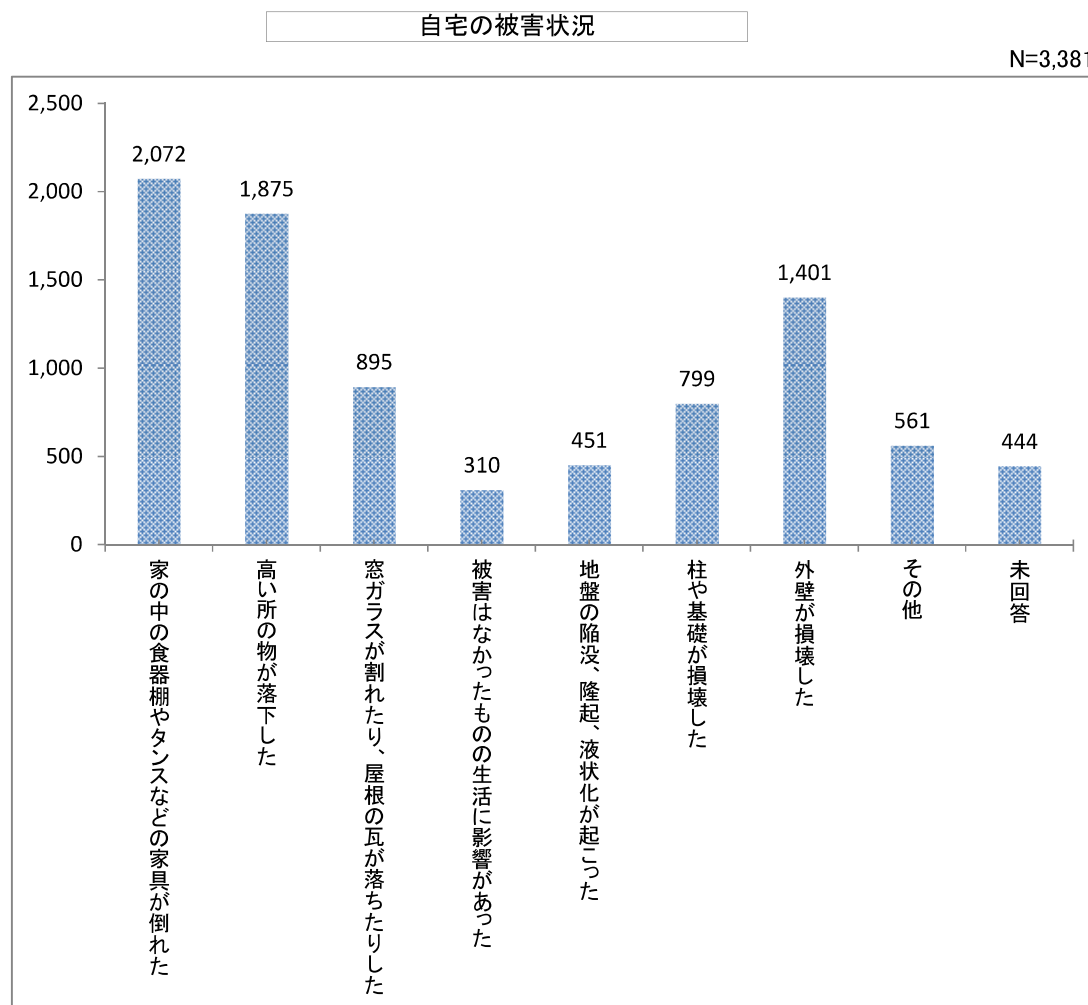
N=1,177



調査結果

フェイスシート問8 あなたの自宅の被害状況を教えてください。(複数回答)

全員の方(3,381人)にお聞きしています。



N=3,381

家の中の食器棚やタンスなどの家具が倒れた	2,072	61.3%
高い所の物が落下した	1,875	55.5%
窓ガラスが割れたり、屋根の瓦が落ちたりした	895	26.5%
被害はなかったものの生活に影響があった	310	9.2%
地盤の陥没、隆起、液状化が起こった	451	13.3%
柱や基礎が損壊した	799	23.6%
外壁が損壊した	1,401	41.4%
その他	561	16.6%
未回答	444	13.1%
回答計	8,808	

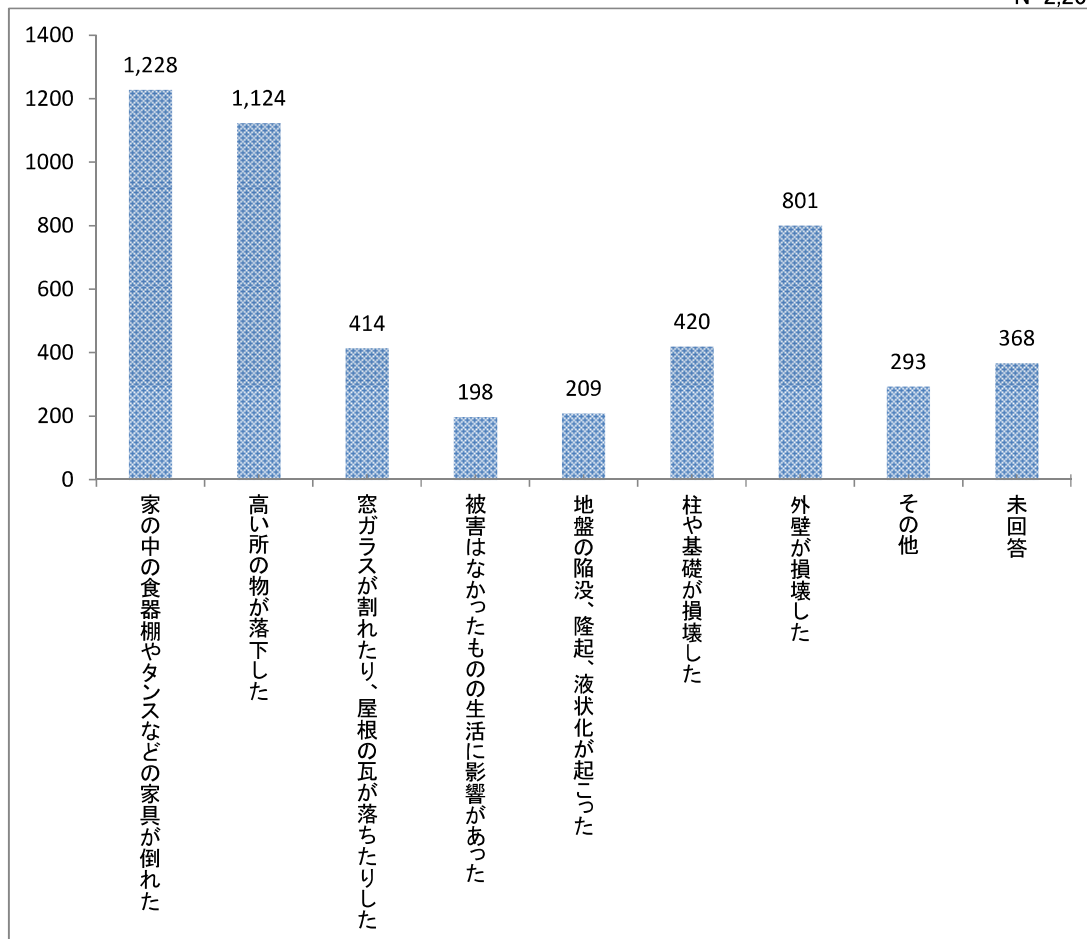
調査結果

【参考】フェイスシート問8 あなたの自宅の被害状況を教えてください。（複数回答）

インターネット回答の方(2,204人)にお聞きしています。

自宅の被害状況（インターネット）

N=2,204



N=2,204

家の中の食器棚やタンスなどの家具が倒れた	1,228	55.7%
高い所の物が落下した	1,124	51.0%
窓ガラスが割れたり、屋根の瓦が落ちたりした	414	18.8%
被害はなかったものの生活に影響があった	198	9.0%
地盤の陥没、隆起、液状化が起こった	209	9.5%
柱や基礎が損壊した	420	19.1%
外壁が損壊した	801	36.3%
その他	293	13.3%
未回答	368	16.7%
回答計	5,055	

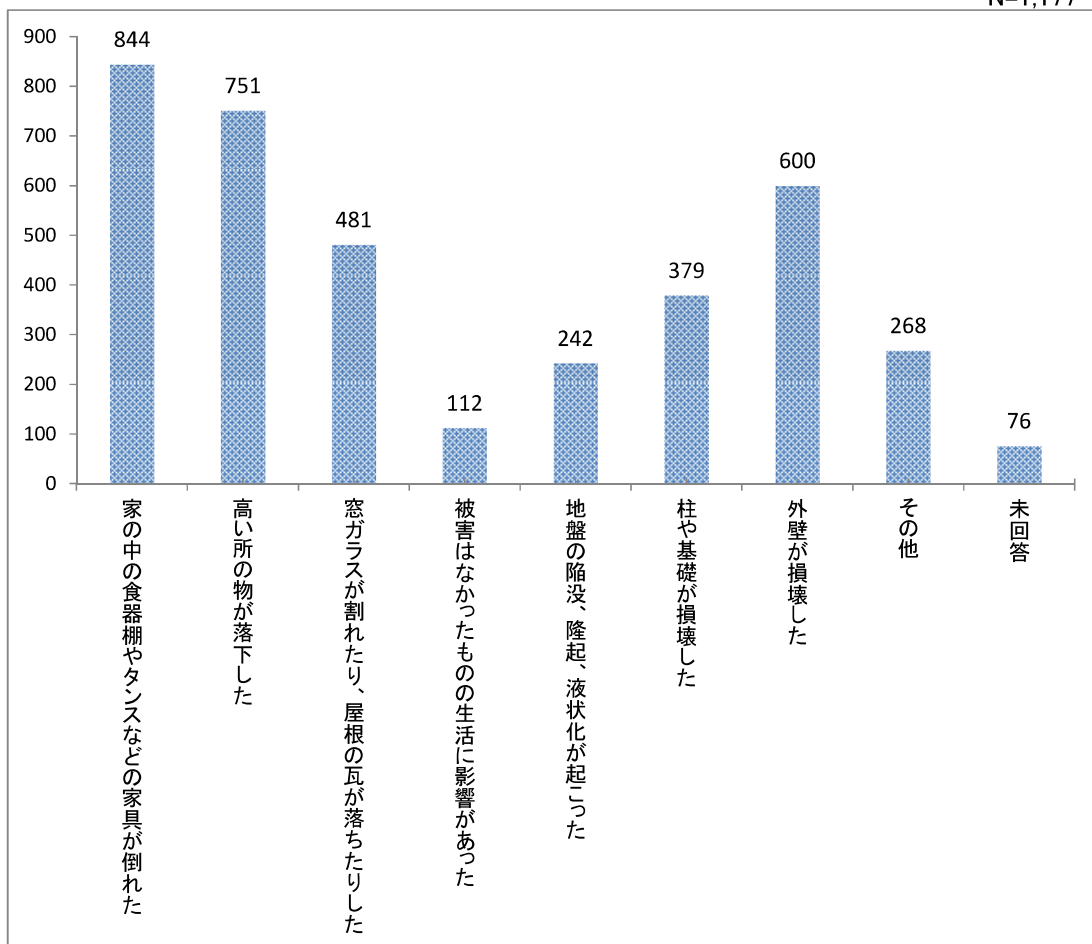
調査結果

【参考】フェイスシート問8 あなたの自宅の被害状況を教えてください。（複数回答）

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。

自宅の被害状況(郵送)

N=1,177



N=1,177

家の中の食器棚やタンスなどの家具が倒れた	844	71.7%
高い所の物が落下した	751	63.8%
窓ガラスが割れたり、屋根の瓦が落ちたりした	481	40.9%
被害はなかったものの生活に影響があった	112	9.5%
地盤の陥没、隆起、液状化が起こった	242	20.6%
柱や基礎が損壊した	379	32.2%
外壁が損壊した	600	51.0%
その他	268	22.8%
未回答	76	6.5%
回答計	3,753	

平成28年熊本地震に関する県民アンケート調査

～県民アンケート調査への御協力をお願い～

平成28年熊本地震により被災された皆様には、
心よりお見舞い申し上げます。

また、県民の皆様には、復旧・復興に向けて
あたたかいご支援・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

熊本県では、このたび、熊本地震に関するアンケート調査を実施することとなりました。

この調査は、県民の皆様が日頃から災害にどのように備え、熊本地震の際にどのように行動したのか、行政に対してどのようなニーズをお持ちなのかなど、その実態を調査することにより、今後の防災体制の強化に活かしていくために行うものです。

調査対象者の選定にあたりましては、県内にお住まいの20歳以上の方々の中から、
2,000名を各市町村の住民基本台帳より無作為に選ばせていただきました。

「災害に強く、安全・安心に生活できる熊本」の創造の実現に向け、県民の皆様とともに取り組みを進めて参りたいと考えておりますので、皆様の率直なご意見をよろしく願います。

平成28年8月

熊本県知事 蒲 島 郁 夫



調査票へのご記入にあたって

- アンケートへの回答は、封筒のあて名の方 ご本人 をお願いします。
(ご本人でのご記入が困難な場合は、代筆でもかまいません。)
- 回答は、黒の鉛筆又はボールペンなどで、この調査票に直接記入してください。
- 内容が分からない質問や、回答したくない質問には、回答されなくてもかまいません。
(回答していないところがあっても、そのまま返送してください。)
- 記入が終わったら、調査票を 同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、平成28年9月14日(水)までに、郵便ポストに投函してください。
返送先である「株式会社九州みらい研究所」は県による本調査業務委託先です。
- ご回答いただいた内容は、無記名のまま集計、分析し、回答者個人を特定する情報はわからない仕組みになっています。

■ お問い合わせ先

熊本県知事公室危機管理防災課 地域防災推進班

電 話 096-333-2811

ファックス 096-383-1503

電子メール kikibosai@pref.kumamoto.lg.jp

問1 最初に、今回の地震で思ったこと、感じたことについて自由にご記入ください。

■ 次に、前震(平成28年4月14日午後9時26分頃)の時のことをお尋ねします。

あてはまる番号にそれぞれ○をつけてください。

※本震のみ経験された方は、【問6】からお答えください。

問2 前震(平成28年4月14日午後9時26分頃)の際、あなたはどこで揺れを感じましたか。
(1つだけ○)

1 自宅やその近く

2 知人宅

3 自宅・知人宅以外の施設内

4 車両で移動中(自動車、JR、バス、タクシーなど)

5 屋外(徒歩、自転車など)

6 覚えていない

7 その他(具体的に:)

問3 前震(平成28年4月14日午後9時26分頃)の際、あなたが揺れを感じた場所を教えてください。(1つだけ○)

熊本市	1 熊本市中央区	菊池	16 菊池市	八代	32 八代市
	2 熊本市東区		17 合志市		33 氷川町
	3 熊本市西区		18 大津町	芦北	34 水俣市
	4 熊本市南区		19 菊陽町		35 芦北町
	5 熊本市北区				36 津奈木町
宇城	6 宇土市	阿蘇	20 阿蘇市	球磨	37 人吉市
	7 宇城市		21 南小国町		38 錦町
	8 美里町		22 小国町		39 あさぎり町
玉名	9 荒尾市		23 産山村		40 多良木町
	10 玉名市		24 高森町		41 湯前町
	11 玉東町		25 南阿蘇村		42 水上村
	12 和水町		26 西原村		43 相良村
	13 南関町				44 五木村
	14 長洲町				45 山江村
					46 球磨村

鹿 本	15 山 鹿 市	上益城	27 御 船 町	天 草	47 天 草 市
			28 嘉 島 町		48 上天草市
			29 益 城 町		49 苓 北 町
			30 甲 佐 町	県 外	50 熊 本 県 外
			31 山 都 町		

問 4 前震（平成 28 年 4 月 14 日午後 9 時 26 分頃）の際の揺れている最中の行動を教えてください。（○はいくつでも）

1 その場でじっとして様子を見ていた 2 机やテーブルの下に身を隠した 3 頑丈なものにつかまって身をささえた 4 屋外に飛び出した 5 ドアや窓を開けた 6 お年寄りや子供等を守ろうとした 7 その他（具体的に：	)
---	-------------------------------

問 5 身を守る為の行動をとれなかった場合、その理由を教えてください。（○はいくつでも）

1 周りに身を守るものがなかったから 2 パニックになり、どうすればよいか分からなかったから 3 揺れが大きく、身を守る行動をとる余裕がなかったから 4 身を守る必要がないと思ったから 5 揺れに気が付かなかったから（就寝中など） 6 その他（具体的に：	)
--	-------------------------------

■ 本震（平成 28 年 4 月 16 日午前 1 時 25 分）の時のことをお尋ねします。

あてはまる番号にそれぞれ○をつけてください。

※本震の揺れを経験されなかった方は、【問 10】からお答えください。

問 6 本震の際(平成 28 年 4 月 16 日午前 1 時 25 分)、あなたはどこで揺れを感じましたか。
(○はひとつだけ)

1	自宅やその近く
2	知人宅
3	避難所の中
4	自宅・知人宅・避難所以外の施設内
5	車中泊
6	車両で移動中(自動車、JR、バス、タクシーなど)
7	屋外(徒歩、自転車など)
8	覚えていない
9	その他(具体的に：)

問 7 本震の際(平成 28 年 4 月 16 日午前 1 時 25 分)、揺れを感じた場所を教えてください。
(○はひとつだけ)

熊本市	1 熊本市中央区	菊池	16 菊池市	八代	32 八代市
	2 熊本市東区		17 合志市		33 氷川町
	3 熊本市西区		18 大津町	芦北	34 水俣市
	4 熊本市南区		19 菊陽町		35 芦北町
	5 熊本市北区				36 津奈木町
宇城	6 宇土市	阿蘇	20 阿蘇市	球磨	37 人吉市
	7 宇城市		21 南小国町		38 錦町
	8 美里町		22 小国町		39 あさぎり町
玉名	9 荒尾市		23 産山村		40 多良木町
	10 玉名市		24 高森町		41 湯前町
	11 玉東町		25 南阿蘇村		42 水上村
	12 和水町		26 西原村		43 相良村
	13 南関町				44 五木村
	14 長洲町				45 山江村
					46 球磨村
鹿本	15 山鹿市	上益城	27 御船町	天草	47 天草市
			28 嘉島町		48 上天草市
			29 益城町		49 苓北町
			30 甲佐町	県外	50 熊本県外
			31 山都町		

問 8 本震の際(平成 28 年 4 月 16 日午前 1 時 25 分)の揺れている最中の行動を教えてください。
(○はいくつでも)

- | | |
|---|-------------------|
| 1 | その場でじっとして様子を見ていた |
| 2 | 机やテーブルの下に身を隠した |
| 3 | 頑丈なものにつかまって身をささえた |
| 4 | 屋外に飛び出した |
| 5 | ドアや窓を開けた |
| 6 | お年寄りや子供等を守ろうとした |
| 7 | その他(具体的に: |

)

問 9 身を守る為の行動をとれなかった場合、その理由を教えてください。
(○はいくつでも)

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | 周りに身を守るものがなかったから |
| 2 | 体を動かすことが困難だったから |
| 3 | パニックになり、どうすればよいか分からなかったから |
| 4 | 揺れが大きく、身を守る行動をとる余裕がなかったから |
| 5 | 身を守る必要がないと思ったから |
| 6 | 揺れに気が付かなかったから(就寝中など) |
| 7 | その他(具体的に: |

)

■ ここからは全員の方に、前震・本震の時のことをお尋ねします。

あてはまる番号にそれぞれ○をつけてください。

※前震と本震いずれの揺れも経験された方は、前震の時の状況を御回答ください。

※前震と本震どちらかひとつの揺れを経験された方は、その時の状況を御回答ください。

問 10 ご家族との連絡・安否はどのようにとりましたか。(○はいくつでも)

1 近くにいた	4 SNS・メール
2 携帯電話等の通話	5 知人や入居施設等を介して
3 通信事業者等の音声伝言サービス	6 その他(具体的に:)

問 11 地震直後の地震に関する情報をどこから入手しましたか。(○はいくつでも)

1 ラジオ	2 テレビ	3 新聞	4 家族からの電話・メール
5 近所の方や地域の方から	6 仕事先の同僚や知人から		
7 県のホームページ	8 市町村のホームページ		
9 市町村の防災行政無線等の市町村広報			
10 自治体の防災情報メールサービス			
11 Yahoo(ヤフー)、ウェザーニュース等の民間のホームページ			
12 Twitter(ツイッター)、Facebook(フェイスブック)などの SNS			
13 避難所にある掲示板			
14 情報を入手していない			
15 その他(具体的に:)			

問12 地震発生後、県のホームページはどのくらいご覧になりましたか。(○はひとつだけ)

1 よく見た(毎日)	2 たまに見た(2～3日に1回)
3 1回は見た	4 見ていない →問15へ

問13 (問12で4以外を答えた方に)県のホームページでどのような情報を見ようと思いましたか。

(○はいくつでも)

1 復興支援	義 援 金 ボランティア 支 援 物 資 復旧・復興本部	3 健 康	医 療 関 係 感染症・食中毒対策 福 祉 認知症対策 妊産婦・乳幼児	6 産 業	労働・雇用 商工 農林水産業
				7 教 育	
2 く ら し	住 ま い 生 活 支 援 環 境 消費者トラブル 相 談 窓 口 動 物 愛 護 許可・届出	4 税 金	県 税 ふるさと納税	8 災害対策本部	
		5 交 通	河川・道路・砂防	9 県に寄せられた応援メッセージ	
				10 お問い合わせ・相談窓口一覧	

問14 (問12で4以外と答えた方に)あてはまるものを選んでください。

(○はいくつでも)

1	分かりやすかった	
2	欲しい情報がなかった(欲しかった情報を具体的に :	)
3	欲しい情報がどこに掲載されているか分からなかった	
4	掲載されている情報の意味が分かりづらかった	
5	その他(具体的に :	)

問15 近所の方とコミュニケーションはとれましたか。(○はいくつでも)

1	声かけをしたり、されたりした	
2	家や近所で危険箇所がないか確認したり報告しあった	
3	けが人を介護したり、救助を手伝った	
4	区長等に手伝うことがないか申し出た	
5	特にコミュニケーションはとっていない	
6	その他(具体的に :	)

問16 避難所や自宅で生活する中で、特に必要と感じた情報はどれですか。

下記17項目のうち、(1)震災後3日まで、(2)10日まで、(3)1ヵ月までごとに必要と感じたものに○をつけてください(○はいくつでも)

	3日 まで	3日から 10日まで	10日から 1ヵ月まで
1 知人や家族の安否情報			
2 余震などの地震の情報			
3 避難所の開設・運営に関する情報			
4 食料など支援物資の提供情報			
5 電気・ガス・上下水道・通信関係の復旧(見込み)情報			
6 土砂・天気・気温などの気象情報			
7 スーパーや小売店などの営業情報			
8 道路の通行規制情報			
9 公共交通機関の復旧情報			
10 リ災証明の発行など、生活再建に関する情報			
11 家屋の修理・解体に関する情報			
12 仮設住宅に関する情報			
13 医療機関の診療情報			
14 教育に関する情報			
15 資金や貸付金に関する情報			
16 その他①(具体的に :			
その他②(具体的に :			
17 特になし			

■ 地震発生後の避難の状況などについてお尋ねします。

あてはまる番号にそれぞれ○をつけてください。

問17 地震(前震の揺れ)以降、あなたは避難しましたか。(○はひとつだけ)

※前震後は避難していないが、本震後に避難した方も「避難した」として御回答ください。

※短期間(夜間のみ等)、自動車の中に避難した場合も「避難した」として御回答ください。

1 避難した(3日間未満)	2 避難した(3日間～1週間未満)
3 避難した(1週間～1ヵ月未満)	4 避難した(1ヵ月間以上)
5 避難しなかった、避難できなかった	→問25へ

問18 (避難した方にお尋ねします。)避難した理由はなんですか。(○はいくつでも)

1 まだ余震が続くと思ったから
2 自宅建物が壊れ、中で生活することができなかったから
3 停電や断水など、自宅で生活するのが不安な状況だったから
4 町内会や家族内でその場所に避難することを決めていたから
5 警察や市の職員などに避難するよう呼びかけられたから
6 町内会など地域の人に避難するよう呼びかけられたから
7 その他(具体的に:)

問19 (避難した方にお尋ねします。)だれと一緒に避難しましたか。(○はいくつでも)

1 ひとりで	4 知人と
2 家族・親戚と	5 近所の方と
3 ペットと	6 その他(具体的に:)

問20 (避難した方にお尋ねします。)あなたが避難した場所はどこですか。

(複数の避難場所にいた方は、あてはまるものすべてに○をして一番長くいたものに◎を)

1 市町村が指定した避難所(指定避難所)	→(自動車の中に避難していない方) 問21に御回答いただいた後、問24へ
2 指定避難所以外の避難所(公共施設、民間施設)	
3 指定避難所かどうか分からないが、避難所	
4 福祉避難所	
5 親戚・知人宅	
6 自動車の中(避難所の駐車場)	
7 自動車の中(スーパーなど店舗や遊技場の駐車場)	
8 自動車の中(ご自宅の駐車場や周辺の道路)	
9 自動車の中(医療機関や福祉施設)	
10 自動車の中(6～9以外)	
11 自動車を除く屋外	
12 その他(具体的に:)	

問21 (避難した方にお尋ねします。)最も長く避難した場所を選択した理由を教えてください。
(○はいくつでも)

1	そこに避難することが、安全だと思ったから
2	情報が集まってくるから
3	家族、親せき等がいるから
4	プライバシーの問題等により、避難所に避難をしなかったから
5	家族やペットにより、避難所に避難することが困難であったから
6	避難所までの移動が困難だったから
7	緊急時の避難場所を家族で決めていたから
8	避難しようとした施設に避難者が殺到して避難できないと思ったから
9	近隣の避難所が分からなかったから
10	その他(具体的に:)

(避難しなかった理由を具体的に:)

問22 (車中泊をされた方へお尋ねします。)自動車の中に避難した理由は、何ですか。
(あてはまるものすべてに○をして一番の理由に◎を)

1	余震が続き、車が一番安全と思ったため
2	プライバシーの問題により、避難所より車中避難の方がよいと思ったから
3	小さい子どもや体が不自由な家族がいたから
4	ペットがいたから
5	避難所が満員で入れなかったから
6	避難しようとした施設に避難者が殺到して避難できないと思ったから
7	他に近隣で避難できる場所がなかったから
8	一度は避難所に避難したが、避難所に居づらくなったから
9	一度は避難所に避難したが、避難した避難所が閉鎖されたから
10	その他(具体的に:)

(居づらくなった理由を具体的に:)

問23 (車中泊をされた方へお尋ねします。)なぜ、その駐車場に避難されましたか。
(○はいくつでも)

1	トイレや水道が使えたから
2	周囲に避難者がいたから
3	食事の提供などのサービスを受けることができたから
4	自宅や職場、子どもの学校等に近かったから
5	被災者支援の情報が得やすいから
6	その他(具体的に:)

問24 (避難した方にお尋ねします。)避難をやめるきっかけとなったのは、何ですか。

(○はいくつでも)

1 余震の頻度が少なくなったから	
2 仮設住宅(民間賃貸を含む)が決まったから	
3 自宅の応急処理や修理が済んだから	
4 親戚や知人宅などに移ることになったから	
5 電気などのライフラインが復旧したから	
6 避難所の生活が自分や家族に難しかったから	
7 避難所が閉鎖になったから	
8 エコノミークラス症候群の情報を聞いたから	
9 その他(具体的に:)	

(難しかった理由を具体的に:)

問25 (避難しなかった・できなかった方にお尋ねします。)

避難しなかった・できなかった理由はどれですか。(○はいくつでも)

1 自宅が安全で、避難する必要がないと思ったから	
2 どこに向かえばよいのか分からなかったから	
3 病人や体が不自由な家族がいて、避難するのが困難だったから	
4 避難所までの移動が困難だったから	
5 避難しようとした施設に避難者が殺到して避難できないと思ったから	
6 避難しようとした施設が損壊しており、危ないと思ったから	
7 その他(具体的に:)	

問26 (全員にお尋ねします。)

今後、避難生活を行う必要が生じた場合に、あってほしいものはなんですか。

(必要だと思うものすべてに○をして、一番必要だと思うものに◎を)

1 指定避難所、福祉避難所情報の周知	
2 要配慮者に対する支援体制の確保(要配慮者:高齢者、障がい者、乳児、妊婦、外国人等)	
3 食糧、水等の救援物資の確保	
5 トイレ、衛生面の確保	
6 防火・防犯対策	
7 医師、看護師の手配	
8 電源、空調などの設備	
9 風呂等の入浴設備	
10 情報通信機器	
11 その他(具体的に:)	

(特に求める支援の内容を具体的に:)

※記載例:(乳児)安心して授乳ができるスペースを設けてほしい。

問27 今後、避難生活を行う必要が生じた場合に、誰が管理・運営する避難所へ避難したいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 自治会等の住民組織
- 2 避難した住民
- 3 市役所、役場の職員
- 4 避難先となった施設の職員（学校の先生など）
- 5 外部のボランティア・NPO等
- 6 避難所へ避難したいとは思わない
- 7 その他（具体的に：

(避難したくない理由を具体的に：

問28 【問27】で（6）以外を選択した場合にお答えください。

その理由について教えてください。(〇はいくつでも)

- 1 安心感が期待できるから
- 2 一体感が期待できるから
- 3 公平性が期待できるから
- 4 既存の施設利用者との調和が期待できるから
- 5 専門性が期待できるから
- 6 その他（具体的に：

■ 地震への備えについてお尋ねします。

あてはまる番号にそれぞれ○をつけてください。

問29 事前に地震の備えとして何を行っていましたか（○はいくつでも）

1	飲料水・食糧の備蓄(何日分くらいの飲料水や食料を備蓄していましたか：	日分)
2	避難場所、経路の確認	
3	お住まいの地区の危険地域(ハザードマップ)の確認	
4	近隣の指定避難所までの避難経路の検討	
5	自治体の防災メールの登録	
6	家族との連絡方法の確認	
7	風呂に水を溜める	
8	家具の固定	
9	家の耐震補強	
10	非常用持出品の準備	
11	地域の自主防災活動や消防団への参加	
12	その他(具体的に：)	
13	特に何もしていなかった	

問30 【問29】のうち、役に立ったことはありますか（○はいくつでも）

1	飲料水・食糧の備蓄(何日分くらいの飲料水や食料を備蓄していましたか：	日分)
2	避難場所、経路の確認	
3	お住まいの地区の危険地域(ハザードマップ)の確認	
4	近隣の指定避難所までの避難経路の検討	
5	自治体の防災メールの登録	
6	家族との連絡方法の確認	
7	風呂に水を溜める	
8	家具の固定	
9	家の耐震補強	
10	非常用持出品の準備	
11	地域の自主防災活動や消防団への参加	
12	その他(具体的に：)	
13	特に何もしていなかった	

問31 地震の後、今後の災害への備えとして何を行いましたか。

地震の前から備えているものも含めて教えてください。(〇はいくつでも)

1	飲料水・食糧の備蓄(何日分くらいの飲料水や食料を備蓄していましたか：)	日分)
2	避難場所、経路の確認	
3	お住まいの地区の危険地域(ハザードマップ)の確認	
4	近隣の指定避難所までの避難経路の検討	
5	自治体の防災メールの登録	
6	家族との連絡方法の確認	
7	風呂に水を溜める	
8	家具の固定	
9	家の耐震補強	
10	非常用持出品の準備	
11	地域の自主防災活動や消防団への参加	
12	その他(具体的に：)	
13	特に何もしていなかった	

問32 あなたが今後取得したい防災に関する知識は何ですか。(〇はいくつでも)

1	個人や地域で行う防災対策	7	災害支援制度、法制度
2	行政の取組み(公助)	8	災害発生メカニズム
3	災害時の被害想定	9	災害ボランティア
4	災害時の情報収集方法	10	特になし
5	避難所運営のポイント	11	その他(具体的に：)
6	避難所生活で気をつけること		

■ その他に数点、お尋ねします。

あてはまる番号にそれぞれ○をつけてください。

問33 あなたは普段、近所付き合いをどのようにしていますか。(○はひとつ)

- 1 積極的に自治会活動に参加したり、親しく話したりしている
- 2 一斉清掃の参加や当番制の役割を行う
- 3 挨拶をする程度
- 4 ほとんど付き合いがない
- 5 その他（具体的に： ）

問34 あなたは今回の地震で地域や近所との方と協力して何をしましたか。(〇はいくつでも)

- 1 近所の人の安否を確認した
- 2 近所の人の避難に手を貸した
- 3 消火活動などの消防団・自主防災組織の活動に協力した
- 4 避難所の運営に協力した
- 5 何もしなかった
- 6 その他（具体的に： ）

問35 これまでの自宅や避難先での生活で、あなたが特に困ったり、苦勞したことはありますか。(〇はいいくつでも)

- 1 家族や知人の安否・居場所の確認
- 2 食糧や飲み水の入手
- 3 トイレ・風呂などの生活用水の入手
- 4 停電・ガス・電機などライフラインの停止
- 5 介護・医療に必要な薬や物品の入手
- 7 ガソリンや灯油などの燃料の入手
- 8 鉄道やバスでの移動
- 9 情報の入手
- 10 その他（具体的に：

問36 あなたは今後地域での防災活動として、大切だと思うことはなんですか。
(〇はいくつでも)

- 1 地域での危険箇所を知らせる地域版防災マップの作成
- 2 地域での避難訓練の実施
- 3 地域で高齢者など自力で避難が難しい人を助け合う体制づくり
- 4 避難所の運営訓練
- 5 炊き出し訓練
- 6 災害の経験を地域で伝承していく
- 7 地域の学校や会社などと一緒にした防災対策の取組み
- 8 その他

問37 災害時に地域で助け合う自主防災組織の活動についてお尋ねします。

今回の地震であなたの地域の自主防災組織はどのような活動を行いましたか。

(○はいくつでも)

- | |
|----------------------------|
| 1 地域での安否確認 |
| 2 避難の呼び掛け、避難支援 |
| 3 避難所運営 |
| 4 炊き出し |
| 5 活動していない、または、活動していたのか知らない |
| 6 自主防災組織は住んでいる地域にない |
| 7 自主防災組織を知らなかった |
| 8 その他（具体的に： _____） |

問38 あなたはこれまで自主防災組織活動に参加したことがありますか。(○はひとつだけ)

- | |
|---------------------|
| 1 自主防災組織に参加したことがある |
| 2 自主防災組織はあるが参加していない |
| 3 自主防災組織がない。 |
| 4 自主防災組織があるのか知らない |

問39 (問38で2、3、4の方に)あなたは、今後どのような条件があれば自主防災組織に参加できると思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|----------------------------|
| 1 地震を経験し、今後は参加したい |
| 2 時間的負担が少ないこと |
| 3 経済的負担が少ないこと |
| 4 子どもやお年寄りなども参加しやすい活動であること |
| 5 知り合いや友人などが参加していること |
| 6 輪番制でもいいので全員参加を条件にすること |
| 7 行政による活動支援 |
| 8 その他（具体的に： _____） |

問40 あなたは、災害時の地域での自主防災組織などによる共助の取組みが円滑に行われるために、普段どのような取組みが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|----------------------------|
| 1 地域での祭りなど、住民の顔の見える関係づくり |
| 2 自主防災組織の意義や活動内容を伝える研修会の開催 |
| 3 災害の経験を地域で伝承する活動 |
| 4 住民の防災意識の向上を図る活動 |
| 5 行政による自主防災組織の活動支援 |
| 6 その他（具体的に： _____） |

問41 災害への備え(自助)、地域での協力体制(共助)や行政の支援体制(公助)で、良かった点を自由にお書きください。

問42 災害への備え(自助)、地域での協力体制(共助)や行政の支援体制(公助)で、悪かった点、改善すべき点を自由にお書きください。

問43 地震前後で変化のあったこと(価値観、心構え、地域とのつながり など)がありましたら教えてください。

■ これからのことについてお尋ねします。

あてはまる番号にそれぞれ○をつけてください。

問44 今後の生活について、不安なことはなんですか。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|---|------------------|----|------------------|
| 1 | 壊れた家や家財の処分方法や手続き | 7 | 自分の家族の健康 |
| 2 | 今ある住宅ローンや自宅再建資金 | 8 | 仕事が続けられるかどうか |
| 3 | 医療の受診 | 9 | 事業の借入の返済や再建の資金 |
| 4 | 介護サービスの受給 | 10 | 周りに相談できる人がいない |
| 5 | 保育サービスの利用 | 11 | 家族がまとまって暮らせるかどうか |
| 6 | 子どもの教育 | 12 | その他(具体的に：) |

問45 選択いただいた不安なことについて、具体的にお書きください。

--

問46 今後の生活再建に向けて県に求めることを教えてください。

--	--

■ あなたご自身のことについてお尋ねします。

あなたの性別を教えてください。(○はひとつだけ)

1 男性	2 女性
------	------

現在の年齢を教えてください。(○はひとつだけ)

1 20～29歳	5 60～69歳
2 30～39歳	6 70～79歳
3 40～49歳	7 80歳～
4 50～59歳	

震災時のお住まいの場所はどこですか。(○はひとつだけ)

熊本市	1 熊本市中央区 2 熊本市東区 3 熊本市西区 4 熊本市南区 5 熊本市北区	菊池	16 菊池市 17 合志市 18 大津町 19 菊陽町	八代	32 八代市 33 氷川町
				芦北	34 水俣市 35 芦北町 36 津奈木町
宇城	6 宇土市 7 宇城市 8 美里町	阿蘇	20 阿蘇市 21 南小国町 22 小国町 23 産山村 24 高森町 25 南阿蘇村 26 西原村	球磨	37 人吉市 38 錦町 39 あさぎり町 40 多良木町 41 湯前町 42 水上村 43 相良村 44 五木村 45 山江村 46 球磨村
玉名	9 荒尾市 10 玉名市 11 玉東町 12 和水町 13 南関町 14 長洲町				
鹿本	15 山鹿市	上益城	27 御船町 28 嘉島町 29 益城町 30 甲佐町 31 山都町	天草	47 天草市 48 上天草市 49 苓北町

今のお住まいはどれですか。(○はひとつだけ)

1 自宅	5 仮設住宅
2 親戚・知人・友人宅	6 公営住宅
3 避難所(自動車・テントを除く)	7 県外
4 自動車・テント	

震災前の同居家族には、どのような方がいましたか。ご自身が当てはまる場合も含めて、お答えください。(○はいくつでも)

1 乳幼児	4 介護の必要な方
2 小・中学生	5 ペット
3 妊婦	6 その他、病気や障害などで避難行動や避難生活が難しい方

あなたご自身やご家族、ご親戚はどのような被害をお受けになりましたか。(○はいくつでも)

1 家族や親戚は全員無事だった
2 自分や同居家族に怪我をした者がいる
3 同居をしていなかったが、亡くなったり、行方不明の家族がいる
4 亡くなったり、行方不明の同居家族がいる
5 亡くなったり、行方不明の親戚がいる

あなたの自宅の被害状況を教えてください。(○はひとつだけ)

(罹災証明の判定が確定していない場合は、あなたの主観でかまいません)

1 全壊	4 一部損壊
2 大規模半壊	5 被害なし
3 半壊	

具体的にどのような被害がありましたか。(○はいくつでも)

1 家の中の食器棚やタンスなどの家具が倒れた
2 高い所の物が落下した
3 窓ガラスが割れたり、屋根の瓦が落ちたりした
4 被害はなかったものの生活に影響があった
5 地盤の陥没、隆起、液状化が起こった
6 柱や基礎が損壊した
7 外壁が損壊した
8 その他(具体的に：)

質問は以上で終わりです。お忙しいところ、御協力ありがとうございました。

御回答が済みましたら、この調査票を同封の返信用封筒に入れて、平成28年9月14日(水)までに、切手を貼らずに、お近くの郵便ポストに投函していただきますようお願いします。